



# 宜野湾市子ども・子育て支援事業計画策定に係る ニーズ調査報告書

平成 26 年 3 月  
沖縄県宜野湾市

# 目次

1. 調査の概要.....	3
(1) 調査の目的.....	3
(2) 調査の実施状況.....	3
2. 調査の結果.....	5
(1) 就学前児童（0～5歳）調査.....	5
(2) 就学児童（小学生）調査.....	133
(3) 幼稚園園児調査.....	203

## (1) 調査の目的

「子ども・子育て関連3法」の成立に伴い、宜野湾市においても平成27年度より施行の「宜野湾市子ども・子育て支援事業計画」を策定予定である。計画の策定にあたり、児童及び保護者の状況やサービス利用の現状及びニーズ等を把握し、計画へ反映させることを目的とし本調査を実施している。

## (2) 調査の実施状況

## ①就学前児童（0～5歳）調査

□ 調査対象：宜野湾市に在住する0～5歳児の保護者、3,000人

□ 抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出

※平成25年4月2日時点の0～5歳児を抽出。なお育児休業に関する設問を設けていることから、平成25年4月2日～平成25年9月1日までに出生した児童の家庭も調査対象とし、同条件の抽出を行った。

□ 調査方法：郵送による配布回収。但し、保育所（保育園）や幼稚園を利用している家庭の場合は施設への提出も可とし、施設を通じての回収も行っている。

□ 調査期間：平成26年1月6日（月）～平成26年1月31日（金）

□ 回収状況：

配布数 3,000 件

有効回収数 1,276 件

(有効回収率 42.5%)

## ②就学児童（小学生）調査

□ 調査対象：全宜野湾市立小学校の各学年の1クラス

□ 調査方法：学校を通じての配布回収

□ 調査期間：平成26年1月6日（月）～平成26年1月31日（金）

□ 回収状況：

配布数 1,564 件

有効回収数 1,248 件

(有効回収率 79.8%)

### ③幼稚園園児調査

- 調査対象：宜野湾市内の公立・私立幼稚園に通園する園児の保護者
- 調査方法：幼稚園を通じての配布回収
- 調査期間：平成 25 年 9 月上旬～平成 25 年 11 月上旬
- 回収状況：

配布数 1,076 件
有効回収数 491 件 (有効回収率 45.6%)

## 2

## 調査の結果

### (1) 就学前児童（0～5歳）調査

#### お住まいの地域について

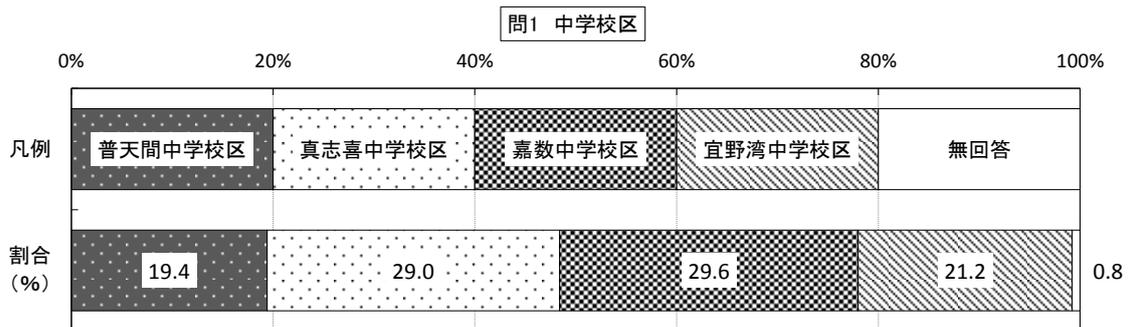
**問1** お住まいの地域の行政区をお答えください。行政区が分からない場合は、このアンケート用紙が入っていた封筒の宛名ラベルを確認していただき、宛名ラベルに印字されている「行政区No.」の数字をお選びください。

 ○は1つ。

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| 1. 野嵩1区  | 2. 野嵩2区  | 3. 野嵩3区  | 4. 普天間1区 |
| 5. 普天間2区 | 6. 普天間3区 | 7. 新城区   | 8. 喜友名区  |
| 9. 伊佐区   | 10. 大山区  | 11. 真志喜区 | 12. 宇地泊区 |
| 13. 大謝名区 | 14. 嘉数区  | 15. 真栄原区 | 16. 我如古区 |
| 17. 長田区  | 18. 宜野湾区 | 19. 愛知区  | 20. 中原区  |

注) 行政区No.は個人情報を特定する様なものではありません。

中学校区別の回収割合をみると、「嘉数中学校区」(29.6%)及び「真志喜中学校区」(29.0%)が約3割と多く、「宜野湾中学校区」(21.2%)及び「普天間中学校区」(19.4%)が2割程度となっている。



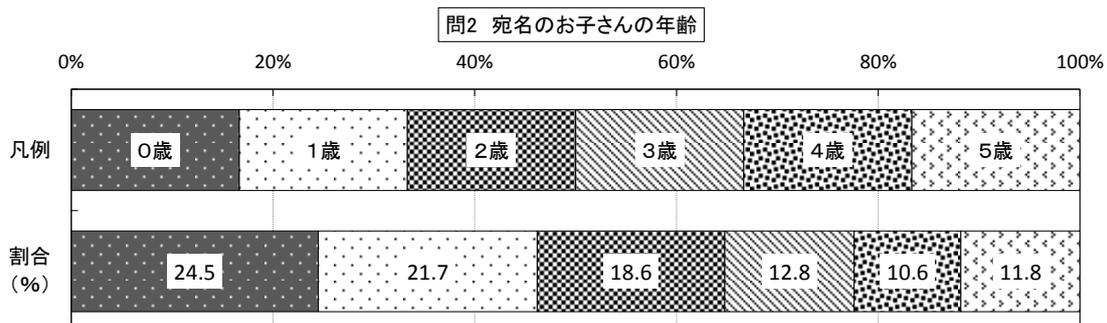
#### 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

**問2** 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。

 □内に数字で記入。(数字は一枠に一字)

平成 □□ 年 □□ 月生まれ

お子さんの年齢をみると、「0歳」(24.5%)及び「1歳」(21.7%)が2割強と多く、次いで「2歳」が2割弱(18.6%)、「3歳」(12.8%)、「4歳」(10.6%)及び「5歳」(11.8%)が1割程度となっている。お子さんの年齢が低いほど回収率が高い傾向がうかがえる。

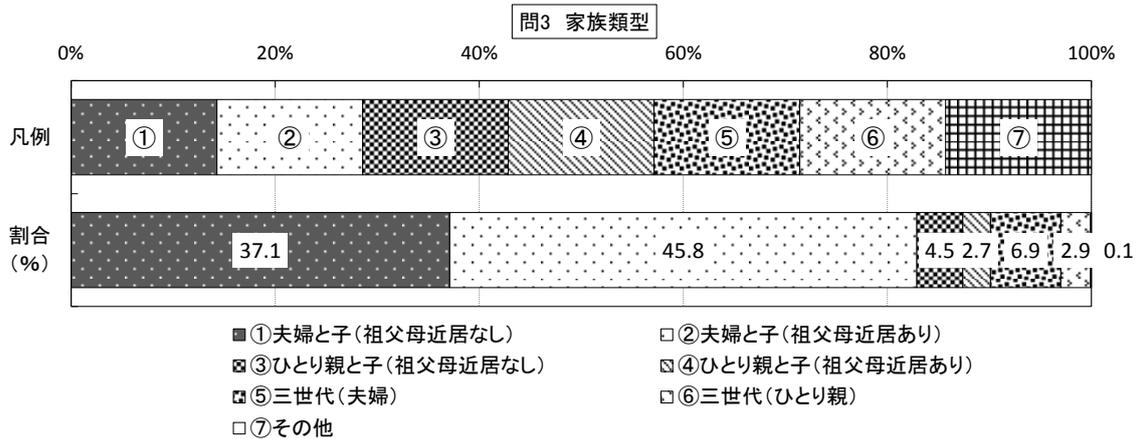


**問3** あて名のお子さんとの同居・近居（概ね 30 分以内程度で行き来できる範囲）の状況についておうかがいします。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

当てはまる番号すべてに○

1. 父同居                      2. 母同居                      3. 祖父同居                      4. 祖母同居  
5. 祖父近居                      6. 祖母近居                      7. その他（                      ）

家族類型をみると、「夫婦と子（祖父母近居あり）」が5割弱（45.8%）で最も多く、次いで「夫婦と子（祖父母近居なし）」が4割弱（37.1%）と、『夫婦と子』の家庭が8割強（82.9%）となっている。



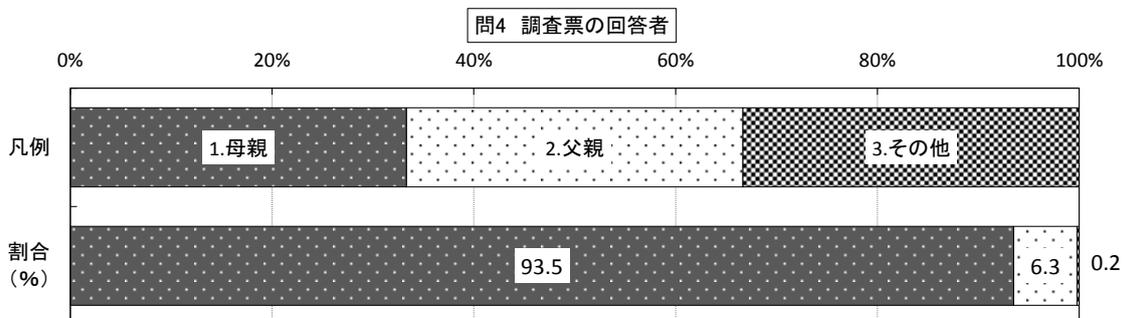
【その他の内容】  
 ・おば    ・おじ    ・いとこ    ・曾祖母    ・曾祖父    ・姉夫婦                      等

**問4** この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

○は1つ

1. 母親                      2. 父親                      3. その他（                      ）

回答者をみると、「1. 母親」が9割強（93.5%）と圧倒的に多く、「2. 父親」は6.3%とわずかな割合となっている。



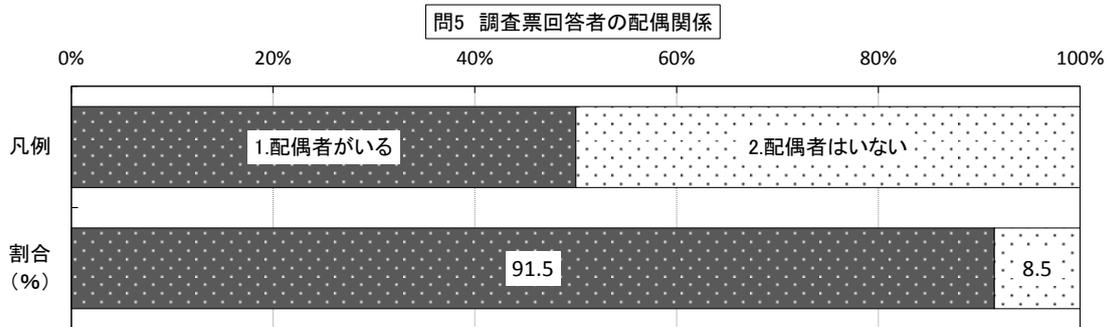
【その他の内容】  
 ・祖母    ・おば

**問5** この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

○は1つ

1. 配偶者がいる      2. 配偶者はいない

回答者の配偶者の有無をみると、「1. 配偶者がいる」が9割強（91.5%）、「2. 配偶者はいない」（8.5%）はわずかであり、回答者のほとんどに配偶者がいることが分かる。

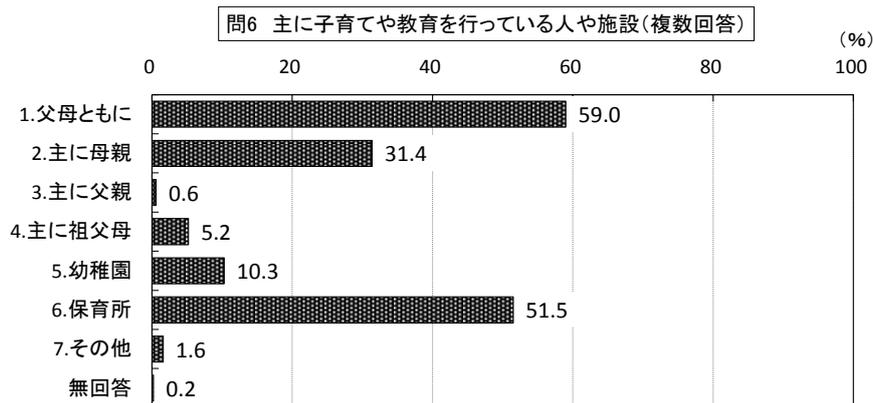


**問6** 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください。

当てはまる番号すべてに○

1. 父母ともに      2. 主に母親      3. 主に父親      4. 主に祖父母  
5. 幼稚園      6. 保育所      7. その他（      ）

主に子育てや教育を行っている人（施設）をみると、「1. 父母ともに」が約6割（59.0%）で最も多く、次いで「6. 保育所」が5割強（51.5%）、「2. 主に母親」が3割強（31.4%）と多くなっている。



【その他の内容】

- ・学童      ・おば      ・従兄弟      ・公民館      ・支援センター      ・一時保育
- ・小児発達センター—時預かり      ・ファミリーサポートセンター

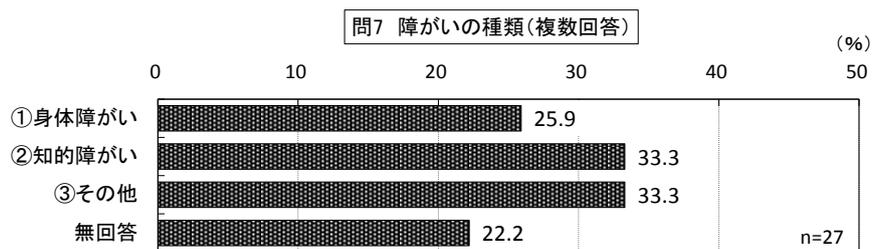
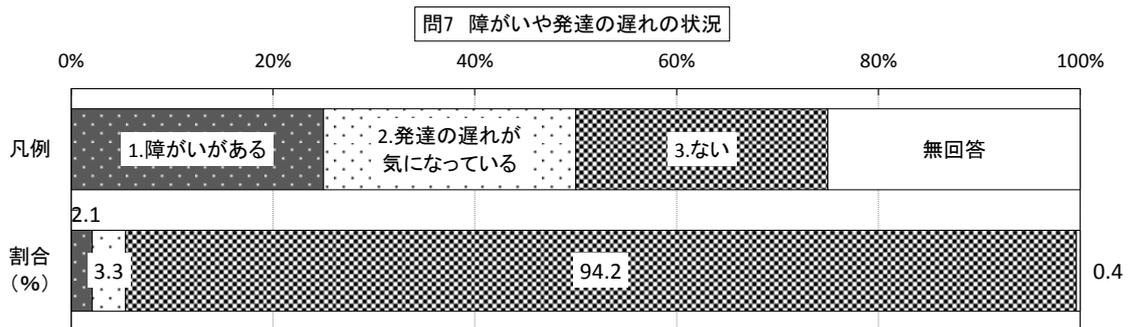
等

**問7 宛名のお子さんは、何らかの障がいや発達の遅れが気になっている状況がありますか。**

○は1つ。障がいがある場合は、障がいの種類をお答えください。

1. 障がいがある  
→障がいの種類についておうかがいします【①身体障がい ②知的障がい ③その他( )】
2. 発達の遅れが気になっている
3. ない

お子さんの障がいや発達の遅れの状況を見ると、「1. 障がいがある」が2.1%、「2. 発達の遅れが気になっている」が3.3%みられ、「3. ない」は9割強(94.2%)となっている。



【その他の内容】

・自閉症スペクトラム ・広汎性発達障害 ・脂質代謝異常 ・ダウン症 ・てんかん

等

## 子どもの育ちをめぐる環境について

### 問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

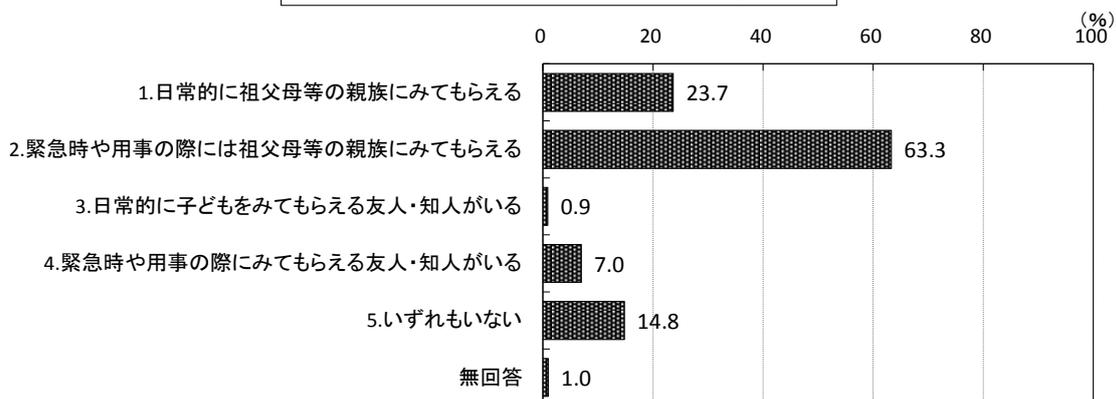
当てはまる番号すべてに○

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

お子さんをみてくれる親族・知人の有無をみると、「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が6割強（63.3%）で最も多く、次いで「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」（23.7%）などとなっている。

また「5. いずれもない」が1割強（14.8%）となっており、少ないながらも“お子さんの面倒をみてもらえる親族や知人の居ない世帯”もいる。

問8 日頃、子どもをみてくれる親族・知人の有無（複数回答）



問8で「1.」または「2.」と回答した方にうかがいます。

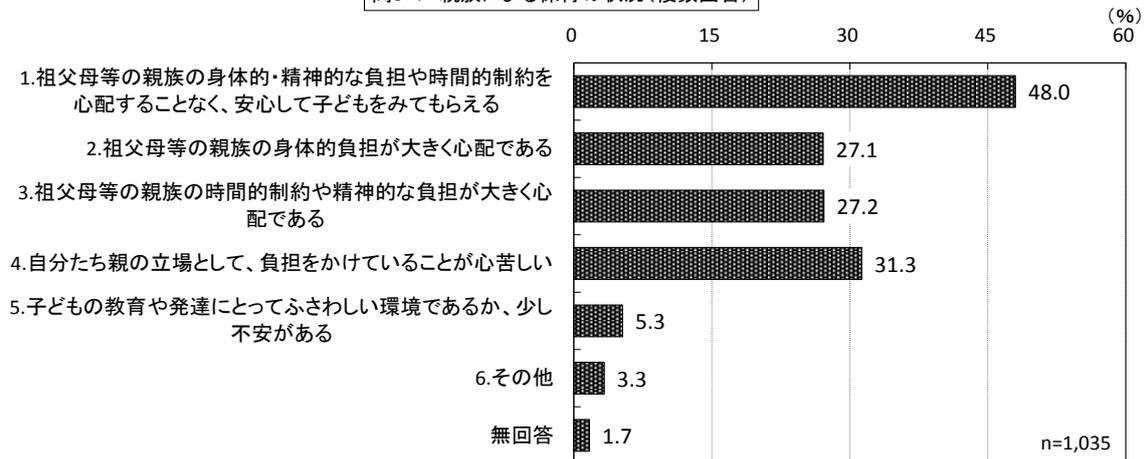
**問8-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。**

 当てはまる番号すべてに○

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ( )

親族による保育の状況をみると、「1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が5割弱（48.0%）で最も多く、次いで「4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（31.3%）、「3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」（27.2%）、「2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」（27.1%）などとなっている。

問8-1 親族による保育の状況（複数回答）



【その他の内容】

- ・ 子どもの教育、発達にふさわしいと思わないので、緊急時のみに限って預けている
- ・ いざという時に子どもを見てくれる人はなく、前もって言わないと預けられない
- ・ 実家の距離があり車で来てもらうので、どうしても必要な時しか呼べない、祖父母等の身体的負担が少し心配である
- ・ 祖父母も仕事があるので緊急時でも常に見てもらえるわけではない
- ・ 仕事をしている為、見てもらうのも非常に難しいことが多い
- ・ 預ける事は不可能、食事を作っている時など少しみてもらう程度
- ・ 祖父の母親の介護もあるので両方では不安がある
- ・ 祖父母宅が遠いため、すぐには預けられない
- ・ 祖父母等の事情によりみてもらえないこともある
- ・ 祖父母は他界しているので基本預ける事はないが、まれな緊急時があれば父の兄弟に相談はできて恐らくみてもらえる

等

問8で「3.」または「4.」と回答した方にうかがいます。

**問8-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。**

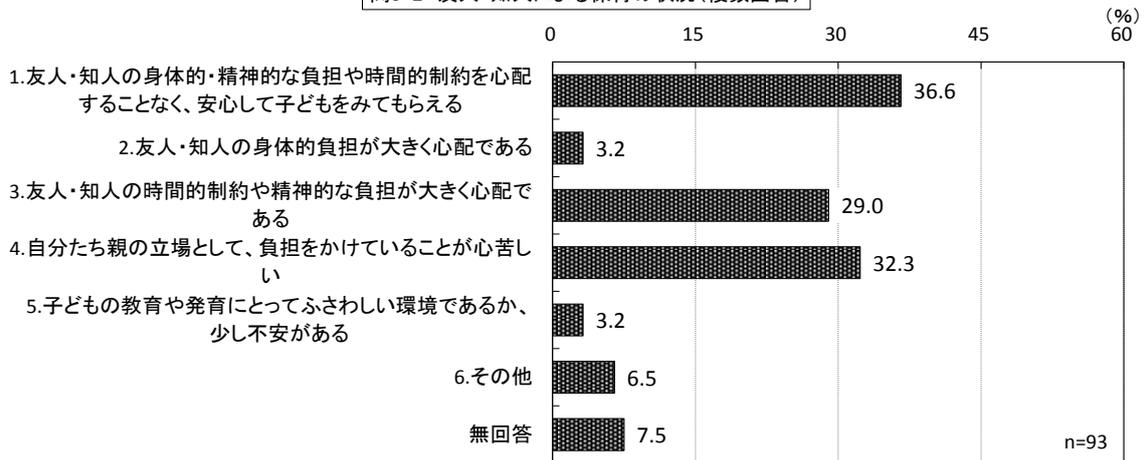
当てはまる番号すべてに○

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ( )

友人・知人による保育の状況を見ると、「1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が4割弱（36.6%）で最も多く、次いで「4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」（32.3%）、「3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」（29.0%）などとなっている。

親族による保育の状況と比べると、身体的な負担を心配する回答がみられなかった。

問8-2 友人・知人による保育の状況(複数回答)



【その他の内容】

- ・相手方の仕事の都合や環境で看てもらえないことも多々ある
- ・今は、お願いできるが友人が海外に引っ越すのでその後が心配
- ・今までみてもらった事はないが、頼めば数時間は見てもらえると思う

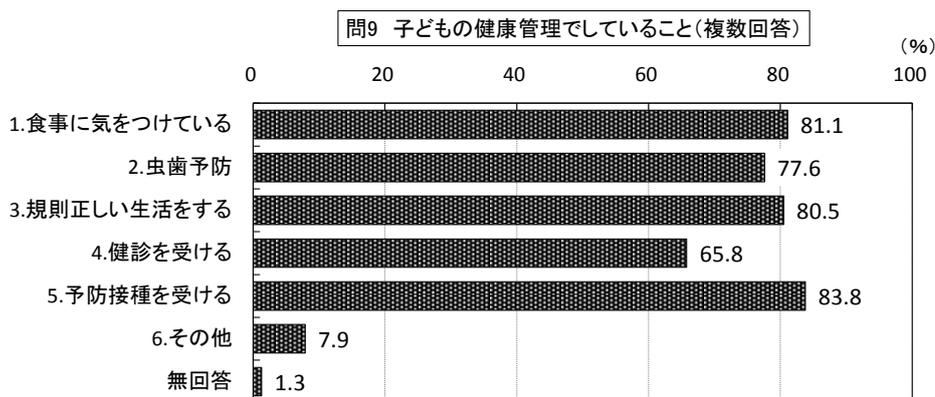
等

### 問9 子どもの健康管理であなたがやっていることは何ですか。

☑ 当てはまる番号すべてに○

1. 食事に気をつけている      2. 虫歯予防      3. 規則正しい生活をする  
 4. 健診を受ける      5. 予防接種を受ける  
 6. その他（具体的に \_\_\_\_\_ )

お子さんの健康管理でしていることをみると、「5. 予防接種を受ける」が8割強（83.8%）で最も多く、次いで「1. 食事に気をつけている」（81.1%）、「3. 規則正しい生活をする」（80.5%）、「2. 虫歯予防」（77.6%）、「4. 健診を受ける」（65.8%）などとなっている。いずれの回答も割合が多いものの、「4. 健診を受ける」は比較的少なめであった。



#### 【その他の内容】

- 外遊びや運動をさせて体力をつける
- 体調の変化による早期受診
- ストレスケア
- ケガや事故の注意
- 軟便の為、便の様子を見て薬の調整をしている（通院中）
- 予防（人ごみの中に行く時はマスク、熱中症にならないよう帽子、水を持ち歩くなど）
- アレルギーが非常に多い（食べ物、呼吸系など）ので、掃除と洗濯、除去食している
- アレルギー（牛乳・卵白）があるので除外するのに気を使います
- 手洗い・うがい
- 体調管理
- ビタミン摂取
- PM2.5 予報チェック
- 衣服による体温調整
- 子どもの持病の治療
- 早寝早起き
- ぜんそくの為、まめに家の掃除をする

等

#### 目標指標の点検

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
子どもの健康管理で気を付けていることの割合	食事 73.2%	食事 81.1%	食事 81.0%	本調査の問9の選択肢1～5
	虫歯予防 66.2%	虫歯予防 77.6%	虫歯予防 73.0%	
	規則正しい生活 66.9%	規則正しい生活 80.5%	規則正しい生活 74.0%	
	健診受診 44.3%	健診受診 65.8%	健診受診 49.0%	
	予防接種 73.7%	予防接種 83.8%	予防接種 81.0%	
	—	—	(1割程度増やす)	

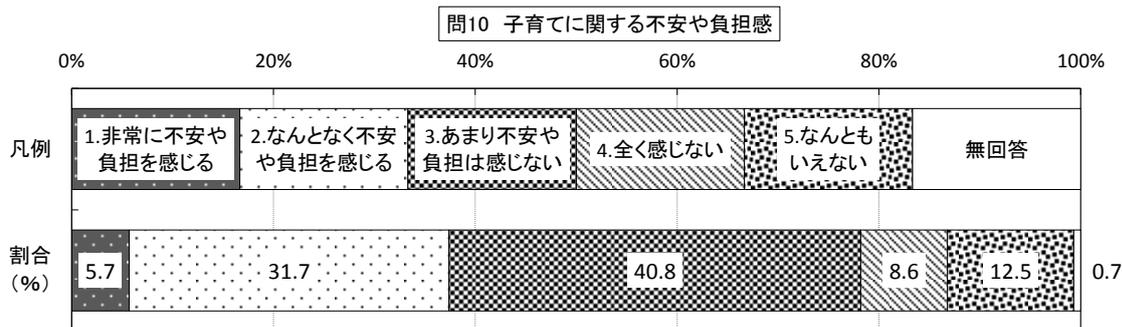
子どもの健康管理で気を付けていることの割合は、いずれの項目も平成21年度調査よりも割合が多くなっており、目標値以上の結果となっている。

**問10 あなたは子育てに関して不安や負担感などを感じていますか。**

○は1つ

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 非常に不安や負担を感じる  | 2. なんとなく不安や負担を感じる |
| 3. あまり不安や負担は感じない | 4. 全く感じない         |
| 5. なんともいえない      |                   |

子育てに関する不安や負担感をみると、「3. あまり不安や負担は感じない」が約4割(40.8%)で最も多く、次いで「2. なんとなく不安や負担を感じる」(31.7%)などとなっている。



目標指標の点検

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
子育てに関して不安感や負担感を持つ保護者の割合	38.5%	37.4%	減少をめざす	本調査の問10の選択肢1+2

子育てに関して不安感や負担感を持つ保護者の割合は、平成21年度調査よりも割合が若干減少(37.4%)しており、目標を達成している。

日頃子どもをみてくれる親族・知人の有無別にみると、『不安や負担を感じる』（「1. 非常に不安や負担を感じる」+「2. なんとなく不安や負担を感じる」）は、日頃子どもをみてくれる親族・知人が「5. いずれもない」で5割弱（45.0%）と最も高くなっている。これにより、子どもをみてくれる親族・知人がいない方については、子育てに関する不安や負担感が強い傾向がうかがえる。

問10 子育てに関する不安や負担感 × 問8 日頃、子どもをみてくれる親族・知人の有無 (単数回答)

上段:件数、下段:横%	合計	① 非常に不安や負担を感じる	② なんとなく不安や負担を感じる	③ あまり不安や負担を感じない	④ 全く感じない	⑤ なんとなくいえない	無回答
全 体	1,276	73	405	520	110	159	9
	100.0	5.7	31.7	40.8	8.6	12.5	0.7
1.日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	302	11	98	141	22	30	0
	100.0	3.6	32.5	46.7	7.3	9.9	0.0
2.緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	808	42	246	341	78	96	5
	100.0	5.2	30.4	42.2	9.7	11.9	0.6
3.日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	12	1	1	5	3	2	0
	100.0	8.3	8.3	41.7	25.0	16.7	0.0
4.緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	89	7	18	39	12	12	1
	100.0	7.9	20.2	43.8	13.5	13.5	1.1
5.いずれもない	189	16	69	58	12	34	0
	100.0	8.5	36.5	30.7	6.3	18.0	0.0
無回答	13	2	1	2	2	2	4
	100.0	15.4	7.7	15.4	15.4	15.4	30.8

問11 子育てに関して日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

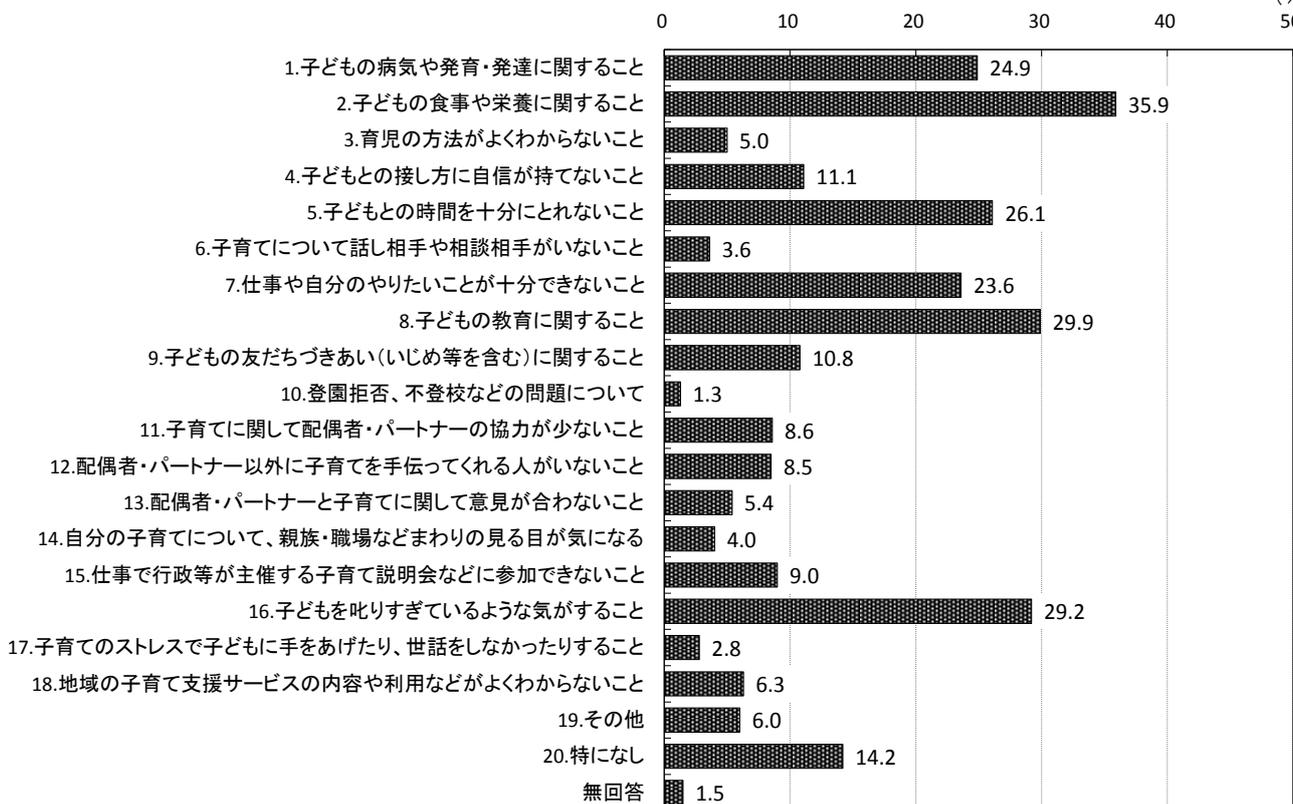
☑ 当てはまる番号すべてに○

1. 子どもの病気や発育・発達に関すること
2. 子どもの食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの時間を十分にとれないこと
6. 子育てについて話し相手や相談相手がいないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
10. 登園拒否、不登校などの問題について
11. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと
12. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
13. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
14. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になる
15. 仕事で平日にある行政や保育所等が主催する子育て説明会などに参加できないこと
16. 子どもを叱りすぎているような気がする
17. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
18. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
19. その他（具体的に： ）
20. 特になし

子育てに関して日頃悩んでいることや気になることをみると、「2. 子どもの食事や栄養に関すること」が4割弱（35.9%）で最も多く、次いで「8. 子どもの教育に関すること」（29.9%）、「16. 子どもを叱りすぎているような気がする」（29.2%）、「5. 子どもとの時間を十分にとれないこと」（26.1%）、「1. 子どもの病気や発育・発達に関すること」（24.9%）、「7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」（23.6%）などとなっている。

問11 子育てに関して日頃悩んでいることや気になること(複数回答)

(%)  
50



【その他の内容】

- 希望する保育所等へ入れない
- 育児と仕事の両立
- 遊び場が無い、環境が良くない
- 保育料が高い
- 子どもの発達の違いについて具体的な改善案、提案が保育園等から提示がない
- 責任のある仕事を引き受ける際にはベビーシッターも同時に確保する必要があり、保育料の方が高いケースが多いので、受けられない仕事が多くなる
- 親族（配偶者側の）の子育ての仕方に違いがあり、自分のやり方で育てたい
- 毎月一時預かりを利用しているので、仕事との調整がうまくとれず、毎月保育園へ預かってもらえるのかと、ハラハラする。
- 保育園のお迎えにいけない為、先生方との情報伝達がうまくいかない場合がある
- 待機児童の問題、および時間外保育やその他子育て支援の制度においては早急な整備・支援の充実を希望します
- 保育園の教育の充実・市の健康診断が平日なので仕事していたら無理
- 教育機関、行政への信頼性の欠如
- 小学校入学後、放課後の子どもの居場所について
- 今通う保育園の土曜日の受け入れがないこと
- 周りとの格差、自分が人付き合いが下手な事でもたらず影響
- 祖母の助けがなければ、仕事などの保育が成り立たないことが心苦しい
- 嘉数地区に児童センターがなく公民館がセンターみたいになっているが、自治会に入らないと子どもが行けないような感じになる

等

目標指標の点検

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
子育てに関して、虐待が懸念される深刻な悩みを抱えている保護者の割合	4.2%	2.8%	減少をめざす	本調査の問11の選択肢17

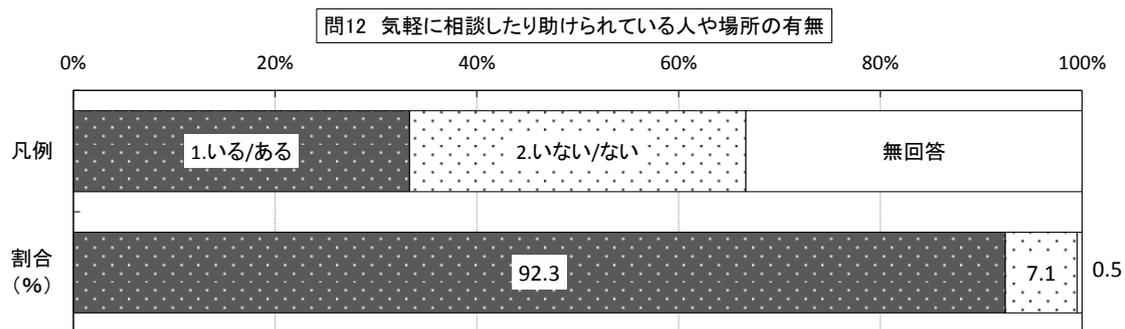
子育てに関して、虐待が懸念される深刻な悩みを抱えている保護者の割合は、本調査では平成21年度調査よりも割合が若干減少（2.8%）しており、目標を達成している。

**問12** 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）や育児を助けられていると感じている人（場所）はいますか。

○は1つ

1. いる/ある      2. いない/ない

気軽に相談したり助けられている人や場所の有無をみると、「1. いる/ある」が9割強（92.3%）となっている。一方、「2. いない/ない」は1割弱（7.1%）とわずかな状況ではあるが、前問で深刻な悩みを抱えている保護者が少なからずいたことを考えると、相談先等が無い世帯があること自体が懸念される状況と言える。



目標指標の点検

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
子育てについて気軽に相談をしたり、育児を助けてもらえる人がいない人の割合	0.7%	7.1%	減少をめざす	本調査の問12の2

子育てについて気軽に相談をしたり、育児を助けてもらえる人がいない人の割合は、本調査では平成21年度調査よりも割合が多く（7.1%）になっており、減少を目指すという目標とは逆に増加がみられた。

日頃子どもをみてくれる親族・知人の有無別にみると、「5. いずれもない」という方の「2. いない／ない」が3割弱（28.0%）と他の項目よりも多くなっている。これにより、子どもをみてくれる親族・知人が「5. いずれもない」という方は、気軽に相談したり助けられている人や場所も比較的少ないことがうかがえ、孤立してしまってる状況が懸念される。

問12 気軽に相談したり助けられている人や場所の有無 × 問8 日頃、子どもをみてくれる親族・知人の有無  
(単数回答)

	合計	① いる ／ ある	② いない ／ ない	無 回 答
	上段:件数、下段:横%			
全 体	1,276 100.0	1,178 92.3	91 7.1	7 0.5
1.日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	302 100.0	296 98.0	4 1.3	2 0.7
2.緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	808 100.0	772 95.5	34 4.2	2 0.2
3.日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	12 100.0	12 100.0	0 0.0	0 0.0
4.緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	89 100.0	86 96.6	2 2.2	1 1.1
5.いずれもない	189 100.0	135 71.4	53 28.0	1 0.5
無回答	13 100.0	11 84.6	1 7.7	1 7.7

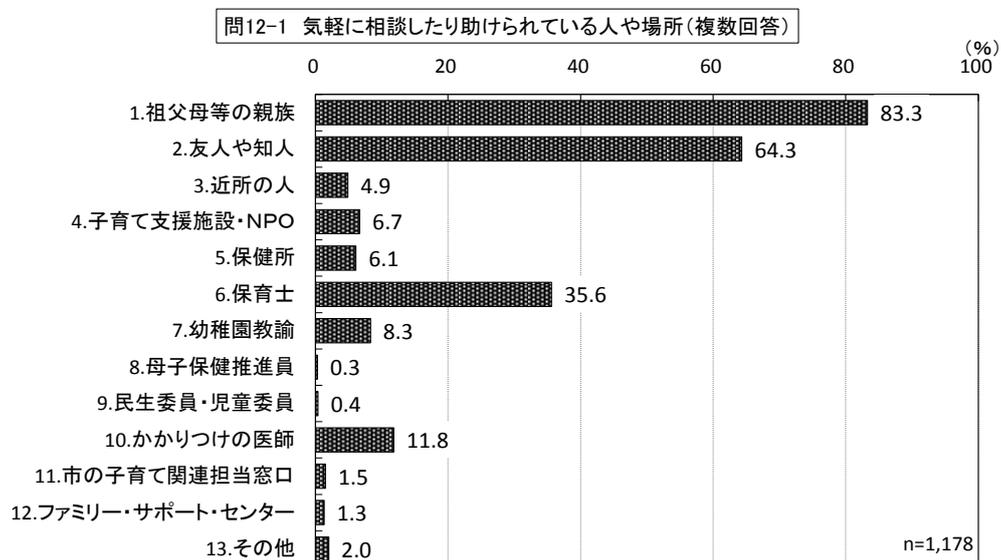
問12 で「1.いる/ある」と回答した方にうかがいます。

**問12-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人や育児を助けられていると感じている人はどなた（どこ）ですか。**

当てはまる番号すべてに○

- |                      |                                       |
|----------------------|---------------------------------------|
| 1. 祖父母等の親族           | 2. 友人や知人                              |
| 3. 近所の人              | 4. 子育て支援施設<br>(地域子育て支援拠点、児童センター等)・NPO |
| 5. 保健所               | 6. 保育士                                |
| 7. 幼稚園教諭             | 8. 母子保健推進員                            |
| 9. 民生委員・児童委員         | 10. かかりつけの医師                          |
| 11. 市の子育て関連担当窓口      | 12. ファミリー・サポート・センター                   |
| 13. その他 (【例】ベビーシッター) |                                       |

気軽に相談したり助けられている人や場所をみると、「1. 祖父母等の親族」が8割強(83.3%)で最も多く、次いで「2. 友人や知人」(64.3%)、「6. 保育士」(35.6%)などとなっている。



【その他の内容】

- |          |         |            |             |            |
|----------|---------|------------|-------------|------------|
| • 職場の同僚  | • 学童の先生 | • 産婦人科の助産師 | • 障害児通所支援施設 | • 小児救急電話相談 |
| • 小児デイケア | • 厚生員   | • インターネット  |             |            |

等

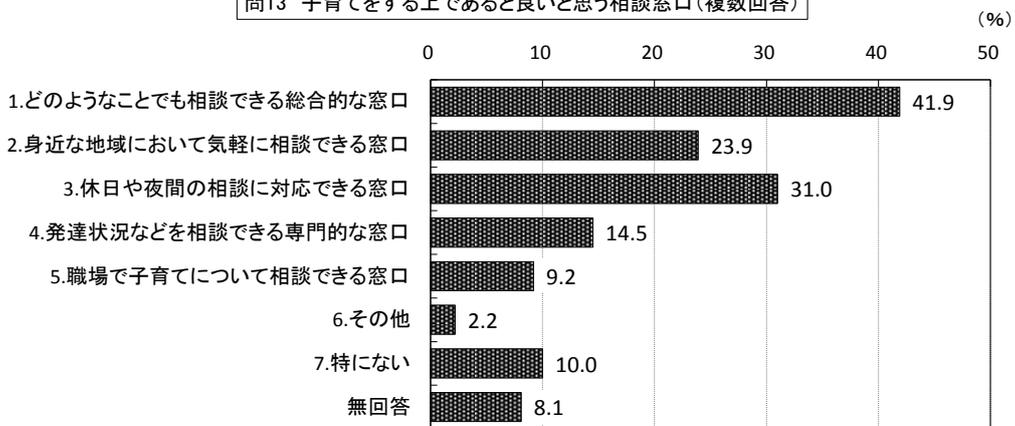
**問13 子育てをする上で、どのような相談窓口があるとよいと思いますか。**

☞ ○は2つまで

1. どのようなことでも相談できる総合的な窓口
2. 身近な地域において気軽に相談できる窓口
3. 休日や夜間の相談に対応できる窓口
4. 発達状況などを相談できる専門的な窓口
5. 職場で子育てについて相談できる窓口（子育てアドバイザーや子育て経験のある職員による相談窓口の開設等）
6. その他（具体的に）
7. 特にない

子育てをする上であると良いと思う相談窓口をみると、「1. どのようなことでも相談できる総合的な窓口」が4割強（41.9%）で最も多く、次いで「3. 休日や夜間の相談に対応できる窓口」（31.0%）、「2. 身近な地域において気軽に相談できる窓口」（23.9%）などとなっている。

問13 子育てをする上であると良いと思う相談窓口（複数回答）



【その他の内容】

- #8000 は夜中に対応しておらず、夜中に体調が悪くなった時の相談場所がないから時間を延長してほしい
- #8000 はなかなかつながりにくく対応時間も短い
- 栄養面や食事についての相談窓口
- 親が社会復帰するときの相談できる所（保育園等の受け皿的な存在が少ない気がする）
- 学校内にアドバイザーやカウンセラー
- 行政間の管轄、隔たりをなくしたソーシャルワーカーを置いて欲しい
- 県外出身者で意見交換ができる場がほしい
- 健診の機会を増やして、年齢ごとの発達を確かめるを増やしてほしい
- 子育てや生活について匿名で相談できるサービス
- 子どもの発熱など、軽い症状の時の保育に関すること
- 子どもを産んで1ヵ月以内に宿泊しながら助産師さんのアドバイスが受けられ、1時間でもいいので預かってくれる
- 仕事復帰について相談でき、子持ちでも働きやすい仕事を紹介してもらえる窓口
- 窓口じゃなくてもっと気軽に参加できる場が欲しい
- 地域の子ども会や自治会を活発にして、その活動から相談活動へとつながりがあると行きやすいし、同じような環境であるので悩みを共有しやすいのではと思う
- 通園している保育園の先生たちは日頃の様子を見ているし話しやすいが、保育しながらだと気を遣うので声をかけづらい
- 電話などでも気軽に相談や話ができれば、気持ちが楽になりだいたい助けられると思います
- 年齢別にお互いの子や親と名前を紹介しあい、色々な行事が行えたら良いと思う
- 保育所や事業所（預かり施設）、認可外保育園等、内容を熟知しているアドバイザーを設置して欲しい（那覇では設置済み）
- メールなど気軽かつ簡単に問い合わせができ、直接的でない方が相談しやすい場合もあると思います
- 幼児教育と母親教育の場、0～3歳の親子対象の親子教室が必要子育て支援センターではその役割を果たしていないのが現状

等

## 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問14 宛名のお子さんの保護者（父母）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

☞ 母親・父親の両方について、○を1つずつ。

現在の就労状況	(1)母親	(2)父親
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
これまで就労したことがない	6	6

### (1) 母親の現在の就労状況

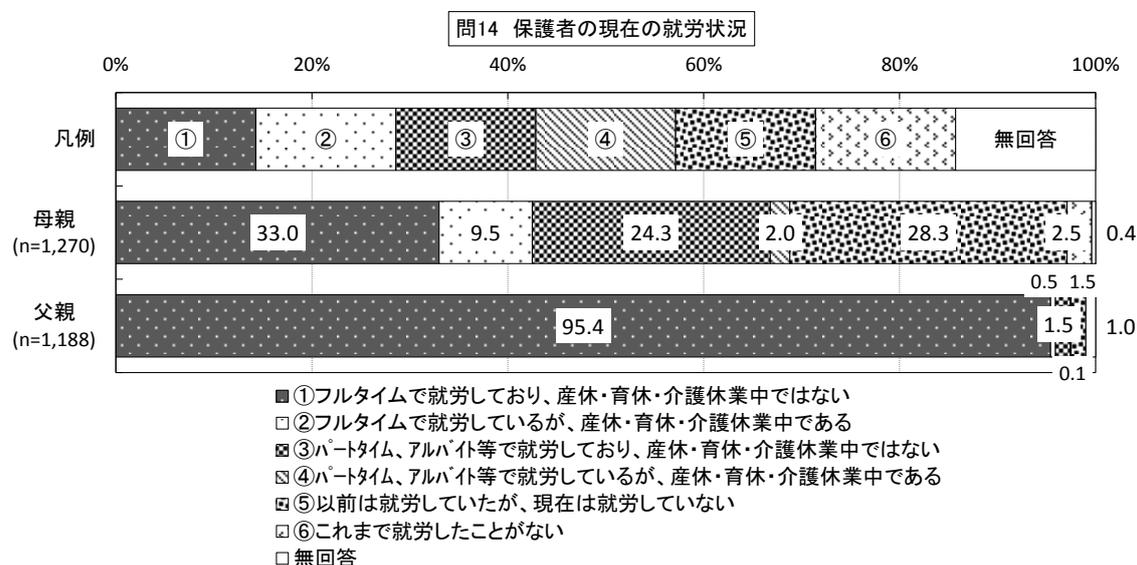
『フルタイムで就労している』（「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」＋「2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」）が4割強（42.5%）と最も多く、次いで『就労していない（就労したことがない）』（「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」＋「6. これまで就労したことがない」）が約3割（30.8%）、『パートタイム、アルバイト等で就労している』（「3. パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」＋「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」）が3割弱（26.3%）となっている。

### (2) 父親の現在の就労状況

『フルタイムで就労している』が95.9%と圧倒的に多く、『パートタイム、アルバイト等で就労している』（1.6%）及び『就労していない（就労したことがない）』（1.5%）はわずかな割合となっている。

### 【母親と父親の現在の就労状況の差】

父親は母親より『フルタイムで就労している』が53.4ポイント（女性42.5%、男性95.9%）高く、母親は父親より『パートタイム、アルバイト等で就労している』が24.7ポイント（女性26.3%、男性1.6%）、『就労していない（就労したことがない）』が29.3ポイント（女性30.8%、男性1.5%）上回っている。



問14で「1.～4.」（就労している）と回答した方にうかがいます。⇒該当しない方は、問14-3（p7）へ

**問14-1 就労日数や就労時間、また、家を出る時間、家に帰る時間をお答えください。**

 母親・父親の両方について、□内に数字で記入。（数字は一桁に一字）

就労日数・時間等	(1)母親	(2)父親
就労日数	1週当たり □ 日	1週当たり □ 日
就労時間 (残業時間を含む)	1日あたり □ □ 時間	1日あたり □ □ 時間
家を出る時間	□ □ 時 □ □ 分	□ □ 時 □ □ 分
家に帰る時間	□ □ 時 □ □ 分	□ □ 時 □ □ 分

注) 時間は、(例) □ □ 時間のように 24 時間制でご記入ください。  
 注) 一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
 注) 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

**(1) 母親の就労日数及び就労時間**

就労日数は「1週当たり5日」が7割弱（68.6%）、「1週当たり6日」が2割弱（17.0%）と週5～6日の就労が多くなっている。就労時間は「1日当たり8時間」が4割弱（37.3%）と最も多く、次いで8時間より少ない1日当たり5～7時間と9時間が1割程度と、5～9時間の就労が多くなっている。

**(2) 父親の就労日数及び就労時間**

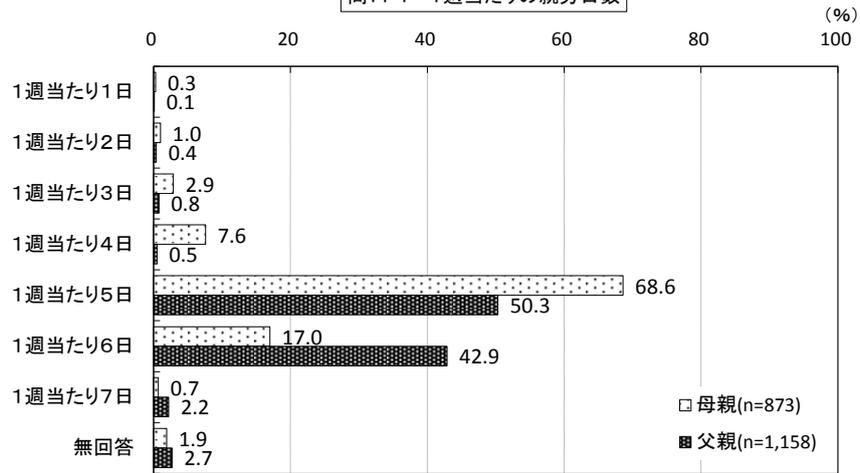
就労日数は「1週当たり5日」が約5割（50.3%）、「1週当たり6日」が4割強（42.9%）と週5～6日の就労が多くなっている。就労時間は「1日当たり8時間」が約3割（30.8%）と最も多く、次いで「1日当たり9時間」（17.4%）及び「1日当たり10時間」（21.3%）が2割程度と、1日当たり8～10時間の就労が多くなっている。

**【母親と父親の就労日数及び就労時間の差】**

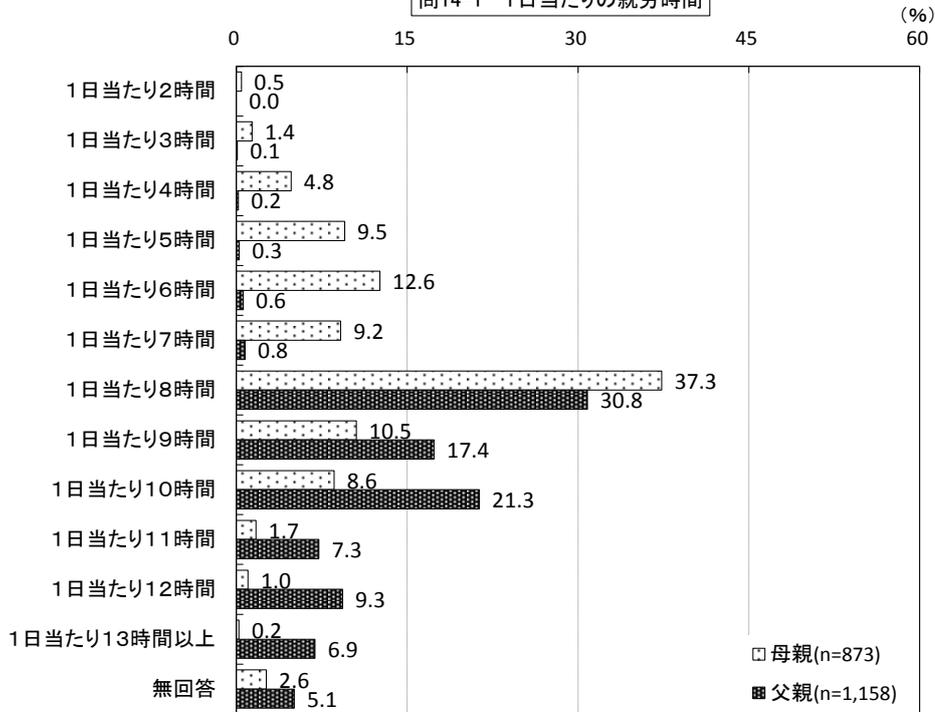
就労日数は母親・父親ともに週5～6日が多くなっているが、父親の方が週6日の割合が高い。また、週4日以下の割合も母親の方が高い。

就労時間についてみると、母親は父親に比べてパートタイム、アルバイトも多いことから就労時間も多様となっており、1日当たり5～9時間が多くなっている。一方の父親は母親より圧倒的にフルタイムの就労が多いことから1日当たり8～10時間の就労に集中した回答がみられる。

問14-1 1週当たりの就労日数



問14-1 1日当たりの就労時間



### (1) 母親の家を出る時間及び家に帰る時間

家を出る時間は「7時台」が4割強(44.7%)、「8時台」が約3割(29.2%)、「9時台」が1割強(11.5%)と、7～9時台が多くなっている。

家に帰る時間は「18時台」が約4割(40.8%)、「19時台」が2割弱(18.2%)、「17時台」が1割強(13.6%)と、17～19時台が多くなっている。

### (2) 父親の家を出る時間及び家に帰る時間

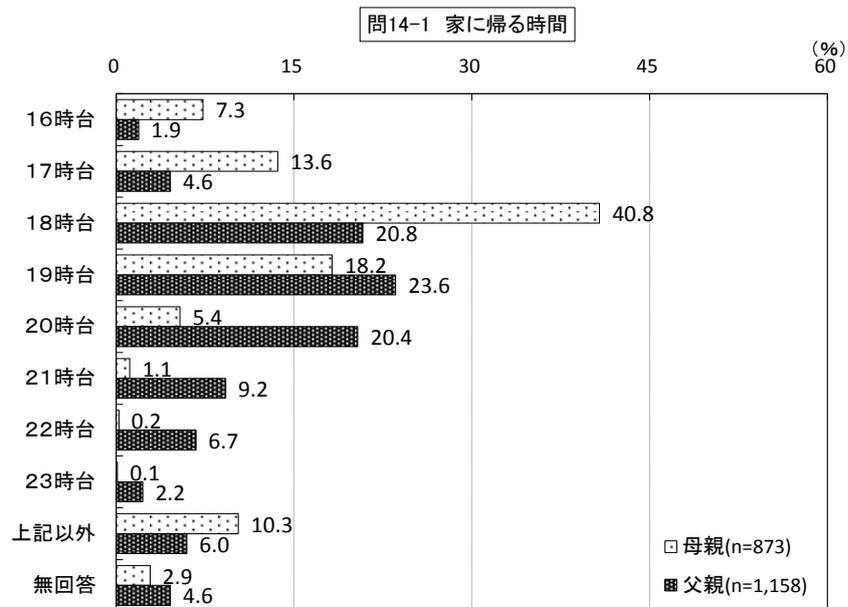
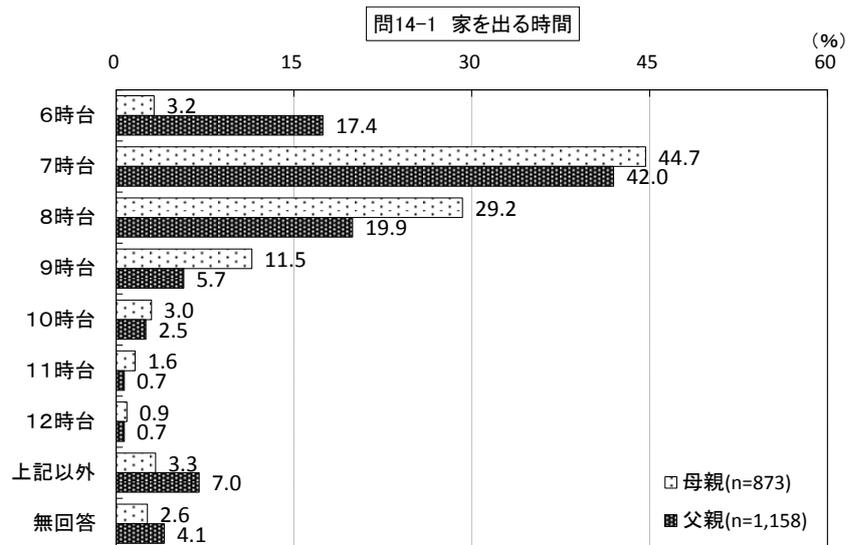
家を出る時間は「7時台」が4割強(42.0%)、「8時台」(19.9%)及び「6時台」(17.4%)が2割程度と6～8時台が多くなっている。

家に帰る時間は、「19時台」(23.6%)、「18時台」(20.8%)及び「20時台」(20.4%)が2割程度と18～20時台が多くなっている。

### 【母親と父親の家を出る時間及び家に帰る時間の差】

家を出る時間をみると、母親は7～9時台、父親は6～8時台が多く、父親の方が家を出る時間が早いことがうかがえる。

家に帰る時間をみると、母親は17～19時台、父親は18～20時台が多く、父親の方が家に帰る時間が遅いことがうかがえる。これらより、父親の方が母親より就労等により家にいない時間が長いことがうかがえる。



問14で「3」、「4」（パートタイム、アルバイト等で就労している）と回答した方にうかがいます。

**問14-2 今後の就労希望についてお答えください。**

☞ 母親・父親の両方について、○を1つずつ。

パートタイム、アルバイト等の方の今後の就労希望	(1)母親	(2)父親
今の就労を続けることを希望	1	1
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2	2
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	3	3
就労しないで子育てや家事に専念したい	4	4

**(1) (パートタイム、アルバイト等で就労している) 母親の今後の就労希望**

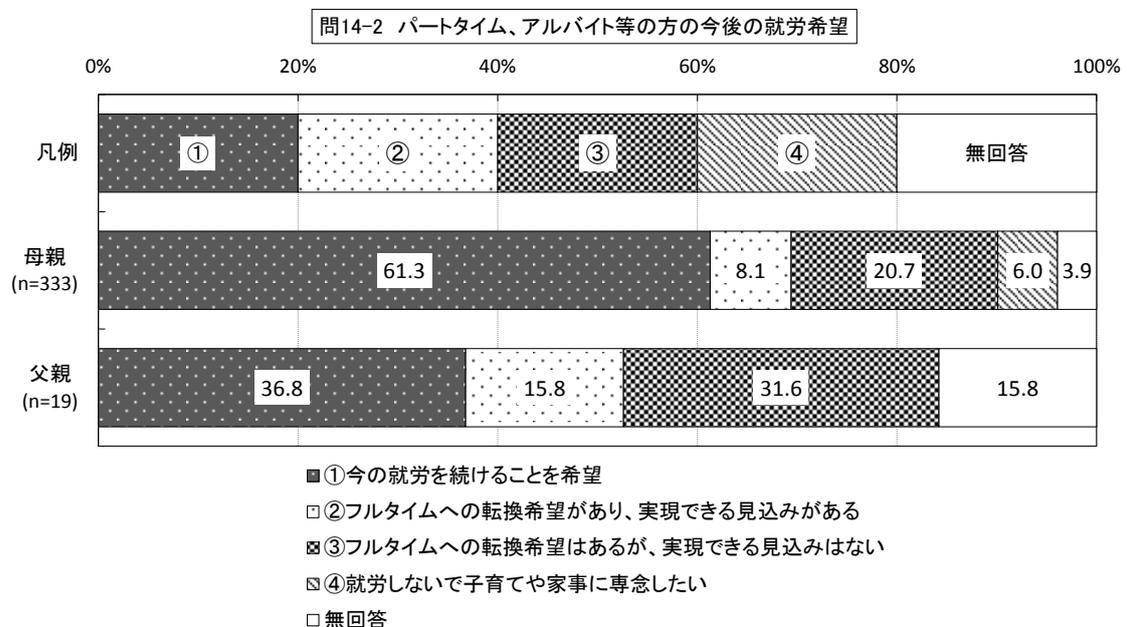
「1. 今の就労を続けることを希望」が6割強（61.3%）と最も多くなっている。「3. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は約2割（20.7%）、「2. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」（8.1%）及び「4. 就労しないで子育てや家事に専念したい」（6.0%）はともに1割未満となっている。

**(2) (パートタイム、アルバイト等で就労している) 父親の今後の就労希望**

父親の母数（回答者数）が少ないためコメントは割愛する。

**【(パートタイム、アルバイト等で就労している) 母親と父親の今後の就労希望の差】**

父親の母数（回答者数）が少ないためコメントは割愛する。



問14で「5」、「6」（現在は就労していない、これまで就労したことがない）と回答した方にうかがいます。

**問14-3 今後の就労希望についてお答えください。**

母親・父親の両方について、○を1つずつ。

就労していない方の今後の就労希望	(1)母親	(2)父親
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	1	1
1年より先、一番下の子どもがある程度の年齢になったら就労したい <input checked="" type="checkbox"/> 何歳になったら就労したいか、右の欄に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）	2 □□歳	2 □□歳
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	3	3

**(1)（現在は就労していない、これまで就労したことがない）母親の今後の就労希望**

「2. 1年より先、一番下の子どもがある程度の年齢になったら就労したい」が4割強（43.6%）と最も多く、次いで「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が3割強（33.4%）、「1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は約2割（19.6%）となっている。

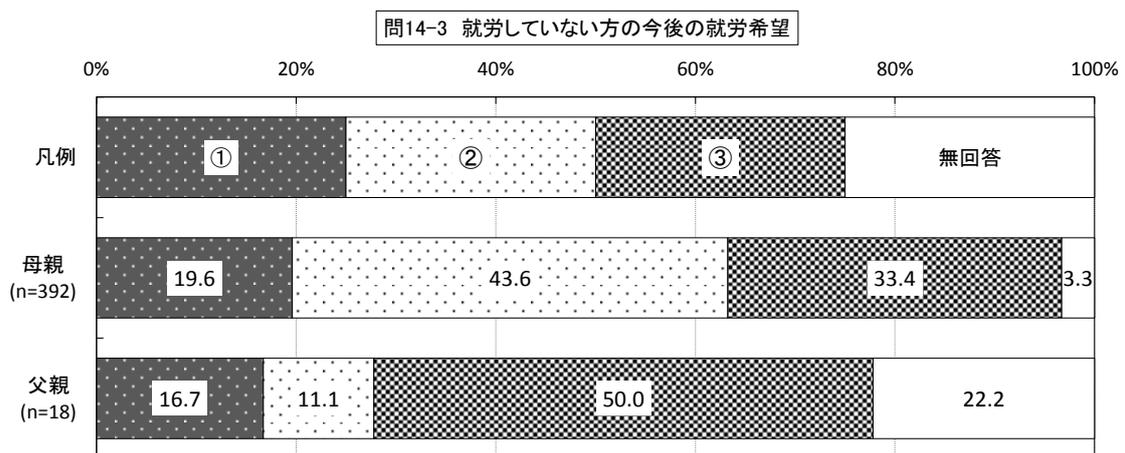
「2. 1年より先、一番下の子どもがある程度の年齢になったら就労したい」の回答者については、就労を希望する際の末子の年齢をみると、「3歳」が3割弱（26.9%）と最も多くなっている。

**(2)（現在は就労していない、これまで就労したことがない）父親の今後の就労希望**

父親の母数（回答者数）が少ないためコメントは割愛する。

**【（現在は就労していない、これまで就労したことがない）母親と父親の今後の就労希望の差】**

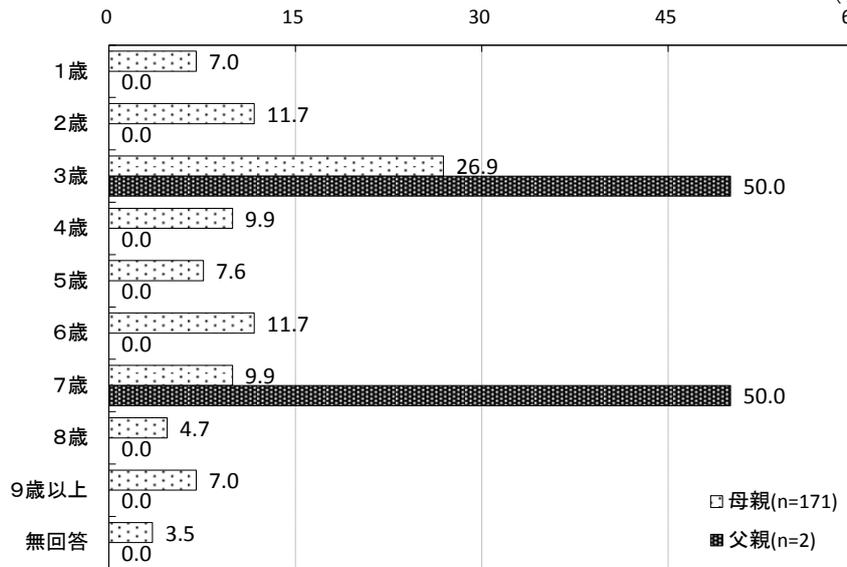
父親の母数（回答者数）が少ないためコメントは割愛する。



- 1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- 2. 1年より先、一番下の子どもがある程度の年齢になったら就労したい
- ▣ 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答

問14-3 就労を希望する際の末子の年齢

(%)  
60



問14-3で「2」、「3」と回答した方にうかがいます。

**問14-4 希望する就労形態をお答えください。**

 母親・父親の両方について○を1つずつ

希望する就労形態	(1)母親	(2)父親
フルタイムによる就労	1	1
パートタイム、アルバイト等による就労	2	2
 希望する就労日数・就労時間について、 右の欄に数字でご記入ください。 (数字は一桁に一字)	1週あたり <input type="text"/> 日 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	1週あたり <input type="text"/> 日 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間

注) 時間は、(例)   時間のように24時間制でご記入ください。

**(1) (末子がある程度の年齢になれば就労したい、1年以内にでも就労したい) 母親の希望の就労希望**

「2. パートタイム、アルバイト等による就労」が8割強 (78.1%) と圧倒的に多く、「1. フルタイムによる就労」は1割強 (14.9%) となっている。

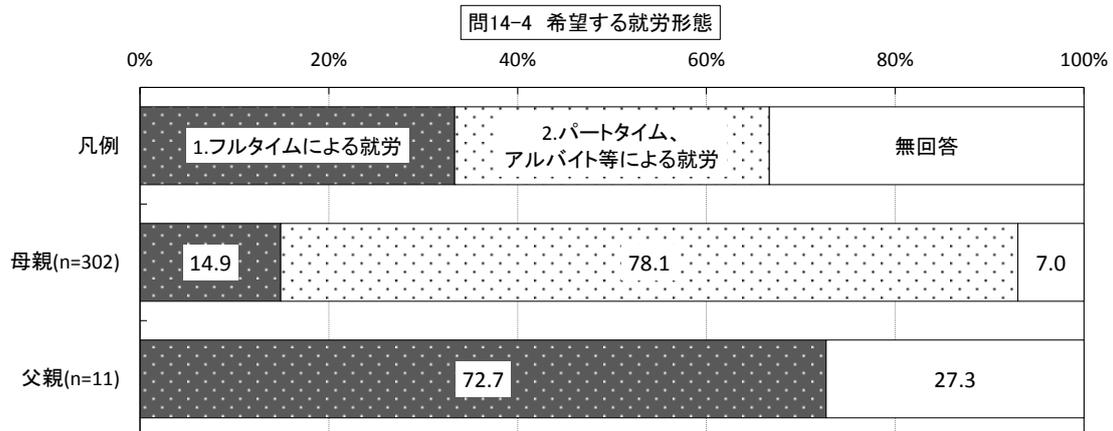
「2. パートタイム、アルバイト等による就労」希望の就労日数をみると、「1週当たり5日」が6割強 (55.5%)、「1週当たり4日」が3割強 (28.0%)、「1週当たり3日」が1割強 (14.4%) と週3～5日が多くなっている。また、就労時間をみると、「1日当たり5時間」が5割強 (53.4%)、「1日当たり6時間」が約3割 (30.1%) と、1日当たり5～6時間の希望が多くなっている。

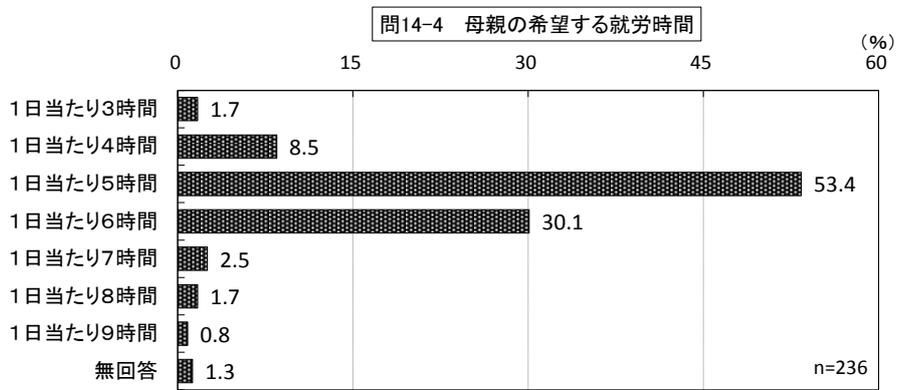
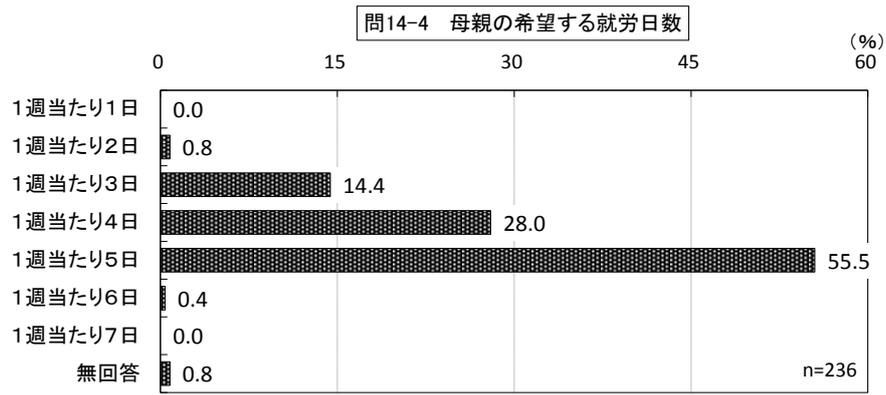
**(2) (末子がある程度の年齢になれば就労したい、1年以内にでも就労したい) 父親の希望の就労希望**

父親の母数 (回答者数) が少ないためコメントは割愛する。

**【(末子がある程度の年齢になれば就労したい、1年以内にでも就労したい) 母親と父親の希望の就労希望の差】**

父親の母数 (回答者数) が少ないためコメントは割愛する。





## 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

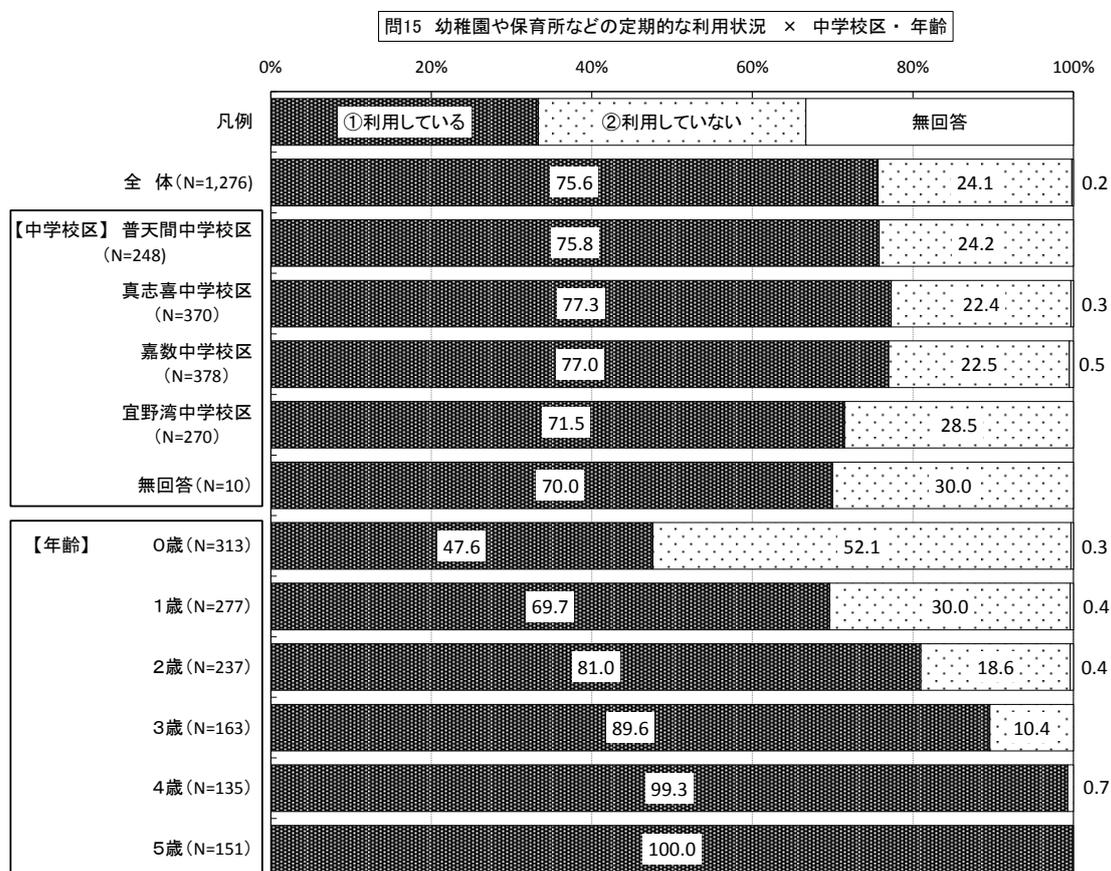
○は1つ

1. 利用している      2. 利用していない

幼稚園や保育所などの定期的な利用状況を見ると、「1. 利用している」が8割弱（75.6%）と最も多く、次いで「2. 利用していない」が2割強（24.1%）となっている。

中学校区別にみると、「宜野湾中学校区」で「1. 利用している」が7割強（71.5%）と、他の中学校区の8割弱に比べて若干少なくなっている。

年齢別にみると、年齢が上がるほど「1. 利用している」が多く、幼稚園に通園していると思われる4～5歳では、100%（「4歳」（99.3%）、「5歳」（100.0%））に近い回答がみられる。



日頃子どもをみてくれる親族・知人の有無別にみると、「5. いずれもない」という方の「2. 利用していない」が3割強（32.3%）と他の項目より割合が高くなっている。

問15 幼稚園や保育所などの定期的な利用状況 × 問8 日頃、子どもをみてくれる親族・知人の有無

(単数回答)

	合 計	① 利 用 し て い る	② 利 用 し て い な い	無 回 答
	上段: 件数、下段: 横%			
全 体	1,276	965	308	3
	100.0	75.6	24.1	0.2
1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	302	226	76	0
	100.0	74.8	25.2	0.0
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	808	627	180	1
	100.0	77.6	22.3	0.1
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	12	10	2	0
	100.0	83.3	16.7	0.0
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	89	72	16	1
	100.0	80.9	18.0	1.1
5. いずれもない	189	127	61	1
	100.0	67.2	32.3	0.5
無回答	13	12	1	0
	100.0	92.3	7.7	0.0

問15-1～問15-4 は、問15で「1.利用している」と回答した方にうかがいます。

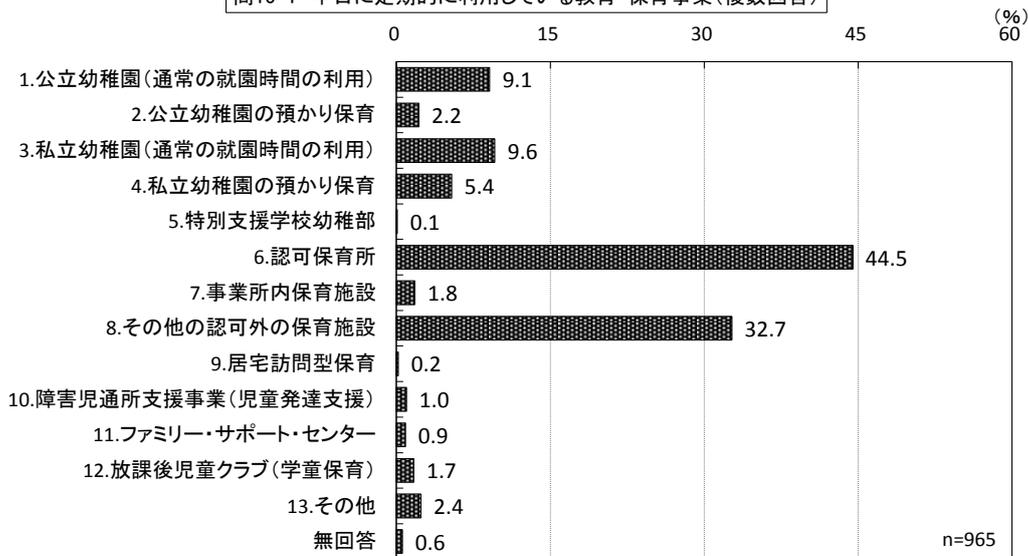
**問15-1** 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

 当てはまる番号すべてに○

1. 公立幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 公立幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 私立幼稚園（通常の就園時間の利用）
4. 私立幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
5. 特別支援学校幼稚部
6. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた公立保育所・法人保育園）
7. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. その他の認可外の保育施設
9. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が家庭で保育する事業）
10. 障害児通所支援事業（児童発達支援）
11. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
12. 放課後児童クラブ（学童保育）
13. その他（ ）

平日に定期的に利用している教育・保育事業をみると「6. 認可保育所」が4割強（44.5%）で最も多く、次いで「8. その他の認可外の保育施設」（32.7%）などとなっている。

問15-1 平日に定期的に利用している教育・保育事業（複数回答）



【その他の内容】

- ・認可園の一時保育
- ・児童センター

- ・子育て支援センター
- ・乳児園 私立

- ・特定保育
- ・病児保育

- ・クリニックで言語指導

等

中学校区別にみると、いずれの中中学校区も「6. 認可保育所」及び「8. その他の認可外の保育施設」の利用が3～5割程度と他の教育・保育事業より多くなっている。その内、「普天間中学校区」では「6. 認可保育所」(34.0%)より「8. その他の認可外の保育施設」が4割強(43.6%)と多く、他の中学校区では「6. 認可保育所」が最も多いのと比較して、他の中学校区より認可保育所(保育園)が少ないことが影響していることがうかがえる。

【参考】中学校区別、認可保育所(保育園)数

- ・普天間中学校区…4箇所
- ・真志喜中学校区…6箇所
- ・嘉数中学校区…9箇所
- ・宜野湾中学校区…7箇所

年齢別にみると、「0歳」から「3歳」にかけては「6. 認可保育所」が5割前後と最も多く、次いで「8. その他の認可外の保育施設」が3～4割程度と保育所(保育園)の利用が多くなっている。「4歳」では、「6. 認可保育所」の約4割(39.6%)に次いで、「8. その他の認可外の保育施設」(20.9%)、「3. 私立幼稚園」(19.4%)及び「1. 公立幼稚園」(17.2%)が2割程度と、保育所(保育園)に続いて幼稚園の利用が多くなっている。「5歳」では、「1. 公立幼稚園」が4割強(43.0%)と最も多く、次いで「6. 認可保育所」(24.5%)及び「3. 私立幼稚園」(21.9%)が2割強と、保育所(保育園)よりも幼稚園の利用が多くなっている。また、私立幼稚園については、「0歳」から「3歳」の利用もみられる。「12. 放課後児童クラブ(学童保育)」については、「5歳」で約1割(9.9%)と他の年齢より突出して高くなっていることから、5歳からの利用が多いことがうかがえる。

問15-1 平日に定期的に利用している教育・保育事業 × 中学校区・年齢 (複数回答)

	① 公立幼稚園 (通常の就園時間の利用)	② 公立幼稚園の預かり保育	③ 私立幼稚園 (通常の就園時間の利用)	④ 私立幼稚園の預かり保育	⑤ 特別支援学校幼稚園部	⑥ 認可保育所	⑦ 事業所内保育施設	⑧ その他の認可外の保育施設	⑨ 居宅訪問型保育	⑩ 障害児通所支援事業 (児童発達支援)	⑪ ファミリー・サポート・センター	⑫ 放課後児童クラブ (学童保育)	⑬ その他	無回答	
															上段:件数、下段:横%
全体 (n=965)	88 9.1	21 2.2	93 9.6	52 5.4	1 0.1	429 44.5	17 1.8	316 32.7	2 0.2	10 1.0	9 0.9	16 1.7	23 2.4	6 0.6	
中学校区	普天間中学校区 (n=188)	20 10.6	6 3.2	19 10.1	10 5.3	0 0.0	64 34.0	2 1.1	82 43.6	0 0.0	2 1.1	1 0.5	6 3.2	2 1.1	1 0.5
	真志喜中学校区 (n=286)	27 9.4	8 2.8	31 10.8	14 4.9	0 0.0	112 39.2	8 2.8	99 34.6	1 0.3	3 1.0	3 1.0	5 1.7	10 3.5	3 1.0
	嘉数中学校区 (n=291)	27 9.3	2 0.7	28 9.6	17 5.8	1 0.3	148 50.9	3 1.0	78 26.8	1 0.3	2 0.7	2 0.7	3 1.0	5 1.7	2 0.7
	宜野湾中学校区 (n=193)	13 6.7	5 2.6	14 7.3	11 5.7	0 0.0	103 53.4	4 2.1	54 28.0	0 0.0	3 1.6	3 1.6	2 1.0	6 3.1	0 0.0
	無回答 (n=7)	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	年齢	0歳 (n=149)	0 0.0	0 0.0	2 1.3	1 0.7	0 0.0	79 53.0	3 2.0	58 38.9	0 0.0	0 0.0	3 2.0	0 0.0	5 3.4
1歳 (n=193)	0 0.0	0 0.0	4 2.1	1 0.5	0 0.0	97 50.3	8 4.1	81 42.0	0 0.0	2 1.0	1 0.5	0 0.0	2 1.0	0 0.0	
2歳 (n=192)	0 0.0	0 0.0	8 4.2	4 2.1	0 0.0	93 48.4	1 0.5	85 44.3	0 0.0	1 0.5	1 0.5	0 0.0	6 3.1	1 0.5	
3歳 (n=146)	0 0.0	0 0.0	20 13.7	12 8.2	0 0.0	70 47.9	2 1.4	50 34.2	0 0.0	2 1.4	1 0.7	0 0.0	3 2.1	1 0.7	
4歳 (n=134)	23 17.2	2 1.5	26 19.4	15 11.2	0 0.0	53 39.6	1 0.7	28 20.9	1 0.7	1 0.7	1 0.7	1 0.7	2 1.5	2 1.5	
5歳 (n=151)	65 43.0	19 12.6	33 21.9	19 12.6	1 0.7	37 24.5	2 1.3	14 9.3	1 0.7	4 2.6	2 1.3	15 9.9	5 3.3	0 0.0	

**問15-2** 問15-1で選んだ平日の定期的な教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

 □内に数字で記入。(数字は一枠に一字。)

	1週当たり	1日当たり
現在	□ 日	□□ 時間 ( □□ 時～ □□ 時)
希望	□ 日	□□ 時間 ( □□ 時～ □□ 時)

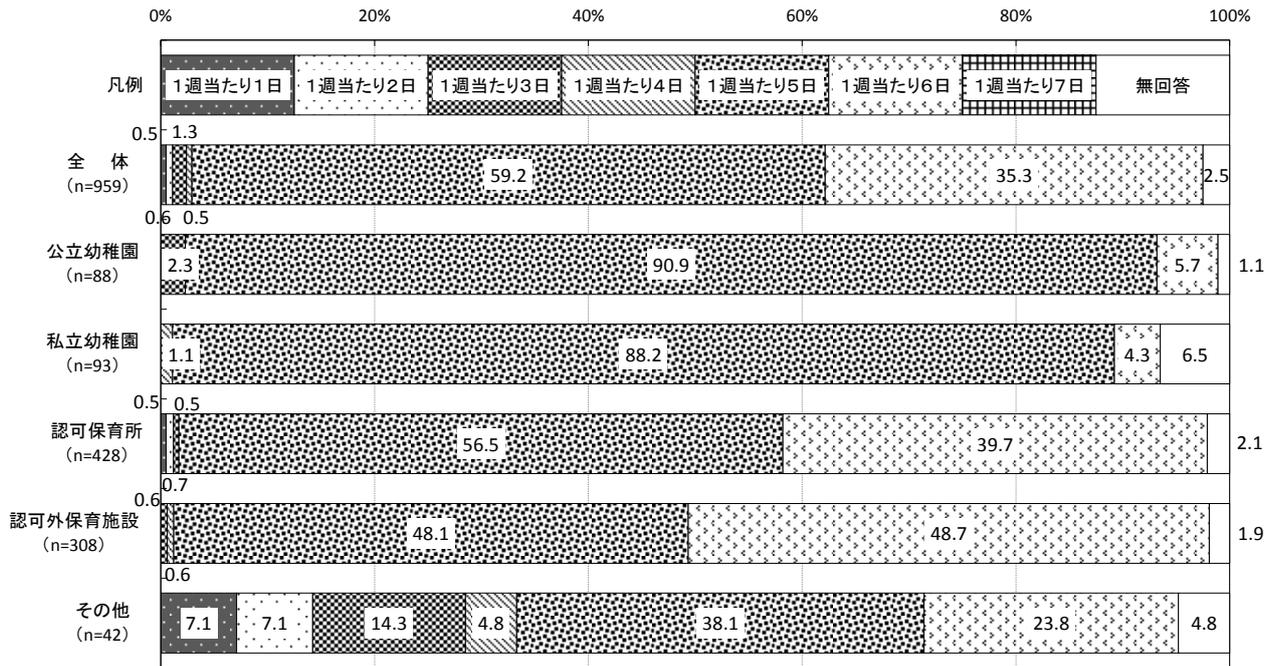
注) 時間は、(例) □0 □8時～□1 □6時のように24時間制でご記入ください。

注) 複数の定期的な教育・保育事業を利用している又は希望する場合は、合計した日数・時間をご記入ください。

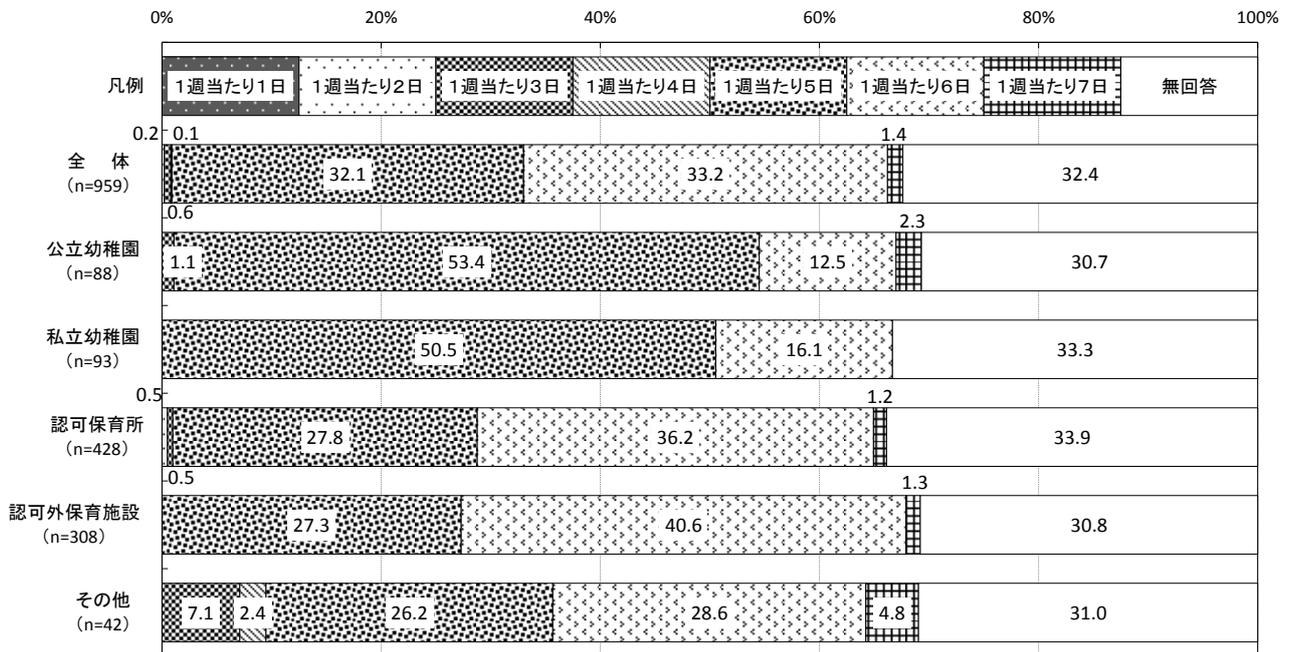
平日の定期的な教育・保育事業の1週当たりの利用日数をみると、現在の利用状況では「5日」が約6割(59.2%)で最も多く、次いで「6日」(35.3%)などとなっている。利用希望では「6日」が3割強(33.2%)で最も多く、次いで「5日」(32.1%)などとなっている。現在の利用状況と利用希望は共に「5日」と「6日」の回答が多く、現在の利用状況は希望に近い状況にあると思われる。

幼稚園や保育所(保育園)の利用状況別にみると、幼稚園は公立・私立ともに、現状としては「5日」が9割程度(「公立幼稚園」(90.9%)、「私立幼稚園」(88.2%))と圧倒的に多く、「6日」はわずかな値(「公立幼稚園」(5.7%)、「私立幼稚園」(4.3%))となっている。一方、利用希望をみると、公立・私立ともに「5日」の5割程度(「公立幼稚園」(53.4%)、「私立幼稚園」(50.5%))に次いで「6日」が1～2割程度(「公立幼稚園」(12.5%)、「私立幼稚園」(16.1%))見られる。これらより、幼稚園については、平日の週5日の預かりに次いであと1日程度(週6日程度)預けたいとの意向が現状より多く見受けられる。保育所(保育園)についてみると、「認可保育所」の利用状況は、「5日」が6割弱(56.5%)と最も多く、次いで「6日」が約4割(39.7%)と多くなっている。利用希望では「6日」が4割弱(36.2%)と「5日」(27.8%)より上回っている。「認可外保育施設」の利用状況は、「5日」(48.1%)、「6日」(48.7%)ともに5割弱と多くなっている。利用希望では「6日」が約4割(40.6%)と「5日」(27.3%)より上回っている。これらより、認可・認可外ともに現状より週6日程度預けたいとの意向が強いことがうかがえる。

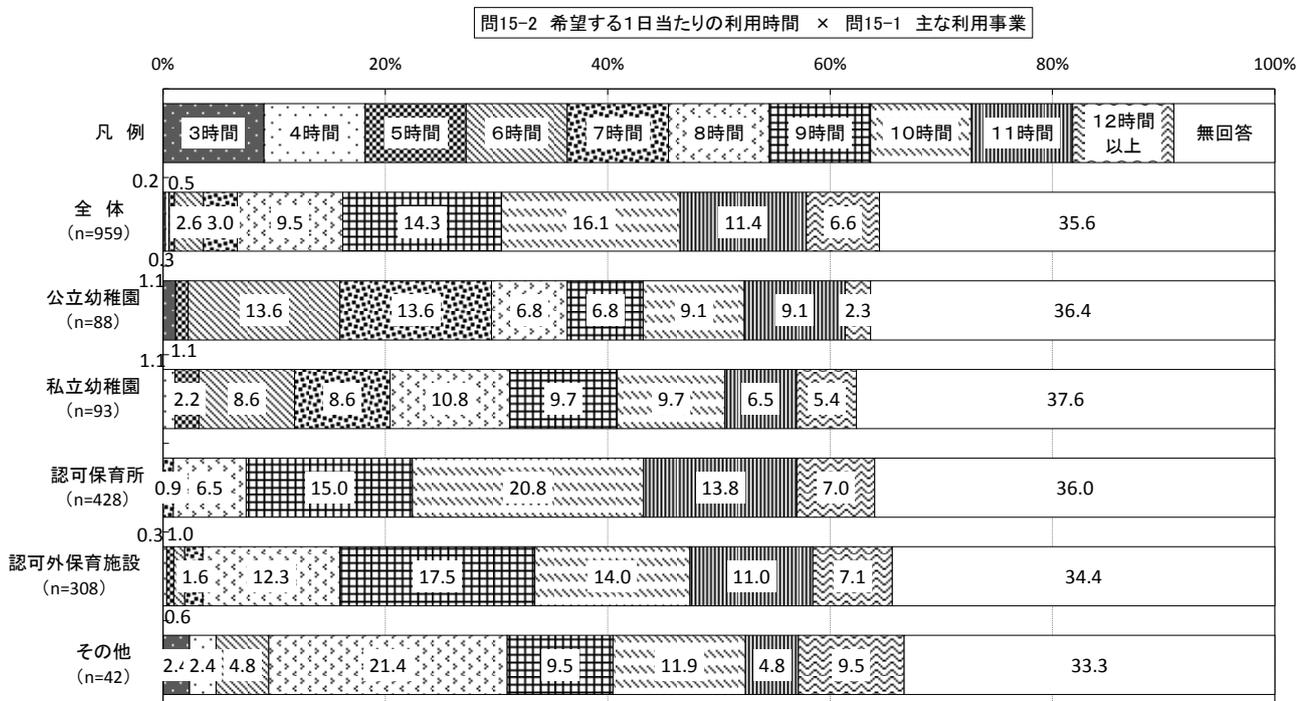
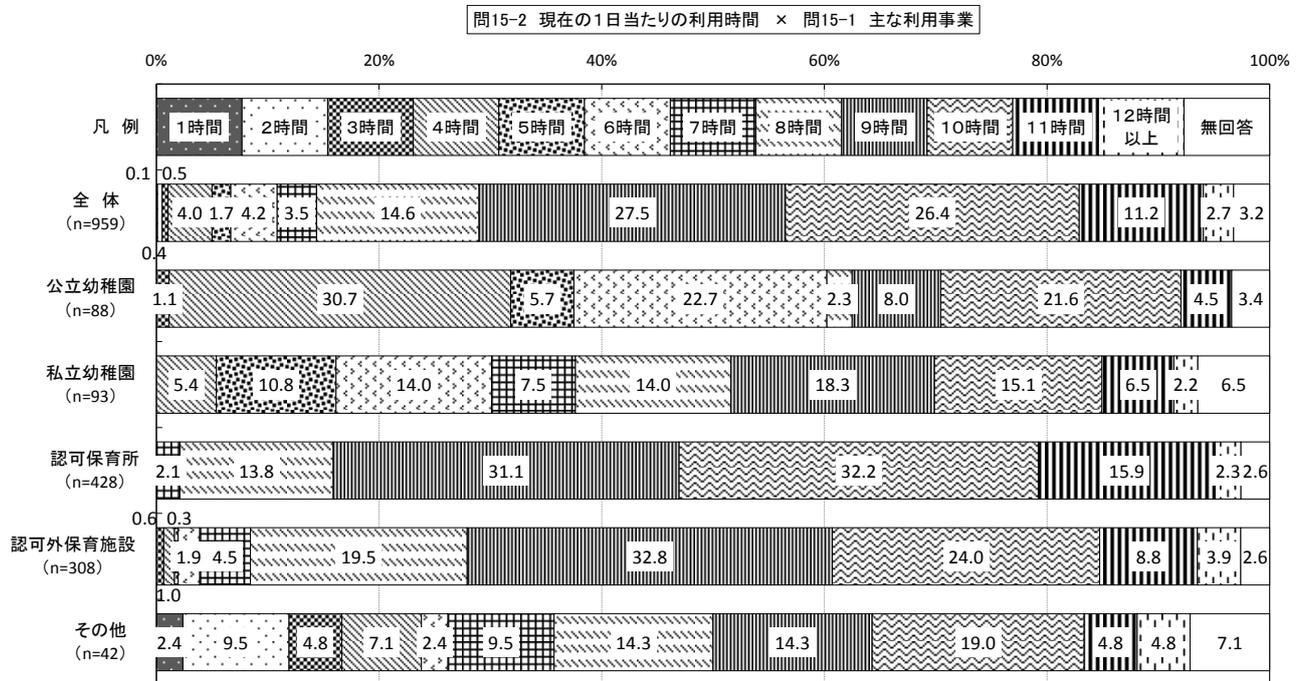
問15-2 現在の1週当たりの利用日数 × 問15-1 主な利用事業



問15-2 希望する1週当たりの利用日数 × 問15-1 主な利用事業



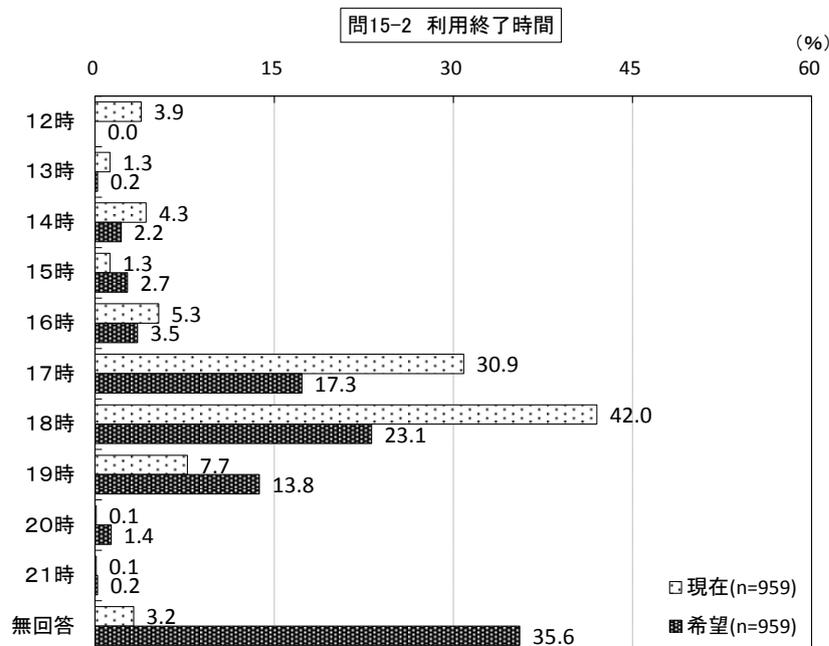
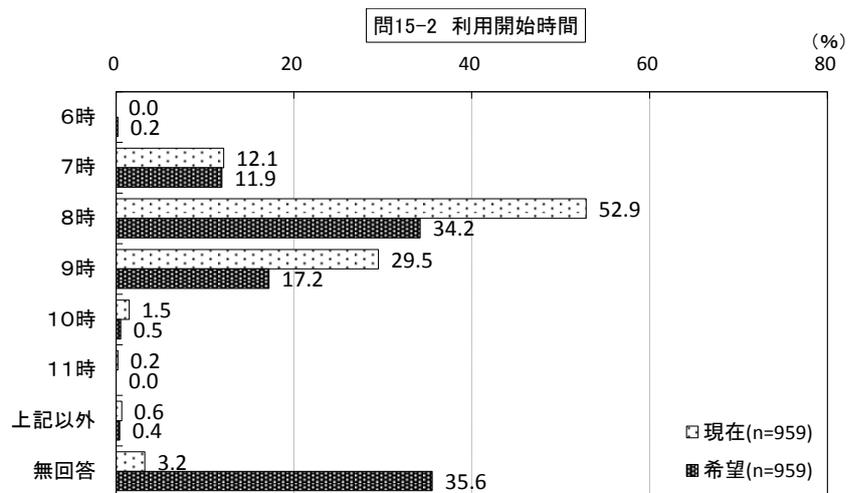
1日当たりの利用時間をみると、現在の利用状況では「9時間」が3割弱（27.5%）と最も多く、次いで「10時間」（26.4%）、「8時間」（14.6%）などとなっている。希望する利用状況では「10時間」が2割弱（16.1%）で最も多く、次いで「9時間」（14.3%）、「11時間」（11.4%）などとなっている。



利用開始時間をみると、現在では「8時」が5割強(52.9%)で最も多く、次いで「9時」(29.5%)、「7時」(12.1%)などとなっている。希望では「8時」が3割強(34.2%)で最も多く、次いで「9時」(17.2%)、「7時」(11.9%)などとなっている。

利用終了時間をみると、現在では「18時」が4割強(42.0%)で最も多く、次いで「17時」(30.9%)などとなっている。希望では「18時」が2割強(23.1%)で最も多く、次いで「17時」(17.3%)などとなっている。

利用開始時間と利用終了時間について、それぞれの現在と希望の回答は同じ傾向になっており、現在の利用状況は希望に近い状況にあると思われる。





平日に幼稚園や保育所(保育園)を利用している理由をみると、幼稚園は公立・私立ともに「1. 子どもの教育や発達のため」が8割程度と最も多く、次いで「2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が5～6割程度となっている。保育所(保育園)については、認可・認可外ともに「2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が最も多く、次いで「1. 子どもの教育や発達のため」が多くなっている。その内、認可保育所については、「2. 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が9割弱(88.8%)と認可外保育施設よりも割合が高く、認可外保育施設については「1. 子どもの教育や発達のため」が6割強(61.0%)と認可保育所よりも割合が高くなっている。

問15-4 平日に教育・保育事業を利用している理由 × 問15-1 主な利用事業 (複数回答)

	① 子どもの教育や発達のため	② 現在就労をしている方が	③ 就労予定が有る／求職中である	④ 家族・親族など介護している	⑤ 病気や障害がある	⑥ 学生である	⑦ その他	無回答
上段:件数、下段:横%								
全 体 (n=965)	550 57.0	712 73.8	66 6.8	15 1.6	14 1.5	5 0.5	21 2.2	12 1.2
公立幼稚園 (n=88)	69 78.4	44 50.0	3 3.4	2 2.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1
私立幼稚園 (n=93)	74 79.6	54 58.1	3 3.2	1 1.1	2 2.2	0 0.0	1 1.1	1 1.1
認可保育所 (n=428)	185 43.2	380 88.8	26 6.1	9 2.1	9 2.1	2 0.5	6 1.4	5 1.2
認可外保育施設 (n=308)	188 61.0	207 67.2	33 10.7	3 1.0	2 0.6	2 0.6	14 4.5	4 1.3
その他 (n=42)	34 81.0	22 52.4	1 2.4	0 0.0	1 2.4	1 2.4	0 0.0	0 0.0
無回答 (n=6)	0 0.0	5 83.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7

【その他の内容】

- ・産休・育休中                      ・下の子の育児                      ・集団生活にも、慣れて欲しい
- ・子供連れだと困難な受診等通う為。他に子供を見てくれる身内がない為
- ・生活していくためには夫妻共働きする必要がある
- ・妻一人で見る事が出来ないから

等

問15 で「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

**問15-5 利用していない主な理由は何ですか。**

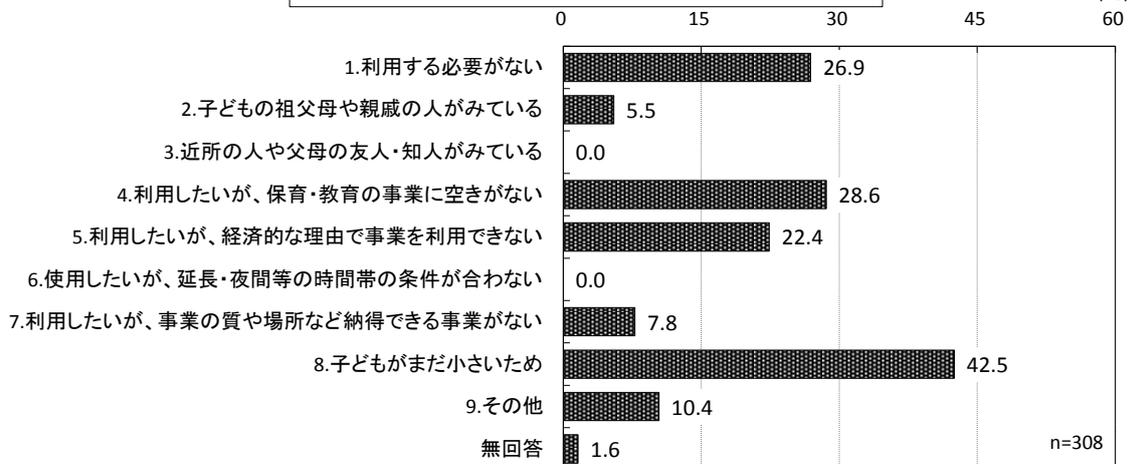
当てはまる番号すべてに○

1. (子どもの教育や発達のために家庭保育等を行っているので) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業(保育所、幼稚園など)に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため( 歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他( )

教育・保育事業を利用していない理由をみると、「8. 子どもがまだ小さいため( 歳くらいになったら利用しようと考えている)」が4割強(42.5%)で最も多く、次いで「4. 利用したいが、保育・教育の事業(保育所、幼稚園など)に空きがない」(28.6%)、「1. 利用する必要がない」(26.9%)、「5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」(22.4%)などとなっている。

「8. 子どもがまだ小さいため( 歳くらいになったら利用しようと考えている)」の回答者について、利用開始しようと考えているお子さんの年齢をみると、「3歳」が4割強(43.5%)で最も多く、次いで「4歳」(17.6%)、「2歳」(14.5%)などとなっている。

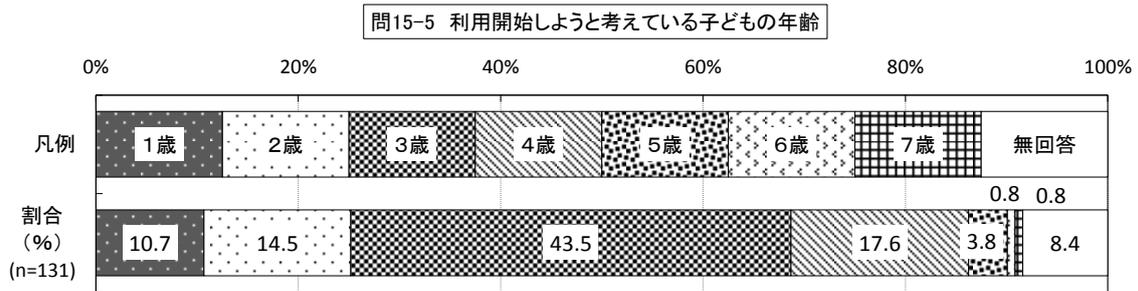
問15-5 平日に教育・保育事業を利用していない理由(複数回答)



【その他の内容】

- 産休・育休中                      • 妊娠中
- 幼稚園が午前中からしかないので、家での保育は無理をしていないので
- 病気をした時に預けられる場所がないので今は働けないし、利用できない
- 利用したいが、手続きの書類を揃えるのに時間がかかる為
- 利用したいが、祖母同居のため認可保育園の応募基準から外れてしまう
- 今の子どもの発達を見た時、いきなり大きな集団へ入れるのは子どもの為にならないと思う
- 子どもが障害を持っており、尚かつ体調面にも若干不安ある為
- 今後利用しようと検索中

等

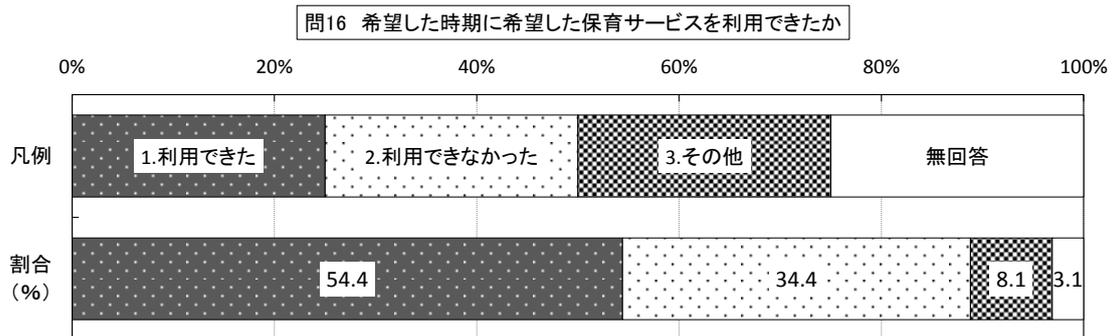


問16 あなたは希望した時期に、希望した保育サービスを利用することができましたか。

○は1つ

1. 利用できた
2. 利用できなかった
3. その他 ( )

希望した時期に希望したサービスを利用できたかをみると、「1. 利用できた」が5割強(54.4%)で最も多く、次いで「2. 利用できなかった」(34.4%)となっている。



【その他の内容】

- ・ 利用希望はない
- ・ 入所申請中
- ・ 2歳までは受入れが多数の為、利用できない事が多かった
- ・ 3月生まれのため、仕事復帰と認可保育等への入園までの間の保育が困った
- ・ 今、検討中。でも認可保育園は就職していないと利用できない。経済的に大変でも認可外の利用になる不安がある
- ・ 第1子は保育所に入所できたが、第2子は、待機児童
- ・ 父が反対なので希望できない
- ・ 通学区の公立幼稚園の2年生保育が今年度よりスタートした為、自分の子は1年しか通えなかった
- ・ 保育サービスの内容がわかりません

等

目標指標の点検

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
希望した時期に希望する保育サービスを利用することができた人の割合	50.5% (概ね2人に1人)	54.4%	66.0% (概ね3人に2人)	本調査の間16の1

希望した時期に希望する保育サービスを利用することができた人の割合は、本調査では平成21年度調査よりも割合が多く(54.4%)になっているものの、目標値には達していない。

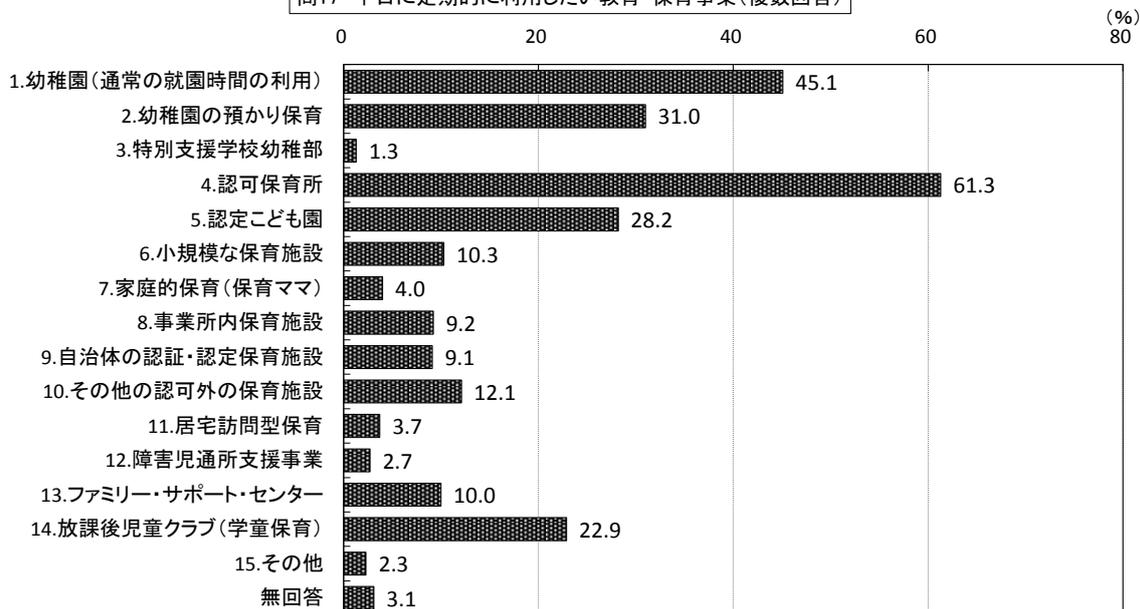
**問17** 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(事業内容、事業料金は別紙参照)

 当てはまる番号すべてに○

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 特別支援学校幼稚部
4. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた公立保育所・法人保育園）
5. 認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
6. 小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
7. 家庭的保育（保育ママ）（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
8. 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
9. 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
10. その他の認可外の保育施設
11. 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
12. 障害児通所支援事業（児童発達支援）
13. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
14. 放課後児童クラブ（学童保育）
15. その他（ ）

平日に定期的に利用したい教育・保育事業をみると、「4. 認可保育所」が6割強（61.3%）で最も多く、次いで「1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）」（45.1%）、「2. 幼稚園の預かり保育」（31.0%）、「5. 認定こども園」（28.2%）、「14. 放課後児童クラブ（学童保育）」（22.9%）などとなっている。

問17 平日に定期的に利用したい教育・保育事業(複数回答)



【その他の内容】

- 病児・病後児保育事業
- 土曜・日曜と見てくれる所
- 特になし
- 夜間保育
- 習い事と保育が両方できる施設
- 児童センター、子育て支援センター、広場
- 基地内幼稚園

等

中学校区別にみると、いずれの中中学校区においても「4. 認可保育所」の利用希望が最も多く、次いで「1. 幼稚園」が多くなっている。

年齢別にみると、「0歳」から「3歳」にかけては「4. 認可保育所」、「4歳」から「5歳」にかけては「1. 幼稚園」の利用希望が最も高くなっている。問15-1の現在利用している教育・保育事業においても、「0歳」から「3歳」にかけては「4. 認可保育所」の割合が5割前後と最も多く、希望についても6～8割程度と他の施設よりも回答が多いことからニーズも高い状況がみうけられる。「10. その他の認可外の保育施設」については、現在の利用が「4. 認可保育所」に次いで3～4割程度みられるものの、利用希望では1～2割程度と現状よりも割合が下回っている。

「5. 認定こども園」をみると、「1歳」で4割弱(37.2%)と最も多く、次いで「0歳」(31.0%)及び「2歳」(28.7%)で3割程度、「3歳」から「5歳」にかけて2割程度(3歳 20.2%、4歳 20.7%、5歳 20.5%)となっている。

問17 平日に定期的にご利用したい教育・保育事業 × 中学校区・年齢 (複数回答)

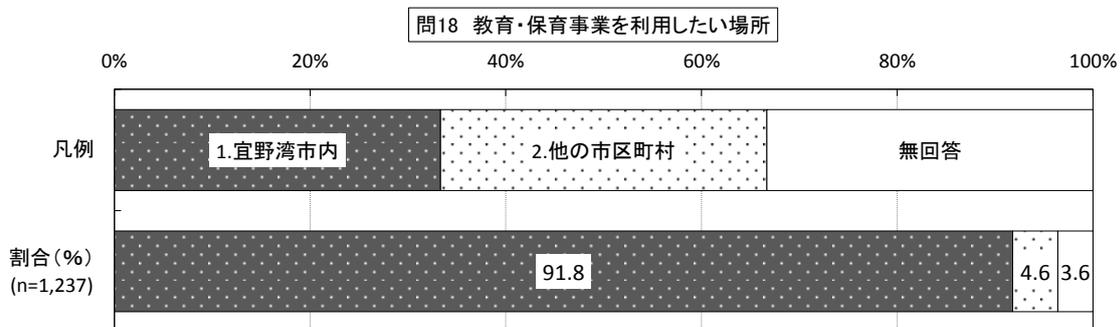
		① 通常の 幼稚園 の就園 時間の 利用	② 幼稚園 の預かり 保育	③ 特別 支援学 校幼稚 部	④ 認可 保育所	⑤ 認定 こども 園	⑥ 小規 模な 保育 施設	⑦ 家庭 的保 育(保 育マ マ)	⑧ 事業 所内 保育 施設	⑨ 自治 体の 認証・ 認定 保育 施設	⑩ その 他の 認可 外の 保育 施設	⑪ 居宅 訪問 型保 育	⑫ 障害 児通 所支 援事 業 (児 童発 達支 援)	⑬ ファミ リー・ サポ ート・ セン ター	⑭ 放課 後児 童ク ラブ (学 号保 育)	⑮ その 他	無 回 答
上段:件数、下段:横%																	
全 体 (N=1,276)		576 45.1	396 31.0	17 1.3	782 61.3	360 28.2	132 10.3	51 4.0	118 9.2	116 9.1	154 12.1	47 3.7	34 2.7	127 10.0	292 22.9	29 2.3	39 3.1
中 学 校 区	普天間中学校区 (N=248)	110 44.4	82 33.1	2 0.8	136 54.8	58 23.4	24 9.7	8 3.2	17 6.9	25 10.1	36 14.5	5 2.0	5 2.0	19 7.7	50 20.2	5 2.0	8 3.2
	真志喜中学校区 (N=370)	186 50.3	117 31.6	5 1.4	220 59.5	108 29.2	46 12.4	18 4.9	27 7.3	35 9.5	44 11.9	15 4.1	7 1.9	43 11.6	83 22.4	9 2.4	5 1.4
	嘉数中学校区 (N=378)	163 43.1	120 31.7	5 1.3	247 65.3	115 30.4	36 9.5	13 3.4	49 13.0	32 8.5	34 9.0	16 4.2	14 3.7	28 7.4	85 22.5	8 2.1	19 5.0
	宜野湾中学校区 (N=270)	112 41.5	75 27.8	5 1.9	174 64.4	78 28.9	22 8.1	11 4.1	23 8.5	21 7.8	37 13.7	11 4.1	8 3.0	35 13.0	72 26.7	7 2.6	7 2.6
	無回答 (N=10)	5 50.0	2 20.0	0 0.0	5 50.0	1 10.0	4 40.0	1 10.0	2 20.0	3 30.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0
	年 齢	0歳 (N=313)	114 36.4	71 22.7	3 1.0	250 79.9	97 31.0	52 16.6	17 5.4	42 13.4	46 14.7	37 11.8	13 4.2	3 1.0	30 9.6	50 16.0	2 0.6
	1歳 (N=277)	102 36.8	78 28.2	2 0.7	196 70.8	103 37.2	31 11.2	10 3.6	23 8.3	26 9.4	35 12.6	13 4.7	7 2.5	28 10.1	49 17.7	7 2.5	9 3.2
	2歳 (N=237)	94 39.7	62 26.2	1 0.4	142 59.9	68 28.7	26 11.0	12 5.1	18 7.6	18 7.6	37 15.6	8 3.4	6 2.5	17 7.2	52 21.9	6 2.5	9 3.8
	3歳 (N=163)	88 54.0	61 37.4	3 1.8	94 57.7	33 20.2	11 6.7	4 2.5	13 8.0	7 4.3	25 15.3	4 2.5	6 3.7	22 13.5	44 27.0	1 0.6	2 1.2
	4歳 (N=135)	77 57.0	58 43.0	3 2.2	51 37.8	28 20.7	5 3.7	2 1.5	8 5.9	4 3.0	7 5.2	3 2.2	4 3.0	10 7.4	33 24.4	8 5.9	6 4.4
	5歳 (N=151)	101 66.9	66 43.7	5 3.3	49 32.5	31 20.5	7 4.6	6 4.0	14 9.3	15 9.9	13 8.6	6 4.0	8 5.3	20 13.2	64 42.4	5 3.3	2 1.3

**問18** 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。

 ○は1つ

1. 宜野湾市内                                  2. 他の市区町村

教育・保育事業を利用したい場所をみると、「1. 宜野湾市内」が9割強（91.8%）、「2. 他の市区町村」（4.6%）はわずかであり、ほとんどの回答者は市内の教育・保育事業を希望していることが分かる。



## 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

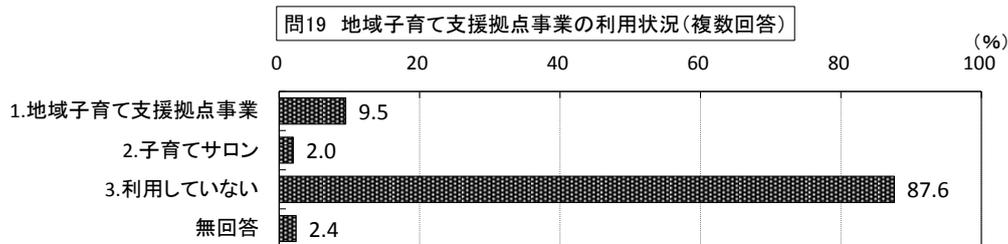
### 問19 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業等を利用していますか。

☑ 当てはまる番号すべてに○。利用している事業がある場合は、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字で記入。（数字は一桁に一字）

1. 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）  
⇒1週当たり  回      もしくは      1ヶ月当たり  回程度
2. 地域の公民館で行う『子育てサロン』（地域の公民館で、親子が集まって過ごしたり、相談をする場）  
⇒1週当たり  回      もしくは      1ヶ月当たり  回程度
3. 利用していない

地域子育て支援拠点事業の利用状況をみると、「3. 利用していない」が9割弱（87.6%）、「1. 地域子育て支援拠点事業」が約1割（9.5%）、「2. 地域の公民館で行う『子育てサロン』（2.0%）はわずかであった。

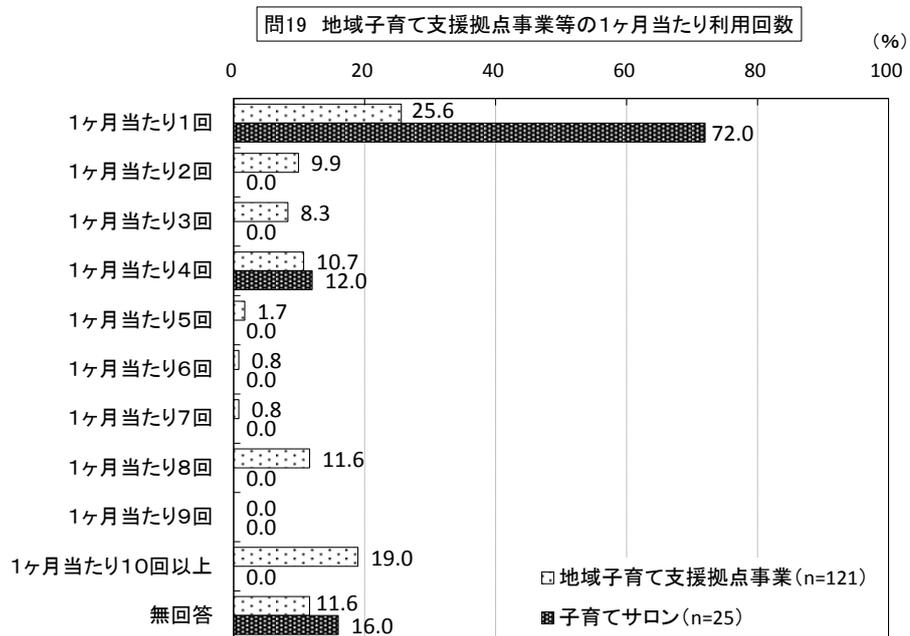
年齢別にみると、「1. 地域子育て支援拠点事業」については、お子さんの年齢が低いほど割合が高く「0歳」で約2割（20.4%）となっている。



問19 地域子育て支援拠点事業の利用状況 × 中学校区・年齢 (複数回答)

上段: 件数、下段: 横%		①地域子育て支援拠点事業	②地域の公民館で行う『子育てサロン』	③利用していない	無回答
全 体 (N=1,276)		121 9.5	25 2.0	1,118 87.6	30 2.4
中 学 校 区	普天間中学校区 (N=248)	18 7.3	2 0.8	218 87.9	12 4.8
	真志喜中学校区 (N=370)	31 8.4	5 1.4	325 87.8	10 2.7
	嘉数中学校区 (N=378)	40 10.6	8 2.1	330 87.3	7 1.9
	宜野湾中学校区 (N=270)	29 10.7	9 3.3	238 88.1	1 0.4
	無回答 (N=10)	3 30.0	1 10.0	7 70.0	0 0.0
	年 齢	0歳 (N=313)	64 20.4	11 3.5	238 76.0
1歳 (N=277)	34 12.3	6 2.2	237 85.6	6 2.2	
2歳 (N=237)	13 5.5	4 1.7	222 93.7	1 0.4	
3歳 (N=163)	5 3.1	2 1.2	148 90.8	8 4.9	
4歳 (N=135)	1 0.7	1 0.7	130 96.3	4 3.0	
5歳 (N=151)	4 2.6	1 0.7	143 94.7	4 2.6	

1ヶ月当たりの利用回数をみると、地域子育て支援拠点事業では「1回」が3割弱（25.6%）で最も多く、次いで「10回以上」（19.0%）などとなっている。



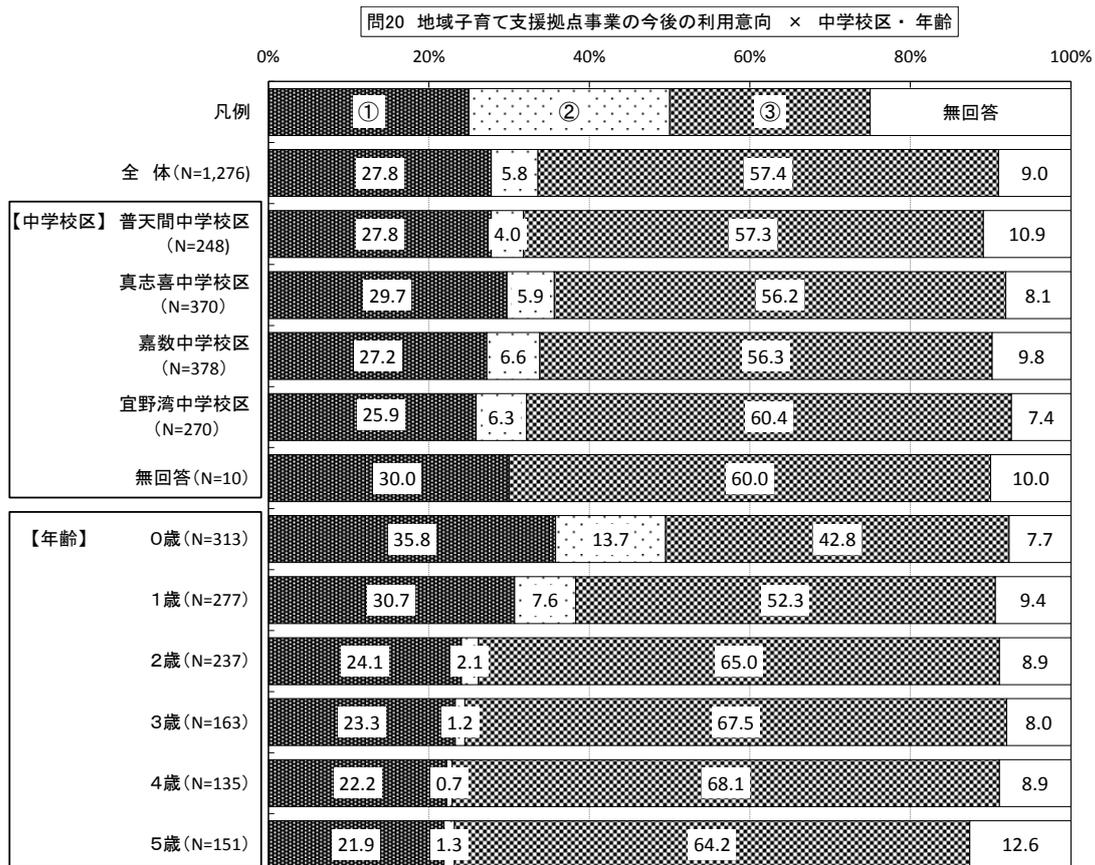
**問20** 問19 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。（事業内容は別紙参照）

○は1つ。利用したい事業がある場合は、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字で記入。（数字は一枠に一字）

1. 利用していないが、今後利用したい  
⇒1週当たり  回                      もしくは                      1ヶ月当たり  回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい  
⇒1週当たり  回                      もしくは                      1ヶ月当たり  回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

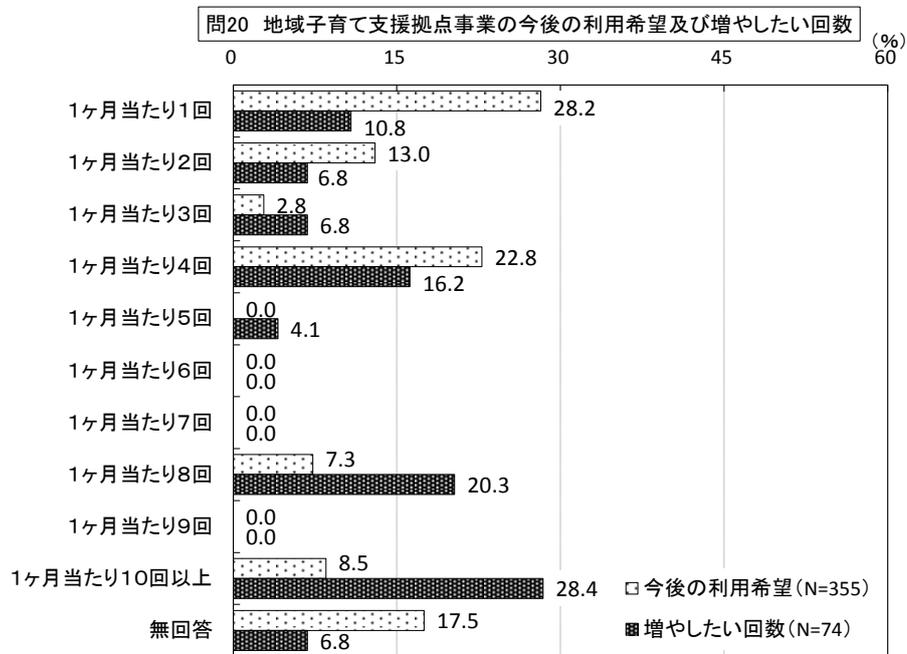
地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向をみると、「3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が6割弱（57.4%）、「1. 利用していないが、今後利用したい」が3割弱（27.8%）、「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」（5.8%）はわずかであった。

年齢別にみると、お子さんの年齢が低いほど「1. 利用していないが、今後利用したい」及び「2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が多い傾向にあり、年齢が低いほど利用意向が強いことがうかがえる。



■ ①利用していないが、今後利用したい                      □ ②すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい  
 ■ ③新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない                      □ 無回答

今後の1ヶ月当たりの利用希望回数及び増やしたい回数をみると、今後の利用希望では「1回」が3割弱（28.2%）で最も多く、次いで「4回」（22.8%）などとなっている。増やしたい回数をみると、「10回以上」が3割弱（28.4%）で最も多く、次いで「8回」（20.3%）、「4回」（16.2%）などとなっている。

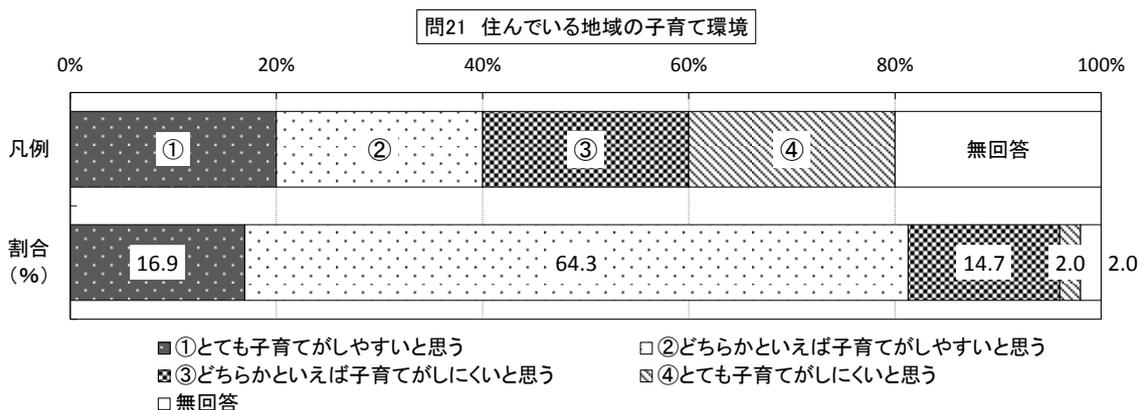


**問21** 現在お住まいの地域はあなたにとって子育てしやすいと思いますか。

○は1つ

1. とても子育てがしやすいと思う
2. どちらかといえば子育てがしやすいと思う
3. どちらかといえば子育てがしにくいと思う
4. とても子育てがしにくいと思う

住んでいる地域の子育て環境をみると、「2. どちらかといえば子育てがしやすいと思う」が6割強（64.3%）で最も多く、次いで「1. とても子育てがしやすいと思う」（16.9%）、「3. どちらかといえば子育てがしにくいと思う」（14.7%）などとなっている。



**目標指標の点検**

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
住んでいる地域が子育てしやすいと感じる保護者の割合	77.3%	81.2%	85.0%	本調査の問21の選択肢1+2

住んでいる地域が子育てしやすいと感じる保護者の割合は、平成21年度調査よりも割合が高く77.3%⇒81.2%となっているものの、目標値には達していない。

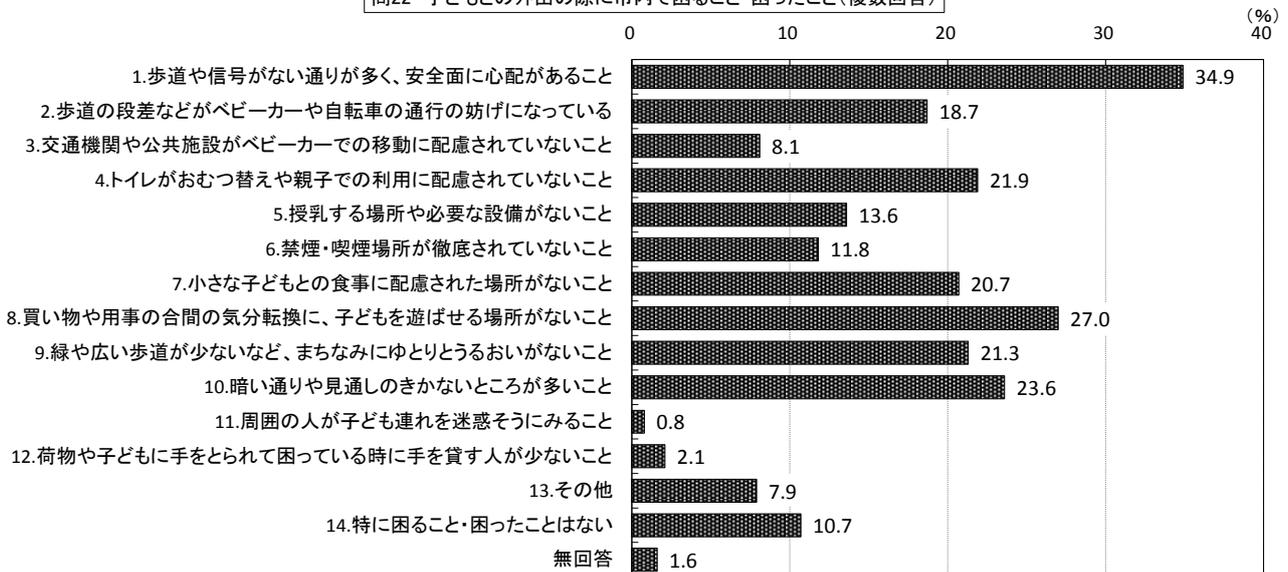
問22 子どもとの外出の際、宜野湾市内において困ること・困ったことはありますか。

☑️ ○は3つまで

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全面に心配があること
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている
3. 交通機関や公共施設がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4. トイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていないこと
5. 授乳する場所や必要な設備がないこと
6. 禁煙・喫煙場所が徹底されていないこと
7. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
8. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
9. 緑や広い歩道が少ないなど、まちなみにゆとりとうるおいがないこと
10. 暗い通りや見通しのきかないところが多いこと
11. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみること
12. 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ないこと
13. その他（具体的に： ）
14. 特に困ること・困ったことはない

お子さんとの外出の際に市内で困ること・困ったことをみると、「1. 歩道や信号がない通りが多く、安全面に心配があること」が3割強（34.9%）で最も多く、次いで「8. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」（27.0%）、「10. 暗い通りや見通しのきかないところが多いこと」（23.6%）、「4. トイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていないこと」（21.9%）などとなっている。

問22 子どもとの外出の際に市内で困ること・困ったこと（複数回答）



【その他の内容】

- 近所に公園がない、少ない
- 公園の遊具が充実していない
- 雨天時に子どもを遊ばせる場所が無い
- 交通量が多く危険な場所がある
- 信号設置など道路整備をして欲しい
- 基地からの騒音で子どもが怖がる
- ベビーカーで出かける際に通りにくい場所がある
- スーパーの前が喫煙場所という所が多く、出入りの際、煙が気になる
- 学生（中・高生）が数人で道やアパート等の駐車場にたむろしていることが多いこと
- 路上のタバコ、ゴミが捨てられている、又は捨てる人を見ると子どもと一緒にいる時は特に困る。あまり見せたくないの車で出かけることが多い。本当は近所くらい歩いて出かけたかったですね
- アレルギーの認識が低く、表示もあやふやな所
- 野嵩には、子育て支援センターがありません長田、我如古、喜友名に行かなければありませんでした
- 役所、公民館等の放送が頻繁でうるさい
- 公園をもっと整備して欲しい
- 公園の治安が悪い所がある
- 学校（小学校）に学童が隣接していない
- 駐車場が少なく、路上駐車も多くて危険
- 外灯が少なく危険
- 不審者が多い

等

目標指標の点検

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
子どもとの外出の際、生活道路の安全面に心配がある保護者の割合	27.0%	34.9%	減少をめざす	本調査の間22の選択肢1

子どもとの外出の際、生活道路の安全面に心配がある保護者の割合は、平成 21 年度調査よりも割合が高く（27.0%⇒34.9%）なっており、減少を目指すという目標とは逆に増加がみられた。

**問23** 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。宛名のお子さん以外に兄弟・姉妹がいらっしゃる場合は、兄弟・姉妹を含めた全てのお子さんについてお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。(事業内容、事業料金は別紙参照)

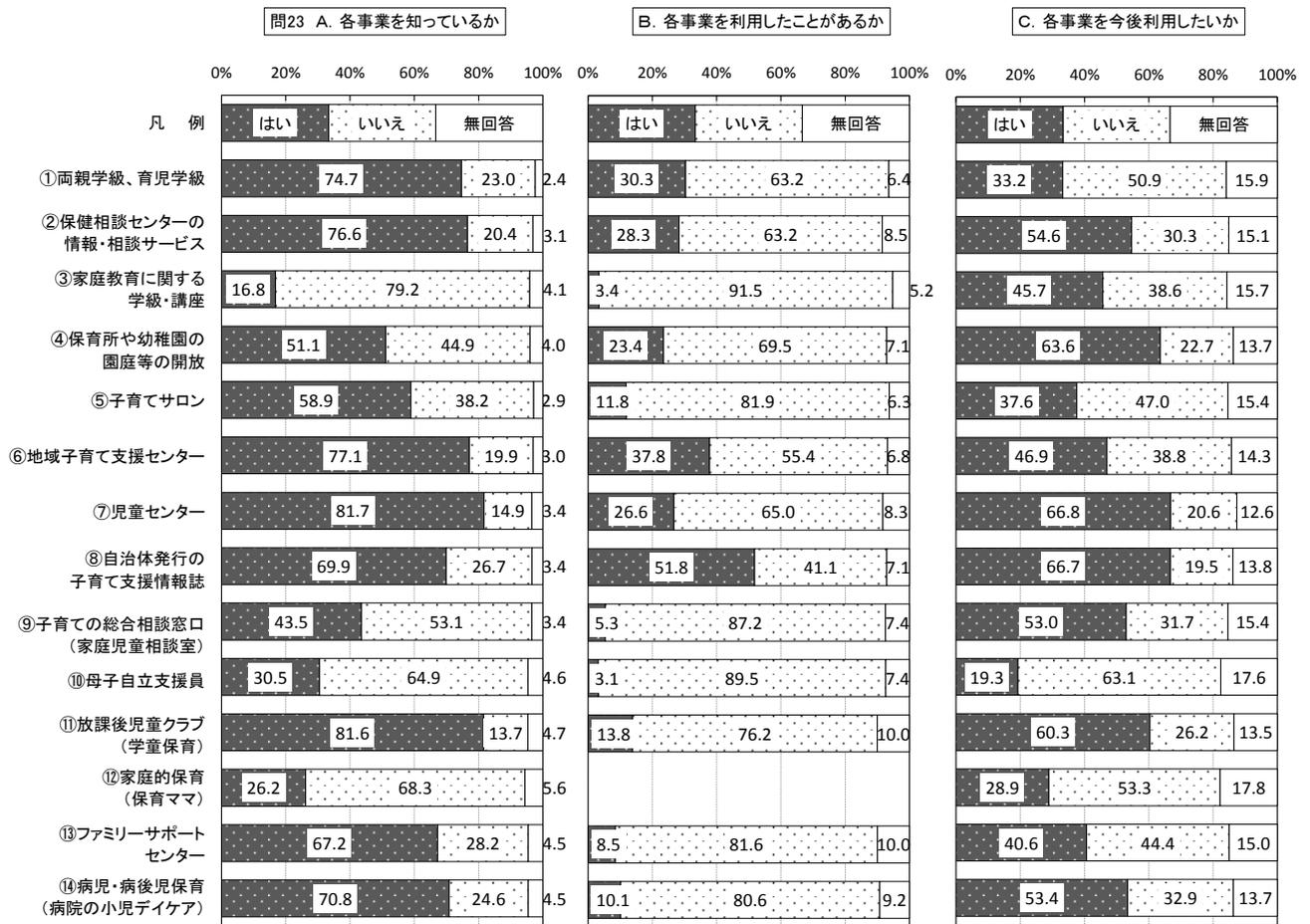
①～⑭の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○。

事業の名称	A知っている	Bこれまでに利用したことがある	C今後利用したい + 現在も利用しているが、 今後も利用したい
①両親学級(こうのとり倶楽部)、 育児学級(コアラクラブ)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健相談センターの情報・相談サービス	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤子育てサロン (市社会福祉協議会が実施している事業、月に1回市内5ヵ所で開催)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥地域子育て支援センター (身近な地域における相談や親同士の交流の場)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦児童センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧自治体発行の子育て支援情報誌 「子育て応援本ぽけっと」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨子育ての総合相談窓口(家庭児童相談室)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩母子自立支援員 (ひとり親家庭等を対象に、総合相談及び指導、就労への支援等を行う相談員)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪～⑭の事業については利用者負担が発生します。詳しくは別紙をご参照の上お答えください。			
⑪放課後児童クラブ(学童保育)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫家庭的保育(保育ママ) (宜野湾市では未実施ですが、以下の内容を参考にしてお答えください)	はい いいえ	— —	はい いいえ
⑬ファミリーサポートセンター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭病児・病後児保育(病院の小児デイケア)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

各種事業の認知度をみると、知っていると回答した人の割合は「⑦児童センター」が8割強(81.7%)で最も多く、次いで「⑪放課後児童クラブ(学童保育)」(81.6%)、「⑥地域子育て支援センター」(77.1%)、「②保健相談センターの情報・相談サービス」(76.6%)などとなっている。

各種事業の利用状況をみると、利用したことがあると回答した人の割合は「⑧自治体発行の子育て支援情報誌『子育て応援本ぽけっと』」が5割強(51.8%)で最も多く、次いで「⑥地域子育て支援センター」(37.8%)、「①両親学級(こうのとり倶楽部)、育児学級(コアラクラブ)」(30.3%)などとなっている。

各種事業の利用意向をみると、今後利用したいと回答した人の割合は「⑦児童センター」が7割弱(66.8%)で最も多く、次いで「⑧自治体発行の子育て支援情報誌『子育て応援本ぽけっと』」(66.7%)、「④保育所や幼稚園の園庭等の開放」(63.6%)などとなっている。



目標指標の点検

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
両親学級、育児学級を利用したことがある割合	31.5%	30.3%	35.0% (1割程度増やす)	本調査の間23の①B

両親学級、育児学級を利用したことがある割合は、平成21年度調査よりも割合が若干減少(31.5%⇒30.3%)しており、増加を目指していた目標とは逆に減少がみられた。

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問24 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、「定期的な教育・保育の事業」の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

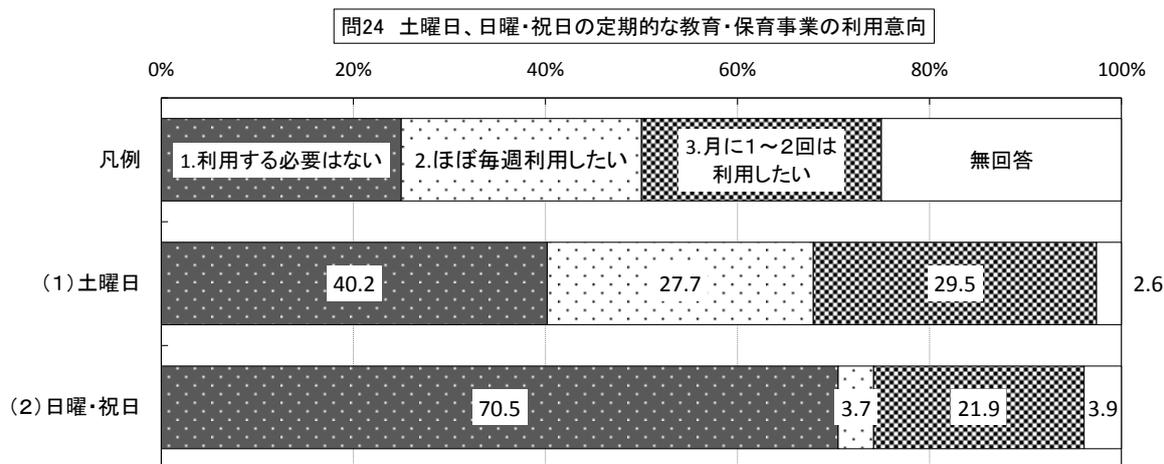
 土曜、日曜・祝日の両方について○は1つずつ。利用希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に数字で記入。（数字は一枠に一字）

(1) 土曜日 ……	1. 利用する必要はない	}	→	利用したい時間帯	□ □ 時から □ □ 時まで
	2. ほぼ毎週利用したい				
	3. 月に1～2回は利用したい				
(2) 日曜・祝日 ……	1. 利用する必要はない	}	→	利用したい時間帯	□ □ 時から □ □ 時まで
	2. ほぼ毎週利用したい				
	3. 月に1～2回は利用したい				

注) 時間帯は、(例) 0 9時～1 8時のように24時間制でご記入ください。

土曜日、日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向をみると、土曜日では「1. 利用する必要はない」が約4割(40.2%)で最も多く、次いで「3. 月に1～2回は利用したい」(29.5%)、「2. ほぼ毎週利用したい」(27.7%)となっている。

日曜・祝日では「1. 利用する必要はない」が約7割(70.5%)で最も多く、次いで「3. 月に1～2回は利用したい」(21.9%)、「2. ほぼ毎週利用したい」(3.7%)はわずかであった。



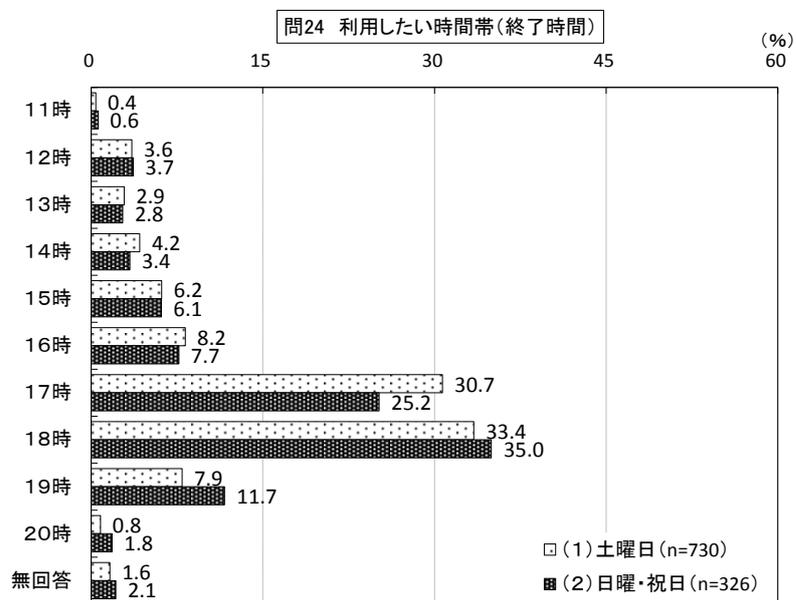
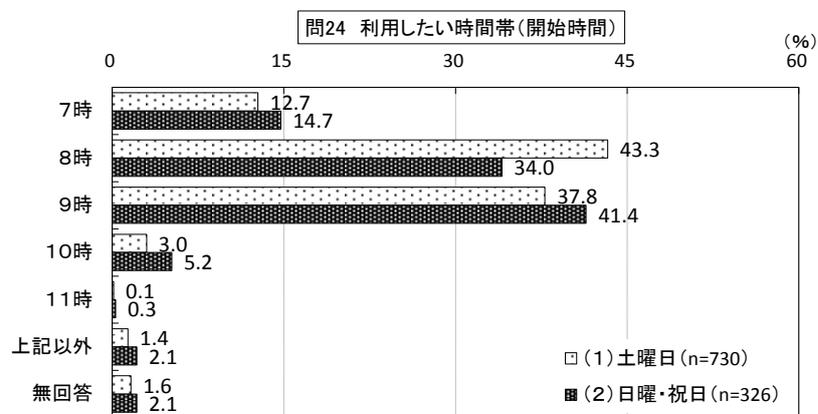
土曜日、日曜・祝日の定期的な事業の開始時間の希望をみると、土曜日では「8時」が4割強（43.3%）で最も多く、次いで「9時」（37.8%）、「7時」（12.7%）などとなっている。

日曜・祝日では「9時」が4割強（41.4%）で最も多く、次いで「8時」（34.0%）、「7時」（14.7%）などとなっている。

土曜日、日曜・祝日の定期的な事業の終了時間の希望をみると、土曜日では「18時」が3割強（33.4%）で最も多く、次いで「17時」（30.7%）などとなっている。

日曜・祝日では「18時」が3割強（35.0%）で最も多く、次いで「17時」（25.2%）、「19時」（11.7%）などとなっている。

土曜日と日曜・祝日の利用意向を比較すると、土曜日は日曜・祝日に比べ利用したいという人の割合が多く、利用したい時間帯については同じような結果となった。



「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

**問25 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。**

○は1つ。利用希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に数字で記入。(数字は一枠に一字)

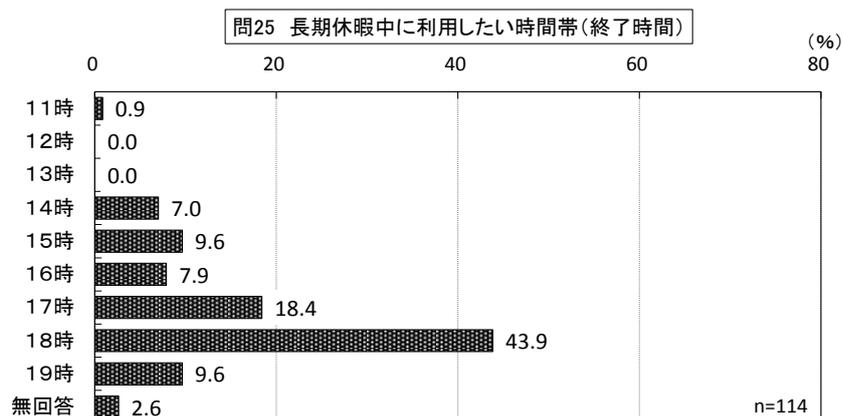
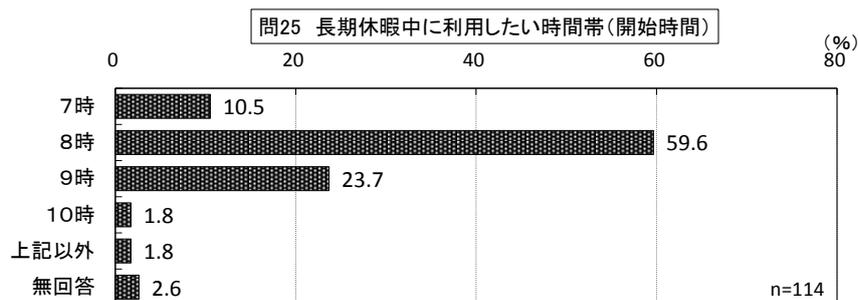
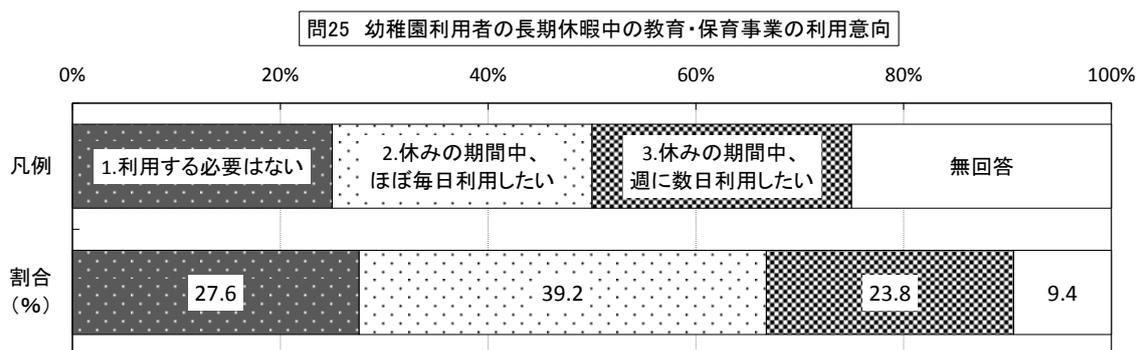
1. 利用する必要はない
  2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
  3. 休みの期間中、週に数日利用したい
- 利用したい時間帯  
□□時から □□時まで

注) 時間帯は、(例) 09時~18時のように24時間制でご記入ください。

幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向をみると、「2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が約4割(39.2%)で最も多く、次いで「1. 利用する必要はない」(27.6%)、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」(23.8%)となっている。

幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の開始時間の希望をみると、「8時」が約6割(59.6%)で最も多く、次いで「9時」(23.7%)などとなっている。

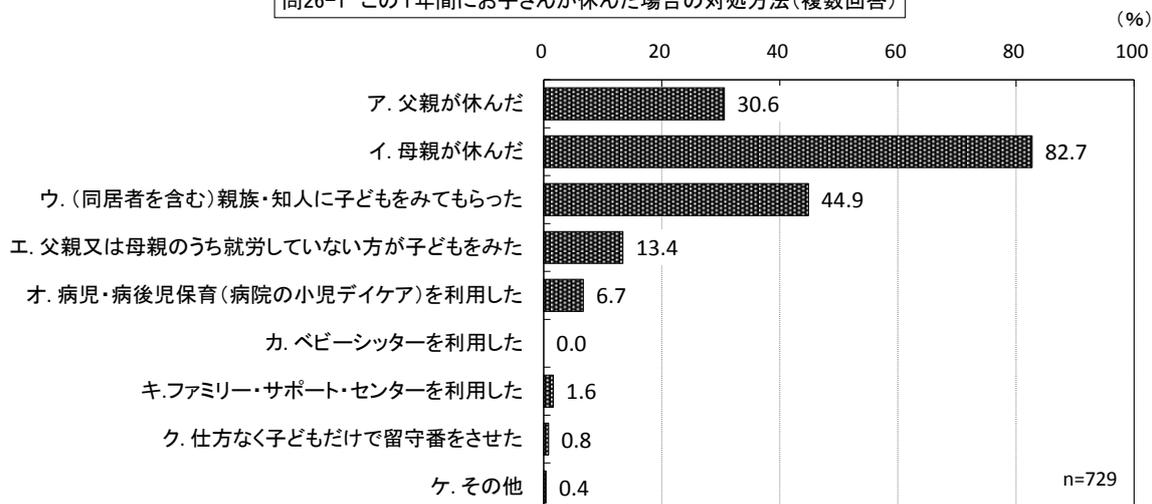
幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の終了時間の希望をみると、「18時」が4割強(43.9%)で最も多く、次いで「17時」(18.4%)などとなっている。





対処法別に休んだ日数をみると、いずれの場合も5日以内に回答が集中しているものの、母親が休んだ場合や親族・知人、就労していない親が子どもをみた場合は「10日」や「11～20日」といった回答も比較的にみられた。

問26-1 この1年間にお子さんが休んだ場合の対処方法(複数回答)



【その他の内容】

・少しの間、一緒に仕事場へ連れていった

等

問26-1 この1年間に子どもが休んだ際の対処方法別日数

(単数回答)

対処方法	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日 ～ 20日	21日 ～ 30日	31日 以上	無回答	合計
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
ア. 父親が休んだ	43	53	30	6	45	1	10	1	0	16	5	0	0	13	223
	19.3	23.8	13.5	2.7	20.2	0.4	4.5	0.4	0.0	7.2	2.2	0.0	0.0	5.8	100.0
イ. 母親が休んだ	33	63	72	19	97	11	36	9	2	103	74	22	11	51	603
	5.5	10.4	11.9	3.2	16.1	1.8	6.0	1.5	0.3	17.1	12.3	3.6	1.8	8.5	100.0
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	24	49	35	10	58	7	25	2	0	54	29	7	3	24	327
	7.3	15.0	10.7	3.1	17.7	2.1	7.6	0.6	0.0	16.5	8.9	2.1	0.9	7.3	100.0
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	4	10	7	4	8	2	7	1	0	16	15	8	5	11	98
	4.1	10.2	7.1	4.1	8.2	2.0	7.1	1.0	0.0	16.3	15.3	8.2	5.1	11.2	100.0
オ. 病児・病後児保育(病院の小児デイケア)を利用した	16	8	7	3	7	2	1	0	0	3	1	0	0	1	49
	32.7	16.3	14.3	6.1	14.3	4.1	2.0	0.0	0.0	6.1	2.0	0.0	0.0	2.0	100.0
カ. ベビーシッターを利用した	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	4	3	2	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	12
	33.3	25.0	16.7	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	100.0
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	100.0
ケ. その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0

問26-1 この1年間にお子さんが休んだ場合の対処方法 × 問8 日頃、子どもをみてくれる親族・知人の有無 (複数回答)

	ア 父親が休んだ	イ 母親が休んだ	ウ ども（同居者を含む）をみてもらった 親族・知人に子	エ い方が又は母親のうち就労していない	オ イケア（病児・病後児保育）を利用した 病院の小児デ	カ ベビーシッターを利用した	キ ファミリー・サポート・センターを利用した	ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	ケ その他
上段:件数、下段:横%									
全 体 (n=729)	223 30.6	603 82.7	326 44.7	99 13.6	49 6.7	0 0.0	12 1.6	6 0.8	3 0.4
1.日常的に祖父母等の親族にみてもらえる(n=160)	35 21.9	123 76.9	103 64.4	15 9.4	4 2.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.6
2.緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる(n=477)	150 31.4	401 84.1	230 48.2	68 14.3	30 6.3	0 0.0	4 0.8	5 1.0	2 0.4
3.日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる(n=5)	0 0.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
4.緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる(n=47)	13 27.7	34 72.3	13 27.7	9 19.1	6 12.8	0 0.0	2 4.3	1 2.1	2 4.3
5.いずれもない(n=104)	35 33.7	81 77.9	12 11.5	17 16.3	14 13.5	0 0.0	7 6.7	1 1.0	0 0.0
無回答(n=7)	5 71.4	7 100.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問26-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

**問26-2** その際、「できれば病児・病後児のための保育施設（病院の小児デイケア）等を利用したい」と思われましたか。なお、事業の利用（現在、海邦病院にて小児デイケアを実施）には一定の利用料がかかり、利用前にはかかりつけ医などの受診が必要となります。（事業内容、事業料金は別紙参照）

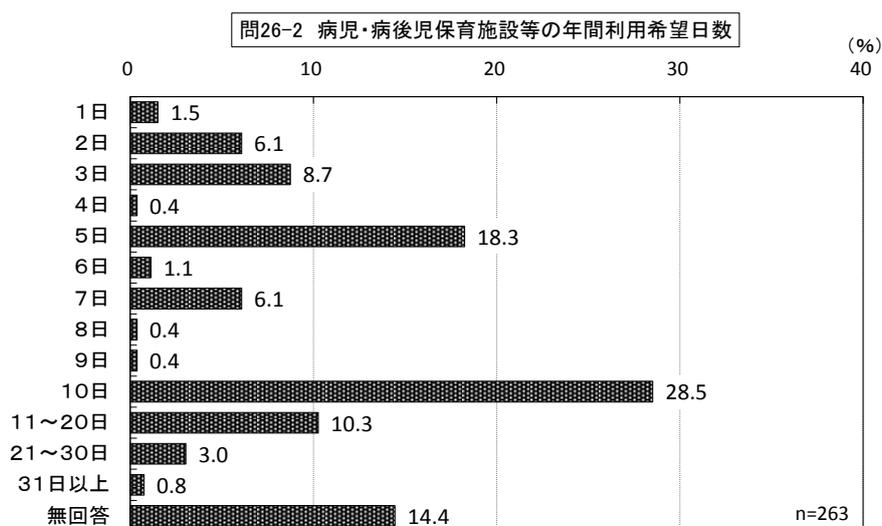
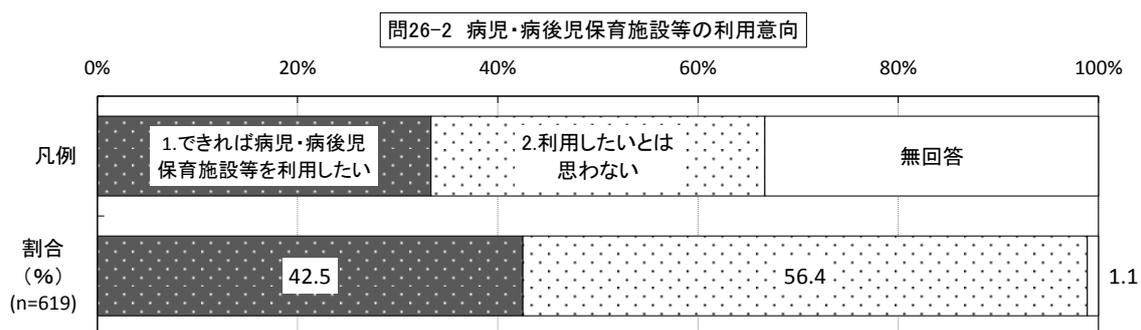
 ○は1つ。利用したい場合は、利用したい日数を口内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

1. できれば病児・病後児保育施設（病院の小児デイケア）等を利用したい ⇒年間   日

2. 利用したいとは思わない

病児・病後児保育施設等の利用意向をみると、「2. 利用したいとは思わない」が6割弱（56.4%）、「1. できれば病児・病後児保育施設（病院の小児デイケア）等を利用したい」が4割強（42.5%）となっている。尚、前問で「オ. 病児・病後児保育（病院の小児デイケア）を利用した」という回答が6.7%であったのに比べ、できれば利用したいという回答が5倍程みられることから、周知不足により利用されていない状況もうかがえる。

病児・病後児保育施設等の年間利用日数の希望をみると、「10日」が3割弱（28.5%）で最も多く、次いで「5日」（18.3%）、「11～20日」（10.3%）などとなっている。



問26-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設（病院の小児デイケア）等を利用したい」と回答した方にうかがいます。

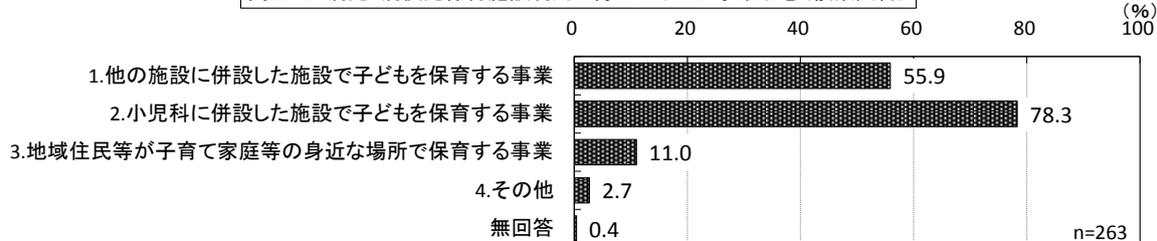
**問26-3 病児・病後児のための保育施設（病院の小児デイケア）等を利用する場合は、どのような事業形態が望ましいと思いますか。**

 当てはまる番号すべてに○

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

病児・病後児保育施設利用の際の望ましい事業形態をみると、「2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が8割弱（78.3%）で最も多く、次いで「1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」（55.9%）、「3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」（11.0%）となっている。

問26-3 病児・病後児保育施設利用の際の望ましい事業形態（複数回答）



【その他の内容】

- ・子どもが通っている保育園で病児保育をしてほしい
- ・かかりつけの小児科で受診し病名が分かっても、デイケアを利用する場合、再度海邦病院にて受診が必要。計2回受診、料金も2倍。現在の使いづらさを解消してほしい
- ・海邦病院以外にもデイケアを利用できる病院を増やしてほしい
- ・就労先で保育する事業

等

問26-2 で「2.利用したいと思わない」と回答した方にうかがいます。

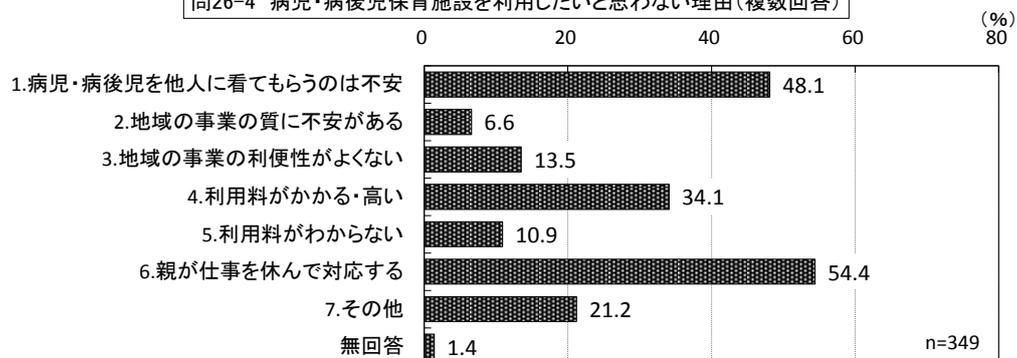
**問26-4 そう思われる主な理由は何ですか。**

 当てはまる番号すべてに○

- |                                      |                  |
|--------------------------------------|------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安               | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間<br>日数など）がよくない | 4. 利用料がかかる・高い    |
| 5. 利用料がわからない                         | 6. 親が仕事を休んで対応する  |
| 7. その他（                              | ）                |

病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由をみると、「6. 親が仕事を休んで対応する」が5割強（54.4%）で最も多く、次いで「1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」（48.1%）、「4. 利用料がかかる・高い」（34.1%）などとなっている。

問26-4 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由（複数回答）



【その他の内容】

- |                                     |                     |
|-------------------------------------|---------------------|
| • 病気の時はそばにいて看病したい                   | • 病児には不安やストレスでかわいそう |
| • 他の病気の感染が怖い                        | • 祖父母や親族等に看てもらえる    |
| • 手続きが面倒                            | • 人見知りがある           |
| • 体調の悪い子どもを病院へ預けてまで仕事を続けることに罪悪感を感じる |                     |
| • 子どもの事を思うと、体調が悪い時に預けるのは気がひける       |                     |
| • 職場のデイケアを利用できる為                    |                     |
| • 発達など障害児の対応ができていないか分からないから         |                     |
| • 現在、育休中の為、思わなかった                   |                     |
| • 現在必要性がない                          |                     |

等

問26-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

**問26-5** その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

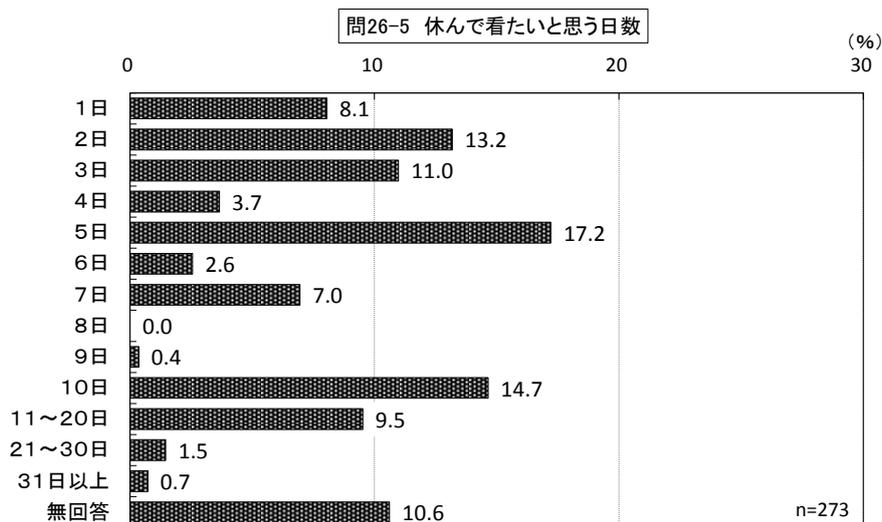
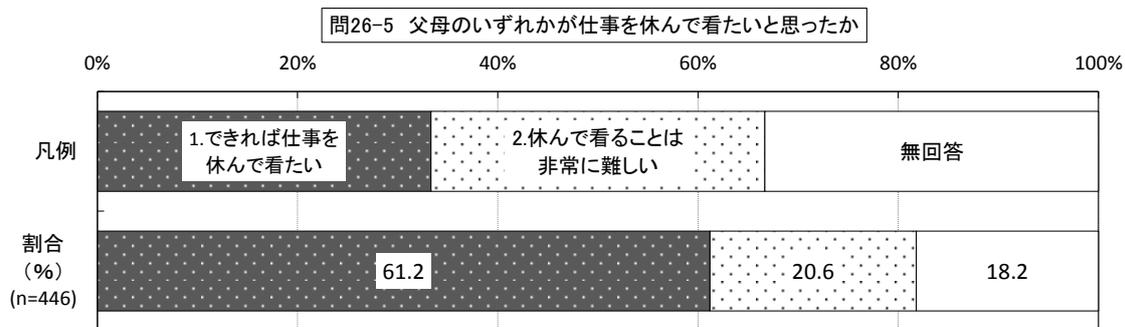
○は1つ。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒   日  
 ( 問 26-1 で回答した「ウ」から「ケ」の日数のうち、仕事を休んで看たかった日数について数字でご記入ください。(数字は一枠に一字) )

2. 休んで看ることは非常に難しい

お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合、父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかをみると、「1. できれば仕事を休んで看たい」が6割強(61.2%)で最も多く、次いで「2. 休んで看ることは非常に難しい」(20.6%)となっている。

休んで看たいと思う日数をみると、「5日」が2割弱(17.2%)で最も多く、次いで「10日」(14.7%)、「2日」(13.2%)などとなっている。また、回答の5割強が5日以内であった。





**宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や夜間の預かり、宿泊を伴う一時預かり等の利用について**

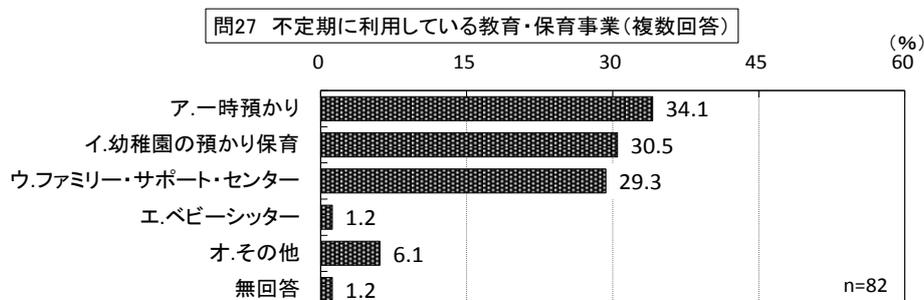
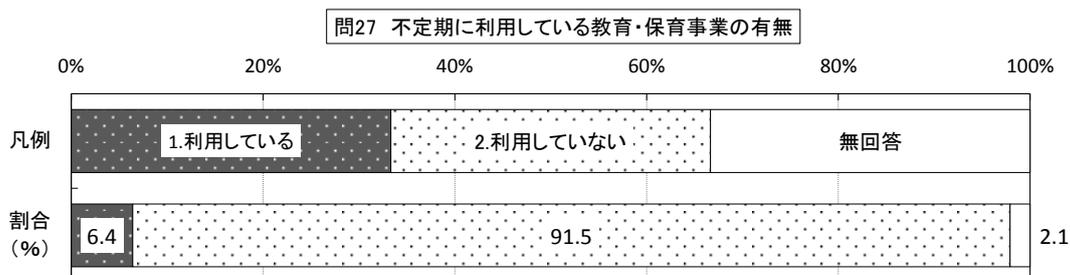
**問27** 宛名のお子さんについて、日中の定期的な教育・保育の利用やお子さんが病気の際以外に、日中や夜間に私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している（お子さんを預けている）事業はありますか。

☞ 利用の有無について「1」または「2」のいずれかに○。「1. 利用している」場合は、利用している事業内容（記号）のすべてに○をつけ、その利用日数（年間）を数字で記入。（数字は一枠に一字）

1. 利用している	→	<b>利用している事業内容</b>	<b>日数（年間）</b>
2. 利用していない		ア. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	□ □ 日
		イ. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	□ □ 日
		ウ. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	□ □ 日
		エ. ベビーシッター	□ □ 日
		オ. その他( )	□ □ 日

一時預かり等の不定期に利用している事業の有無をみると、「2. 利用していない」が9割強（91.5%）となっており、ほとんどの回答者が一時預かり等の事業について不定期な利用はしていない状況にある。

不定期に利用している事業の内容をみると、「ア. 一時預かり」が3割強（34.1%）で最も多く、次いで「イ. 幼稚園の預かり保育」（30.5%）、「ウ. ファミリー・サポート・センター」（29.3%）などとなっている。



【その他の内容】  
 ・小児発達センターの一時預かり      ・認可園の夜間保育      等

事業ごとの年間の不定期利用日数をみると、「イ. 幼稚園の預かり保育」と「ウ. ファミリー・サポート・センター」では5日以内の回答が多いものの、「31日以上」の回答が「ア. 一時預かり」で約4割（39.3%）、「イ. 幼稚園の預かり保育」で2割（20.0%）みられた。

問27 事業ごとの不定期利用日数(年間)

(単数回答)

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日 ～ 20日	21日 ～ 30日	31日 以上	無 回 答	合 計
上段:件数、下段:横%															
ア.一時預かり	0 0.0	2 7.1	3 10.7	0 0.0	2 7.1	0 0.0	1 3.6	0 0.0	0 0.0	4 14.3	2 7.1	3 10.7	11 39.3	0 0.0	28 100.0
イ.幼稚園の預かり保育	2 8.0	3 12.0	3 12.0	0 0.0	5 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.0	2 8.0	0 0.0	5 20.0	4 16.0	25 100.0
ウ.ファミリー・サポート・センター	5 20.8	3 12.5	0 0.0	1 4.2	4 16.7	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	2 8.3	1 4.2	1 4.2	2 8.3	4 16.7	24 100.0
エ.ベビーシッター	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
オ.その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	5 100.0

問27で「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

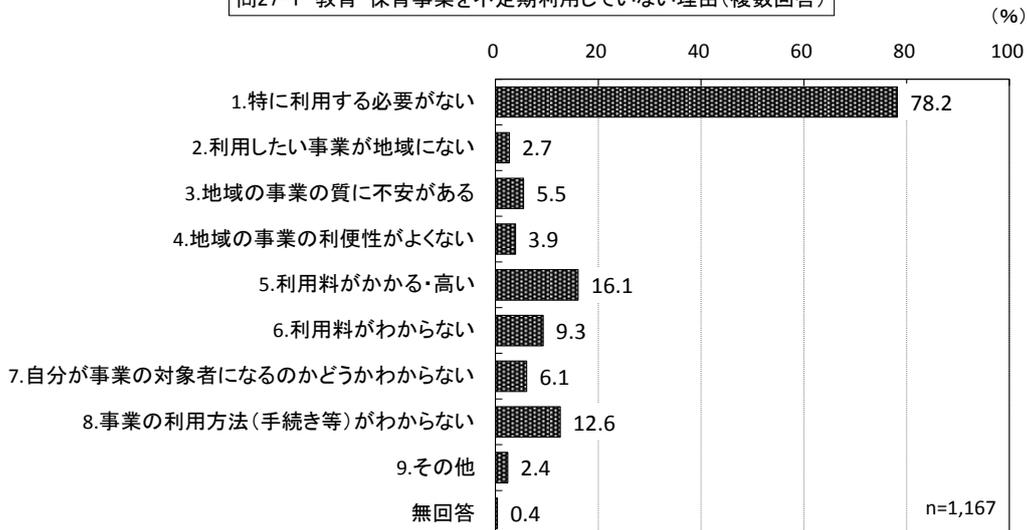
**問27-1 現在利用していない理由は何ですか。**

☑ 当てはまる番号すべてに○

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかどうか
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからないわからない
9. その他（ ）

不定期な事業を利用していない理由をみると、「1. 特に利用する必要がない」が8割弱(78.2%)で最も多く、次いで「5. 利用料がかかる・高い」(16.1%)、「8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない」(12.6%) などとなっている。

問27-1 教育・保育事業を不定期利用していない理由(複数回答)



【その他の内容】

- 子どもへの影響が不安
- 今後、利用予定
- 授乳中で長時間離れられない為
- ファミサポに登録しているが、急な預かりをお願いしようと思っても、その前の面談などの時間がとれないため、結局親族にお願いして預かってもらっている
- ファミリーサポートセンターへ登録しているが利用した事がない
- 利用したいが、今の所友人が預かってくれたりして何とかなっている

等

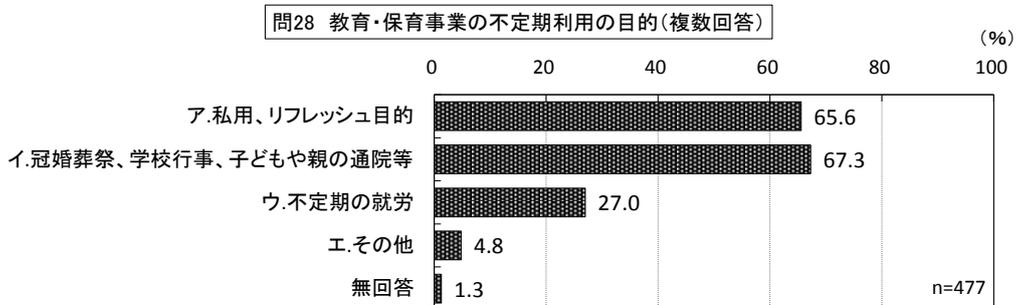
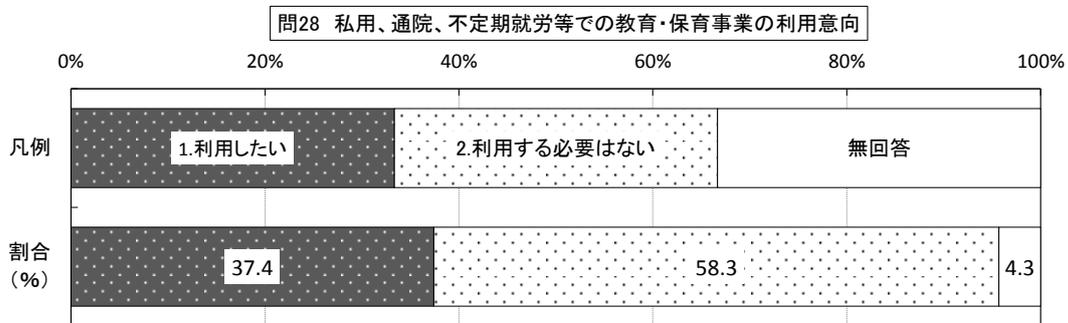
**問28** 宛名のお子さんについて、日中や夜間に私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい不定期に利用できる事業が必要とされますか。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。(事業内容、事業料金は別紙参照)

☞ 利用の意向について「1」または「2」のいずれかに○。「1. 利用したい」場合は、当てはまる記号すべてに○をつけ、年間の利用希望日数(合計も記入)を数字で記入。(数字は一桁に一字)

1. 利用したい	<b>利用したい目的・理由</b> ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的 イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等 ウ. 不特定の就労 エ. その他( ) 合計	<b>日数(年間)</b>	
2. 利用する必要はない		□□ 日	
	□□ 日		

私用、通院、不特定就労等での不定期な預かり等の事業の利用意向をみると、「2. 利用する必要はない」が6割弱(58.3%)、「1. 利用したい」は4割弱(37.4%)となった。

利用目的をみると、「イ. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が7割弱(67.3%)で最も多く、次いで「ア. 私用、リフレッシュ目的」(65.6%)、「ウ. 不特定の就労」(27.0%)となっている。



【その他の内容】

- ・子ども同士交流させたい
- ・就職活動
- ・仕事が週2日21時までであるので
- ・土曜日の就労

等

事業の年間利用日数の希望をみると、「11～20日」や「10日」の回答が多くみられた。

問28 私用、通院、不定期就労等での利用希望日数

(単数回答)

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日～20日	21日～30日	31日以上	無回答	合計
上段:件数、下段:横%															
利用したい合計日数(年間)	3 0.6	11 2.3	19 4.0	8 1.7	31 6.5	15 3.1	13 2.7	8 1.7	1 0.2	61 12.8	110 23.1	75 15.7	98 20.5	24 5.0	477 100.0
ア.私用、リフレッシュ目的	1 0.3	10 3.2	18 5.8	6 1.9	37 11.8	10 3.2	13 4.2	0 0.0	0 0.0	61 19.5	84 26.8	29 9.3	30 9.6	14 4.5	313 100.0
イ.冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	8 2.5	15 4.7	35 10.9	2 0.6	65 20.2	15 4.7	17 5.3	0 0.0	0 0.0	68 21.2	57 17.8	12 3.7	4 1.2	23 7.2	321 100.0
ウ.不定期の就労	4 3.1	2 1.6	7 5.4	5 3.9	14 10.9	2 1.6	2 1.6	0 0.0	0 0.0	29 22.5	20 15.5	11 8.5	20 15.5	13 10.1	129 100.0
エ.その他	1 4.3	1 4.3	1 4.3	0 0.0	4 17.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 30.4	2 8.7	1 4.3	4 17.4	2 8.7	23 100.0

問28で「1.利用したい」と回答した方にうかがいます。

**問28-1** 問28の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思われますか。日中と夜間の時間帯について、それぞれにお答えください。

日中と夜間のそれぞれの不定期な保育事業について、当てはまる番号すべてに○

**(1) 日中に不定期に利用したい保育事業**

- 大規模施設で一時的に子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)
- 小規模施設で一時的に子どもを保育する事業(例:19人以下の小規模保育所等)
- 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センターや保育ママ等)
- その他( )
- 夜間に利用したいので日中の不定期な保育事業は必要ない

**(2) 夜間に不定期に利用したい保育事業**

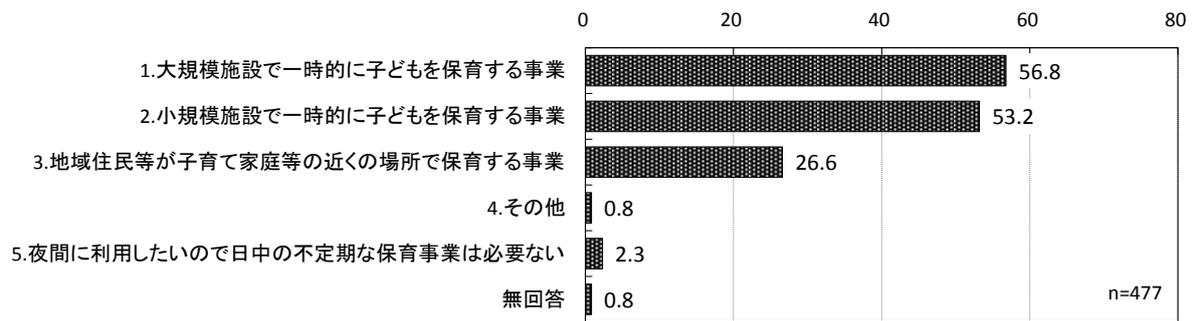
- 夜間保育(基準をみたした保育施設が行う夜間保育。)
- 夜間学童
- ファミリー・サポート・センター
- 夜間養護等事業(トワイライトステイ)
- その他( )
- 日中に利用したいので夜間の不定期な保育事業は必要ない

日中に不定期利用する際の望ましい事業形態をみると、「1. 大規模施設で一時的に子どもを保育する事業」が6割弱(56.8%)で最も多く、次いで「2. 小規模施設で一時的に子どもを保育する事業」(53.2%)、「3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」(26.6%)などとなっている。

夜間に不定期利用する際の望ましい事業形態をみると、「1. 夜間保育(基準をみたした保育施設が行う夜間保育)」が約5割(49.7%)で最も多く、次いで「6. 日中に利用したいので夜間の不定期な保育事業は必要ない」(30.0%)、「3. ファミリー・サポート・センター」(14.9%)、「2. 夜間学童」(12.2%)などとなっている。

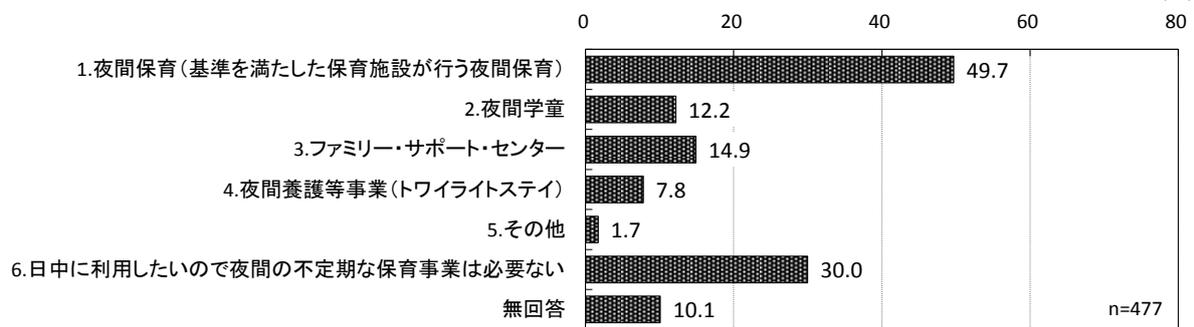
問28-1 (1) 日中に不定期に利用したい保育事業(複数回答)

(%)



問28-1 (2) 夜間に不定期に利用したい保育事業(複数回答)

(%)



【その他の内容】

(日中に利用したい事業)

- ・ 居宅訪問型保育

等

(夜間に利用したい事業)

- ・ 居宅訪問型保育
- ・ 地域住民がうちの近くで保育する事業

等

**問29** この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

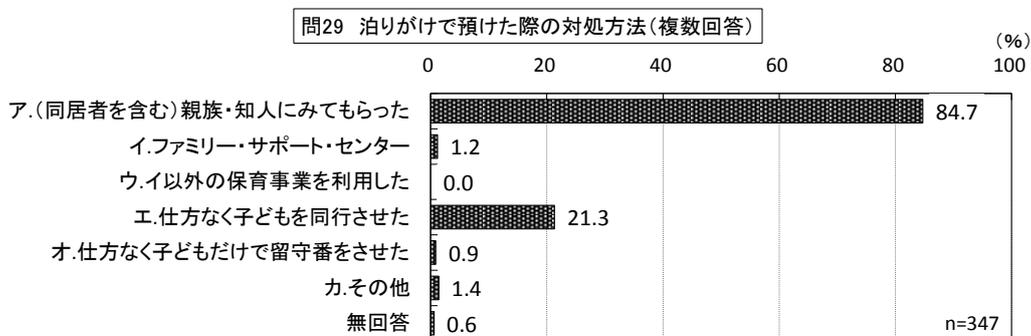
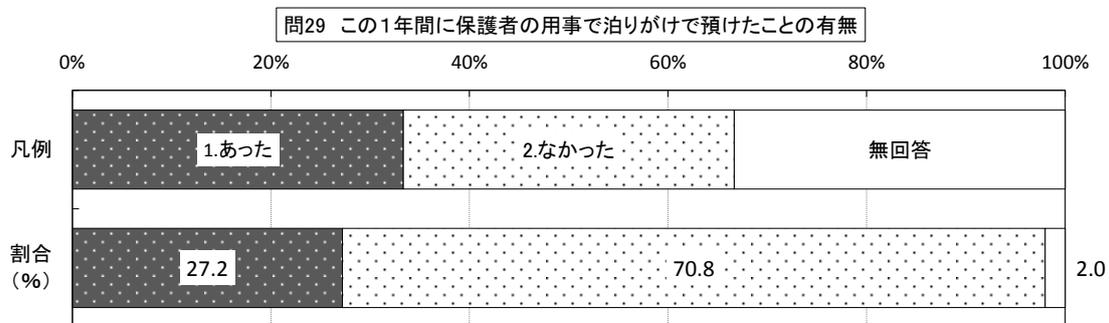
あった場合は、この1年間の対処方法とその年間日数をお答えください。

「1」または「2」のいずれかに○。「1. あった」に○をつけた方は、当てはまるすべての記号に○をつけ、年間の日数を数字で記入。（数字は一枠に一字）

1. あった 2. なかった	<b>1年間の対処方法</b>	<b>日数（年間）</b>
	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
	イ. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
	カ. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日

この1年間に保護者の用事で泊りがけでお子さんを預けたことの有無をみると、「2. なかった」が約7割（70.8%）、「1. あった」が3割弱（27.2%）となっている。

泊りがけで預けた際の対処方法をみると、「ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が8割強（84.7%）と最も多く、次いで「エ. 仕方なく子どもを同行させた」（21.3%）などとなっている。



【その他の内容】

・用事をキャンセルしなければならなかった ・行かなかった（行けなかった）

等

泊りがけで預けた際の対処方法毎の日数をみると、比較的5日以内の回答が多くみられる。

問29 泊りがけで預けた際の対処方法毎の日数

(単数回答)

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日 ～ 20日	21日 ～ 30日	31日 以上	無回答	合計
	上段:件数、下段:縦%														
ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	46 15.6	51 17.3	39 13.3	9 3.1	31 10.5	10 3.4	12 4.1	6 2.0	1 0.3	36 12.2	26 8.8	12 4.1	7 2.4	8 2.7	294 100.0
イ.ファミリー・サポート・センター	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	4 100.0
ウ.イ以外の保育事業を利用した	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 100.0
エ.仕方なく子どもを同行させた	10 13.5	14 18.9	8 10.8	4 5.4	13 17.6	0 0.0	4 5.4	0 0.0	0 0.0	9 12.2	4 5.4	1 1.4	2 2.7	5 6.8	74 100.0
オ.仕方なく子どもだけで留守番をさせた	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
カ.その他	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	5 100.0

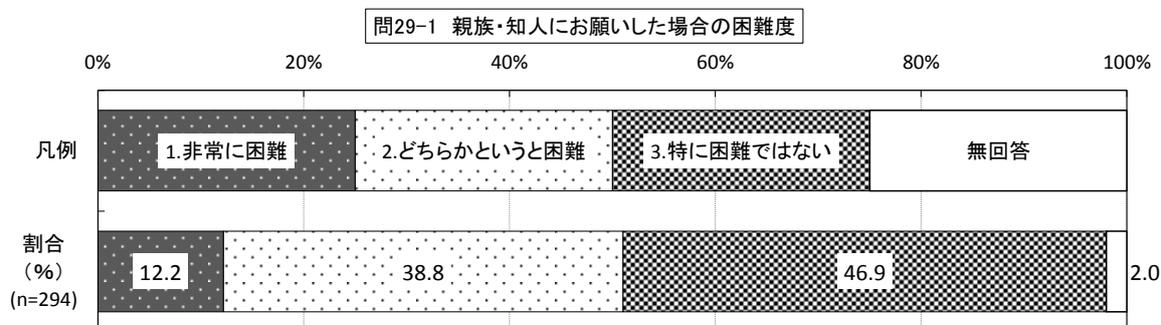
問29 で「1.あった ア.(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と回答した方にうかがいます。

問29-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。

 ○は1つ

1. 非常に困難      2. どちらかという困難      3. 特に困難ではない

親族・知人をお願いした場合の困難度をみると、「3. 特に困難ではない」が5割弱(46.9%)で最も多く、次いで「2. どちらかという困難」(38.8%)、「1. 非常に困難」(12.2%)となっている。



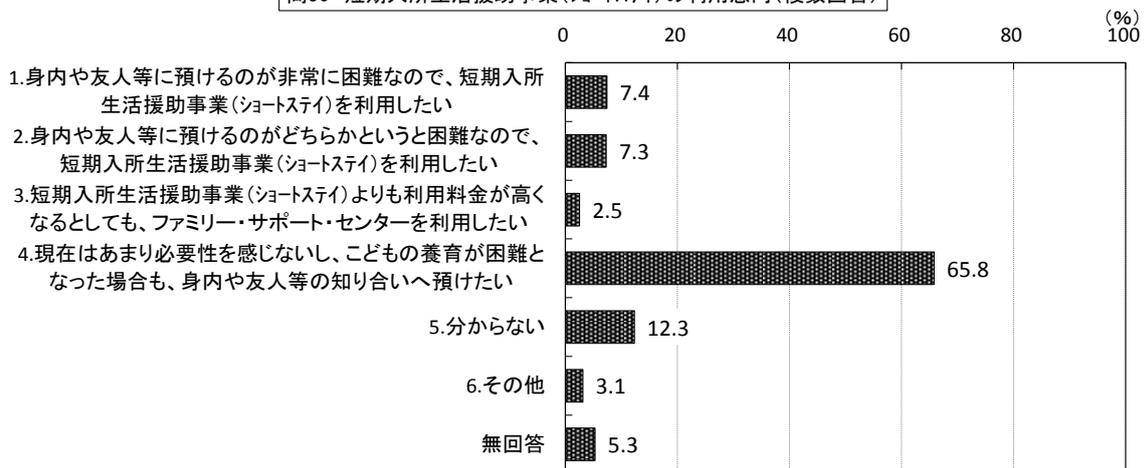
**問30** 保護者の疾病や出産、介護等により、こどもの養育が一時的に困難となった場合において、児童養護施設等でお子さんを一定期間（原則7日以内）養育する事業として「短期入所生活援助事業（ショートステイ）」があります。（宜野湾市では現在未実施。）このような事業があれば、利用したいと思いませんか。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（事業内容、事業料金は別紙参照）

 ○は2つまで

1. 身内や友人等に預けるのが非常に困難なので、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したい。
2. 身内や友人等に預けるのがどちらかという困難なので、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したい。
3. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）よりも利用料金が高くなるとしても、ファミリー・サポート・センターを利用したい。
4. 現在はあまり必要性を感じないし、こどもの養育が困難となった場合も、身内や友人等の知り合いへ預けたい。
5. 分からない。
6. その他（ )

短期入所生活援助事業の利用意向をみると、「4. 現在はあまり必要性を感じないし、こどもの養育が困難となった場合も、身内や友人等の知り合いへ預けたい」が7割弱（65.8%）で最も多く、次いで「5. 分からない」（12.3%）などとなっている。

問30 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用意向（複数回答）



**【その他の内容】**

- ・その時の状態、条件により利用したい
- ・利用したいが料金が高い
- ・他人に預けることに不安がある
- ・不馴れな所に、急にあずけるのはむずかしいと思う
- ・急に短期入所に預けるのは不安な為、保育園の延長のような形で、一時的に預かってくれる場所があればよい
- ・7日以内という制約では使いづらい短すぎる
- ・短期入所、生活援助事業を今のところ知らない
- ・何かあった時は、一緒に連れて行くと思う
- ・どちらかという保育所に預けたい
- ・昼間は保育をお願いしたいが、夜はやはり身内と一緒に過ごしてほしい
- ・二つのシステムの存在はありがたいです。ぜひ続けて下さい
- ・身内に預けるのは困難だがショートステイの実態がよくわからないのだから利用したくない
- ・料金や内容、質次第で何とも言えない
- ・私の体調が悪くなった時など、緊急で預ってくれるのであれば、心理ストレスも軽減できると思う
- ・必要ない
- ・利用したいと思わない
- ・身体に障害があっても、受入れ可能か
- ・利用したいが子どものことが不安

等

宛名のお子さんが5歳以上である方の小学校就学後の放課後の過ごし方について

**問31** お子さんが小学生へ進学したら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。今後のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（事業内容、 事業料金は別紙参照）

小学校低学年と小学校高学年の両方について、当てはまる番号すべてに○をつけ、利用を希望する日数（週あたりの日数）を数字で記入してください。（数字は一枠に一字）

放課後の過ごし場所	(1) 小学校低学年（1～3年生） のうちの放課後の過ごし方	(2) 小学校高学年（4～6年生） のうちの放課後の過ごし方
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童センター <small>注1</small>	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）   利用を希望する時間もお答えください。	週 <input type="text"/> 日くらい  →下校時から <input type="text"/> 時まで	週 <input type="text"/> 日くらい  →下校時から <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
8. 障害児通所支援事業 （放課後等デイサービス）	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい
9. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい	週 <input type="text"/> 日くらい

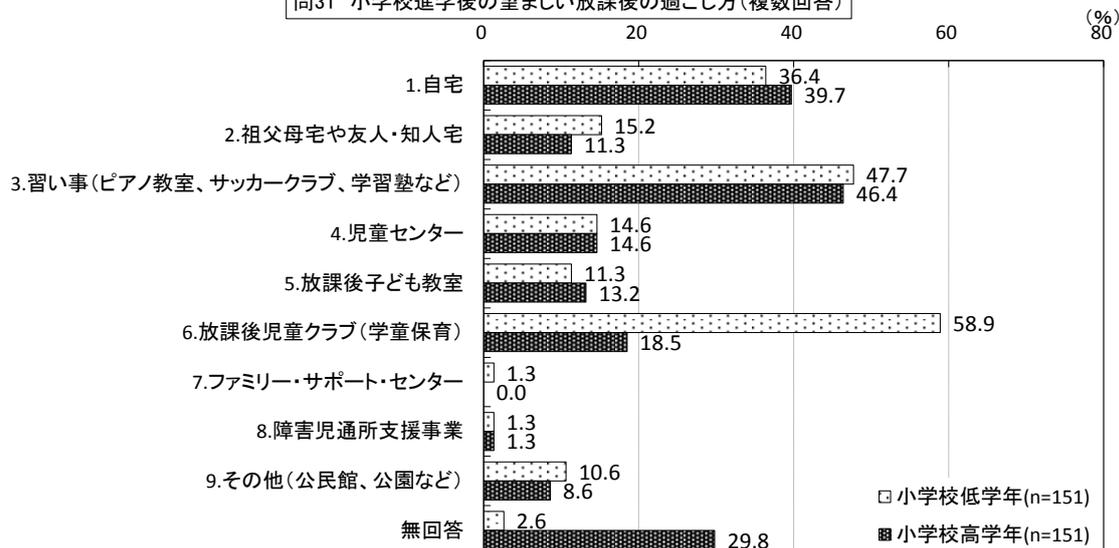
注1) 児童センターで行う放課後児童クラブを利用したい場合は「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に回答。

注) 時間は、必ず (例)   時までのように24時間制でご記入ください。

小学校進学後の望ましい放課後の過ごし方をみると、小学校低学年では「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」が6割弱（58.9%）で最も多く、次いで「3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（47.7%）、「1. 自宅」（36.4%）などとなっている。

小学校高学年では「3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が5割弱（46.4%）で最も多く、次いで「1. 自宅」（39.7%）、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」（18.5%）などとなっている。

問31 小学校進学後の望ましい放課後の過ごし方（複数回答）



放課後に過ごさせたい場所での希望日数をみると、小学校低学年では「1. 自宅」や「3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」で1週当たり5日以内の回答が多くみられたものの、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」では「1週当たり5日」と「1週当たり6日」の回答が多くみられた。

小学校高学年では、「1. 自宅」で「1週当たり5日」と「1週当たり2日」が多くみられ、「3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」で「1週当たり2日」と「1週当たり3日」が多くみられた。

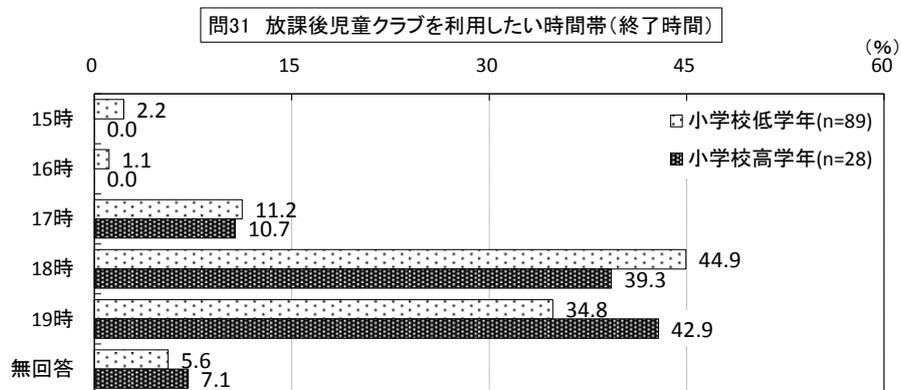
問31 放課後に過ごさせたい場所での希望日数(小学校低学年) (単数回答)

	1	1	1	1	1	1	1	無 回 答	合 計
	週 当 た り 1 日	週 当 た り 2 日	週 当 た り 3 日	週 当 た り 4 日	週 当 た り 5 日	週 当 た り 6 日	週 当 た り 7 日		
上段:件数、下段:縦%									
1. 自宅	8	7	5	4	26	1	2	2	55
	14.5	12.7	9.1	7.3	47.3	1.8	3.6	3.6	100.0
2. 祖父母宅や友人・知人宅	6	6	3	0	7	1	0	0	23
	26.1	26.1	13.0	0.0	30.4	4.3	0.0	0.0	100.0
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	13	29	12	9	6	0	0	3	72
	18.1	40.3	16.7	12.5	8.3	0.0	0.0	4.2	100.0
4. 児童センター	8	4	3	0	2	5	0	0	22
	36.4	18.2	13.6	0.0	9.1	22.7	0.0	0.0	100.0
5. 放課後子ども教室	5	2	1	1	5	3	0	0	17
	29.4	11.8	5.9	5.9	29.4	17.6	0.0	0.0	100.0
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	0	2	7	6	52	21	0	1	89
	0.0	2.2	7.9	6.7	58.4	23.6	0.0	1.1	100.0
7. ファミリー・サポート・センター	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0
8. 障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス)	0	0	0	0	1	0	0	1	2
	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	100.0
9. その他(公民館、公園など)	4	5	2	0	2	1	0	2	16
	25.0	31.3	12.5	0.0	12.5	6.3	0.0	12.5	100.0

問31 放課後に過ごさせたい場所での利用日数(小学校高学年) (単数回答)

	1	1	1	1	1	1	1	無 回 答	合 計
	週 当 た り 1 日	週 当 た り 2 日	週 当 た り 3 日	週 当 た り 4 日	週 当 た り 5 日	週 当 た り 6 日	週 当 た り 7 日		
上段:件数、下段:縦%									
1. 自宅	7	16	8	1	22	2	0	4	60
	11.7	26.7	13.3	1.7	36.7	3.3	0.0	6.7	100.0
2. 祖父母宅や友人・知人宅	6	5	0	0	3	2	0	1	17
	35.3	29.4	0.0	0.0	17.6	11.8	0.0	5.9	100.0
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	3	25	22	9	10	0	0	1	70
	4.3	35.7	31.4	12.9	14.3	0.0	0.0	1.4	100.0
4. 児童センター	7	4	3	2	3	1	0	2	22
	31.8	18.2	13.6	9.1	13.6	4.5	0.0	9.1	100.0
5. 放課後子ども教室	4	4	4	1	4	2	0	1	20
	20.0	20.0	20.0	5.0	20.0	10.0	0.0	5.0	100.0
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	0	1	2	2	14	8	0	1	28
	0.0	3.6	7.1	7.1	50.0	28.6	0.0	3.6	100.0
7. ファミリー・サポート・センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8. 障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス)	0	0	1	0	1	0	0	0	2
	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0
9. その他(公民館、公園など)	4	3	2	1	1	0	0	2	13
	30.8	23.1	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0	15.4	100.0

放課後児童クラブの利用終了時間の希望をみると、小学校低学年・高学年ともに「18時」～「19時」が4割程度と多く、次いで「17時」が1割程度見られる。中でも、小学校低学年では「18時」、小学校高学年では「19時」の希望が強くなっている。



問31 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した方にうかがいます。

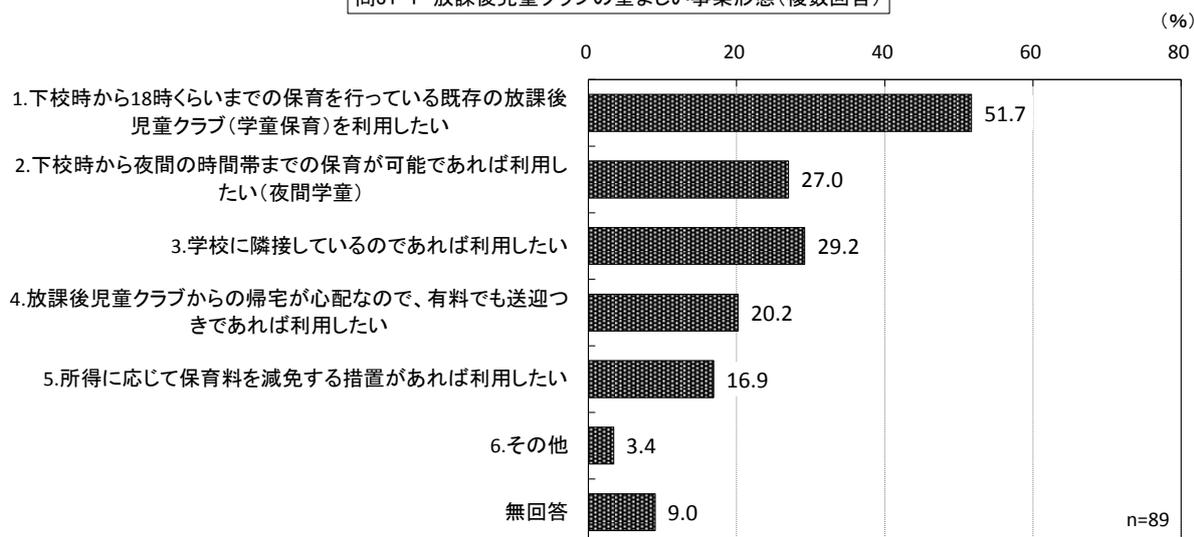
**問31-1 放課後児童クラブ（学童保育）がどのような事業形態であれば利用したいと思いますか。**

○は2つ

1. 下校時から18時くらいまでの保育を行っている既存の放課後児童クラブ（学童保育）を利用したい
2. 下校時から夜間の時間帯まで（公立の放課後児童クラブ（学童保育）は現在18時まで）の保育が可能であれば利用したい（夜間学童）
3. 学校に隣接しているのであれば利用したい
4. 放課後児童クラブからの帰宅が心配なので、有料でも送迎つきであれば利用したい
5. 所得に応じて保育料を減免する措置があれば利用したい
6. その他（ ）

放課後児童クラブの望ましい事業形態をみると、「1. 下校時から18時くらいまでの保育を行っている既存の放課後児童クラブ（学童保育）を利用したい」が5割強（51.7%）で最も多く、次いで「3. 学校に隣接しているのであれば利用したい」（29.2%）、「2. 下校時から夜間の時間帯までの保育が可能であれば利用したい（夜間学童）」（27.0%）、「4. 放課後児童クラブからの帰宅が心配なので、有料でも送迎つきであれば利用したい」（20.2%）、「5. 所得に応じて保育料を減免する措置があれば利用したい」（16.9%）となっている。

問31-1 放課後児童クラブの望ましい事業形態（複数回答）



【その他の内容】

- ・それぞれの子どもの予定にあわせてフレキシブルに対応し、希望があれば送迎や延長も対応してくれて、習い事までのつなぎとして子どもの安全を確保していただけるなら利用したい
- ・小学校ごとに児童センターが必要。普天間小近くにも設置してほしい

等

## 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

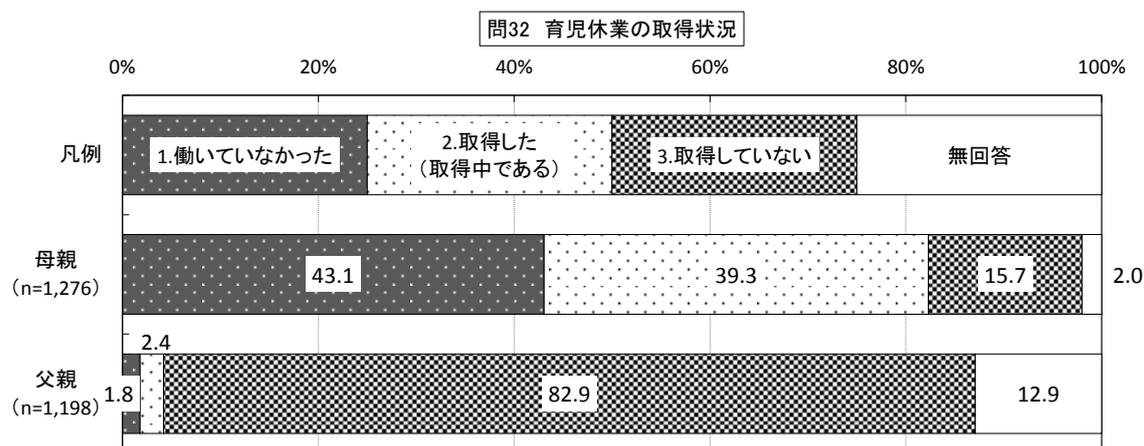
### 問32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

☞ 母親・父親の両方について、○は1つずつ。

育児休業の取得状況	(1) 母親	(2) 父親
働いていなかった	1	1
取得した（取得中である）	2	2
取得していない	3	3

育児休業の取得状況をみると、母親では「1. 働いていなかった」が4割強（43.1%）で最も多く、次いで「2. 取得した（取得中である）」（39.3%）、「3. 取得していない」（15.7%）となっている。

父親では「3. 取得していない」が8割強（82.9%）で最も多く、「2. 取得した（取得中である）」（2.4%）と「1. 働いていなかった」（1.8%）はわずかであり、父親のほとんどが育児休業を取得していない状況にある。



#### 目標指標の点検

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
育児休業制度を利用した父親の割合	0.4%	2.4%	増加をめざす	本調査の問32(2)父親の選択肢2

育児休業制度を利用した父親の割合は、平成21年度調査よりも割合が若干高く（0.4%⇒2.4%）なっており、目標を達成している。

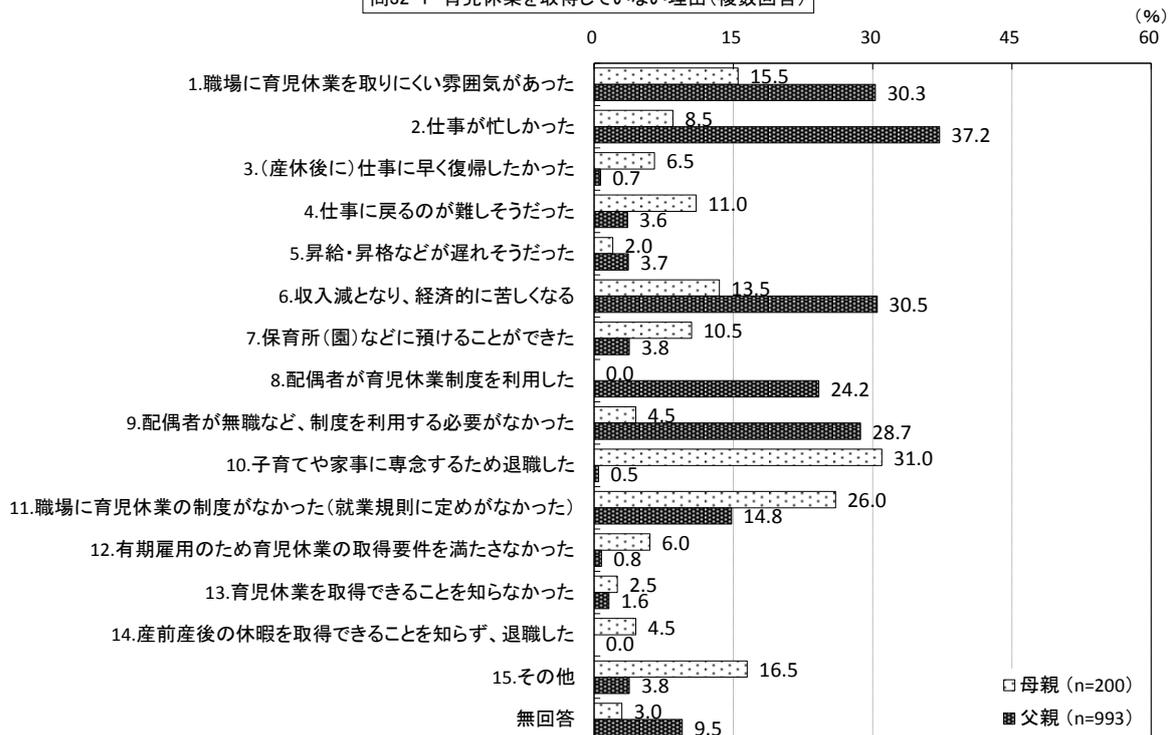
問32で「3. 取得していない」と回答した方にうかがいます。

問32-1 育児休業を取得していない理由をお答えください		
📝 母親・父親の両方について、当てはまる番号すべてに○。		
育児休業を取得していない理由	(1)母親	(2)父親
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
仕事が忙しかった	2	2
(産休後に) 仕事に早く復帰したかった	3	3
仕事に戻るのが難しそうだった	4	4
昇給・昇格などが遅れそうだった	5	5
収入減となり、経済的に苦しくなる	6	6
保育所(園)などに預けることができた	7	7
配偶者が育児休業制度を利用した	8	8
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9	9
子育てや家事に専念するため退職した	10	10
職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)	11	11
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12	12
育児休業を取得できることを知らなかった	13	13
産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	14	14
その他( )	15	15

育児休業を取得していない理由をみると、母親では「10. 子育てや家事に専念するため退職した」が3割強(31.0%)で最も多く、次いで「11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(26.0%)、「15. その他」(16.5%)、「1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(15.5%)などとなっている。

父親では「2. 仕事が忙しかった」が4割強(37.2%)で最も多く、次いで「6. 収入減となり、経済的に苦しくなる」(30.5%)、「1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(30.3%)、「9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」(28.7%)、「8. 配偶者が育児休業制度を利用した」(24.2%)などとなっている。

問32-1 育児休業を取得していない理由(複数回答)

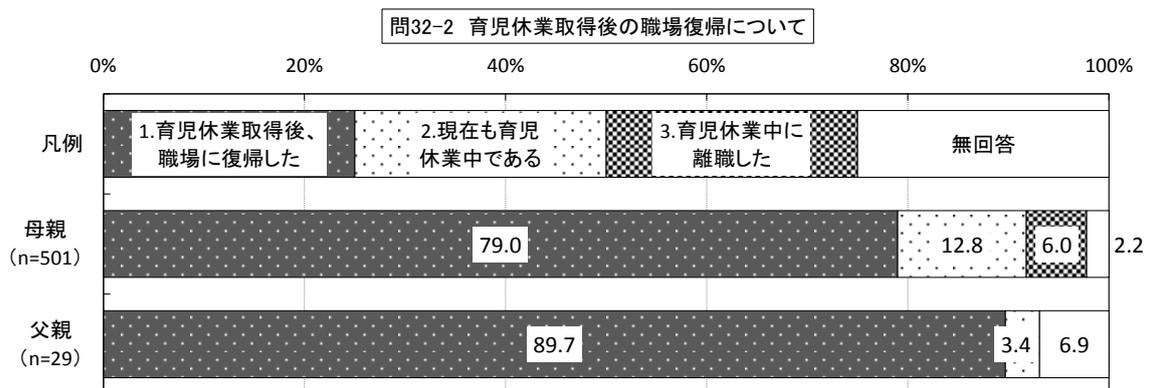


<p>【その他の内容】</p> <p>(母親)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自営業のため</li> <li>・パートのため退職を申し渡された</li> <li>・育児休業を取得し仕事を継続したかったが、社会的に無理と言われ、しかたなく退社した</li> <li>・やめざるえない会社だった、妊娠がわかった時に「いつまでね」といわれた</li> <li>・正社員なのに産休の話も出さず辞表を書かされ仕方なく辞めた</li> <li>・出産の為に転居したため、それに伴って退職。そもそも退職は当たり前という古い考えが周囲にもある</li> <li>・切迫早産の為、手術、入院が必要だったので退職した</li> <li>・保育園と職場の作業時間が合わない為、妊娠中に退職</li> <li>・妊娠中がきっかけで退職</li> </ul>	等
<p>(父親)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自営業のため</li> <li>・仕事を休む考えはなかった</li> <li>・前例が無い</li> <li>・育児に自信がなかった</li> </ul>	等

問32 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問32-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。		
📝 母親・父親の両方について、○は1つずつ。		
育児休業後の職場復帰の状況	(1)母親	(2)父親
育児休業取得後、職場に復帰した	1	1
現在も育児休業中である	2	2
育児休業中に離職した	3	3

育児休業取得後の職場復帰についてみると、母親では「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」が約8割（79.0%）で最も多く、次いで「2. 現在も育児休業中である」（12.8%）、「育児休業中に離職した」（6.0%）となっており、ほとんどの母親が育児休業後は職場に復帰している。



問32-3から問32-4は、問32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

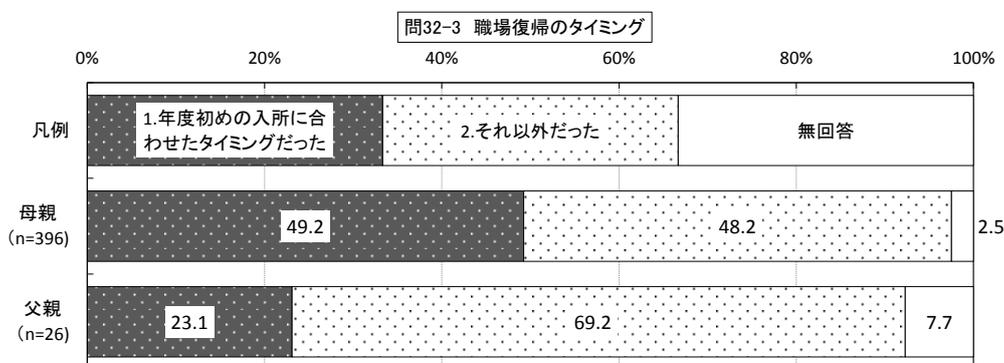
**問32-3 育児休業から仕事に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。**

※年度初め（4月）の認可保育所入所を希望したが、早めに復帰して一時的に認可外の保育施設等に入所した場合なども「1」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

 母親・父親の両方について、○は1つずつ。

職場復帰のタイミング	(1)母親	(2)父親
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1	1
それ以外だった	2	2

職場復帰のタイミングをみると、母親では「1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が約5割（49.2%）、「2. それ以外だった」が5割弱（48.2%）となっている。



**問32-4 育児休業について、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取得したか、希望としては、何歳何ヶ月のときまで取りたかったかお答えください。また、勤務先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があったとしたら、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったか、お答えください。**

 母親・父親の両方について、育児休業の取得期間（実際・希望）をお子さんの年齢（何歳何ヶ月）で記入。（数字は一枠に一字）

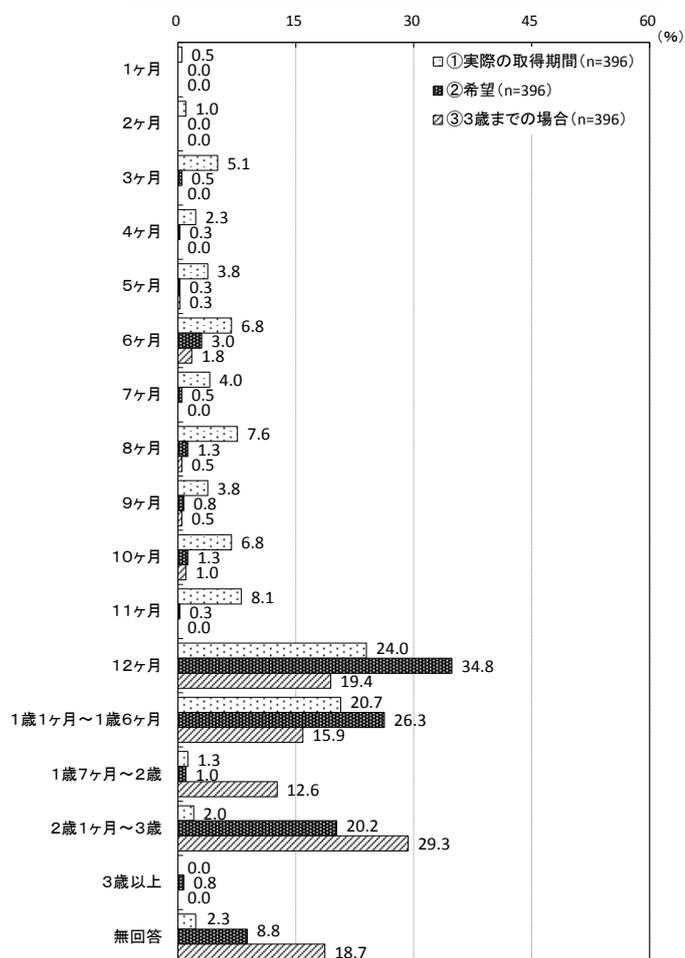
育児休業の取得期間	(1)母親	(2)父親
① 実際の取得期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月まで	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月まで
② 取りたかった期間（希望）	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月まで	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月まで
③ 3歳までに取得できたとしたら、取りたかった期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月まで	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> <input type="text"/> ヶ月まで

実際の育児休業の取得期間をみると、「12ヶ月」が2割強（24.0%）で最も多く、次いで「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」（20.7%）などとなっている。

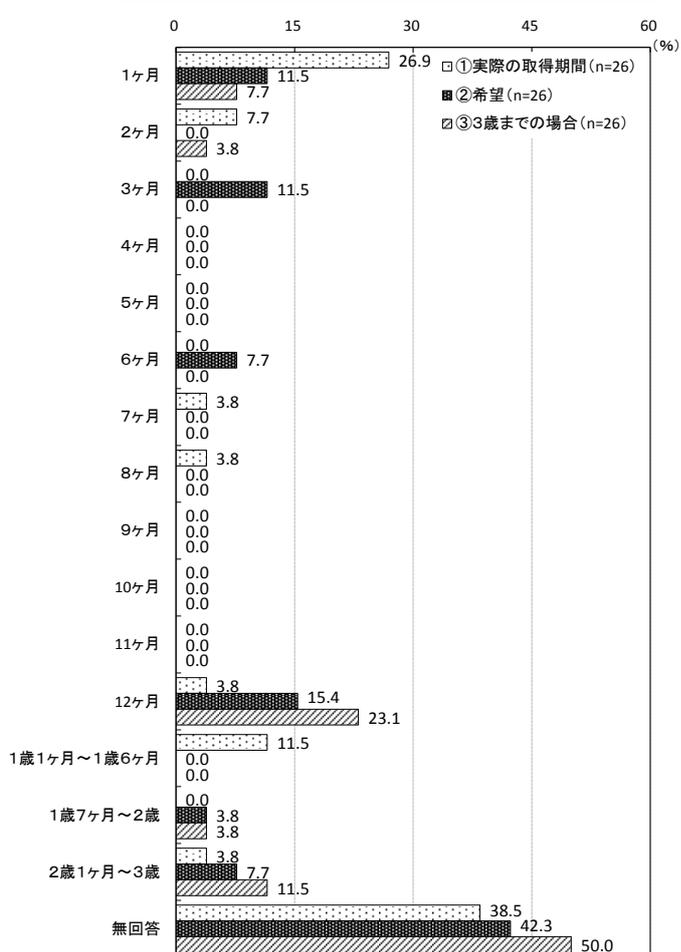
希望する育児休業の取得期間をみると、「12ヶ月」が3割強（34.8%）で最も多く、次いで「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」（26.3%）、「2歳1ヶ月～3歳」（20.2%）などとなっている。

3歳まで取得できる場合に希望する育児休業の取得期間をみると、「2歳1ヶ月～3歳」が約3割(29.3%)で最も多く、次いで「12ヶ月」(19.4%)、「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」(15.9%)などとなっている。

問32-4 (1) 母親の育児休業取得期間の実際と希望、3歳までの場合の希望



問32-4 (1) 父親の育児休業取得期間の実際と希望、3歳までの場合の希望



問32-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

**問32-5 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。**

母親・父親の両方について、当てはまる番号すべてに○。

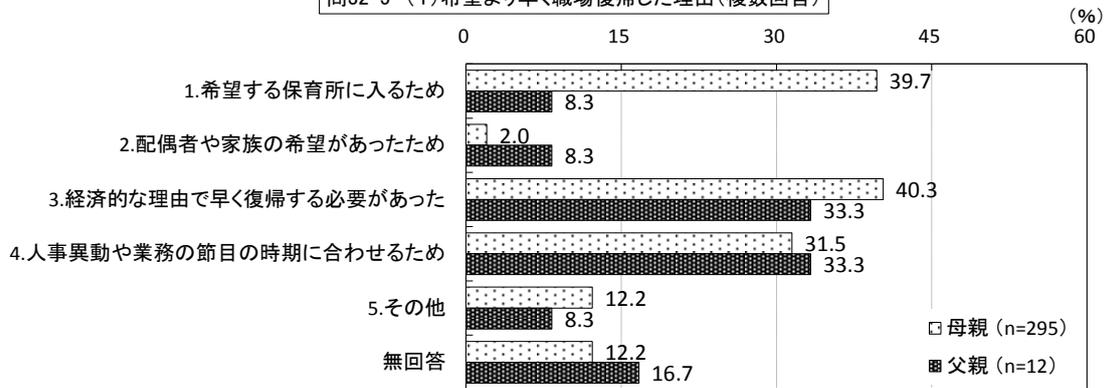
(1)希望より早く復帰した理由	①母親	②父親
希望する保育所に入るため	1	1
配偶者や家族の希望があったため	2	2
経済的な理由で早く復帰する必要があった	3	3
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
その他 ( )	5	5

(2)希望より遅く復帰した理由	①母親	②父親
希望する保育所に入れなかったため	1	1
自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため	2	2
配偶者や家族の希望があったため	3	3
職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4	4
子どもをみてる人がいなかったため	5	5
その他 ( )	6	6

育児休業後、希望より早く職場復帰した理由をみると、母親では「3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった」が約4割(40.3%)で最も多く、次いで「1. 希望する保育所に入るため」(39.7%)、「4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(31.5%)などとなっている。育児休業後、希望より遅く職場復帰した理由については、母数が少なく比較が困難であるが、「1. 希望する保育所に入れなかったため」(6名)が多くみられた。

問32-5 (1)希望より早く職場復帰した理由(複数回答)



【その他の内容】(母親)

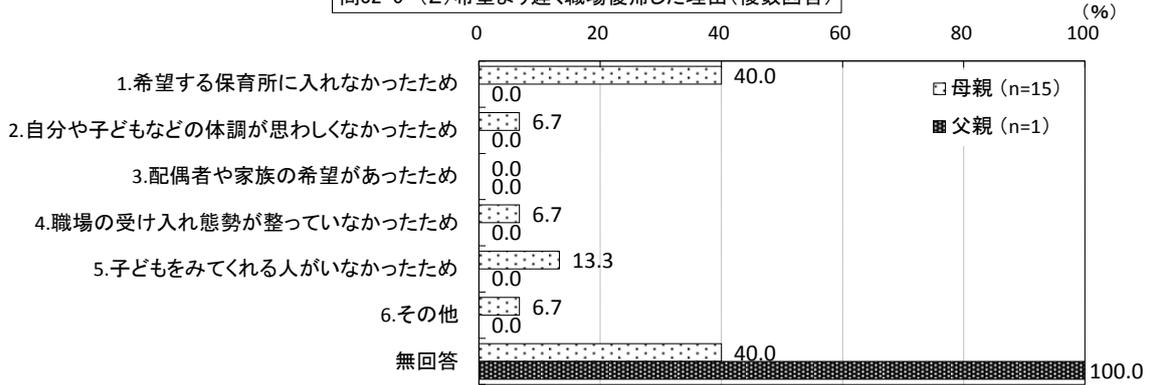
- 職場の規定により
- 職場からの要望により
- 会社が忙しかった為
- 業務が追いつかなかった
- 夫婦のみの自営なので
- 3才までの時短を利用するため

(父親)

- 職場の状況としてこの期間が相当と思い

等  
等

問32-5 (2) 希望より遅く職場復帰した理由(複数回答)



【その他の内容】(母親)

- ・ 待機児童が多く保育所へ入所できなかった

問32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

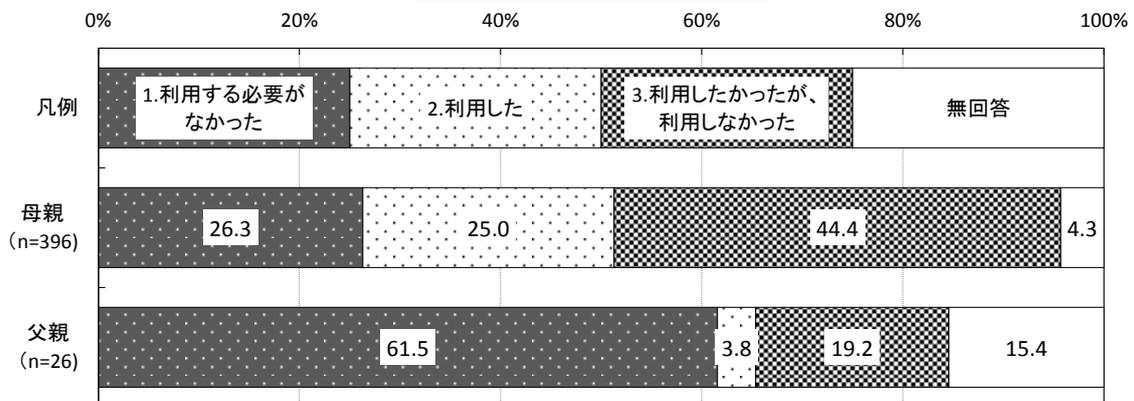
問32-6 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

母親・父親の両方について、○は1つずつ。

短時間勤務制度の利用	(1)母親	(2)父親
利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	1	1
利用した	2	2
利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	3	3

短時間勤務制度の利用状況を見ると、母親では「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が4割強(44.4%)で最も多く、次いで「1. 利用する必要がなかった」(26.3%)、「2. 利用した」(25.0%)となっており、短時間勤務制度の利用が少ない状況にある。

問32-6 短時間勤務制度の利用状況



問32-6で「3.利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

**問32-7 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。**

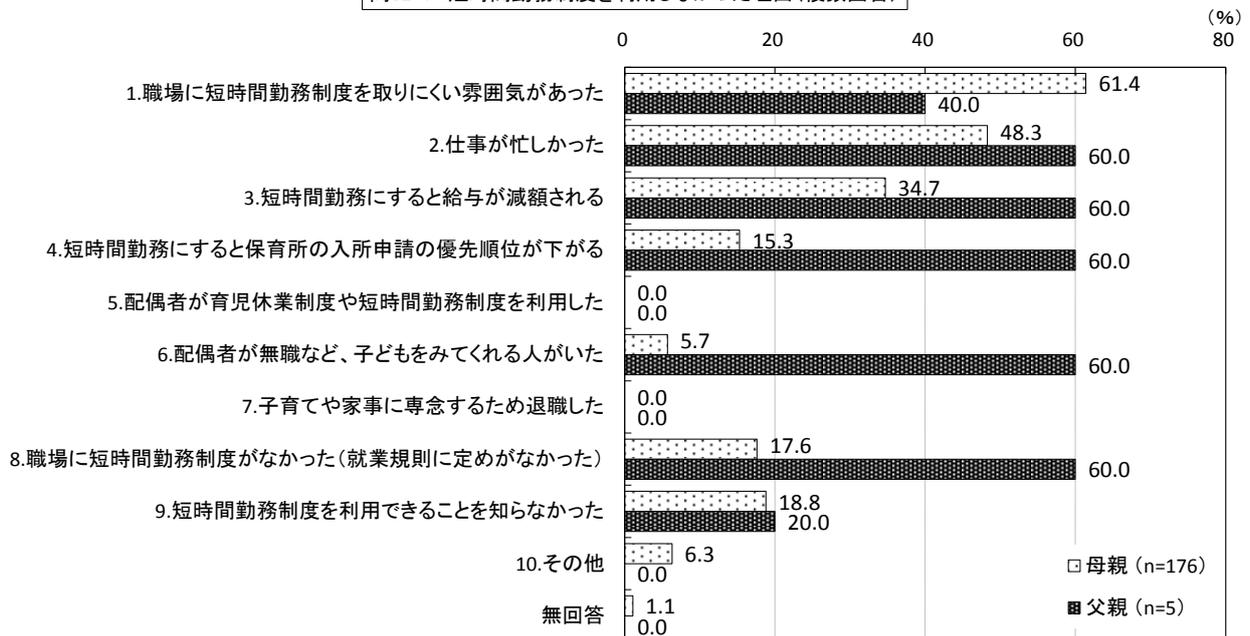
 母親・父親の両方について、当てはまる番号すべてに○。

短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由	(1)母親	(2)父親
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1	1
仕事が忙しかった	2	2
短時間勤務にすると給与が減額される	3	3
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	4	4
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5	5
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	6	6
子育てや家事に専念するため退職した	7	7
職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	8	8
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9	9
その他（ ）	10	10

短時間勤務制度を利用しなかった理由をみると、母親では「1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が6割強(61.4%)で最も多く、次いで「2. 仕事が忙しかった」(48.3%)、「3. 短時間勤務にすると給与が減額される」(34.7%)などとなっている。

また、「9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」(18.8%)や「8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」(17.6%)といった回答もみられた。

問32-7 短時間勤務制度を利用しなかった理由（複数回答）



【その他の内容】（母親）

- ・前後 30 分のみであり、あまり有意であると感じなかった
- ・仕事内容（年棒制）で難しかった
- ・短時間が出来なかった為、パートになった
- ・時短にしても仕事の量が減るわけではなかったため利用できなかった
- ・職場より短時間勤務制度は出来ないと言われた（規則では制度有）
- ・フルで育休取得した場合、利用できないから（規則）
- ・職場内に短時間勤務をしている人が既におり遠慮してしまった

等

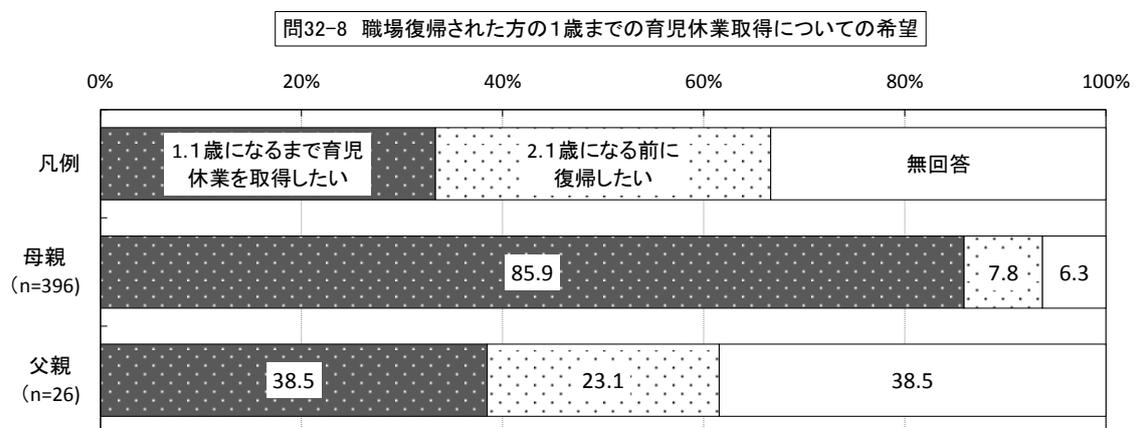
問32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

**問32-8** 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

 母親・父親の両方について、○は1つずつ。

1歳になるまでの育児休業取得希望	(1)母親	(2)父親
1歳になるまで育児休業を取得したい	1	1
1歳になる前に復帰したい	2	2

職場復帰された方の1歳までの育児休業取得についての希望をみると、母親では「1. 1歳になるまで育児休業を取得したい」が9割弱(85.9%)、「2. 1歳になる前に復帰したい」(7.8%)はわずかであった。



**問33** 育児休業給付、保険料免除の仕組みについて、下記の説明を読んだ上でお答えください。

「育児休業給付」…子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み。

「保険料免除」…子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み。

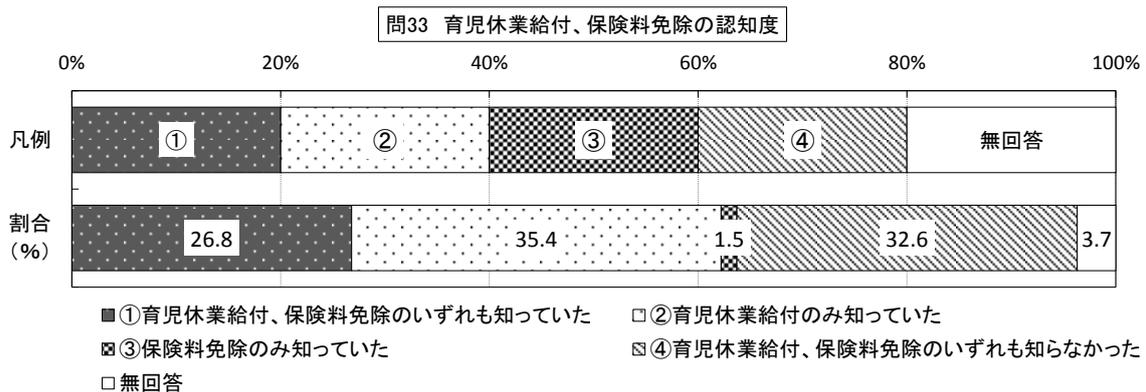
あなたは、育児休業給付や保険料免除の仕組みがあることをご存じでしたか。

 ○は1つ

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

育児休業給付、保険料免除の認知度をみると、「2. 育児休業給付のみ知っていた」が4割弱（35.4%）で最も多く、次いで「4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」（32.6%）、「1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」（26.8%）、「3. 保険料免除のみ知っていた」（1.5%）となっている。

育児休業給付、保険料免除のいずれも知らない回答者が3割強となっており、育児休業取得を見送る要因になっていると思われることから、これらの周知を進めていく必要があると言える。



## 子育て支援について

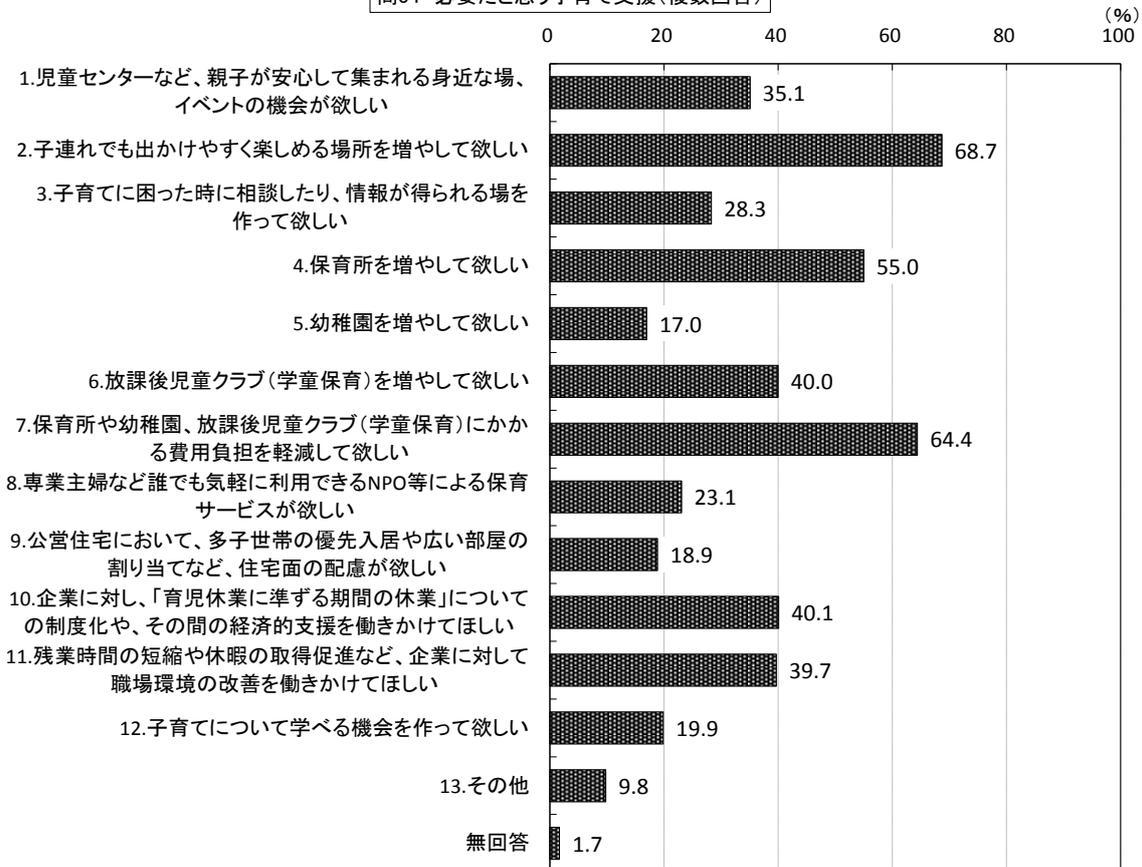
### 問34 子育てにはどのような支援が必要だと思いますか。

当てはまる番号すべてに○

1. 児童センターなど、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい
3. 子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場を作って欲しい
4. 保育所を増やして欲しい
5. 幼稚園を増やして欲しい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）を増やして欲しい
7. 保育所や幼稚園、放課後児童クラブ（学童保育）にかかる費用負担を軽減して欲しい
8. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが欲しい
9. 公営住宅において、多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮が欲しい
10. 企業に対し、「育児休業に準ずる期間（1～3歳まで）の休業」についての制度化や、その間の経済的支援を働きかけてほしい
11. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい
12. 子育てについて学べる機会を作って欲しい
13. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

必要だと思う子育て支援をみると、「2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が7割弱（68.7%）で最も多く、次いで「7. 保育所や幼稚園、放課後児童クラブ（学童保育）にかかる費用負担を軽減して欲しい」（64.4%）、「4. 保育所を増やして欲しい」（55.0%）、「10. 企業に対し、『育児休業に準ずる期間（1～3歳まで）の休業』についての制度化や、その間の経済的支援を働きかけてほしい」（40.1%）などとなっている。

問34 必要だと思う子育て支援（複数回答）



【その他の内容】

(保育所について)

- ・認可保育園を増やす
- ・保育所の質の向上
- ・認可外保育園の環境を改善してほしい
- ・会社所有の保育所を勤務先となり、(近く)にあったりするととても良い
- ・認可保育園に入りたい時に入れるようにしてほしい
- ・兄弟で別の保育園に通園していて大変なので、同じ保育園に入れるようにしてほしい。※11月頃に転園の案内があるが、よくわからない。ここ数年、制度(手続き)が変わったのか、振りまわされた
- ・とにかく待機児童がなくなるよう保育園を何とかしてほしい
- ・育児休業中の為、認可保育園に申し込みできないことを改善してほしい。宛名の子を認可保育園に入れようとしたが、4月1日時点では下の子に係る育休中のため申し込みできなかった。育休は赤ちゃん(下の子)を育児するために取得したものであり、上の子を育児するための要件ではない。下の子の育休の時は、上の子を保育園に入れるようにしてほしい
- ・認可保育園の年度途中の入所を可能にしてほしい。認可保育園での学童保育を増やしてほしい
- ・希望する時期に認可保育所に必ず入れるようにしてほしい。せっかく育児休業が1年間もらえるのに、保育園に入園しやすくする為に育児休業を早く切り上げて仕事復帰している母親がいっぱいいる
- ・保育所入所に関して継続新規問わず毎年プールして審査し、入所決定してほしい。入所中の子どもはそのまま優先で継続入所できる宜野湾市の今のやり方はおかしいと思う。他市町村等も参考にすべき
- ・保育園にしながらスイミングやピアノ、習字などの習いごとを希望者にはさせてほしい
- ・保育所を増やすというか、保育士さんの人数を増やして安全・安心な保育園がほしい
- ・出産が1月だと認可保育園の年度初めの申し込みができず、出産後すぐに仕事復帰をしたくても待機児童となってしまう。不公平だと思うので、早生まれでも0歳児がすぐに入れるような受け入れ態勢を取ってほしい
- ・保育時間の延長をしてほしい。市の認可保育園に入れたいが、職場が遠い為、迎えが間に合わない。その為、市外の認可外を探した

等

(保育料について)

- ・「公立・認可」と「認可外」の金銭的差をなくしてほしい
- ・1人目を認可外保育園に預けている場合でも、2人目がもし認可に入所できる際は、半額免除対象としてほしい
- ・4月から学童保育を利用するが、利用料が高いことが気になっている。児童センターの学童を利用することも考えたが(安い為)児童館まで距離があり、小学校1年生の足でその距離を歩かせることに不安があり、利用しづらい。もう少し利用しやすい方法(迎えだけでもあったら安心)を考えてほしい
- ・保育料について、認可園に入れなかった場合やむを得ず認可外に預ける際の負担を認可園と同様にしてほしい。不公平である
- ・認可外保育施設に対しての保育料に対する補助金がほしい
- ・共働き世帯でも保育料の負担が大きいため、階層区分をしてなるべく負担減になるようにしてほしい

等

(幼稚園について)

- ・幼稚園で給食があり、夕方まであってほしい
- ・幼稚園の預り保育の時間を18:30又は19:00にしてほしい。勤務先が遠くお迎えが間に合わない
- ・幼稚園年中児の預かり保育の実施、支援の必要な子も利用できると思う。また、幼稚園での給食実施を希望する
- ・認定こども園のような幼保一体の園があるとうれしい。幼稚園を経験させてから小学校に入れたいので
- ・幼稚園が給食制や土曜でも通園できたり、午後まで利用できるようにしてほしい。共働きには、弁当作りや午後の学童保育など負担が大きい
- ・幼稚園の預かり保育にもお稽古事(そろばんやスイミング)のバスが来て行かせられる制度を作してほしい
- ・幼稚園の預り時間の見直し。市外で働いている場合、利用できない。8:15~では始業時間に間に合わない為、上の子は利用しなかった(できなかった)

等

(子育て環境について)

- ・支援センターをもっと増やしてほしい
- ・緊急の小児科が少ない
- ・子育てしやすい環境を作してほしい
- ・子連れでいける飲食店や習い事を増やす
- ・子育てサロンの公民館が古い所は、新築してキレイにしてほしい。地元を利用したいが、子育て支援センターが掃除も行き届いているので、センターだけを利用している
- ・親が我が子を自分で育てあげられる環境。もしくは忙しくなってあげられない状態なら家事を代わって行ってくれる人
- ・児童が安全に過ごせるよう車通りの多い道路では信号機の設置をしてほしい
- ・自分の運転で移動ではなく、タクシーやバスをもっと安く利用できるのいいと思います。そうすれば移動時間に母親は少し体も休めるしほっとする時間ができると思います
- ・公共交通機関を充実させてほしい。車がないと何処にも行けない
- ・沖縄には子どもが遊べる場所が少ないと思う。こどもの国しかない。他の遊園地など作れると嬉しいです
- ・宜野湾市は高速入口も近く車が多い為、歩行者用の横断歩道や信号機をもっと整備してほしい。危なくて子ども達を遊びに行かせたり、登下校時にとっても不安がある

等

(子育て支援について)

- ・児童手当を増やしてほしい
- ・母子家庭世帯への援助や配慮等
- ・子育て支援助成金(保育料無料など)
- ・ファミサポの料金軽減
- ・学生の間は医療費タダ
- ・中学生15歳までの医療費無料を希望
- ・医療費をせめて小学校卒業するまで市で負担してもらいたい
- ・子ども手当はいらないので保育所-幼稚園-小学校-中学校の一切の費用を無料にしてほしい(毎月の給食費、徴収金、PTA会費等含む)

【その他の内容】

(子育て支援について) 続き

- ひとり親なので利用できる有料の場所が安くなるようにしてほしい
- 好きな時間に(夜間、休日、仕事のあとなど)子育て制度について訪問して説明してくれるサービスがほしい
- 比較的元氣な高齢者(祖父母)世代が子育て支援にできる環境(有料システム)にしたら、高齢者も働く場、少しの給与があり、預ける側も低料金なら利用しやすい
- ファミリーサポートを利用したいが、本当に預けて大丈夫か不安がある
- 双子の会みたいなものがあると良い

等

(社会環境について)

- 子どもを中心と考えた職があってほしい。短時間で、毎日でも構わないけど、病気になった時は早引き、休み等、対応できる職場。そういう職業がなければ作りたい。
- 企業に対して3歳未満児に対する事業所内保育施設の設置を働きかけてほしい。フルタイムで働くには、0歳児及び1歳児を長時間(8~10時間)預けなければなりません、市内の認可外保育園のほとんどが適した環境ではありませんでした。(0歳児・1歳児のお部屋はものすごく狭いです。保育士も少ない)そのため、保育所を育児休暇中に決めかね、復職できませんでした
- 企業は出産を期に辞めさせようとしないう働きかけてほしい
- 子育てしながら働き続けやすい職場環境となるように行政がサポートしてほしい。基本的に子どもの欲求に応えながら安心して働きたいです。子が病氣や精神的に不安を抱えている時に求めているのは安定した親等の愛情だと思います。それが満たされないうまま育っていく環境にはしたくないです。身体は大きくなって、心は満たされず安心感の獲得に失敗した「大人」へと育ってほしくないです。親は、子どもの大人となった姿を見通しながら子育てしています。安心して子育てが続けられる環境づくりを行政には積極的に行ってほしいです
- 特に父親の育児休暇を職場で取りやすくしてほしい。どうしても母親の負担が大きいのと思う
- 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対する職場環境の改善働きかけは、男性側の職場での対応について強く思う
- 小さい子どものいる主婦でも働きやすい条件でパートに就けるようにしてほしい、選択肢が少ない
- 企業に対しアルバイトでも育休を取らせてほしい。育休中は無給(育児給付なし)でいいので、職場に復帰できるようにしてほしい
- パートは子どもに合わせて休日がほしい。時間も対応したい

等

(公園について)

- 大謝名地区に公園を作してほしい
- 公園を増やして毎日キレイにしてほしいです
- 新城に公園を作してほしい
- 夢と希望のためのテーマパーク。遠足ツアーバスを隔週で運行
- 明るく遊具の多い公園、広場が必要。バドミントンや自転車に乗れるような広さ
- 公園はあるが、暗く、安心できる所があまりないのでもったいない。トイレに行きにくい、通りから目が届きにくい等、見回りなどの支援があると安心
- 公園に屋根付きの休憩所を増やしてほしい。大きな公園でも少ないし、小さな公園では無いに等しく、夏場など日射しの強い中、遊ばせるのに不便を感じます
- イベントとかもいろいろ公園みたいなものもほしい。もっと気軽に来て、帰れる

等

(講座・イベントについて)

- 土日にイベントや講演会などを行ってほしい
- 著名人の子育て講演会等を積極的に行ってほしい
- 父親への子育てに対する学びの場所等が増えればと思います
- 以前の『子どもをどうならぬ育て方』講座にとっても参加したので、また開催してもらいたいです。様々な不安や悩みを解消するきっかけになるような講座や機会が(増えて)あってほしいです
- センター等のイベントはほぼ午前なので、午後のイベントも増やしてほしい
- 子どもの栄養、離乳食作りを時期にあわせて教わる機会がほしい
- 子育てサロンのイベント内容などを広報誌に載せてほしい(児童センターのように、まだ利用した事がないのですが、おしゃべりをしに行くにもイベントなどがあると参加しやすいです)
- 支援センター等で、子どもが楽しみ成長(発達)にプラスになるイベントを増やしてほしい。(浦添市は充実しているセンターが多いため、市外利用していた事があるが、できれば地元での交流を大切にしたいので機会を増やしてほしいです。インターネットで調べてわかるよう、HPの充実が図られると良いと思う)

等

(一時預かりについて)

- 1日1時間でも安心して子ども預けてリフレッシュできる母の場がほしい
- 土曜日など子どもを預けられる施設がほしい
- 急用時に利用できる施設等、簡単に費用も低価格で出来なければならない
- 土日の一時保育も、単発でつけられるよう施設がほしい。保育料の方が給与より高くなるようなサービスでは意味がないと思います

等

(土日について)

- 支援センターを土日開放してほしい
- 土曜日、日曜日に子どもに関する公共施設を開けてほしい
- 日・祝に1人で子育てが苦しかったです。日・祝に助けてくれる場所が欲しかったです
- 土日に子どもを預けられる場所、子連れで遊べる場所(屋内)がほしい

等

【その他の内容】

(病児・病後児保育事業について)

- 責任のある仕事を安定して受けられるような病時保育の充実。現在は時間が朝遅いので、午前中の仕事はできない
- 夜間や病児保育の利用料を一定日数でいいので、安くしてほしい
- 療育施設、事業所が全然無い
- 宜野湾市は病児保育施設が少なすぎます。何度も利用したくて受診しましたが、キャンセル待ちが数名、常にいる状態で他市町村まで受診。結局利用できず父母共に職場を欠勤することになった
- 病気の時に預かってもらえる場所も増やしてほしい

等

(送迎について)

- 子どもの習い事等において送迎してくれるサービス
- 放課後、児童クラブからの送迎バスがほしい

等

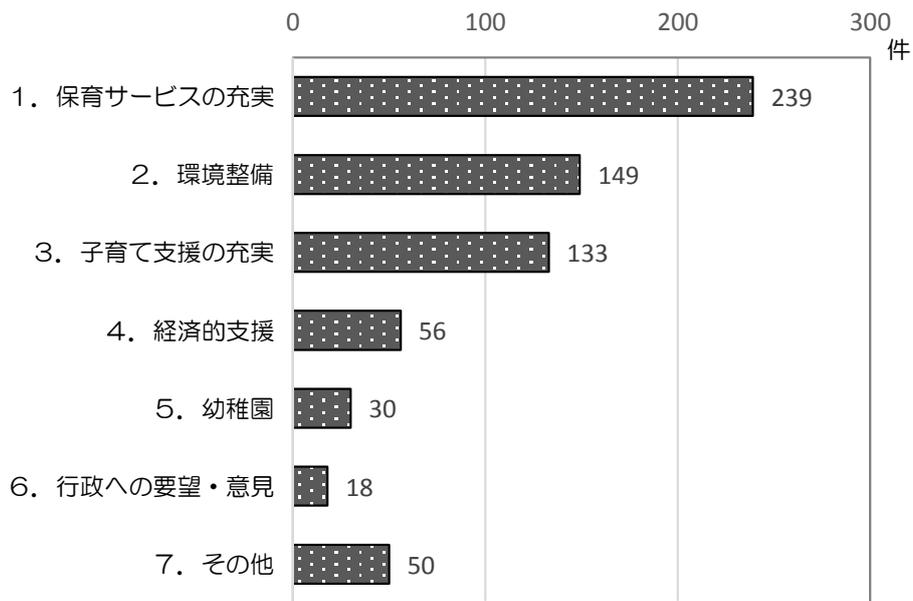
(その他)

- 土曜に利用できる子育てクラブなど作ってほしい。地域の子とも交流させたい
- あらゆる制度について、もっとわかりやすく告知等、個別に案内等、強化してほしい
- 市登録情報(家族状況等、把握できると思うので)にてサービスの内容詳細を教えてください。若しくは、個々の状況に合うだろう支援情報が頂きたい
- 私的に宜野湾市の児童センターのクラブにとても満足しています。児童センターのクラブ活動の種類の多さ、本格的な学び事を低価格で利用できとても助かっています
- 那覇の大名児童館のように、赤ちゃんが安心して過ごせる場があれば、とてもうれしいです
- 親が困っている事について、専門的なアドバイスをもらいながら一緒に子育てをしていると安心感を得られる事が大切と思う。いつでも気軽に相談できる相手がいるのはとても心強い事です
- 学童保育の利用時間を延ばしてほしい
- 安全の為に、学校に学童保育があれば良い。6年生まで見てほしい
- 虐待などされている子がいたら油断せずに全力で助けてほしい
- 市町村が違って、認可保育園や校区外の学校へ通うことができるようにしてほしい(両親とも夜勤があり、校区内の通学の際にお迎えや夜間の世話ができません、住所をうつして通学させ、実家へお願いしている。市町村が違うためとても気がかり。住所の問題で引っ越しも難しいので、高校のように校区外でも通えたり、両親が夜勤などで子どもの面倒が見れない人は特別に何か対応できる制度がほしい)
- 近くに団地をつくってほしい。上原、野嵩、新城、普天間あたりにはない
- 子育て、特に子どもが小さい間は、母親の負担が大きい。その間の精神的なサポートなどを配偶者がしてあげるようなことが必要。これからの教育等で、支え合って育児ができるような人を育てていけるようにしてほしい。早い時期からの「父親、母親になった時のために」というような教育をするべき
- 今で充分ある
- 特にありません

等

**問35** 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、  
ご自由にご記入ください。

「1. 保育サービスの充実」(239件)に関する内容が最も多く、次いで「2. 環境整備」(149件)、「3. 子育て支援の充実」(133件)についても、100件を超えるご意見が寄せられている。



## 1. 保育サービスの充実

計 239 件

保育施設を増やしてほしいが、先生の質や保育内容の質の高い施設でないと思いません。そのような施設があって安心して預けられる、又は預けたい(積極的に)場所があれば私も働きながら子育てしたいです。
認可園の待機が多すぎてエントリーしてもムダだとあきらめてしまっている状態です。それから育児休暇取得中は認可園に入ることができない状況も大変困っています。
子供が病気になった時にデイケアを受けたいが、そこで別の病気をもらってしまわないか心配で結局利用できない点もあります。疾患別にするとか少人数でも対応できればありがたいのですが・・・すこしでも上記の状況が良くなることを願っています。
待機児童の問題をよく耳にしますが、認可保育園には母親は働いていなくても書類を偽造し入園している人も実際にいます。本当に必要としている人が利用できるサービス作りを求めます。
認可外保育園に現在子どもを通わせているのですが、保育園には何の問題もないが、先生の入れ替わりがはげしく、子どももせっかくなので慣れたのに、かわいそうです。もう少し認可外保育園にも支援をしたり認可園にしたり考えてほしいです。
認可保育園を増やしてもらいたい。
子どもが2人いますが、2人共に認可保育園に入れませんでした。共に認可外保育園に通っている間の経済的負担は大きく大変でした。上の子が通っていた園が認可園になる時、生後2ヶ月になる下の子を連れて(育児休職中)新たに保育園探しをしました。大変な思いをし、とても暮らしにくい市だと思いました。
毎年認可園は新設されていますが、それでも足りないのもっと増やしてほしい。
子ども(上の子)が認可保育園に在園中に2人目(下の子)を妊娠・出産するとフルタイムで働いている人は育児休暇をとって最長3年まで、上の子を保育園に入れていられるが、パートで育児休暇が取得できない人は仕事を辞めるしかなく、その場合は5ヶ月しか上の子を保育園に通わせられない。その差が平等ではない!!せめて育児休暇が取得できない人も1年ぐらいは園に通わせてほしい。
認可保育園は働いている人が優先だが、これから仕事を見つけようとする人を優先にしてほしい。働いていない人はお金もなく、認可外に通わせるのが(金銭的に)大変なので、認可園に入れるまで働けない現状です。
認可外保育園の設備等、もう少し監査などして、安心して預けられる環境を作ってほしい。
仕事をしているので、認可保育園に受かって欲しい。待機児童を減らして欲しい。保育園、幼稚園を増やして欲しい。もっと認可保育園を増やして欲しい。
今年の認可保育園の申込の際に、「兄妹は別々でしか入れないです」と言われ、兄妹が当たり前と一緒にの保育園に入れる様に市民の目に見えるよう努力して欲しい。
保育所について、認可園、認可外保育園のどちらでも、家族のニーズに沿えばこだわらないが、認可外保育園でのアレルギー対応などに差があり、認可園希望が強くなった。しかし、待機児童が多く職場復帰のタイミングなどで不安やその他のサポートを考える時期は母親にとって苦痛・ストレスが大きいと思う。以上より、やはり待機児童の解消へ尽力して頂きたいと思います。
毎日安心して働くことができるのは、安心して預けることができる所、保育所があるからだと思えます。今まで、兄弟別々の保育園になっても、アンケート調査を行い、兄弟同一の保育園にしてもらうことができ、働く上でとても助かりました。そして、保育課の方も頑張っているのだと感じました。しかし、今年度はアンケート等も行わず、同一に希望であれば一度退園してから申し込むようにという事があり、とてもショックでした。兄弟別々の園ということは送迎のことや、行事のこと(行事がかぶるとどちらかにしか参加できない)等色々大変なことがあります。浦添市や那覇市のように兄弟一緒にの園にできるようもっと頑張ってほしいです。また、1. 2. 3月生まれの子は4月に入所したくてもまだ小さく預けきれないのでとても損だと思えます。4月入所だけでなく、他の月にも途中入園があるとありがたいです。
親族に自営業をしている方など、もう少し厳しく調査してほしいです。働いていない方が多く、認可園に預けている方多いです。その為認可園に入れられない人もいます。宜しくお願ひします。
保育料未納の人、3ヶ月滞納する場合は退園してもらおう。子ども手当から差引きするなど対応すべきです。そうすれば滞納者も減ると思えます。
保育園にはいつもお世話になっています。いつでも入所できる認可保育園が増えたら、もっと子育てしやすくなると思えます。よろしくお願ひ致します。
私(母)の実家が県外なので、子どもを預かってもらう事が困難です。父親の両親は母だけで、近くにはいるのですが義母も仕事をしている為、こちらの都合で預かってもらうことがとても難しいです。なので、保育所に入りたいけど入れなかったり、基準がどこのか分からないです。働かないとやっていると入れないから、日数も増やせない。身内にみてくれる人がいないから、保育園に入れないけど、入れないから仕事を休まなければいけない・・・子どもの多い沖縄だからこそ、子どもの為に、子どもに優しい街にしてほしいです。沖縄の女性は皆働き者です!!子どもの為に一生懸命働いています。保育園も増えたら嬉しいです。うちも今は一時預かりですが、ちゃんと今行っている保育園に入れるといいです!!
認可外保育園で働いていました。4カ所の園を見ましたが、どこの園も最悪でした。食事や衛生面でひどいところもあれば、せまい一室にギュギューに子どもを入れている園。仕方なく同じ園で働きながら、子供を通わせていましたが、食事の時無理矢理口にスプーンでつこまれたり、いつも早く早くとせかされているのをたまに見かけ、本当にかわいそうだと思います。知らないところに預けて、知らなかったことにした方が良かったのか、何度も悩みました。(認可園にはもちろん希望を出しています。)今後認可園や(きちんと基準を満たしている保育園保育所など)増えることを切に望みます。
子供がもう少し成長(2~3才)したら、一時保育や保育施設を利用しようと考えている。保育施設に選択肢がもっとあれば、私のニーズにあった所を見つけられる。(一時保育も今すぐにも活用したいが、利用料金が少し高く感じるので控えている。)
仕事が土日関係なく夜勤もありランダムなので・・・保育園幼稚園でも親の仕事時間に合わせて預かってくれるシステムがほしい。(途中でお迎えする必要がないように)上の子の時は一日で保育園→ファミリーサポート。小学校→学童→ファミリーサポートと、二重三重にお迎え、預ける状況があり、子供自身にも経済的にも負担が大きかった。また、その中でも習い事(英会話、学習、スポーツなど)を組み合わせてできると(料金がかかっても)、もっと安心安全にお任せできると思う。
認可保育園に入所したいのに、働いてないと順位が後ろの方になり、なかなか入所できない。働くとしても保育園に入所していないから難しいと言われ、どうしていいか分からない。働きたいのに働けない。
認可外の保育園だけでも、祝日の保育があると助かる。保育料は高いのに、認可園と同じ日・祝日が休みじゃ損した気分だ

し、結局働く所を探しづらい。
認可保育園を増やしてもほしい。
一時預かり保育を利用していましたが、1ヵ月前に予約しないと行けなくて、仕事をしている人の為のもの、という感じで利用しにくかったです。専業主婦ですが、私の体調が悪い時や急用（お葬式とか）の時は無理。給食の準備の為に遅くても1週間前には予約しないといけないとの事だったので、ならばお弁当持参で当日預かってもらえる様にしてくれたらもっと利用したのに・・・普段は祖母が預かれるのですが、祖母が家族の介護や自身の体調不良の時はお願ひできません。（他に預けられる人がいない）ファミリーサポートセンターもよほどの事じゃないと急に、とは利用しづらいので、もっと気軽に利用できる施設があれば良いと思う。那覇や泡瀬の大型スーパーや量販店にも預かる施設があって、あれぐらいの気軽さ（2時間～半日、1日程度）の施設が宜野湾市にあったらいいのに、といつも祖母と話しています。家庭保育するより仕事して保育園に預けてしまう方が、結局は楽かと思う事もあります。折角のかわいい時期と一緒に過ごせるのに、たまの急用や体調不良の時にすごく悩む・・・というのは子育てしにくいという事の一つになると思います。
以前は我如古に住んでいて保育園もたくさんあった気がしますが、真志喜に引っ越して保育園が少なく思います。下の子は運よく（少し遠いですが）認可に入れましたが、上の子はずっと入れません。親の仕事にも影響が出てしまいます。保育園が偏っていませんか？
保育園に入所出来るようにしてほしい。また、保育料も安くしてほしい。本当に支援しないといけない母子世帯や生活保護世帯もいますが、そうじゃないのに受給している人もいて、その家庭が優先され認可園に入所できていると考えると、高い税金を払っている事さえ、納得できない。どの家庭の子も、公平に希望する保育環境でござ、全員同一金額（出来れば無料）で通える様にして欲しいです。賃金の低さなど、沖縄は共働きがあたりまえ。未来の納税者である子供たちを大切に、そして増やす為にも対応して欲しいです。
宜野湾は比較的住みやすい所だと思います。他の市町村へ動きたいと思ったことはありません。子育てもしやすい地域だと思います。でも子どもの人数のわりに保育園（認可）や幼稚園が少なく感じます。待機児童も多いので、解消されるように改善してほしいです。
認可保育園を増やして頂きたいです。
認可保育園には、本当に入りたい時には入れず結局認可外に預けて、金額的に仕事しても半分以上が保育料にかかり、働くが楽にはならず、子供が小さい時は大変でした。パートでも入れるようにして欲しいと思います。（その頃は、子育てに余裕がなくイライラしたりしていました。）
保育園の待機児童が多すぎます。
土日専用の保育園があると良い。ショートステイサービスも実施して欲しい。ツアーをくんだ仕事もできるようになるので、子供を預けたくてもサービスが少ないため、保育園・幼稚園を選択の余地がありません。預かってもらえるだけラッキーという立場で、サービス内容にこだわってチョイスができないのが現状です。
自営業、フリーランス、会社経営者などは、自分をブランドにして仕事をしているので、子供が病児でも仕事ができるよう公共のサービスもバックアップして欲しい。
育児休暇中から仕事に復帰する時、4月より仕事復帰→新年度の認可保育園の申込が出来ないのが大変。現在は昨年12月の時点で仕事についていないと申込できないシステム。改善してほしいです。
第2子や第3子の出産時、育児休暇を取るにせよ2～3人の面倒はみれない。（赤ちゃんで手いっぱい）認可保育園の登園を継続させてほしい。
保育園の認可を増やしてほしい。ムリですと言わないでほしい。保育園に入れても、兄弟で別々の保育園に入れるとかばかりかけている。同じ保育園に入れるなら、今回はあきらめるとかあり得ない！認可を増やすとしても、認可外保育園の保育料の減額サービスを作ってほしい。
突然、市役所保育園についての電話がありました。「勤務時間4時間以上が保育園入所の条件のため、在園が希望なら会社側へ時間延長をして下さい。それが無理なら退園の形となる。通常3ヶ月の期間があるが言い遅れたので1、2週間で返事してほしい。」むちゃくちゃです。私の仕事は残業も時々あるが、かれこれ8年目になる。保育園も第一希望も叶う事なく、自宅から遠方の保育園へわざわざ遠回りをして通園をしている状態。この子が生まれる前から仕事をし、育児休暇も頂き、保育園にすぐ入園する事が叶わなかった為、育児休暇を延長もしてもらった。30分もかけて通園している〇〇保育園の先生方もやさしく感謝しています。2歳で入園し、5才の今になって、勤務時間が足りないから退園しなさいはないでしょう？！耳を疑いました。一度合格させた後、なぜ不合格を簡単に電話1本で終わらせるのでしょうか?!条件に合わないのになぜ認可保育園の入園のお知らせをあの時にしたのか?!考えれば考える程、腹立たしいです。子供も慣れてきたのに・・・区域外だし、小学校は別々になるが良い環境で保育して欲しいという私たちの希望を簡単に踏みつけるものだと感じます。このアンケートも結局は形なのでしょう。もっと人間として配慮して欲しい。「会社側に時間延長をお願いして下さい」の1点ばりの対応に、私の訴えは消されていくんでしょうね。支援とは名ばかり。もし、本気で親や子のこれからを考えるなら、今の自分達のやっている事を考えて下さい。私は少なからず今後について何が本当に良いのかを考えて答えを出します。私はウソをついて入園させた訳ではない事。書類も正直に毎年提出していた事。もし、あの入園前に戻るなら、途中入園の電話をお断りしています。こんなに残念な想いを経験した事ありませんでした。今後同じ想いをさせないで下さい。もちろん他の方へもです。
放課後学童クラブや認可保育園をもっと増やして欲しい。
息子が2人います。希望の認可保育所に入所することはできませんでしたが、2人とも同じ保育所に入所できたのでとても助かっています。本題ですが、先日知り合いが第一希望の保育所に入所することが決まりました。待機児童で40番待ちだと聞いていたので、このお知らせを聞いた時ビックリしました。役所はどの基準で、どのような家庭をどのように認可保育所に児童を割り当てているのですか？運が良かっただけでしょうか？こんなことがないように、もっと認可保育所を増やして下さい。私は自宅から車で5分の職場を子ども達の送り迎え片道30分～60分かかっています。職場のすぐ近くに認可保育所がありません。希望の保育所に入所したいのなら、また手続きを最初からと言われました。市民に優しい役所になってほしいです。
保育園を増やして欲しい。先天性疾患の子を受け入れてくれる保育園を増やしてほしい。
講座の受講など、平日の19時～21時なら仕事しながら通えるのに・・・子供2人となるとファミサポの利用料が受講料より高くなるので通えない。夜働きたいとは思わないし、子供を預けて飲みに行きたいとは思ってないけど、18時以降は何もできない・・・のもツライ。制限付きでいいので、夜間保育をちゃんとした施設でやってほしいです。ヨガやスポーツクラブに通うなど、本当は行きたい人はいっぱい居ると思います。でも行けないから、子供を連れて居酒屋行ったりするのは??

<p>仕事をしている母親が多いと思いますが、仕事をしていない専業主婦の方と隔たりがないよう認可保育園も、仕事をしていないお母さんが預けられる世の中になってほしい。園が補助を行い家計に優しい保育料にし、安心して子供を預けられ、第2子、第3子と生んでも安心かなと思う子育てができればと思います。</p>
<p>保育園等の説明責任が充分ではない。例えば、園の立て直しについてなど、保護者への説明が後手後手。保育園を選ぶ条件の一つは住まいや職場から園が近いことだが、仮設園は（仕方なかったのかもしれないが）かなり遠く、生活に支障がとて出た。それに対し、園は子どもの為の立て直しなので仕方ないだろう・・・という感じが伺えた。急を要する立て直しだったのか？その説明もない。認可園の相談しやすい雰囲気作り。なかなか直接意見や要望が言い辛い・・・意見箱などあると良い。</p>
<p>とにかく一時保育も含めて保育園が足りないので、早めに対応していただきたいと思います。</p>
<p>認可保育園をもっと増やして、受け入れ数を増やして欲しい。父母ともに8時間フルタイム（残業多）で働いていても入れない。4月に復帰しないと入所は無理となると、生まれ月によって入所タイミングに不公平になると思う。（1歳未満の子を預けなければならないと思うと大変辛い）また、保育料も幅がありすぎる。両親とも働いていても、祖父母の医療費や家賃を負担している等事情もあるので上限は認可外の保育料の0才児で36,000円位に抑えてほしい。公平感が薄い。</p>
<p>何よりも待機児童を減らす様にして、認可保育園を増やして頂ければ、それだけで父母の負担は軽減されます。産後3ヶ月で退所も、待機児童が多すぎて退所せざるを得ない。仕事探すにも期間が短すぎるし悪循環です。母親達の切実な想いはいつ解消されるのでしょうか？</p>
<p>家庭保育でなるべくしていきたいが、県内に身内がないため、保護者が体調不良や用事の時・リフレッシュしたい時、行き詰った時・兄弟が病気や用事の時等に子供を気兼ねなくあずけられる所がないので困ります。不定期でも低料金で、短時間でも安心して預かってくれるような場所があれば、子育てはもっともっとラクになるのと思います。幼稚園も、3歳からで、預かり保育も希望者全員に行って欲しい。もしくは、毎日14時までの保育でもいいので、12時は早いです。私は高すぎで行けません。</p>
<p>一時保育や医療デイなどは年間日数を定めて無料利用できるようにして欲しい。</p>
<p>普天間基地のすぐ横にある保育園に通わせているが、あの音を毎日聞いていると思うと可哀想で、他に移りたいと希望したら、一度退園して待機してくれと言われた。他の市は異動できたそうです。そもそもそんな場所に保育園を作るのを許可しないでほしい。学校は安心して勉強できる事が何よりなのに、飛行機が飛ぶのがマンネリ化しているのが怖い。子供のために早急に対応をお願いします。</p>
<p>保育士雇用の充実と、公立の保育所を増やし子育てと就労のしやすい生活環境づくりを希望します。上記の希望を含む制度・条例等があると、経済の回転率上昇・少子化の対策につながっていくと思います。</p>
<p>今は認可外保育園を利用中です。スタッフ数や教育内容、食事内容など認可保育園の方が優れていて充実しているのは明瞭ですが、保育料が高いこと、待機が長期的になること（望みが低い）から、認可園へ申請することをやめました。ですが、教育などその他施設基準に充実した認可園へ入れてやりたい気持ちはどこの親御さんも同じだと思います。認可外であっても、認可園と同等くらいの施設、内容の充実や取組みを、市が協力支援できているのでしょうか？幼少期の（小学校以下）の子育て（教育）にも県、国レベルで支援（義務化など）して欲しいです。</p>
<p>県内では3年保育の幼稚園の施設がない事に驚いた。認可保育数は増えつつあり、それに伴い保育士や環境も整いつつあるが、園庭がない、小さいこともあり、屋外保育など体験できることが、少なくなってしまっている。ただ預かり、部屋の中で過ごしているだけでなく、例えば設定保育の内容見直し、幼児教育など専門的なアプローチもして頂けるとありがたい。私立での園を利用したいが、希望が多く定員オーバー。ある程度の幼児期からの教育は必要だと思う。</p>
<p>預かり場所（一時預かり、教育などない預かりだけ、保育のみのサービスとして）乳児などは近くの公民館などで、保育ママや保育士看護師などで預かりサービスをするのはどうか？有資格者で、利用していないママ達同士で、社会復帰までアルバイトとして働き、預かったり、預けたりというようなサービス。保育ママの公民館バージョン。私も有資格者であるが、資格を利用する仕事だと時間に制約があり、働けない。</p>
<p>まだまだまだ待機児童もいて保育所（認可）に入所できていない子供が多いので増やして欲しい。母子家庭で、経済的に厳しく、もう少し医療費や（母子共に）手当てなど、小学校まで援助してもらえると助かります。母子家庭の人は、仕事もして、家庭を支えるのに必死。子供が体調崩して休めば、私も仕事を休まないといけない。その結果、収入が減り余計きつい。家計の設計が難しいのが現状です。なので、会社の休みを少しでも国から援助があると本当に助かります。意見・要望が少しでも取り入れてもらえるよう、心よりお願い申し上げます。</p>
<p>待機児童が減少するための改善を今後どのようにしていくのか気になります。沖縄の給料低賃金の中、待機中に入園する認可外が3万を越える保育料は本当に高すぎて辛いです。パートナーの給料が安いから共働き。母は高い保育料のために働く。結局子供と関わる時間も少なくなり、子供に注いであげられるお金も少ないとなれば、何のために働いているのかからなくなります。認可と認可外の保育環境の違いも大きい事に驚きました。私は認可と認可外の両園と働いた経験がありますが、子供を保育していく上で保育環境が大きく違います。食事面が特に大きく違い、同じ時に生まれてきて、こんなに大きな差があるのが心痛く思います。なかなか改善されないこの問題が解消されない事には少子化も解消されないし、未来ある子供たちの将来も心配である。どうか、改善の方よろしくお願いします。子供を2人、3人、4人と産み、明るい沖縄にぎやかな日本にしていきたいです。</p>
<p>認可保育園をもっと増やして欲しい。困っている人程、認可外に通っている気がします。</p>
<p>保育所に入れるため、子どもが1才になる前に職場に復帰しなければならない。生まれた月によっては、生後5カ月にならない時に預けなければいなくなるので、もっとゆっくり子育てに集中して、復帰したいタイミングで保育所に入所できたらいいなと思います。4月復帰は仕事も忙しく、子供も保育所に入所したばかりの時は病気がちで休みも多くなるので、母子ともにバテてしまう。実際4～7月まで母子共に体調が悪く、2人で病院に通っていたので、とても大変だった。年度始めではなく、しばらく落ち着いた時に復帰できれば、子供の調子が悪い時に休んで集中的に看病ができ、長引かなかったと思う。心の余裕もないので、子供の成長、自分の仕事の状況に合わせて入所できる体制にして欲しい。</p>
<p>もうすぐ育児が終わって仕事に復帰するが、保育園を探すのに困った。待機児童が多いのはなんとなく分かっていただけ・・・。出生届けを出した時、子ども手当の手続き・医療費助成の手続きに困らなかったのは声かけがあったからだと思う。（市役所から・・・）保育園についても声掛けがあってもいいと思う。保育園を利用する予定があるか？あるならどの課で申し込みに必要なこと聞いて～など。1～3才時短が認められているが、経済的負担が多い。子供を保育園に入れる為に仕事に復帰するのか？とってしまう。子供との時間を大事にしたいけど経済的なことを考えると仕事復帰しないといけない。けれど、子供を預けるための負担は大きい。</p>
<p>兄弟でそれぞれ別の保育所に通っている。待機児童が多いのを、仕方がないと市役所や保育所で言われた。同じ保育所に通わせるには、どちらかの児童が保育所を退所し、一から待機しなければならないと言われた。共働きのため、退所し待機</p>

<p>することは難しいので、仕方なく別の保育所を利用している。保育所の行事が2倍+通う時間2倍（2ヶ所のため）通勤が大変。どうにか兄弟で同じ保育所や幼稚園に通える様、教育施設を増やしたり優先的に配慮してもらえるよう改善してもらいたい!!また、子供が食べ物のアレルギーがあるため、先生方の知識（バラつきがある）を深めてもらいたい。</p>
<p>宜野湾市は他の市町村に比べると子供（子育て）にやさしい市だと感じています。その上で、無理なお願いだとは思いますが、2人目のことを考えると安心して出産、子育て、復帰をしたいと考えてますのでよろしく願います。①兄弟で同じ保育園に入れて欲しい（途中入園）時期的に無理なこともあると思いますが、保育園が違うということは親にとっても負担（行事など）。転校することは子供にとってもよくない？（環境・友達作り）②下の子が3才になるまで、上の子が保育園に入れるように。待機児童が多いということは分かっていますが、今1人目を育て、来る4月に仕事復帰予定です。上記の事が叶うのであれば、2人目、3人目も安心して育てていけると思います。（今は上記のことが気になり2人目をいつ出産すべきか考えてしまい、不妊治療も考えてます。）</p>
<p>認可保育所の入所要件について、父母の一方が無職で家庭での保育を行っている場合、要件を満たしておらず申込みできません。しかし、他の兄弟（姉妹）も歳が近く、同時に保育していると体力的にも精神的にも負担が大きく、上の子にかまえない等の不安もあります。現在0～2歳の3人の子を家庭で保育していますが、年齢が小さいこともあり、かなりの困難を感じています。この様な場合に、上の子を認可保育所に入所させることができれば、大変ありがたいと思っています。認可保育所を増やす（受け入れ数を増やす）等、必要を感じている人が安心して利用できるサービスの充実を期待しています。</p>
<p>認可保育所をもっと増やして仕事出来る環境を作って欲しい。認可保育の子どもの人数だけを増やさず先生も増やしてほしい。</p>
<p>保育所になかなか入れないという面では、教育・保育環境が充実しているとは言いにくいかと思います。子供が1歳になってすぐ仕事復帰の予定でしたが、公立・認可に入れず、やむなく育休延長をしました。認可外保育園は、年度途中でも入り易いとは思いますが、仕事開始の時間の関係で、認可外保育園には預けられません。認可外はほとんどのところが8時からの登園です。仕事が8時開始だと間に合いません。また、7時頃から受け入れの認可外保育園の見学もしましたが、子供を預けるには厳しい環境でした。室内がすごく暑く、クーラー設置もなし。狭い保育室にぎゅうぎゅうに詰め込まれた子供達。トイレがわずか一つ。認可外なのでしかたのないことかもしれませんが、時間がちょうどよくても、預けるには不安としか言えません。0～1歳児の待機児童は300人程だと職員に聞きました。これでは入所できません。認可保育園を増やして下さい。また、育休延長しましたが、家計が厳しいので、収入など（主に父親・育休をとっているのが母親の場合がほとんどなので）を考慮した上で、入所決定をして欲しいです。例えば、週5日勤務、フルタイムで働いているAさん家のご主人の収入、同じく週5日勤務フルタイムで働いているBさん家のご主人の収入。収入が違うと、日々の生活が全然違います。同じ条件の場合は、収入の少ない家庭を優先させて欲しいです。（既にそういう制度、決まりがありましたらすみません。）「母親の労働条件を審査の対象にするには反対」という意味ではないです。他市町村に住んでいる友人は、皆宜野湾市に住みたいと言っています。子育てするには良さそうだとっていて、宜野湾に住んでいることが誇りです。期待もしているので、待機児童減の為によろしく願います。</p>
<p>認可保育園へ入所しようとしても待機で受付になり、結局認可外へ入る事になる。その後入所OKの連絡が来ても既に認可外への入所手続きを済ませていたり、通園を始めていたり、とても入所に関してのハードルが高い。また、0歳においては、認可外も満員の所が多く、市外に預けることになる。他地域では、0～3才用の保育園があると聞きます。年少さんから幼稚園に通う子用の保育園です。県内にも数カ所とありますが、数も少なく場所も遠い為利用できません。こういった保育所を市で事業化してもらえると助かります。</p>
<p>認可・認可外の保育所の両方を体験して感じたのが、これら2つの質の差が激しくて驚きました。現在は認可に入れてもらったので、とても安心して仕事へ行けますが、この先第2子を授かることがあれば絶対認可（同じ所）へ入所したいです。でも入所するのは大変なので不安です。初めての子供で、認可云々の仕組みや、申込の時期とか何も知らなくて大変でした。出産後は、申込時期や人数などについて教えて頂かないと、知らなくて待機に回っていました。</p>
<p>どうして認可保育園は共働きが基本なんですか？また、生後3カ月に働かないと、認可保育園の預かり対象外になるのですか？出産して3ヶ月は早すぎでは？対象を1年にしても良いと思う。認可外保育園に預けている親に援助があってもよいと思う。宜野湾市は待機児童が多く、認可保育園に預けたくても預けられない親がいっぱいいるので、対象は認可保育園入園申請をしている親。認可保育園に入園するまでの間、認可外保育園に入園している児童。（認可保育園に入園したら、援助した分を月謝で取ればよいのでは？期間6カ月。兄弟が確実に同じ認可保育園に入園出来る様にしたい方がよい。知り合いは兄弟が認可保育園に入園しているが、別々の保育園なので、登下校や行事が大変だと聞いている。認可保育園に入園してもこれでは親の負担が大きい。色々書いてすみません。宜野湾市がこれからも子育てや地域活性化ステキな市町村のモデルになる様期待しています。</p>
<p>保育園利用（更新）時の書類が多すぎ。（身体障害手帳があるのに病院受診があるのはなぜか？）</p>
<p>認可保育園の質の向上。子供が認可保育園に通っているが、担任の先生によって子供の心のストレス度合いが変わる・・・出来れば先生たちのサポートをする人が入ると良くなるのではないかと思います。外部の人。</p>
<p>保育所も幼稚園のように希望者はだれでも入所できると親にとっても子供にとっても一番良いと思います。今では待機児童として待っている間、子供も可哀想、親も受け入れ先がなく仕事もできなくて家庭でただ何年も待っているだけで、1年に2・3人の子供しか入れていない状態で、年齢によっては諦める子がいなので募集しないということもあります。特に児童人数に対し宜野湾市は保育所が少ないと思います。</p>
<p>土日祝日も仕事をしている保護者（父・母）も多くいると思うので、保育園や学童保育での受け入れをしてほしい。公立幼稚園での預かり保育の延長+土曜保育給食を取り入れて欲しい。</p>
<p>認可保育所等の入園が4月1日からだと、復帰の日に入園式のために休むことはできなかったので少しづらして欲しい。また、できれば入園してから1ヶ月は、生活リズムを整えたり、子供にもなれさせるために休んだ方が良かったと思ったので、入園の条件が即復帰という事が改善されるとよいと思います。そうすれば4月1日に入園させて自分は1ヶ月後の5月1日に復帰でき、もう少しストレスなく新しい生活に馴染めたと思います。</p>
<p>主人が単身赴任で、生活のこともあり自分自身も働く必要があったので就職活動をしてパート就業となったが、子供は保育園へ入園出来ず（待機児童）仕方なく一時保育を利用しているが、預かり時間が通常保育より早く、ファミサポも登録し、お願いしたがサポートの方が見つからず、知人に早い時間の園送迎をお願いしたが（沖縄に親族がないので）心苦しく、勤務先に勤務時間変更のお願いをしたが、受け入れてもらえず、そういった生活を続けていたらクビになり現在求職中になりました。かたや同じ保育園で専業主婦の方が通常保育で子どもを預けて昼間は自宅ゆっくりしているという話を聞き、どのような順で入園順位があるのか疑問に思った。また、別の市では、保健相談員に「育児が大変だから子供を預かって欲しい」という相談をしつこくしていたら、すぐに認可保育所に預かってもらえることになったという専業主婦の方（兄弟共に幼稚園などに入園しており、両親も同居）の話を伺い、言ったもん勝ちなのか？と思えるくらいです。幸い来年度よりや</p>

<p>っと入園も決まり働くことが出来る環境になります。私みたいな方の為にも、一時保育でも早い時間～長く預かってもらえたり、ファミサポに登録してもお願いできる方がいないというような状況がないようにしてもらえたら助かります。上記の恵まれた方々より実際は、相談は（友人同士等で）できるけど、いざ子供を預けたいという時に受け入れ先がなくてまわっているという方の話をよく聞きます。私の意見が少しでもお役に立てたら幸いです。</p>
<p>現在、土日祝日出勤の仕事に就いている家庭はとて多いと思います。しかも核家族が多い中、保育園学校が休みの時子供達を気軽に預けることができる施設があれば子育てと仕事の両立もしやすくなるのでは？と思います。今、土日祝日お休みのお仕事ってなかなか難しいですね。365日年中無休、24時間って時代ですから・・・。</p>
<p>最初の第1子の時、認可保育園で考えて、市役所に手続きをした時点数式であったので、私の子どもは環境が祖父母、または自営業ということで、点数の枠から外れてしまうと説明され、こんなにも難しい事なんだなあと思いました。平成17年のことですが。保育園希望されている父母が望んでいる所へ入れたらいいと思います。</p>
<p>認可の保育園に入れたくても自宅で見ている状態です。働きたい。でも大切な子を適当には預けたくないんです。</p>
<p>子供がしょっちゅう熱を出すのは当たり前なのに37℃越えたらすぐ職場に引き取りの連絡がくるのは本当に困る。どうせ家に連れて帰っても寝かせるだけなのだから、そのまま別部屋で預かってもらいたい。万が一の時の責任問題とかで生じる問題が不安ならば、その旨を問わない等の書面に署名でもするので、対応してもらいたい。今は動画もすぐ見れるのだから様子を見て「任せます」「病院に連れて行きます」などの判断ができるのでは？いろいろな好き勝手に書きましたが、我が家に関しては、恵まれている方と感じています。感謝しています。とりあえず「子育て」に関しては素晴らしい書籍が多数あるので、自ら学ぶ姿勢で取り組めば何も不安に思う事はありません。</p>
<p>認可園が少ない。受け入れ人数も少ない。育休を取得しても、上の子が退園になる可能性も考え、長くは取れない。里帰りで休園申請したら1ヶ月以上は退園するよう言われた。他のお子さんを入れたいのは分かるが、これでは里帰りできない。再度申請しても同じ園に入るところか、認可に入れるかも分からない。里帰りには、産前1ヶ月と産後1ヶ月の計2ヶ月は最低限必要です。</p>
<p>病気などで完治証明が園によって必要だったり、そうでなかったり。市で統一できないでしょうか？病気ごとに各園で認識も違うようです。延長保育、土曜保育についても、認識の違いがある。土日とも19時まで延長保育してほしい。</p>
<p>加配申請中ですが、審査が通れば、現在の園で受け入れ出来ず転園になります。今後加配制度は拡大すると思うので、各園の受入人数を増やして欲しい。仕方無いのかもしれませんが、追い出されるような印象です。職場が遠く保育園の送迎が困難。市外でも認可に入れると良い。兄弟別園で、行事等とても大変です。11月、同じ園への転園申請がありますが、空きがあればなどよく分からない。必ず同じ園へ行ける様配慮してもらえないでしょうか？ここ数年手続き内容がコロコロ変わり、これにふりまわされて、結局別園のままです。一度は保育園側から転園できると話があり、信じていたら、役所からはNOの答え。問い合わせでも納得のいく説明はなく、子供を悲しませる結果になりました。</p>
<p>保育園に求めること。通常19時までの延長。私の勤務は週2回、21時までの日がある。母子家庭になった為、無理言って実家の母に来てもらいサポートしてもらっているが、心苦しい。ファミリーサポート利用となると、実質上の減給となる。保育園が22時までなら安心して仕事を続けられる。</p>
<p>母親の体調不良・病気・入院の時など、子供を預けられる支援がほしい。今回入院する時、預け先が急に必要になり身動きとれなくて大変な思いをした。</p>
<p>当家は夫婦共働きの双方共に県外出身者で近所に身内や知人など子供を安心して預ける先がありません。さらに母親の職場が遠方であり外出時間は長時間に至ります。認可保育園に預けられたとしても時間外の保育が必要になり、その費用も負担になります。現行の保育所申請基準では夫婦共働きでフルタイムであると優先順位が上がるそうですが、フルタイムであっても時短勤務中は就労時間が短いという理由で減点対象となるようですが、家事&amp;育児、仕事を両立していくにおいて、職場が遠方にある場合の通勤時間は考慮されおらず、判断基準に不満も感じています。時短勤務をやむを得ず行っている家庭の事情や、近隣に頼れる親族・知人がいない家庭など、保育所の必要性を審査するに当たり、より広く考慮すべき内容はあると思います。何より早急な保育施設の継続が望まれます。</p>
<p>保育士が個人の考えで接しないでほしい。（臨機応変はすばらしい事。園の方針も把握している様にも思えるが）軽い気持ちなのかもしれませんが、保育士という立場上平等にしてほしい。保育園の事で申し訳ありませんが、園児の前で他の親の話を悪く言う。（他の親の前でも）性格なのかもしれません。しかし、思っただけで外で言ってほしい。自分達も言われているかと思うとゾッとします。子供たちにも聞かせることではない。</p>
<p>出生率が高い沖縄県ですが、ネグレクトや深夜徘徊など、子供に関する問題も多く聞かれます。育つ環境が悪いせいで、優秀な人材が育つことが難しい事例もあるのではないのでしょうか？市を、県を、国を支える大切な担い手です。正しくしっかり育つには、教育・親の経済的な充実が不可欠です。うちもそうですが、まずはしっかり仕事ができる様、子供を認可保育園に入所できるようにして頂きたいです。親（祖父母）も70代と高齢な上、薬も飲んでいるので、長時間や頻繁に見てもらうことは困難であり大変苦しい環境です。私のような個人事業主、または小規模経営の会社も多いので、親が経済的、精神的に困窮せず、しっかりと子供子育てに向き合える環境を整えて頂きたいと思います。今後の行政に期待します。宜しくお願いします。</p>
<p>認可園を増やすことに力を入れなくて、地域に根差した認可外保育園の支援に力を入れて欲しいと思います。保育料以上の内容をうけていて、若竹保育園のようにがんばっている保育園をぜひ支援していただきたいと思います。仕事をしていないから保育園は必要じゃないではなく、同世代の子どもの交流や自立心の発達や療育に保育園で学ぶことがたくさんあると思います。</p>
<p>真志喜地区の保育園（認可）を増やしてほしい。待機児童が多すぎます。両親フルタイムで働く家庭にとって厳しい環境です。</p>
<p>保育所をもっと増やしてほしいです。認可外の保育所に入れているので、一部の料金を市で負担するなどの制度を利用したい。</p>
<p>同じ国の同じ子供同士なのに、公立保育園や幼稚園に入れ高い値段で認可外へ入らなくてははいけないのは違うと思う。保育園や幼稚園を増やし先生も増やした方がいいと思う。</p>
<p>認可保育園が土曜日に子を預かってはくれますが、非常に迷惑そうです。「できれば家庭保育を・・・」と言って人手不足をおおわしています。保育料もきちんと払っているし、保育園に土曜預けなければ、他にファミリーサポートなど有料サービスを利用することになります。週5日フルタイムで親戚や気軽に預けられる友人も居ません。土曜の預かりにプレッシャーをかける園の態度に少し戸惑います。</p>
<p>行政からのサポートや援助、保育士の待遇改善により、認可保育園の増園をして頂けるよう強く希望します。又、課税世帯の保育料の区分をもっと細かく設定し、1区分の中での低収入の方にいる世帯の負担を軽くしてほしいです。現状では少し不公平感を感じます。最後に、全体的に保育料を引き下げ、子育て世代を応援していただけると嬉しく思います。</p>

平日は幼稚園に、土曜は預ける所が欲しいです。
待機児童の解消に、力を入れてほしいです。保育所を増やすのももちろんですが、保育士が働きやすい環境をつくってほしい。
病児保育などのサービスをもっと拡充してほしい。
認可保育園にも送迎サービスを導入してほしい。両親共働きの為、保育園のあと祖父母に預かってもらっているが、毎日の送迎ができないなどの理由で認可保育園に入れられない事がある。
保育士のお給料がとて少ないことに、心を痛めています。本当に大事な子供達を育ててくれる、大切な仕事なのに、月の給料が10万にも満たないなんて、本当に申し訳ないです。(特に認可外、認可外でもすばらしい園があります。)保育園への補助、先生方、子供達への補助をもっと考えて欲しいです。まずは先生方へ。保育士になる人が減っているのも一大事です。行政でもっと考えて欲しいです。どうぞよろしくお願いします。
第2子出産時に、第1子を保育園に通わせようと思ったが(妊産婦対象の制度を使った期間限定のもの)待機の多い1歳児だったこともあり、利用できなかった。義父母に預かってもらったが、嫁の立場からすると心苦しくもあった。また、利用できなかったが、保育料がとてかかるような計算だったので、もう少し負担を軽くしてもらいたい。
病児保育、夜間保育は子供にとってどうなのか?親の事を考えると必要な人もいるのかもしれませんが、子供の心の育ちを考えるとそれは子供にとって良いのか?病児保育、夜間保育、保育所を利用するよりも本来は自分でみてあげたいのが私の思いである。しかし働かないといけないう状態なので保育所に預けているが、できれば5才までは自分でみてあげたい気持ちです。病児保育も利用した事があるが、我が子は自分で見てあげたいし、子供も体調悪い時は母と一緒に居てもらいたいと思う。行政は便利を作るのではなく子供の育ちを思うなら、親が看病休をもらえる様にする(その際は収入なくてよいので)職場が休みをとりやすければいいのだと思う。子供は親が本来育てるもの。しかし、子供との関わり方が分からない親も多いと思うので、学びの場を与える等してもらいたいです。また、父親が全く子供に関心がないので、どうにか子育てに関われるようにできればと思う。働いていて良い保育所に恵まれありがたく思っているが、かわいい我が子はそばで見てあげたいのが本音です。子育てしやすい環境、是非よろしくお願いします。病児保育、夜間保育を作るのは反対です!!本当に子供にそれが良いことか?考えて対応して頂きたいです。
旦那は朝から晩までサービス業の仕事をしている為、ほとんど子育てをしていません。一人目は2歳、二人目は4カ月です。旦那の給料は安く、とてもキツイ生活です。一人目の子は認可に入れず、旦那の父親が2人の面倒は大変だろうと、認可外保育園のお金を毎月払ってくれています。子供は欲しいけど、保育園に入れないのなら、私の負担が増える一方で正直しんどいです。働きたいのに保育園に入れず困る。まわりに親戚もいないからホント困る。でも子供手当と医療費助成があるのはホントに助かります。
宜野湾市に限らず沖縄県は子育てしにくいとの周りの子どもをもつ方たちからよく聞いてはいましたが、やはり保育施設の不足を感じます。しかし、ただ保育園を増やすということではなく、地域の助成の働く企業と協力し、託児所を併設するなどをする母親の職場復帰(社会復帰)をスムーズにし、また失業率の改善にもつながるのではないのでしょうか。
認可の保育園をもっと増やして欲しいです。
認可保育園を増やしていただきたい。もしくは入所できる児童数を増やしていただきたい。認可外保育園に入れたいが、認可保育所との差に愕然とした。結局諦めさせた。
保育所(認可・認可外問わず)数を増やして欲しい。
子供が多く保育所等を利用したい人は多いに関わらず、受け入れ出来る保育所が少なかったり、保育料が高い。仕事をしている人が優先される事が多いので、全ての条件に合わない人は、仕事があっても、子供を預けられず、自宅で保育し節約ばかりで息抜きを出来る事もなく、ストレスも溜まるので、とても悪循環である事をもう少し分かって欲しい。預けることが(周囲に)困難な人は、面接に行くことも出来ないの、仕事を探すことも出来ない。このようなアンケートをして分かる部分もあると思うが、根本的な事までは分からないと思うので、このアンケートをする意味があるのか私は疑問です。
1歳を越えた場合の待機児童の数が多すぎる。認可外保育についても、1歳児に関しては受け入れが厳しく、結果、認可園に入るまでに認可外保育園を2つはしごすることになり、子供が環境に慣れるのに大変苦労した。
現在フルタイムでの仕事だと、9時~18時が一般的だと思いますが、宜野湾市では18時越えると延長保育料が発生する所が多い。18:30までは延長保育が発生しないや、遠方へ通勤している場合退職せざるをえない為、延長保育を20時(19:30)までできるなど、ニーズに合わせた時間設定も必要ではないか?
母子家庭ですが、兄弟が同じ保育園に入れず、行事などに参加するのに大変困りました。仕事の休みも限られる中、1人で3名バラバラの保育園はきつかったです。相談しても市役所で「3名一緒の保育園は難しい」と対応も簡単に終わりました。ニーズ調査は良いと思いますが、日常的に色々悩んで役所に足を運ぶ時にも親身になって聞いてもらいたいです。よろしくお願いします。
早期に保育士の処遇を良くして欲しい。子供を預かり保育をするという親にとってはなくてはならない職種なのに給与、労働条件等がひどい。その中で頑張っている保育士の先生たちにゆとりができれば、もっといい保育につながると思う。
認可保育所が少ない、待機児童が多すぎる。認可保育所、認可外保育施設の保育料の差がある(認可外が高い)。設備、給食おやつの内容の違い(認可の方が良質)同じように税金を支払い生活しているのに認可に入園できず、認可外で高い保育料を収め、なおかつ設備や保育内容、給食等教育に差が出るのはおかしいと思います。不公平です。早急に改善して頂きたいです。何も心配せず認可に入園できるようにして欲しいです。安心して子育てに専念したいです。
現在、認可保育園に子供を通園させているが、土曜日に預ける際に利用の希望届けを提出しなければなりません。土曜日も含めた保育料をだしているのに、家庭保育をしてくださいと言われます。昼食の準備の為なら分かりますが、それ以外に保育士の休みを確保して健康管理がしたいという園の理由が納得いきません。すべての認可保育園がそうなのでしょうか?私自身、自分の休みは職場内で調整しますし、土曜日休みたいのは誰でも同じです。だからこそ、土曜日も自由に保育園に預けたいと思っています。(市の保育所では上記の事はなく、自由に預けていると聞きました。)又、延長の料金を沖縄市のように30分までは150円にして欲しいです。おやつも保育園によって、バラバラかと思いますが、それで料金と同じなのはおかしいと思います。果物やおにぎりなら良いと思いますが、ペーパーせんべい1枚やクラッカー少しとかの内容もあります。延長時のおやつも把握もして欲しいです。宜野湾市が大好きです。住みやすい街、教育・子育てのしやすい街になることを願っています。
宜野湾市が充実している子供の医療費助成制度はとて有難いので、是非今後も継続してほしい。このような制度があるので、宜野湾市に住み続けたい。現在は育休中で保育所には預けていないが、将来的には預けたいと思っている。できれば認可保育所に入所したいが、なかなか入所できないという話を聞くので、待機児童数の減少に務めてほしい。認可外施設については情報が乏しく選ぶことができない。幼稚園の預かり保育など、制度や役割もよくわからない。「ぼけっと」は

役立つが、ホームページでも写真などをつけて詳細や最新のお知らせが分かると良い。
認可保育所を増やして欲しい。認可外保育所にももっと助成金等出して施設設備させてほしい。広さ、食事等、あまりにも認可園と違いすぎる！！
認可保育所をもっと増やして欲しい。フルタイムの人たちだけが認可保育を受けれてパートの人たちはなかなか認可に入れず、同じく働いているのに点数とかつけられて毎年点数が足りず認可に入れず困る。生活が苦しくて共働きしてるのに認可外の保育園に入れ高い保育料を払い、生活のため働いても保育料でなくなってしまいこまる。もっと認可保育園を増やしてパートでも認可の保育園に入れるように考えて欲しい。
子供たちの教育・保育が充実したものになる為に、先生方も一生懸命頑張っていると思います。今問題になっている、賃金等にも配慮して頂きたいです。保育士さんも増え、保育園も増え、問題の解消につながるのではないのでしょうか。
待機児童の解消の為、認可園を増やすのではなく、認可外に通う家庭への援助を行うことで不公平感をなくしたらどうか？
現在、第2子育児中ですが、上の子も12月生まれで生後4カ月（4月入所に合わせ）保育園へ預けました。上の子はミルクも飲んでくれましたので、預けたのですが、現在、9月に生まれた子は母乳のみなので預けられるか不安です。9月の満1歳で必ず入所できるのであれば、やはり1年間育児をとり、入所させたいのですが・・・。やはり4月の入園に預けやすい時期に申込をしています。4月以外にもフルタイムで必ず入所できるようにしてくれるとありがたいですね。
子供が1歳過ぎて必ず保育園に入所出来るという事が決まっていれば、もう少し育児休業を延ばしたい。入れるという確実な事が決まっていなくて、早めに復帰する道しかなかった。
年度途中で復帰する為に認可・公立保育園の入所時期を通常年にしてほしい。また、認可公立保育園を増やしてほしい。
前項でも記入しましたが、病児保育の施設をもっと充実させて欲しい。市内にある病院の病児保育はおそらく職員の利用でいっぱいだと思います。何度も何度も利用を試みましたが、一度も利用できませんでした。結局父母共に欠勤せざるを得ない状態が続き、母は退職せざるを得なくなった次第です。宜野湾市は人口も多いです。もっと子育てしながら働きやすい環境を作って欲しいと願っています。
待機児童が減り勤務時間、勤務日数に関わらず、保育所が利用できたらと思います。
やはり、保育園（認可）の待ちが多すぎる。その為に仕事が出来ずに生活が苦しくなる方が多く、最悪な事になった知り合いもいた。早く改善すべきだ。
保育園は不衛生なところが多いです。もっと、管理すべきだと思います。
問34にも書きましたが、兄弟は同じ保育施設に入所させて欲しいです。今一番困っていることです。
第2子の入所が別々の園になってしまう事があるようですが、それだけは止めてほしいです。ただでさえ、仕事と育児が苦勞しているのに大渋滞の中毎日2回の通園を倍にするだなんて可哀想です。
認可保育園入所基準が、正規雇用世帯を優遇している！正社員ならば、産休・育休中に兄弟を1年間預けて安心して育児に専念できるが、有期雇用だと育休も取得できず、産後すぐに仕事を始めなければ兄弟が退園になる。0歳児がいて産後すぐに雇用してくれる会社なんて皆無。ハローワークでは保育園に入所させてから仕事を探すよう言われ、保育園の入所では仕事をしていることが条件で求職中にはほぼ入所できず。このご時世、非正規や有期雇用が多い中、2人以上子供がいる世帯は認可外保育園の保育料は高く安心して仕事探しもできない！！預けられない！！非正規や有期雇用だからこそ認可では？保育料のたし軽減や入所要件は、正規雇用で1年育休取得し、兄弟入所可能で安心して子育て・育休明けには職場復帰で経済的な心配もない中認可保育園のメリットを享受できる。同じ子育て世帯で、親の雇用形態で差がある現在の基準をもっと改善すべき。有期雇用の親は雇用期限が来るたびに退園・退所の不安と新しい認可外保育園探し、職探しの不安とストレスに襲われる。子育ての環境や支援というならそこにももっと目を向けるべき。保育園が変わるということは子供にとっても大きなストレスです。育休中（1年～1年半入所可）・・・兄弟を家庭内保育可能ですよね？（有期雇用、育休取得出来ず退職）求職中2ヶ月経過後退園。同じ産後でも随分と差があるように思います。
認可保育所を増やして下さい。
現在は認可保育園（ポケット保育園）を利用していますが、そこのスタッフ・延長・保育士の方々の気遣いがあり、よく声かけをしてくれて、子供の事、家庭の事などムリなく話をきいてくれたり、アドバイスをもらったりととてもお世話になっております。身近な場（保育園）からの情報はとても助かっています。
公民館に家庭で子育てをしている世帯も通える保育園を併設して欲しい。住んでいる地域にあれば車を運転できない人や祖父母と同居していても母も働かない人とかにも安く提供することにより、利用者はいると思う。→地域で子育てとした意識が広がるようになるし、区民の子ども会が盛んになっていくと思う。
認可保育園をもっと増やして欲しい。周りは認可に入れずにずっと待機している人もいます。
買い物をしている間の短時間だけ預かってくれる託児所などが、デパート内や近くにあるといいな～と思います。また、認可保育園の一時保育は、毎月予約がいっぱいで、なかなか利用する事が出来ません。急な用事や病院などで預ける事が出来ず困ることがよくあります。
宜野湾市は待機児童が多く、なかなか認可の保育園に入園しづらい環境です。実際に、我が家も育児休暇明けの出産から1年後の1歳になった子を預けられない状況になり、認可外の保育園を探し入園させました。新しく認可に指定された保育園もでき、多少は解消されているのかもしれませんが、まだまだ需要と供給のバランスは取れていないと思います。ぜひ対応をお願いします。
小学校に入ると、平日の家庭での余暇時間が取りにくい。宿題（がんばりノート）が大変・・・特に低学年。認可外保育園の必要性は十分に感じているが、保育料が高い。認可外保育園へのサポートが必要（環境整備、助成、心理士など専門家の訪問など）
認可園が少なすぎる
病院での小児デイケアも料金が高いし、朝からゆっくり時間なので、結局仕事を休むことになる。朝6時からなど、本当に必要としている人の気持ちを考えて欲しい。
今働いている職場は、9時～17時と書類上では記入されているのですが、実際は仕事が終わらず毎日19時まで仕事をしています。また、土曜日も仕事が基本休みとなっている為、保育園は14時までしか預かってもらえません。私の仕事が保険の営業の為、お客様との約束が入り、土日も仕事をしている状態です。せめて、会社が土曜日の就労を書いなくても18時まで預かってもらいたいのです。夫も土曜日は仕事なので、どうにか預かってもらいたいのですが・・・。
宜野湾市内の認可保育園に子供を預けたくても、なかなか預けられず、市内の私立幼稚園に預けています。1歳を過ぎて預けようとしても空きがなく入れないというのも問題だと思います。何歳からでも安心して預けられる環境づくりをお願いしたいです。
認可園の入所が4月募集のため、早生まれの子は不利。4月・10月と2回に分けて欲しい。最後に、本当に困っている人

<p>がサービスを受けられるようになって欲しい。相談に行っても「点数で決まります・・・」と話す聞く耳持たず・・・といった感じ・・・せめて心ある対応をしてほしかったです。</p>
<p>子育てをして、約10年が経ちますが、少しずつ子育てしやすい環境になっていると思います。(出産費用や育休中の給料など)ただ、まだまだ不十分な点は多いです。共働きをしている家庭において、保育園・幼稚園・学童等の時間や内容をもっと充実して頂きたいです。親が子供を育てたい気持ちはありますが、経済的には難しい為、公共の施設を利用しているので、その保育内容についてもっと色々な工夫や取り組みをして頂きたいと思います。子供は社会の中に入って初めて人間関係を作っていくので、現在の保育園には、すごく感謝しています。家族だけでは作れない仲間や、社会性、遊び、学びなど様々な経験をさせてもらい、日々成長しています。ただ、日々を過ごすのではなく、毎日が将来に向かっていける様、これからも様々な体験ができるような工夫をしてもらえたらなおさらいいと思います。</p>
<p>認可保育所を増やして欲しい。各認可園の待機状況をHPにアップして欲しい。</p>
<p>認可保育園を増やして欲しい。保育園の定員を増やして欲しい。</p>
<p>一つでも多くの認可外保育園を認可園にもらえることを望みます。一人でも多くの待機児童が減る事を願います。よろしくお願いします。</p>
<p>1歳前後にでも歯のケアの仕方を教えてほしい。10カ月健診時には歯が生えてなく実際生えてきて、ケアのやりにくい点などが出てきたが、誰に聞けば良いかわからない。</p>
<p>宜野湾市は、子育てのサポートが割と充実していると思います。ファミリーサポートの方も親切に対応して下さいますので、利用が必要な時は助かっています。個人の希望としては、年中無休の保育所などがあればいいなと思います。全ての親が、土日祝日休みの仕事をしているわけではないので。私も今は平日のみの事務の仕事をしているわけではないので。私も今は平日のみの事務の仕事を見つけれられましたが、元々は飲食店で勤務していましたし、できればそこでずっと働きたかったのですが、子育てしながらだと、やはり土日の出勤は困難だと感じ転職いたしました。共働きの多い沖縄だからこそ、様々な仕事をしている親のニーズに応えてくれる、例えば年中無休の保育所があればいいなというのは、出産してからずっと思っています。</p>
<p>病院などで病児デイケアサービスを実施してくれる施設がもっと増えたらいいなと思います。私は自宅からたまたまそのサービスを提供している施設が近いので助かっていますが。あと夜間子供の急な発熱などの時、相談できるサービスがもっと拡充されると嬉しいです。#8000というサービスはありますが、23時までなので早すぎます。小さな子の体調は夜中に突然悪くなったりするので、朝方まで対応してくれるサービスがあると助かります。乱雑な字と文章で申し訳ありません。今でも様々なサービスがありますが、宜野湾市での子育てが今以上に更に良くなることを願っています。よろしくお願いします！</p>
<p>宜野湾市は子育て支援センターが多く、子育てが比較的しやすい所だと思います。認可保育所の結果がもう少し早く(1月下旬頃)に分かれれば、次年度の復帰に向けて行動しやすくなると思います。(選考に漏れた際の認可外保育所探しなど)</p>
<p>今、出産の為に産休中です。以前は7月の出産だった為、認可保育園・4月～の入所に間に合いました。しかし、今回は途中入所(9月頃希望)になる為、どうなるかわかりません。認可保育園の入所人数の拡大や増園、仕事復帰の2～3ヶ月前には入所できるか、の回答等があれば助かります。また、出来るだけ兄弟と同じ園の入所がかなえば有難いと思います。</p>
<p>現時点では、パート職の為(職場が休みを取りやすい)子育ての対応に困る事は殆どありません。認可保育を検討中は、枠が少なく、もし利用できたとしても公務員は利用額が高く、十分な支援が受けられていないように感じました。役所職員と県警、同じ公務員でも、県警に務める側は片親不在が多く、支援を希望しても全額が高かったり、子供の病気(風邪を保育園に行けない時、母親も急に休めない等の時、困った。)今後は安心して預けられる学童、教育も充実した環境があれば母親も安心して仕事を充実させることが出来ると思う。保育環境を市の職員だけで対応するだけでなく、手の空いている(暇な)祖父母の協力を頂いて、学校周辺に子供とお年寄りがふれあいの場を持つ施設があると良いと思う。</p>
<p>現在、預け時間が夜間まである保育園に子供を預けており、すごく安心しています。1度も24時まで預けたことはないが、残業の為、また出産で夫が仕事終わるまでの間、21時まで預けました。急でも対応してくれるし、また子供の保育園だし、先生も顔を知っているため、親子共安心出来る。凄く助かったので、他の保育園も増やして欲しい。絶対新たに施設を増やすより、保育園で延長(夜間)や病気の子も預かるようにして頂きたい。</p>
<p>広範囲に複数の認可保育園があると良いと思う。(受け皿が増えると親の社会復帰がやりやすくなる)</p>
<p>認可外保育園に対しても、補助金を出してほしい。</p>
<p>現在、認可外保育園に通っています。認可園へ入れなかった訳ではなく、その保育園の教育方法が親の希望に合っていたからです。認可園と認可外園での、補助があまりにありすぎる感じがします。以前、上の兄弟で認可園に通っていた事があるので、先生方は厳しい労働条件の中で、一生懸命保育して下さいます。是非認可外保育園へ補助も増して欲しいです。</p>
<p>一度、認可保育園に入園できてしまえば、それ以降たとえ保護者の勤務時間がフルパートに代わったとしても、チェックがいらずにそのまま園に通えるというのはおかしいと思う。これでは、毎年、年に1回、きちんと労働時間を(勤務証明書で)正確に提出する、させる意味が分からない。</p>
<p>認可保育園の入園の義務化</p>
<p>保育(認可)の先生へ、改善して欲しい事を言いにくい。今後、子供達の教育(保育)に影響出ないか?関係性が悪くなるのでは?と危惧してしまう。→窓口を作ってほしい。保育課に申し出ても良いのか?</p>
<p>保育園の先生方が、一度に多く辞めてしまう事があり、子供達への影響が心配になることがあります。新顔の先生が多くなって、子供達は変わらず、保育園が大好きですし、先生方に不満はありませんが、主要な先生が一気に辞めてしまっても保育園からは、何の説明もないため、少し不安になります。先生方の職場環境が良い状態でいられるように、行政に先生方が相談できる窓口があったらいいのではと思います。</p>
<p>認可保育所と認可外保育施設の国や県、市町村の支援の違いが大きい。認可外保育施設で全然問題はないか、もっと金銭的支援を認可外にもして欲しい。そうすれば、待機児童も少なくなるし、保育の質も向上すると思います。同じ幼児、子供でこんなに差があるのはおかしい。認可保育所を増やすより、認可外への支援にも!!</p>
<p>宜野湾市は認可保育園の枠が少なく申請して空きが出来るまで1年以上かかり、子供はその時には認可外の友達で沢山でき、「今さら」認可へ移り、子供から大切な友達を離すことなど出来ない現状があった。これは大きな問題だと反省してもらいたい。</p>
<p>日曜・祝日も現在通っている保育園で預けられたらぜひ利用したい。→仕事も続けられる。</p>
<p>子供の生活環境をあまり変えずに安心して預けたりできるようにして欲しい。子供の精神的安定のためにも!!</p>
<p>幼稚園の後の保育の充実を!! おやつも市販菓子では、アレルギーやアトピーを持っている子は、なかなか通わせられない!! 上の子は食事、おやつのことを考えると難しいと思い、諦めました。</p>

<p>保育士の給料が安すぎて子育て後の（子育て中）の復帰をする事がとっても難しいと感じる。家での持ち帰りの仕事もある為、長く続けるのが大変な仕事なので、保育士・幼稚園の教員等がお子さんを産んでもやりやすい（戻ってきやすい）環境を充実して欲しいと思う！！</p>
<p>保育所に預けて土曜日も預けようとする、家庭保育が基本という主旨の話をされます。そうかと思えるべく家でみるようにしました。平日は仕事に追われ、夕方は保育所の時間に間に合わせるのに追われ、やっと休みの土日は育児家事に追われ、このまま続けたら病気になるだろうなと思っていたら、本当になりました。（平日は夜泣きもあります。）土日の家庭保育の理想は理解できます。ただ、母親を心身ともに追い詰めてしまう考え方をマニュアル一辺倒に発言する保育所さんや役所さんに、この状況って伝わりづらいと思います。保育所の土曜保育時間延長を強く希望します。（認可と同じく～18時）</p>
<p>病児保育開始時間を仕事に影響のない7時～開始を希望します。</p>
<p>延長保育終了に間に合わない時の急な預かり先の手配ができることを希望します。</p>
<p>デイケアを利用できる病院を増やして欲しい。小児科での診察でも、すぐにデイケアを利用できるようにして欲しい。（現在は、必ず海邦病院で診察しないと、デイケアを利用できないので。）</p>
<p>認可保育園の入所基準の見直し（働く必要のある人、話をちゃんと聞いて欲しい。）事務的に話を流さないで下さい！！母子・父子家庭が大変なのは分かりますが、いくら両親揃っているからといって、大変な家庭はいっぱいあります。父親のサポートや兄弟の数ですぐに状態は変わります。レギュラーな事ばかりではないのが、子育てだと思います。保育課のみなさんには、イレギュラーな事にも親身になって相談ができたと思います。宜しくお願いします。</p>
<p>保育園と幼稚園の合体（教育をする保育所）を早めに！！※保育園に通っていてもお迎え後、そろばんやピアノ・公文等に通う親子がほとんどで時間的や経済的にとても厳しいです。（親子のふれあいや、眠る時間等の遅れ。幼稚園に通っている子供以上の教育金をかけている人がいます。）</p>
<p>ある保育所について意見。イベント（運動会）があった後は保護者からの意見や今後についての改善点等のアンケートを実施すべき！上記保育所はイベント行事が少なすぎ。また、先生たちももう少しフレンドリーで多くの情報を提供してほしい。</p>
<p>働く女性も多いが、保育環境は厳しい。よく聞けるのが就職してないと保育園（認可）に入れられないが、職場は子供の預かり先が決まっていないのでは、採用が難しい等、矛盾した問題がある。それも、どうにかできないのかと考えさせられる。</p>
<p>子育て支援の慣行はあるものの、現状は充実していないと思う。例えば、認可保育園でも、一旦入園したとしても毎年継続できるかどうかの不安があったり。一役所が継続させるかを決めるのではなく（仕事の有無に関わらず）親に決めさせてほしい。所得の変化で、保育料が変わるのは、従来通りで良いと思う。子どもを一度保育園に入園させたなら、最後の卒園までさせたいと思うのが親心ではないでしょうか。これまでの保育園＝家庭で保育が出来ない子供のフォローではなく、これからは保育園も初頭教育として、希望する全て受け入れて欲しいと思います。</p>
<p>父母共にフルタイムでの仕事あり、父（夫）も始業が7時であり、夜勤明けの保育をみてくれる人がおらず、大変だった。一時ファミサポを利用したが、¥600／1Hで、付きにトータル¥10,000を越えてしまうこともあった。早朝でもきちんとした保育を受けさせたい。仕事を辞めることも、何度も考えたが、今だけの辛抱と思ひ必死にやってきた。親は良くとも果たして子共にとってはどうだろう。ゆっくりと話を聞いてあげることもできず、これで良いものかと毎月考えさせられます。もう少しゆとりをもって育児をしたい。子どもと話す時間が欲しいです。</p>
<p>今、子どもが通っている幼稚園では先生が早く出勤して下さり、とても感謝していますが、負担をかけていることに申し訳ない気持ちでいっぱいです。また、私は来夏に出産予定であり、出産後の保育施設についても不安が尽きません。認可園は開始時間が遅く、どうしても認可外へと預けることになってしまいます。保育時間の考慮を、また小学校隣接の学童保育の設置を是非お願いしたいです。</p>
<p>認可保育園の入所がスムーズにできる環境。</p>
<p>共働きでも安心して預けられる環境を増やして欲しい。</p>
<p>仕事をしたいが保育園が見つからない。保育園を探したいが保育料が高すぎて入れない。認可園に入れたいが、仕事をしなないと入れない。仕事したいが、子供が保育園に入れたい。認可外保育園は値段が高い割には衛生的に満足がない。安全面に疑問がある。子どもが3～4人いる人で保育園に入れたいけど、仕事したいけど出来ない人はどうしているのだろうか？</p>
<p>医療系は良い方だと聞きますが、保育園（認可）の数が待機児童と比べ全く足りないと感じています。3人の子どもがいますが、宜野湾市に来てから入れたこともありません。ポイント制なのはわかりますが…仕事したい！でも保育園がない！（認可外はパート代では厳しい）しかし、認可園は仕事をしているのが前提。ママ友との間ではこの仕組みは矛盾しているとの声も多々聞きます。周りにみてる親、身内がいない人は仕事の面接に行くこと、ハローワークに行くことすらできません。認可外、一時などを利用する手もありますが、毎回ということでもできませんし…もし増やせるなら、保育園を増やして頂きたいですし、認可園の申込のやり方も…</p>
<p>夜間病児保育をしてくれる施設をもっと増やして欲しい（フルタイムの方でも使用できる施設）現在、病院のデイケアはありますが、定員オーバーだとキャンセル待ちになり、必ずしも利用できるとは限らない。また、フルタイムのため、17:45までの迎えが困難。利用する際は、結局19時までファミリーサポートの方に迎えを頼んだり、親戚に無理にお願いして迎えに行ってもらう。できれば、仕事を休んで看病してあげたい。でも休めない。早退出来ない場合が多い為、保育園の延長のように19時までみてもらえる施設があれば、とても助かるし安心して仕事ができる。宜野湾市は子育て支援の施設等、環境においても住みやすい市だと思います。しかし、共働きの家庭が多いので、子供が病気でどうしても休めないときに利用できる施設をもっと増やすべきだと思います。ぜひ、検討して頂きたいと思います。</p>
<p>認可保育園等両親が仕事をしないと預けられないというのはすごく困りました！しかも、収入によって保育料が変わるのも。預けないと求職できないのに、兄弟、姉妹が先に入っている子が優先されるのもなんでなのかな？幼稚園でも子育てを支援するのなら、時間を長くしてほしい。安くても、午前のみなら、仕事をする親には大変。学童もあるけど・・・預かり保育もあるのだけれど・・・</p>
<p>専業主婦だから、子供と子供が集まる場（保育園や幼稚園）になかなか、又は全く入れる余地がないのはどうしてでしょう？子育てを休みたいのではなく、他の子どもたちとの関わりで我が子を成長させてやりたいと願うのです。午前中だけでも保育園に通わせられたらと思います。そうしていく内に、母親も働くチャンスが見つけれられたりもするでしょう。もっと、子育てをする仕方にも幅ができたらと思います。様々な選択肢があれば、母と子、家庭にも良い変化が得られると思います。</p>
<p>子供をきちんと預けられる施設を増やして欲しいです。1才では希望の保育園に預けられないので、0歳の4月に無理をして職場復帰している親が多いことを知って欲しいと思います。上の子が0歳で復帰した時は毎日クタクタでした。下の子（アンケート対象の子）は1才の4月に復帰したのですが、希望の園には入れず、上の子と下の子の園が違うので2ヶ所送迎することになり、宜野湾市に住んでいることを大変後悔しました。行事の日程もうまく合わず大変でした。夫婦共県外出身で</p>

<p>頼る人がおらず、子供が病気の時は思い悩みます。感染する病気（インフルエンザ等）の時はファミサポも頼れず、病院も満床で、病気の子を職場に連れて行った事もあります。行政の制度等で安心して子供を産み育てる環境を作って欲しいと思います。今は共働きの世帯や、片親の子どもが多いです。そのような中でも子供を産み育てることができる世の中でない、少子化がますます進むのではないかと思います。</p>
<p>公立、または私立保育園等で実施される検査（尿・ぎょう虫）について、もし異常な数値がでた場合の「緊急連絡システム」のようなものを作ってほしい。早く発見できれば、それだけ早く受診治療の開始ができると思うので…</p>
<p>私は、ずっとパートナーがいなく生活費のため子供を出生した後も、本当は休業したい気持ちだけど、子供には悪いが働きにいつてきました。近くにいとこが住んでいるので、とってそういう意味では助かっています。もし、近くに子供を預けられないと子育て以上に生活が出来なければ、イライラが積もると思うんです。保育申込するためには、昼間の仕事しなければ申込が出来ませんが、その昼の仕事を探す間の預かり保育を作ってほしい。普通に入る所もあるがお金が無い。</p>
<p>出産してから3年間、子供を預ける親・兄弟もなく熱があっても体調不良でも、自分で見てきました。子供も成長し、友達と遊んだり、他人との関わりも大事な時期に入り、私自身も体がきつかったので、認可保育園に預けたかったのですが、両親とも働いていないと入れない、又、希望した保育園の3歳児の募集はたった1～2人という現実でした…そろそろ保育園に入れたい3歳児の枠が無いのはおかしいと思う。0歳児から保育園に親子で遊びに行ける子育て支援センターは、とても助かりました。市内外で合わせて、4ヶ所位お世話になりました。子供の視線で、1人1人よく見て頂いた保育園もあり、しつけや子育てにとても悩んでいたのも、本当に出会う事が出来て有難かったです。</p>
<p>保育園（認可）の入所の際は兄弟児はなるべく同じ園に入れるようにして欲しいです。</p>
<p>認可保育園と認可外保育園の格差？について。認可、認可外、それぞれの園で違いがあり、それぞれが予算内で努力していると思います。しかし、あまりにも施設、保育士の数、備品等では違いがありすぎる。それはやはり補助金の違いが一番の要因ではないかと感じます。様々な基準をクリアした認可園に補助金が多いのは理解できますが、やはりその差は大きすぎるように感じます。義務教育ではないにせよ、その格差を大きく受けるのは経営者でもなく子供達。そこに納得がいきません。私は現在、4歳、1歳の2児の親。4歳の認可外保育園、1歳は手元で見えています。通っている認可外保育園の先生は一生懸命子供達を保育し、こじんまりした園ながらも満足しています。しかし1歳の子を連れていく認可園に併設された子育て支援センターに行くこと「認可園ってすごい」と感じます。それは保育士の数に始まり、すべてにおいて悲しいくらいの違いを目の当たりにしてショックを受けました。私は家族の事情により専業主婦をしている為認可園に入れませんが、それは理解できます。でもこの違いは何の為に？誰の為に？こんなにも差をつける必要があるのか？と感じるのです。通っている認可外保育園の先生方は少ない人数でいっぱいいっぱいながらも笑顔で働き、感謝しています。ただ、週6日でフルで働くハードワークの先生方が心配になる時があります。あと1人、先生が増えれば少しは楽になるのでは・・・と考えたりします。どこも保育士は割に合わない仕事。新聞等でも記事に出ますよね。根本的なところから考えなければならぬかもしれません。待機児童も多しその改善が求められている昨今、他にも重要な問題が多々あると思います。ただもう少し認可と認可外保育園間の補助金の差がなくなれば・・・と思います。乱筆、乱分ではございましたが最後までお読み頂きありがとうございます。</p>
<p>本当は2、3歳まで子供を預けずに育てたいけど認可園に入れなくなるから、1歳前に保育園に入れると言う人が周りに沢山いました。私も来年3歳の子供は、公立をあきらめて私立の幼稚園に入れます。理由は2つ、公立の幼稚園は4歳からでること、3歳から認可園に入るのは仕事をしていないとほぼ不可能だから。3歳からの保育園環境を充実してくれれば、0歳から預ける人が減ると思います。宜野湾市は子供に対して施設が少なすぎます。少ない施設を有効に活用する方法をもっと考えてください。</p>
<p>出身地が県外で、祖父母が近くにいないため、非常時に安心して子供をあずける先を探せていないので、その点は不安です。</p>
<p>認可保育所の整備が絶対必要である。上の子の場合、申し込みしても2年空きが来なかった。この経験から下の子は申し込みすらしていない。入れる時期も不確定だし。そのような状況では仕事復帰の時期に大変支障がでる。はじめから認可外で確実に入れる所を探さないといけない状況。急に「来週から入れます」とか言われても困る。育児と仕事の見通しがたかない。</p>
<p>1歳未満の子は、親の急用（通院など）の際預け先が無い。</p>
<p>認可保育園の一時預かり制度もすぐ定員になる。受付日、10分後には一杯。大変困った。</p>
<p>今は、認可外保育園にお世話になっていますが、時間とかの融通がきくのが助かっていますが、利用料金がかなり高めなのでそこが生活費を圧迫します。市からの援助等が保育園にあるといいなと感じます。認可保育だと時間が厳しくフルタイムで働くのにむずかしい。料金をとるか仕事をとるか…いろいろと難しい問題が多い。母子家庭で祖父母も他界した私の場合、何かあった場合が非常に不安で心配です。</p>
<p>多分、認可保育園は基本的にそうだと思うのですが、仕事が月～金までの場合、土曜日は、午前保育のみですが、子どもが小さい場合、（3歳くらいまで）土曜日に午前保育のみだと家事で時間が過ぎ、自分の時間がほとんど取れない状態でした。月に1回でも、1日OKなど取り決めがあったら助かるなあと感じたりします。土曜日、法事などで、1日お願いした日もありましたが、やはり結構お願いしづらく、保育園にもあまり良い顔をされなかったの…。こういう場合は、お金を出しても、他の施設や人、サポートを使うのが当たり前なのでしょうか？その辺があまりよく分かりません・・・</p>
<p>小児デイケアの受け入れが、市の子どもの人口に対して少ない気がする。病気になって、予約を入れても既にいっぱい、利用できず、仕事を休まざるを得ないことが何度もあった。もう少し、受け入れ病院や人数を増やしてもらえると助かるかなと思います。あと、予約の仕方も改善が必要かな？と思ったりもします。（特に、母子家庭で親せきが近くにいない場合は、困ってしまいます。）</p>
<p>今後出産をして職場復帰を考えているが、子供が生まれる月によって保育園の申し込みが早くできたり遅くなったりすることに平等さを感じない（E X: 4月生まれ、3月生まれ）同じ学年になるのであれば、申し込みも同じであってほしい。</p>
<p>何年経っても、待機児童問題が解消されないのであれば認可保育園の増設をスピードアップするべき。何年も待機児童だと、認可保育園の在園児の持ち上がりは納得できない。</p>
<p>宜野湾市の認可外保育園は他の市町村の認可外に比べて古い、狭い、暗い所が多い。</p>
<p>待機児童をとにかく減らして欲しい。就職活動したくても、認可保育園はもちろん入れなく、又、近くの認可外保育園も空きが無いから大変。</p>
<p>妊娠から出産、育児休業まではとても充実したサポートが受けられました。が保育園の待機が他の市町村に比べてすごいか…今回初めての子でちゃんと保育園に入園できるか不安です。</p>
<p>認可保育園入園の基準が厳しいと思います。共働きできなくても入園できる、または認可園を増やして欲しい。</p>
<p>認可、認可外、いずれにしても、給食は園での手作りにして欲しい。そうできるだけの予算や人員確保をしてもらいたい。</p>

食育が言われるようになり、食の事件も多い中、ケータリングなどではなく、地産地消の地元食材を使った手作り給食、おやつにして欲しい。
本当に困っている生活に厳しい家庭から優先に考えてほしい。ずっと待機で待っていてなかなか入ることができなくて預ける事も出来ないで困ってます。
週1～2度無料で保育施設を利用できる。(先日、TV放送されていました(海外))子ども他者と交流をとることができ、家庭で保育されている子どもたちが利用すれば、その子の今の現況を知ることでもでき、又、保護者の心理的、肉体的負担の解消につながると思います。(有料の一時保育の代替)
認可保育園を増やして欲しい。
現在、認可外の保育園へ通っています。認可園と、そうでない園とでは、国からの支援に大きな差があると聞きました。認可へ入りたくても入れない子もいます。せめて、その差が少しでも縮まる様にして欲しいです。
娘は今年幼稚園に行くはずですが、午後からパートの仕事が多く市の幼稚園の午前保育では仕事に支障が出て、また普通に午後は預かり保育に入れても毎日弁当とかなりの負担で、夏休み冬休みがあると安心して仕事もできないと思い、今回通園してる保育園で幼稚園クラスができ、時間も19時まで預かり可、又、給食、制服なので利用料は高いですが、安心して預ける事ができるので今年は保育園を利用することに決めました。1番の理由は、今通園の保育園は、娘が体調悪くなると様子を見て悪くなったら連絡と融通がきくので、母子家庭で生活は楽ではないので保育料が高いのは痛いけど今のところ仕事に支障もなく助かってます。※園で年長組の子はひらがな、カタカナ、数字、英語の単語のプリントがあり、勉強も取り組んでくれて、今では読める様にもなり、文字も書き、園の仲良しの子と手紙のやり取りまでする様になりました。だから今の保育園の教育方針にはとても満足してます。今年もお世話になろうと思えます。
認可保育園に入所できず、高い料金を払って仕事をしないといけなく、経済的に困ってます。費用も内容も認可園が良いので、入所できるように園を増やして欲しいです。
認可保育園をもっと増やして欲しいです。
認可保育園だと時間がきびしい!!土曜日も1日、延長も30分単位にするなど、もう少し「ゆとり」が欲しいですね。その為現在認可外の保育園に入るしかありませんでした。
保育所と学童保育の増設をお願いします。
仕事をしながらの子育て、小さいうちは、手もかかり体調を崩しやすく、預かってもらえる親せきも居ない時は、数日も仕事を休んで、会社にも迷惑をかけ心苦しいことが多々あります。ファミサポへも登録はしていますが、普段からの交流がないため、(時間的な事もあり)いざ、お願いしようかと思っても、不安もあり、子供も、誰?と、かまえてしまうかと心配で結局利用していません。海邦HPのような、小児デイが、もう少し多くあると気兼ねしないであずけることができるんじゃないかと考えています。
私は子どもの母親です。市外の無認可保育園に勤めています。市町村や県、国がもっと充実させた内容・ケアの対応を求めます。自分の子どもを育てる側、あずかる側の両方を体験している私にとって、大きな会社、認められている市町村の保育園・保育所は、とても都合が良く、生活も不自由なくできているんだと思います。家族のため、子どものため、仕事のため(他の子ども達の子育て)、自分の時間があまりなく、家事もおろそかです。認可外保育園に対して、大きな保証や、ケアがあれば、経営している園長にも、ゆとりが出て私達の働きも少しはゆとりが持てるのではないかと思います。もっと下にいる、中小企業に目を向けて頂ければと思います。私達も、頑張っています。子どもも、沢山欲しいです。もっともっと、無理なく、子ども達が増えていくような社会を望みます!補足「お住まいの地域で実施されている事業」とありますが、そこを利用できない程、忙しい状況です。
働きたいから、保育園に預けたいのに、働いていないと預かってもらえない。(空気が無い)という状態をどうにかして頂きたいです。
認可保育園を増やして欲しい。働いていない世帯でも、希望があれば入れるようにして欲しい。預けないと働けない、働いてないと入れないのは変。子供は子供同士で遊んで学んでさせたいので…保育園大切だと思う。
今回認可保育園に申し込しましたが、入園できる人数が予想以上に少なくて驚きました。私が現在求職中なので、認可保育園は無理だと諦めています。卵アレルギーがあり、すぐ嘔吐してしまう為「症状が軽ければ、入園出来るけど・・・」と断られる事が多く、選ぶ余地はありません。認可保育園はアレルギーに対しても、しっかり対応して頂けると聞いているだけに、正直悔しさはあります。現状で、働いている方が優先されるのは当然だと思うのですが、産休・育休を取得できない職場にしか勤められない者としては、出産で退職するしかなく、1から求職活動となると、子供を預けてからでないと、間違いなく採用されないのが現実です。今後、認可保育園の増設と審査の際、アレルギーなど、子供の状態も考慮して頂きたく思います。
認可保育園において、兄弟がいる家庭は同じ保育所に入れるよう最大限考慮してほしいと思います。認可保育園にもう少し入りやすくなると、働く人からは厳しいと感じています。
宜野湾市は保育園の待機児童が多く働きながら子育てをする環境としては、まだまだだと思います。お金が必要だから働きに出たいのに、待機が多いから既に職についている人でないと保育所に預けられないのも困っています。認可の保育所がもっとたくさんできてほしいです。
保育園が就労状況に合わせて柔軟に対応できるようにして欲しい。
保育園の(市内)の質に差がある。通っている保育園は良いが、他はあまり対応が良いとは思えない。保護者への対応等の勉強が必要な園もある。そういう園は親が安心して子供を預けることができないのではないかと思います。
我が子が1歳児の時は、私もフルタイムの仕事をしておりましてので、認可保育園に入ることができ、本当にお世話になりました。幼稚園の頃には、2年保育体制もでき、年中より幼稚園教育に入ることができ、とても満足しております。あと、児童館もあるので、小学校へ行き出したらここを利用すると思うので、私の場合はとても環境が整っていると思います。
私も、保育士・幼稚園教諭の資格を持ち働いておりますが、待機児童を解消するためどんどん認可保育園ができております。働いている親にとっては有難いと思いますが、働いている保育士側からしたら、認可保育園によっても保育環境があまりにも違いすぎる面がよく見られます。(設定保育、カリキュラム等、教材費の使い方)もっと質の向上を望みます。子供達が安心して預けられる充実した環境をお願いします。宜野湾市民の為に頑張ってください。いつもありがとうございます。
保育園の待機を無くして欲しい。
P15、問26-2の質問は、年間何日利用したいかではなく、子供が急な発熱等で仕事を休まないと行けない時に(預ける人がいないので)利用したいと考えているので、何日利用したいか希望はありません。
保育所の入所を、上の子どもたちの時ですら入所出来ませんでした。との通知をもらいました。どのような点数かは分かりませんが、共働きしている私達は預け先がないと困ります。時間的なゆとりのある家庭で保育所を利用出来ている方が近所

<p>にいと「あれ??」と思ってしまう。公平にして下さっているとは思いますが、入所できるようになるといいなと思っています。</p>
<p>平日・休日構わずに利用できる所がほしい。サービス業で平日以外にも仕事をしている父母は多いです。</p>
<p>このアンケートの対象者は、何を基準に基づいて決められたのでしょうか？保育に関して、待機児童を減らして欲しい。私もそうでしたが、身近に頼れる人がいないけど、働かなければ生活できない！そんな中、「仕事してないと保育園に入れない！」「預け先がないと仕事が決まらない」面接に行く際はファミリーサポートやベビーシッターに子供をお願いして、面接の度に多額の料金がかかり、精神的、金銭的にも苦痛の時期がありました。その中で、仕事はしてないので保育園に預けてる方がいたり、本当に困っている人が保育園に入れてないのがあったり・・・そういうのを調査してほしい。</p>
<p>認可外保育施設に通う保護者に対して、補助、免除の制度があった方が良い。</p>
<p>認可保育園をもっと増やして欲しい。本当に育児が必要な人が子供を預ける事ができていない。仕事をするのは一緒だと思うけど、どーして周りに見てくれる人がいない人でも後回しにするのですか？頼る人、所が無いと働けない、どんな親もずっと子供と一緒にいてあげたいのは同じです。でも、今の社会、経済的な面でも両方の親が働かないと行けない状況があります。認可が増えないのであれば、他に利用する所を無料や認可外の保育園ももう少し安く利用できるようにして欲しい。</p>
<p>幼稚園へ行かせたいと思っているが、保育園が3/31まで幼稚園の預かり保育は入園式の次の日からとなり空日の期間の保育についてとても困っている。また、幼稚園の卒園からも預かり保育が無くなるため空日が出来る。働く親にとって4月3月も長期では休めない。週5フルタイムで働いているので今からとても不安です。小学校への進学を考えた時、公立幼稚園に行く事が子供にとって良いと考えていますが、まだサービスとして不十分と感じます。当たり前の様に春の間の預かりをしないのは今のニーズに合わないですね。預かり保育の人数も少ない。</p>
<p>認可園への入園が困難である。第1子育児明けで時短勤務をしていたが認可園への入園はかなわず、第2子育児明け半年後に時短からフルタイム勤務へ変更し、やっと認可園へ入園できた。時短制度を利用したいが、認可園へ入園できないのであれば、時短制度の利用を諦めてしまう。認可外保育園を利用していたが、認可園との保育の質はあきらかに違う。待機児童の解消と、入園の公平性を望みます。</p>
<p>保育所の時間を19時までにして欲しい。那覇で18時まで仕事だと、19時までじゃないとお迎えが間に合わない。</p>
<p>病気や、歯科受診時に子供を預かる制度があれば、病院にも通いやすくなる。</p>
<p>病児を預かる所が少なく、ファミリーサポートセンターでは感染症の子は預かる事が出来ない為、インフルエンザやみずぼうそう等にかかった時、長い事仕事を休まないといけなくなるので、病児預かりもどうにかしてほしいです。</p>
<p>保育園に病み上がりの子どもを預かる場所もつくって欲しい。看護師をおいて、一部屋を設けて熱のある子を預かってくれたら、助かります。急なお迎えに対応出来ない事があったので。</p>
<p>認可保育園もパートではほぼ入ることは出来ない。稀に入れたとしても保育料が高くて、経済的負担が大きい。認可保育所をもっと増やして、誰でも入れる環境を早く整えてほしい。</p>
<p>家の近く（宇地泊）に、認可保育園を増やして欲しいです。</p>
<p>認可保育園の人数拡大や保育所の数を増やして欲しい。</p>
<p>日本は幼児教育の重要性を掲げているが、先進国の中でも幼児教育にかかる税金の割合は低い。そして、国も長時間預ける機関を設けるような事に目がいきがち。病気の時やその他の面でも、親が一番関わったり、見てあげるべき時に、本当の意味で支えてあげるサポートが必要。職場や周囲の人たちの理解など。子育ては大変で当たり前。喜びを感じることができるような精神的な満足感、不安を支えてあげる必要がある。そして一番大事なのは、親の立場からのサービスの充実よりも、保育内容の質の向上、保育従事者の待遇の改善も大切と思う。幼児期に後押しをしてあげることで、志の大きな財産となって返ってくると思う。</p>
<p>待機児童の解消の為に、保育園が増えたり増員したりととても感謝するところと思いますが、最近感じるのは人数が多くなり、対応がマニュアル化してきたような印象を受けます。もっとアットホームで個々の家庭事情にも親身になって相談に乗ってくれていた温かさが減っているような気がします。先生方も忙しいと思いますが、気遣ってくれる声掛けひとつで「頑張ろう」という気持ちが湧いてきます。預かって頂いているだけで、感謝だとは思いますが、最近の印象です。</p>

## 2. 環境整備

計 149 件

子供が今年、春から小学生になります。通学路に一部歩道のない所があり、車が多く通る道を通っていかないといけません。車によってはスピード出して通っていることもあり、いつか事故がおきるのではないかと心配です。歩道や横断歩道の整備をきちんとして欲しいです。
少子化、少子化と言うが、今、父母共に働かなければ生活も厳しいので、もう少し子どもを育てやすい環境を作ってほしい。
子供を預かる仕事をしている人はもちろんですが、祖父母として(血のつながった)子供を預かっている人々が集まって情報交換する機会をつくる。また、祖父母が家で孫を見るのではなく地域のコミュニティを日中から利用できるようなシステムを作ると良いと思う。祖父母は孫を見る仕事のかたわらで、自らの健康づくりと認知症予防にもなるのではないと思う。(例)平日、日中に地域のコミュニティで親子ならぬ、祖父母+孫世代の読み聞かせ会や、野菜作り教室や琉球舞踊教育など(子供連れ参加できることがポイントの参加型のイベント)
公園は沢山あるけど古い公園等は設備が何も無かったりする。(スベリ台、ブランコ等)一撤去されてそのままだったり地域の小さな公園も気にかけてくれたら嬉しい。
アレルギー持ちの子のため外食が困難。原材料表示のある店が少ない。もう少しアレルギーに配慮したお店、レストラン等が増えてくれると、子どもと一緒に外出・外食が楽しめる。
子育ての環境が良くなることはとても親として有難いことですが、親が安心して子供を育てられるように、仕事をしている親の職場環境も良くなればと思います!!勤務時間の短縮など制度が整っていても活用できなかったり、理解してもらえなかったりすることが多いです。
雨の日に遊べる所が無い。
近くに公園はありますが、歩道がなく、車通りの多い道沿いにあり、危なくて子供だけでは行かせません。公園が少ないです。
一度認可に預けた時の先生の言葉使いが悪過ぎてビックリしました。その辺も指導して欲しい。
広くて安全な公園を作って欲しい。(子供目線の)
今後もっと子育てしやすい環境、親が安心して働ける環境を作って欲しいです。他の市とも情報交換するなど頑張りたいです。
いつも住み良い宜野湾市づくりを考えて頂きありがとうございます。教育環境においてですが、習い事、例えばそろばんやピアノ等に行くのに、保育園からその習い事の場所への送迎してくれるサービスが市の方であったら、子どもの可能性が広がるのではと思います。現在そろばんに子を通わせたいと思っていますが、そろばんバスは出ているけれど、時間帯が合わないの理由から、親の方で送迎しています。もし送迎してくれる方がいたら、毎日(幼いので)15分位通って、そろばんの上達も早いと思うのですが、実際は週1~2回しか通ってない。無料で越したことは無いのですが、有料でも構わないのでご検討下さい。子供たちをもっと有効的に学習させられるかと考えます。よろしくお願いします。きっと仕事をしている親からしてみたら、保育サービスがあれば、利用したいと考えている方もいると思うし、市の(小・中へ進んでからの)いろいろな面で良くなるのではと思います。
企業等に勤めていれば、産休・育休を取得し社会復帰も可能ですが、保育園に預けたばかりの子どもは、よく体調を崩します。復帰ができて、休みがちになり周りに迷惑をかけてしまいます。幼稚園・小学校になった際は、就園後の事で悩みます。子供の為に保育・教育環境・時間等も含め、より子育てに充実した環境作りをお願い致します。子育てしやすい環境があれば、世の中の晩婚化も減り、出生率も上がるかと思えます。実際、企業に勤めている方々は、未婚が多いのが現状です。女性が働きやすい環境づくり、子育ての環境づくり、宜しくお願い致します。
子供の急な発熱の時など、企業側の配慮が少しでもあると助かります。産休・育休をもっと手軽にとれるようにして欲しい。会社に言いづらい。
真志喜にはやたら公園がありますが、宜野湾・我如古4丁目には公園がない。公民館も古く利用しにくい。公園の隣とかに移動図書館的なものがあればゆっくり子供と過ごせると思う。市民図書館は子供が小さいと声を気にして入れない。(読みかせづらい)公園も平らな広場が少なくてこぼこしている、3・4才では走っていたらすぐ転んでしまう。ボール遊びができない。
教育の場で先生に対して不信感があるなど、学校に対して何らかの訴えをしたり相談をしたときに、相談できる場の敷居が高い。学校内部の方には言いにくいし、教育委員会にもハードル高い。困った時に気軽に聞ける相談窓口を学校外に設けて、告知してほしい!保育園も同様です。
住んでいる場所の指定の小学校以外にも、校区外でも距離的に変わらない感じの小学校がいくつかあるので選べたらな…と思います。
仕事(企業)が保育園と合わせようとする冷たい現状。企業の子育てに対する理解をふやしてもらるか、保育する側が企業に合わせるか。子供が小さい理由で欠席されると困る企業が多いので収入が少なく、希望できる会社に就職できないのでどうにかして欲しい。
街灯をもっと充実させて下さい。暗くなると、明りの少ない道が結構多く感じます。子供が一人で帰宅するようになると心配です。
58号線の横断の安全性について、もっと工夫できないか・・・(小学校への進学で、一番それが気になっていた。)
宇地泊など、新しい地域には折角きれいな公園があるが、子連れで行きにくい所が多い。人目が届きにくい所へは母子2人では不安。ユニオン裏は目が届きやすく車も停められるし利用しやすい。
体験教室の定期的開催。本格的でなくていいので手軽に格安で色々な体験をさせたいです。
H26.4月~保育園に行きます。(認可外)こどもがまだ小さいので、職場に託児所がある企業が沢山あると良いと思う。又、土・日・祝休みの10:00~16:00など、こどもがいる環境での人材募集も増えたらもっと助かる。
企業誘致。子供を育てていくと子供のもを購する機会が増える。そういった商品を扱う専門店があれば子育てしやすい街として県民に根強い、宜野湾市も発展していくと思う。琉球大学、冲国など大学生が宜野湾市を身近に感じる環境にあるので学生たちに宜野湾市に住みたいと感じてもらい、子育てもこの地域でと思えるような市にしてほしいと思う。
公園について、公園が多くあるが、もう少しアスレチックを取り入れた遊具があると、子供達の身体能力もアップしていくのではないと思う。
ベビーカーを押して、買い物などへ出掛けると、声掛けしてくれたり(レジにいらっていると、子供がぐずるため、先にどうぞと言ってくれる)エレベーターなどでも、よけてくれたり、親切にしてくれる方がいて、嬉しく思います。ただ、こちらまで遠慮しながら邪魔にならないように、狭い店などは抱っこひもで行こうと思いますが、1才位になると、なかなか前抱

<p>っこも商品を選びにくかったり、買い物しにくいいため、ベビーカーやカートを押して入りたいけど、入るに入れぬお店もあるので少し余裕をもって通れるようにできるといいなあと思います。</p>
<p>宜野湾市大謝名地区は、道路整備がされていない道路が多く大謝名小学校裏門から当山産婦人科、道路は子供たちの通学道路にも関わらず歩道は非常に狭く危険な歩道です。大型車両も頻繁に通行し、何度もヒヤットする場面を見ます。</p>
<p>大謝名地区は親子で遊んでゆつくりできる場所、公園がないです。小学生も遊ぶ場所がなく可哀想です。もう少し緑のある、美しい公園・遊具がたくさんある公園を造ってほしいです。散歩が出来る公園も作って欲しいです。管理のことを考えると大変かなと思いますが、でも子供達を心豊かにするのは、緑にふれての外遊びだと思います。昔みたいな。</p>
<p>両親学級や育児学級など、とても役立ち良かったです。</p>
<p>中学校を自由選択制にして欲しいです。</p>
<p>子育て支援サービスや、育児についての交流の場はあると思うが、新米ママ対象が主で、私のように第1子と第2子の間に期間があるママは行きづらい。訪問サービスもあるが、2人目だから大丈夫ですねと言われることが多く、相談しづらいこともあった。先輩ママさんから情報を聞けるような交流の場があれば嬉しい。</p>
<p>小学校の放課後利用ができるように取り組んだ方がよいように思われます。あれこれ施設を増やして事業費を捻出するよりも、現在あるものを有効利用した方が人件費や物品に利用することができるのでは？と素人の考えですがそう思います。全国にもボランティアなどで、勉強を教えたり遊びを伝えたりと、地域住民も取り込んでいくのもいいかと思ひます。平日の日中働いていると、土・日は外出するのですが、ご近所との付き合いがなかなか持たずに、小学校に入る時には通学路がどのような状況なのかと心配ばかりがつのります。地域住民が集える機会をつくるのも現実的には難しいのかも知れませんが、希望します。思いついたままのなぐり書きになってしまひすません。</p>
<p>道路の整備</p>
<p>仕事をしたい主婦たちに、行政を通して仕事を紹介出来る制度（この職場には託児所があり）などが必要。</p>
<p>保育所や幼稚園、学校へ行くまでの通学路が細くて、車の往来が激しい為とても不安。認可・認可外も含め、宜野湾区内で少ないと思う。</p>
<p>大謝名に子供が遊べる公園を作って欲しいです。</p>
<p>公共の施設、車いす対応でバリアフリーにはなっていますが、双子用ベビーカー対応の事も考えて広くしてほしい。</p>
<p>歩道がデコボコしてる所があってベビーカーだと大変なので整備して欲しいです。</p>
<p>沖縄は子供を連れて遊びに行くスポットが少ないと思うのでもう少し増やして欲しい。余計なお世話かもですが、小さい子を連れて居酒屋に行ったり、夜遅く連れまわしてる親が多い気がするので、環境的に良くないんじゃないかなと思います。</p>
<p>職場に産休や育休などの理解があまりなかったし、復帰後の勤務も理解してもらえなかったので、もっと企業に働きかけて欲しいです。</p>
<p>公園。ベビーカーやよちよち歩きの子どもが安心して歩ける遊歩道等、子供達が水遊びができる系満親水公園の様な施設を充実させて欲しい。</p>
<p>学校へのオリエンテーション等の時、本人以外は連れてこないで下さいと言われます。預けるところがない人は参加するなと？仕方ないのでどうぞと言うなら最初からそういう話は出さないことです。兄弟姉妹がいて何かダメな事でも？って感じます。市と教育現場の話し合いを求めます。子供を一番と考えるなら、子供がいて当たり前。子供は元気に騒ぐのも当たり前。少し静かにさせるのは親の役目。それでも騒ぐのは仕方ないけど。それなら、小さい子が遊ぶスペースを準備する。そこまでするとかなり良くないですか？ちょー子供がいても静かになる方法だと思ひます。（笑）</p>
<p>宜野湾市大山のパイプライン通りの道をぜひ整備して欲しいです。車通が多いのに歩道もせまくベビーカーなど押して歩くのも怖く、通学路で小学生が歩いている事も多くとても危ない。また夜間は街灯も少なく怖い。基地も近くにあるのでもっと明るく安全に歩ける道にして欲しい。</p>
<p>公園が汚い暗いなどで、幼児が遊ぶには相応しくないとあります。変質者が出ることもあるので小さな公園には行けず車を出していきい市民パークまで行かないと安心できません。</p>
<p>この世の中を担う子供達の教育については、行政をあげて教育のチャンスをもっと子供達に与えて欲しい。例えば語学を習いたい、もっと勉強がしたい等、塾とは違う形、中央公民館でやっている安い年会費でのサークルのような形でもいいのでやってほしい。</p>
<p>子供がいる家庭で新たに子供を授かった時、働いている職場を退職しなければいけません。契約社員だから…。復帰できる保証もないので、正社員だけでなく、契約社員でも育児休業を取得したり、できなければ戻ってきたいと言っている方には職場に復帰できるような制度にして欲しい。保育園に子供を預けている親にとっては、子出産後、5ヶ月以内に職場復帰出来なければ、預けている子供が保育園を辞めさせられてしまうので…。その制度も見直して欲しい。出産後やっと落ち着いてきた親にとってとても大変なことです。出来れば、出産して半年までは子供を保育園に預けていても休んで産まれた子を見れるようにして欲しい。私だけではなく、子供がいる親にとって本当に子供の為、親の為に制度を改善して欲しい。本当に困っています。</p>
<p>学力向上の為の環境作りと、子供のための心理カウンセラー</p>
<p>私の住んでいる地域は住宅街で近くに公園も多く、また学校もあり、子供も多いです。日中でも車の往来が多く私自身も毎日運転しますが、三叉路・交差点などで住宅が視界をさえぎり、とても視界が悪い。なのにカーブミラーがない。いつも徐行運転するようにしていますが、それでもやはり不安だし怖いです。子供達にも毎日危険だと思います。カーブミラーを増やして下さい。お願いします。真志喜3丁目付近です。</p>
<p>宜野湾市は、年々認可園も増えているし力を入れてくださっていると感じます。子供が少し大きくなってくると、安心して道を歩かせられない事は気になってきます。（歩道の整備）</p>
<p>我如古在住ですが、近くに気軽に足を運べる公園がありません。車を出して遠出しなければならない距離ばかりです。ぜひ公園の整備をお願いしたいです。現在いくつかある公園の遊具は老朽化も激しく、ここで遊ばせてやりたいという気持ちを削ってしまっている状態です。隣の中城村は近くにいくつもの公園整備を行っています。ぜひ宜野湾市もお願いしたいです。</p>
<p>子育て世代の父母の就労環境（勤務時間・賃金等）の改善。</p>
<p>皆が一律に受けられる教育やサービス環境。</p>
<p>最近には特に、コールセンター等で仕事をした場合、子供の病気で休みの取るのが難しく、以前働いていたコールセンターの時は、月に3日休むと指導が入りとてもストレスになって辞めた経験があります。働きたくても預ける場所がなく、預けたとしても出費が高く八方塞がりという感じで、どうすればいいのか…と途方に暮れたことも多々あります。働かなければ生活できず、働いても子供が病気で休んでも出費で生活を圧迫する。少子化の問題が大きい割に安心して子育て出来る環境が全然整っていないように思ひます。安心して子供を預ける保育施設も少なく感じます。</p>

<p>宜野湾市は子供も多いし、子育て世代が多いのに道も公園も汚いと思います。あんな汚い公園では、安心して遊ばせる事が出来ないで、いつもわざわざ車で遠方の公園に連れていっています。汚い道や公園では、犯罪も起きやすくなると思うので、もっと積極的にメンテ、手入れ、管理をして頂きたいです。汚い街では、良い子は育たないと思います。</p>
<p>本当に子育てしやすい環境にして欲しいです。公園が少なすぎます。</p>
<p>小学入学後に求めること。習い事や学童利用させたいが、帰りの送迎がないのでさせられない。各施設で送迎が対応できないなら行政でフォローを。ファミリーサポートは定期的な継続対応は制度として弱い？</p>
<p>子育て環境や支援に求めること。①子供の欲求に応えながら仕事を続けていける環境。②子育てを優先しても減給とならないような経済的サポート</p>
<p>職場に求めること。子供の看病など、仕事を休みやすくなるように、ゆとりをもった人員配置をしてほしい。仕事を休まず様子もよく分かり安心でき、子ども親の顔が見れ、近くにいる安心感が得られる。</p>
<p>多くの施設に通園・通学等のバスがあればとても助かると思います。(いろんな施設・クラブ・学校・学童 etc…)</p>
<p>宜野湾市民は全員英語がしゃべれます！というようになってほしいと思う。低価格でベースの中とかで英語教室があったら利用してみたいと思う。</p>
<p>歩道のない道路(長田交差点から芝野団地向けなど)があって、大人でも歩くのが怖い場所をきちんと整備してほしい。</p>
<p>子供が遅い時間まで、子供だけで外出している姿が目立ちます。コンビニ・スーパーなどで、中学生が数人で地べたに座り込んでいる姿もよくみかけます。屋間に近所のアパート等での駐車場でたむろしている姿もよくみかけます。治安面ですごく不安になるけど、そういった子供達を指導してほしいです。(学校だけでは限界があると思うので、市として何らか取り組んでほしいです。)</p>
<p>公営住宅を増やしてほしい。現在、大謝名団地や大山団地など募集停止しているし、市営住宅の類も少ない。(伊佐の団地も募集していない)ひとり親世帯が入り易い制度を作って欲しい。(何年間も入れない現状である)</p>
<p>宇地泊方面への道路開通に伴い車の量が多くなったが、信号機や横断歩道が少なく子供達が事故に巻き込まれないかとても気になってきました。早めに信号機、横断歩道の設備の充実をお願いします。</p>
<p>地域ごとの子供会を発足させて欲しい。エイサーや地域事業を行政で推進してほしい。</p>
<p>現在は育児休業を頂いて休職しておりますが、私は正社員をしています。サービス業・小売業で働いている者としては、仕事と子育ての両立は本当に難しいと思います。シフト制で土日も休みじゃないし、24時までの勤務もあるので、保育園の申込みは通るとは思いますが、両家の家族の協力、ファミサポや、その他のサービスをフルに活用しなければ働けないと思います。今から復職するのが不安です。保育園は良くても、幼稚園、小学校と仕事との両立はどの段階でも大変なんだろうな。なので、ずっと正社員で働くことはできないだろうなと、今から感じています。共働きが多い沖縄県ですが、みんなどのように仕事と子育てを両立させているのでしょうか？その事例を、もっと教えて欲しいです。従業員が多い会社なので市の方から会社が子育ての支援に積極的になってもらうような働きかけはできませんか？</p>
<p>職場復帰の際、子供の年齢よりも保育園に入園する為の時期を優先させなければいけないのが辛い。認可保育園は4月入所を逃すと待機になる可能性が高いので、誕生月によってはかなり低年齢で預けなければならないので、いつでも安心して子供を預けて職場復帰できるようにしてほしい。</p>
<p>公園の遊具など、小さい子でも楽しめる公園を作って欲しい。</p>
<p>近所に公園がありますが、遊具が古く思えますし、安全面が大丈夫なのか少し気になります。また、薄暗い感じもしますので、改善して頂けると嬉しいです。</p>
<p>保護者と職員(先生方)のコミュニケーション不足。「学校と家庭で連携して～」というわりには、保護者からアクションを起こしたり、きつかけを作らない限り関わろうとしない。</p>
<p>職員同士のコミュニケーション不足。一緒にいる割にはコミュニケーション不足で、連携がとれてない。「最近の若い職員(先生方)は・・・」とか「昔ながらの考え・・・」「時代が違う・・・」等、ベテラン先生から新人教職員まで様々な意見や想いがあるとは思いますが、もっともっと子供達をどう育てて行きたいのかを話して下さい。色々な事をたくさん話して、古いやり方でも効果や実績のある方法は続け、若い職員の新しい考えややり方もトライしてみる等、歩み寄りながら同じ志を持って指導にあたって頂きたいです。ただの仲良しこよしでは人は成長しません。評判の悪い中学校もあり、そこに入学させたくないために引越す人も・・・その土台である小学校や幼稚園、その地域の教育・保育の環境を見直していただければと思います。</p>
<p>子育てをするにあたって、一番仕事場がもう少しゆとりをもってスタッフなど増やしてくれると、子育てしやすくなると思う。保育所で何かあれば、休みもとりやすく熱を出した時など気軽に休みが取れると、子育てしやすくなると思います。だからと言って、仕事場を変えるのは不安。認可保育所に入れている分、次の仕事見つけるまで3ヶ月しかない。その3ヶ月に仕事が見つかるかどうかどうかも不安。子供がお友達もできて楽しんでいる中、保育所がクビになっても困ります。なので、やはり仕事場が少しでも休みを取らせる余裕があってほしいと思っています。</p>
<p>共働きの親にとって一番苦なのは、子供が病氣した時に平日の診療時間内に受診しないといけないので、仕事を遅刻して病院へ連れていくか、相対して病院へ連れて行かないので、職場の方に対して少し気が引けます。なので、以下のサービスがあると少し助かります。①病院に対して、診療時間の拡大②保育園に対して、病院受診後、異常が無ければ受入→以前、上記のような事をしたら、遠回しに「病院のデイケアに預けてください」という事を言われました。しかし、0歳～3才までの子をいきなり知らない人に預けるのは親としても不安です。午前中とかであれば受け入れてほしいです。③宜野湾市に対して、救急病院(休日、夜間のみ診療できる病院)がほしい。→県内の小児救急が少ないのでは？との疑問。医師不足等もあると思いますが・・・</p>
<p>公立小学校のスクールゾーンの安全徹底。通勤、通学、送迎時間でもあり通行量が多いが歩道がなく危険。</p>
<p>小さい頃から英語に触れる環境を作ってあげてほしいと思います。</p>
<p>小さい子供が安心・安全に遊べる公園等を作って欲しいです。内地から来ましたが、とても子育てしにくいように思います。</p>
<p>沖縄市や那覇などになるカルチャースクールのような施設を作り、親子講座をもっと充実させる。(支援センターで毎月行われる親子講座なども良いのですが、定期的に学べる場所があるととても子育てが楽しめるかなあ…と思います。)親子リトミック、親子ヨガなど。</p>
<p>教育について。小学校の夏休み・冬休みの長期の休みについて、長期の休みを廃止して欲しいです。夏休みの期間を使って、通常の授業内容をより深く設定できるとは思いますし、親も安心して仕事に行けるとは思います。結局、休みだと言っても親は仕事、子供は学童もしくは自宅での休職となるのがほとんどだと思います。それよりは、学校の休みの期間を使ってゆとりをもって取り組んだ方が良いかと思っています。給食の調理師さんたちは休みの期間無給だと聞いたことがあります。長期の休み期間がなければ雇用拡大にも繋がるかと思っています。運転中の喫煙禁止と学校の長期休暇(夏休み)廃止を希望します。以</p>

上。
子育ての環境について。我が家の場合、登園（登校）は毎日車で送迎です。その際、窓を開けると、左右前後の車から喫煙者のたばこの煙が必ず入ってきます。子供に朝の新鮮な空気をと窓を開けているのに煙草の煙が入ってくるのにはとても気分を害します。子供の体にも悪影響です。どうか宜野湾市からモデルとなるよう、運転中の喫煙を禁止して欲しいです。（歩きたばこ禁止と同様）※車で喫煙されているドライバーは必ずと言っていいほど、車の窓を開け、煙草の灰を窓の外へ捨てています。発見次第、警察へ通報しても良いのでしょうか？
ベビーカーを押して歩くと、歩道の状態が非常に悪く大変です。車いすの方ですと、もっと大変だと思います。なんとかならないでしょうか…。
長田区は公民館も小さく、児童館も無く、公園も少なく、小学校でも放課後は校内で遊んでダメと指導されており、遊ぶ場所がほとんどありません。小学生にとっても住環境という面では、長田区は宜野湾の中でもとても遅れた状況にあります。早急な改善が必要です。遊ぶ場所が確保されるまでの一時的な措置として小学校の運動場や校庭で放課後に遊ぶ事を認めて頂きたい。校区の外に子供だけで出るとはダメと指導されており、この指導に基づくと、市民パークにさえも行けないのです。長田公園では、ボール遊びも禁止なのです。大人にとって都合の良い様にされていることが多い様に感じます。子供の目線で考えた子供にとっても住みよい宜野湾市政というのも必要ではないですか？子供達は未来の宜野湾市民ですよ。小学生の遊び場が少なく、長田公園ではボール遊びをしないようにと書いてあります。公園でボール遊びができない…なんですか？。また、学校でもボール遊んではいけないと言われており、一体どこでのびのび遊べるのか・・・どうなっているのでしょうか？小学校の隣、または学校内に放課後過ごせる場が是非ほしいです。宜しくお願いします。
朝の登校時間、見守りしてくれる老人会の方、など地域の方が心強く感じます。一方で、下校時刻にも可能だと、不審者も減るのかなあと思った。集団（グループ）登校、下校が、出来ると良いが、現代の状況では難しいのか・・・。
公民館の環境がもっと良ければ、子供が遊びやすい（広さ、固定遊具の充実を希望します）
もっと小道にガードレール（歩道専用）みたいな仕切りがほしい。道路歩いててもあんしんして歩けない。（住宅街など）
職場に関しては、働く場所や部署によっても大きく異なると思います。現在は、上司や周囲の環境も良く、理解も得られやすいので働きやすさがあります。以前は全く違ったので、職場全体での理解と支援が大切かと思います。後は、フレックスタイムや有給の時間制など、勤務形態にもっとバリエーションがあっても良いかと思っています。きちんと正職員として！！パートや契約では経済的にキツイので…。もっともっと子育てしやすい環境を作り、未来の沖縄を支える子供達を育てやすくする“市”を目指して下さい。
宇地泊地区は、開発地区だが、信号機・街灯等がなく、非常に危険である。子供だけで歩かせられない。
子供達にとって、どのような環境がベストなのか、保護者と周囲の方々と一緒に考えて環境づくりができればいいと思います。保育課の皆さま、子供達の成長を温かく見守って下さいますよう、ご協力とご指導よろしくお祈いします。
宜野湾市内にも、屋根のある小さい子供が遊べる体育館を設けて欲しいです。私は小さい子供を連れて、遠い公園まで、天気の良い日に遊びませません。どうか、よろしくお祈いします。
子供たちが安全に自転車走らせられるよう歩道を…歩道に車が止まっており、一度車道に出てきてる子が多い。ベビーカー等も同じである。とても危険です。
公営住宅も増やして頂きたい。
公園（市民パーク）はよく利用するが、自転車と歩行者が接触しそうになり危ない。自転車専用（スケートボードも）道路が赤線など弾いて区分けに欲しい。国道 330 号の歩道が子連れでは歩きづらい。
学校の駐車場が少なく不便。すぐ近くの学校ではなく遠い区域に通学させられ不思議に思う。もっと柔軟に校区割ができないのか？学校の運動場を（行事の時は特に）駐車場に利用して欲しい。前居住地ではスムーズに駐車していた。
保護者の就労の為、普天間第二校区ですが、普天間小に通学させる予定です。放課後は学童を利用する予定ですが、何か急な事で一人で自宅に帰らなければならない状態になった時、一番心配なのは、いすの木通りの横断です。自分も小学校の時にいすの木通りの横断を頻りにやっていたが（40年以上前）その頃は、今ほど車は多くありませんでした。普天間小から自宅へ帰る時、いすの木通りの横断の為に沖銀普天間支店横の信号を横断することになると思います。そこは以前にひき逃げ事故があり、長い間立て看板あったと記憶しています。市役所方面からくだったって来た車が左折する時にスピードがあり、見通しも悪い感じを受けるのでとても心配です。代わりに小学校区でも、新城ユニオン喜友名側にも最近信号機が設置されました。三蔵（きじ屋さん）付近にでも、いすの木通り横断歩道（信号機付き）ができて欲しいと思います。親の都合で、誠に申し訳ありませんが、ご検討よろしくお祈い致します。提出遅くなり、申し訳ありません。
宜野湾市に住んで5年だが、環境が悪いイメージ。特に学校の環境（先生方の対応）。また子供達へ授業の中でイジメについて具体的に授業に取り組んでほしい。
親子で楽しめるプールを作って欲しい。（できれば温水室内プール）
小学校のグラウンドは芝があるため、サッカーの試合ができない。校長先生は子供達のサッカーの練習試合をさせてくれない。芝を守ることより子供達に機会を与えて欲しい。グラウンドが使えないので、代わりにいいの市民パークを使用するが、使用料は自己負担している。学校で負担して欲しい。他校はどこでも自分達のグラウンドで練習試合をしている。長田小だけが、試合できないのでとても不公平である。芝のグラウンドをもっと子供達に解放して頂きたい。
仕事との両立の面で、職場環境の充実、改善が希望。元々ローテーションで、現在日勤にしているが、遅番や深夜、深夜に入らないと居づらい雰囲気になる。転職を考える。正社員だがパートでも良いのかな？と考えてしまう。勤続年数10年を越えるが、先輩も後輩も理解が少ない人が多い。
基地負担をしているのだから、せめて公の場（特に、子供のためのもの）をきちんと整備する税の使い方を検討して欲しい。特に公園は、ある場所が偏り過ぎている気がする。
子供を安心して登校させられるよう、道路の整備。→我如古サンエーから琉球大学向けに行く道、歩道なし、ガードレールなし。
もっと子供と週末など、カラオケやあそべる場所を増やして欲しい。PM8時以降入れない所が多すぎる。子供がいる母親子供と一緒に土曜日の夜友達と一緒に掛けるな！と言われていたようで全然ストレス発散ができない。週末くらい親同伴OKの場所があっても良いと思うので、改善して欲しい。
育児休暇は制度としてあるが、職場によってまだ取りにくい所がとても多い。国が取るのが当たり前のようにしないと、現実的に厳しいと思う。
保育施設を充実させる事はもちろん必要なのですが、次のステップとしては教育の充実を強化して頂きたい。教育を変化させることで、小学生の学習レベルが上がるのではないかと同時に幼児の親の教育も大変必要である。
住んでいる所の周辺の道の舗装が万全でないで、子供と歩く時とても歩きづらいです。

市内にもっと子どもたちが遊べる室内のキッズスペースを作りたいです。
保育施設や学童など、預ける環境の充実も必要ですが、子供オーケストラや合唱団、劇団など、子供が活躍できる場があるといいなと思います。
遊ばせる場所もいけど、学べる場所もあればいいなと思う。図書館とかの有効利用とか。上の子は本読めるけど…下のベイビーでも遊べるものがあればもっといいなと思う。(木の本とか、パズルとか)
深夜の営業しているお店に行くと、午前過ぎにも関わらず、子連れがいる事、親の身勝手が目立つ。「午後9時以降の子どもの外出は控えましょう」等のポスターやCMで、注意を促してほしい。
放課後の学童クラブなど、すぐに増やすのは大変だと思うが、すぐ出来ること、やって欲しい事があります。新1年生の給食開始を早めて下さい。幼稚園・保育園でも給食を行っている所は多いのに、なぜ新1年生だけ、1ヶ月も給食無しなんですか？他の市町村と比べても、5月からの給食開始は遅すぎます。パート等で、13時、14時まで仕事をしていると、この1ヶ月は調整が大変です。すぐ実施出来ることはしっかりやって欲しい。26年度から始めて下さい。市長が公約した小学生まで医療費無償化も進めて欲しい。
宜野湾市の保健センター等の施設、設備が古く不衛生で、小さな子を連れて行きたいと思えなく、行くたびに気が重くなります。改善して頂けると、色々な子育て行事に参加しやすくなるのでお願い申し上げます。
公園やその付近の路上などで大声を出したり騒いだりする。集団に使用させないで欲しい。母親と幼児のみの場合、何かあったらこわいので公園に行けない。そのような公園の場合、トイレや手洗い場も汚れていることが多い。
夜道が暗い。(外灯が少ない)騒音が気になる。(昼だけでなく夜もうるさい)
公園を利用しますが、もっと明るい原色の色の滑り台やブランコに色を変えてもらえると楽しく遊べます。又、外灯もおしゃれにランプ風にするなど歩いて楽しい道を作っていけたらと思います。
語学に力を入れて欲しいなと思います。小学校から英語教育が入ってきますのでその前から慣れ親しむ環境のある宜野湾市であって欲しい。基地はいりませんがアメリカ人がいる環境があるなら、保育園、幼稚園で交流出来る様にして県内でも一歩前進している市になれば市の人口も増えるしいのでは？？良いように利用したい。
外灯もない中、公園で小学生の子供たちが遊んでいたります。中学生にもなって、昭とみたい不良(?)が存在し、ベビーカーを押して歩いてきた私に爆竹を投げた子がいた。あまりに驚いて、対処できなかった事が悔しい。
自宅周辺は公園も多く有難いのですが、道が悪くベビーカーでは公園にもいきづらいため改善されると嬉しいですが、
少しずつ改善しようという動きはありますが、保育所(認可)が少ない、小さい子を連れて楽しめる施設や買い物できる場所が少ない。(ベビーカーだと通路が狭く、他のお客さんの邪魔となりゆっくり回れない)など子連れだと活動が制限されます。
通学路でも幅が狭く交通量も多く危なく感じる所が多く思います。でも両サイドが私有地の所が多く、仕方ないんですけど、少しずつ改善されたら嬉しいです。大阪から移住して2年ですけど、良い所だと思います。
通学道路に限らず、歩道整備をしてほしい。小さな狭い歩道を通りながら電柱を避けたり、家の前に出されている鉢物を避けて通らないといけな道もある。子供が安心して歩ける道を作って欲しいです。
宜野湾市には、プールや公園が少ないので、子供が遊べる所をつくってほしいです。
習い事等や、高学年になると帰宅時間が遅くなり、徒歩のため外灯が無く心配な事があります。歩道の整備や外灯の設置等の配慮もお願いします。
支援していただくのは大変うれしいですが、やっぱり家庭保育をしっかりした方がいいように思います。子どもの事を知っているようで知らない大人が多そうなので、子供のことを勉強する機会や働きかけがあるといいと思います。
道路の街灯を増やして欲しい。細い路地など、真っ暗な場所を見かけます。特に冬場は日暮れが早いので、安心して歩けるようにお願いしたい。親と一緒に歩いても暗い道は怖いです。自転車用道路を作ってほしい。また、歩道を広くきれいにしてほしい。ベビーカーで歩道を通っていると、ガタガタ道は辛いですし、幅の狭い道は気を使います。
公園を増やして欲しいです、雨の日でも遊べるような、屋根のある広いスペースがあると助かります。基地返還での土地は、子どもたちが遊べるような、施設に有効に活用して欲しいです。
保育園と幼稚園とでは管轄が違うようですが…保育園の様に長時間預ける事が出来て、幼稚園の様に“学習”する時間がある過ごし方をしてもらえたらなあと思います。内容的には幼稚園に入りたいのですが、共働きのために断念せざるを得ないので、とても残念に思っています。自分の親世代よりも、現在の方が圧倒的に共働き率は高いと思うので、子どもを取り巻く環境も変わっていくことを期待します。ただ、その為には、子どもに関わる仕事に携わる人のお給料がもっと高くないと、人は増えないと思うので、そちらが先だと思います。
歩道や道の整備を見直して欲しい。
下の子がもうすぐ3歳なのでパートを考えています。就職支援や資格取得などのサポート面が充実するとありがたいです。
育休後フルタイムで復職しましたが、仕事と家事育児の両立が難しく退職しました。職場では子育てについて制度も整っていて理解がありましたが、フルタイムで仕事をしていると、子どもと接する時間はどうしても短くなってしまい、子どもとほとんど話をしないまま1日が終わることもしばしば。そんな生活に疑問を持ち退職を決意しました。経済的な理由などで共働きが増え、延長保育、夜間保育が必要な状況なのは解りますが、本来、子どもは(特に乳幼児は)親と沢山触れあうべきだと思います。私の場合も、退職後、私のストレスが軽減したこともあり、子どもも笑顔が増え、安心して保育園に通うようになりました。(在職中は「いけない」とゴネたり「お迎えが遅い」と泣いたり…)「子育て支援」というと、長時間の保育や、発達障害などの相談が重視されているイメージで(それらももちろん大切だと思います)、児童センター、子育てサロンなどもなんとなく足を運びにくい感じがあります。(1度行って見ればそういうこともないのかもしれませんが…)地域社会の結びつき、子育てしやすい近接環境づくり、家庭を大切にしようという意識(ライフワークバランス?)など、根本的な改革が必要だと思います。(行政だけでなく私たちひとりひとりも。)長々と書いてしまい、すみません…より良い「子ども、子育て支援事業計画」が出来る事を期待しています。
外出時の授乳時が大変です。
普天間交通量が多く、子どもと出かける時も心配。
もうこれは国家レベルですが、自治体レベルでも十分可能かと思えます。全ては教育です。特に沖縄は教育環境に優れていません。その結果、未成年者の補導、あるいは飲酒(率で言えば10数年ワースト1、全国平均の10倍!)等につながっている理由の一つです。沖縄は、経済、教育のインフラが不十分なため、今後は自治体、県が教育に力と金を注ぐべきです。テレビでも見ましたが、学力が最下位の市町村が改革により、県のトップになった事例がありました。要はいかに先を見据えて取り組むか、その基盤を宜野湾市が発信して欲しい。大人が保身、名譽にしがみついている現状打破以外にないでしょ

う。随分、かけ離れた文脈になりましたが、その第一歩として待機児童「0」の宜野湾市にしましょう！子ども達が将来をつくることには変わりありません。その将来、未来は親、行政含めた教育以外ありません。以上失礼しました。いや、よろしくお願ひします。
不審者情報が全世帯にいきわたる工夫
夜間の子どもの巡回パトロール
こども対象のカルチャーセンターの充実
体験型ミニ科学館の創設
新城地区は公園が少ないので増やして欲しい。道路で遊んでいる子どもが多いので、ある程度広さが必要だと思います。
子供が安全に遊べる公園等の施設があり管理がきちんとできていれば良いと思う。公園は今もあるが、小さい子供が遊びにくかったり、ゴミやイヌ・ネコのフンが落ちていたり安心して遊ばせる事ができない。きれいに管理されていれば、ゴミのポイ捨て等汚す人も少なくなると思う。
歩道が無い場所がとても多いので、子どもが1人で歩くことに心配があります。
小学校に入る前（入学前）のオリエンテーションは、通う学校しか見学できませんが、他の学校の様子や学校生活なども見学したいので、その様な制度を作ってほしい。（オリエンテーションの日付をずらすなど）
宜野湾の小学校は制服がほぼありません。制服を希望します。理由：昔と違い服のレベルが上がっていて、何着も買わなければならない。服装でイジメになることも心配（またこの服同じ服着てるの？等）学校によってズボンやスカートと丈の規制があったりと大変！！
公園の整備をして欲しい。バスケットリングのリングが無いとか、落書き、トイレの整備（とても不衛生、紙が補充されていない等）ある。特に近所の公園が、家の無い方が住み着いている所があって、その方をどうかして欲しい。公園で遊ぶ事ができない状況がありなるとかして欲しい。
子供が色々な事がチャレンジできる施設を作って欲しい。気軽に利用出来、料金もリーズナブルで是非！！例えば、教室に入るまで…何が続くか分からない為、ピアノ、習字、そろばん、パソコン、英語、水泳、ゴルフ。日曜日でチャレンジできる教室など。あと、休日利用できるイベント情報。遊べる施設。是非、佐喜真淳市長、応援していますので頑張ってください。
公園が少ない！！あっても周りが淋しいところがあるので遊んだ事がありません。安心して遊べる大きな公園があればいいなと思っています。
パイプラインと大山小学校の裏通りの細道の整備をしてほしい。通勤と通学時間が重なり、道幅も狭く、大変危険です。子供達が安全に身の危険を感じることなく、快適に通学出来る環境を整えて欲しい。
子供と一緒に掛ける場所が欲しい。（例）公園等ですが、他にも無料もしくは低料金で利用できる場所。公園等なら…今ある公園の遊具整備、もう少し楽しく安全に遊べるものを増やす。現在公園にあっても使用できない遊具を考える。どこの公園も同じような遊具ばかり。子供達が身体を思いっきり動かせるような体力作りとしても使える遊具※石垣島にあるバナナ公園を参考にしてほしい！！自然を生かした素晴らしい公園です。低料金で利用できる場所・・・宜野湾マリーナなど素晴らしい環境があるのだから、小さな子供でも気軽に体験できるマリン施設（夏場だけでも…）（例）シーカヤック体験、マリンスポーツなど…宜野湾マリーナに海の中に夏場だけすべり台とかキャンプ場など。宜野湾マリーナなど、本当に素晴らしい環境を充分に活用して欲しい。夏場のBBQだけでなく、親子でキャンプ等できる場所などであっても良いと思う。どうか、行政の皆様、子供の明るい未来の為に頑張ってください。
家の近くの子どもが歩く道には、歩道がなく抜け道になっており車も多い。子供がひかれそうになったこともある。歩道の整備をもっと進めて欲しい。
大謝名の地域には公園がないので作ってほしい。
私の場合、私の親は内地在住で旦那の親は県内にいるが、共働き。第1子妊娠をして子供を産んで、産休を取り職場復帰したかったが、会社はそれなりに大きい所で産休を取れる所を知って入ったものの、私の部署の所の人親が近くにいない、子供が熱を出したり、風邪を引いたりしたとき、見てくれる人がいないということで、産休をとってまた戻ってくる事をあまり良く思っていない、仕方なく仕事を辞めた。社会全体的に産休をとりやすい環境、周りの理解協力がほしいと思った。子供が1才を過ぎ、働こうと思っても、何かあった時に見てくれる人が近くにいないことを考えると、フルタイムでの仕事は難しいかなと。
本事業とは関係ないと思いますが、今後、小中学校へ進学する際、とても荒れている学校もあると聞くので、とても不安です。学力だけではなく、生活面での指導（？）支援などを、親を含め幼児期から行うことも必要なのではないのでしょうか？
家から歩いて行ける距離に公園がほしい。

## 3. 子育て支援の充実

計 133 件

昨年、県外より移転してきたばかりで、情報を得ることが難しく色々と困りました。
家族以外に知り合いもいないので、病気になってしまった時の子どもの対応をどうするのかとても不安です。
幼児前、0～3才位の子どもが親子で遊べる児童館を造って欲しい。親同士のふれあいの場にもなり、そこで友達をつくることもできるかもしれません。一昨年前本土より引っ越してきました、本土ではそのような場所が必ず市に1つはありました。同じ年齢の子とあそびせることができなくなり、雨の日でも家以外の場所であそべて、よく利用していました。児童館は室内で、絵本やおもちゃ、遊具があり、お昼ごはんも持ち込みで食べる場所がありました。
児童センターで子どもが遊べない。平日午前中に行くとカルチャー教室で体育館が使えなくて遊べなかった。小さい子(1才未満)が遊べるものがなかった。
子供を夫以外の人に預けた事がないので、他の人に預けるのにとっても不安がある。
子育てサロン等が午前中にしか設定がなくて利用しなかった。(子どもが1歳未満の頃、子どもが寝ている時間だったり家事をしている時間だったので行けなかった。)
我が家には子供が4人います。やはり公営住宅において広い部屋の割り当てなど住宅面の配慮が欲しいです。
子育て支援センターはとても助かりました。育児学級などでもっともっと紹介してもよいのでは。
子育て支援センターを各保育園にも実施して欲しい。野嵩にセンターがないので不便を感じながら、遠くのセンターに通っている。毎日(ほぼ)のことなので、近くにあると移動時間も短縮できてもっと利用日数が増やせる。
他の市町村では小学校のすぐそばに児童館・公立の学童があるので宜野湾市の小学校もそうしてくれたら子育てしやすいと思います。
子供が学校(小学低学年などは)から帰る時間が早く、働いている母子父子家庭にとっては、学校⇄学童の間の送迎が出来ないので高い料金を選ばなければいけない環境があり、生活に困りバイトを増やしお金のやりくりをしている家庭の為、学童を安くして欲しい・送迎してほしい・学校から迎えて自宅で面倒を見てくれる環境が欲しい(支援)。子供との時間が取れず、仕事をしなければいけない悪循環です。
支援センターは、何か行事があると飛び入り参加しやすい。場所開放も有難いがなんとなく過ごすだけなので、わざわざ行く気にはならなかった。
年寄りも含めてですが…敬老の日の企画に保育園から老人施設やデイへの訪問の企画があると、子どももお年寄りもみんな楽しくすごせる日があったらお互いに喜べると思います。
学童保育は本土のように、小学校内にあって、誰でも入所できるようにしてほしい。各小学校区にも、児童センターや学童は造れないのでしょうか。
育休中に子育て支援センターを利用したが、いつ行っても閑散としていて利用する度に貸しきり状態だったので逆に足が遠のいた。
現在8ヶ月の双子を育児中です。以前は大山に住んでいて上の子の時は子育て支援センターをよく利用していました。双子が生まれる前に志真志に引っ越してきましたが、この地域近くにある支援センターは、まだ一度も利用したことはありません。今後利用したいとは考えていますが、3ヶ所程外から見ると、どこも階段をのぼっていかないと行けない所ばかりです。大山でもそうでしたが、2階以上にあります。ベビーカーで気軽に行ければ良いのですが、そうも出来ないで双子をもつ側としては利用を諦めざるを得ない。子供が歩けるようになるまでは無理…。宜野湾市には双子ちゃんが多いと聞きます。子供(赤ちゃん)2人連れて外出をするのは本当に大変なので家にこもって育児をされている方が多数とは思いますが、外に出て気分転換をしたいと思う方もいると思います。どんな人でも気軽に行ける子育て支援センターがあってほしいです。
ファミリーサポートの登録システムの時間がかかり過ぎです。忙しいから利用したいのに、利用するまでに何度も足を運ぶのは難しいです。
私の子供は未熟児で生まれました。出産は県外で、主人の勤務先で生まれましたが、そこは未熟児で生まれた子のサポートしてくれる「場」がありました。(未熟児で生まれた子の母親同士のコミュニケーションの場)沖縄にもそういった場があると期待していたが残念です。こういった環境を作ってくれと有難いです。
転勤族の方や本土から引っ越しされて親族がいない方のサポートもした方が良いと思います。以前、看護師の方がおっしゃっていましたが、身内がいらっしゃらない方が沢山いると思います。病気など入院など低料金でサポートできるものがあればと思います。少しの時間でもサポートができれば助かるのではないかと思います。子育ては本当に大変で大仕事です!! 国のサポートを待っている方が沢山いると思います!! 理想だけでは話にならないと思いますが…助けて欲しいお母さん、お父さんが沢山いらっしゃると思います。少しずつでも理想に近づけられる世の中に育ってほしいです。調査とても良いことだと思います。これからは調査をどんどんし、改善できる所は改善して欲しいです。心豊かにできる子育てができますようにお祈りしています。これからは行政の方々にも頑張ってもらいたいと心より願っています。
近くに児童センターがないので是非作って欲しい。みんなで安全に遊べる公園が早くできればと思う。
療育に関する制度があっても利用できる施設の用意が無い。
「怒らない子育て」の講演をもっとやって欲しい(託児付きで)。以前に申込したが外れた。野嵩でもやっていたが都合で行けなかった。すいません。また「食育(菜食について)」の講演があると嬉しいです。上の子がアレルギーなので食育の講習には参加できません。離乳食の講習でも乳が使われてたりで、味見できなかったり、お土産食べれなかったりしたので…
浦添市や那覇市は、子供向け講座や母親が気軽に参加できる講座が多いが、宜野湾市は非常に少ない。子供向け英語教室やイベントを増やして欲しい。また実践的な英語を触れさせたいと思う。
昨年は、保育園の先生からは「お子さんの時間を長くとれるように努力して欲しい」と言われ、職場からは「全日フルシフトで働いて欲しい」と言われ、旦那方の親からも「年中行事の時には家に居て欲しい」と言われ自分の周りから、今以上の努力を求められました。応えたい気持ちもありますが、現実的に勤務時間と保育園時間が合わない。サービス業のため、土・日・祝に休みをとる事が難しい。年中行事で休みをとると給料は下がるという悪循環となりました。こればかりは解決策を自分の中で見出せません・・・私自身仕事もしたいし、子育てもしたいし、嫁として家の事もちゃんとしたいのですが、今の環境的には・・・
育児のことなど母親の精神面などサポートすること。早くに健診の時などで分かって気付いてもらって一緒に子供を笑顔にできる手助けを欲しい。親同士の悩みを話す聞くその場を作って欲しい。本人も家族もキツイことが判らなくて頑張りすぎている、乳児期、2～3才の子供が小さい頃の市のサポート訪問などをみてほしい。何に困ってるのかも分からないまま、子供の笑顔無くしてしまっていた自分の経験をもとに考えて。沖縄は子どもの楽しく遊べる場所、室内とか「ハイハイ」時期、よちよちあるきの時は母親と子供だけべったりの時間を24時間過ごす。息もつまる、安心して手放して遊ばせて…カ

<p>フェのように飲み物などで落ち着ける場所を作ってもらえれば、世の中のお母さん達は楽になれると思う。(施設利用料金だけで安めに、飲み物はサービスで…)市からお金を出してもらって。</p>
<p>子育て支援センター等が平日のみなので利用できない。もし日曜祝日も聞いてくれたら利用してみたい。児童センターが近くにないので助かる。</p>
<p>小児デイサービスをもっと増やして欲しい。もっと利用しやすくして欲しい。</p>
<p>放課後児童クラブ、公立と私立の差があり過ぎる。金銭的にも時間的にも負担が大きい。公立は利用時間帯延長をして欲しいし、私立は利用料金が高い(市での補助拡大を希望)小学校に入学してからの今後が不安になる。</p>
<p>小学校、中学校とも外部に情報が伝わってこないのが不安です。特に将来通うであろう中学校は良い話を聞きません。イベント(運動会・学習発表会)など外部の人間が現状を見られる機会を増やして欲しいです。</p>
<p>利用しようと思っている児童センターが放課後教室以外で遊べるのか知りたいです。</p>
<p>習い事もさせたいのですが、経済的な面で厳しく、児童センターのクラブ活動をさせたいのですが定員が少なすぎて利用できません。特にこれから幼稚園、小学校低学年と放課後過ごす場所、考えさせられます。昔と違って共働きでカギっ子になるのでどこかで過ごせる場所があると安心もできます。特に女の子なので…もう少し定員を増やせるようよろしくお願いします。</p>
<p>学童に関しても、那覇市などは小学校に学童クラブが併設しているなどがあり、仕事をしている親はとても安心して預けられると聞きます。宜野湾市の小学校も教室の空き等を利用して学童に利用するなどでもっと学童を増やして欲しいと希望します。</p>
<p>学童を充実させて欲しいです。費用削減というよりも内容(安心して預けられる、宿題や送迎)を充実させて欲しいです。学童クラブのイベントも沢山あると、他の学童クラブと交流ができて楽しいと思います。</p>
<p>子供を4人目にして支援センター利用しています。歩いて20分~30分位かかるので着くころ子供が寝てしまったり、ぐずったりで、週1回行けたらいい状態でも少し近くなったらなと思います。公民館が近くにある分、遊ぶ子供達があまりいなく野球部に2人(小学生)入っていますが、納得できる環境ではなく困っています。私的には、外で遊んで(たくさんの子供達と)そしてその場所が安全であることが一番の望みです。時々児童館を利用しますが、嘉数は我如古が大謝名しか近くに子供が歩いて行ける距離ではなく、高台の方は今はきれいになって、たくさんの方がいる分、グランドゴルフや犬の散歩と、ある意味子供達が居られる状態が少なく感じます。もう少し遊具を増やして欲しいです。</p>
<p>児童センターの学童受け入れ時間が8時半からで仕事をしている親だと朝8時半を過ぎないと子供をセンターへ送れない為、朝は少し職場へ遅れるか、年休を取らなくてはなりません。受け入れ時間を30分は早めるなどできれば、助かるかな?と思います。センター職員も早番等の処理で30分早めの出勤などができればという希望です。</p>
<p>幼稚園・保育園・学校以外でも、親子で自然体験等が少しでもできれば…と思います。自然に触れ合う機会がもう少し増えて欲しいです。</p>
<p>子供を産む方が少なくなっている今、早めに対策を立てて、お母さんが働きやすく子育てしやすい宜野湾市を作ってください。今は下の子が小学校に入学するので少し子供から手が離れて、仕事がやり易くなりましたが、小さい(1~5才)までは、手がかかるので仕事が見つかりにくく大変でした。小さいお子さんがいる家庭が今大変です。その(1才~5才)になるまでの支援が必要だと思えます。</p>
<p>母子自立支援制度?部署?どういう活動内容なのか、事業内容なのか教えて頂きたい。他の市町村、自治体にて行われている子育て支援で良い所、制度等を教えて頂き、良い内容は、即宜野湾市でも取り入れられるようお願いしたい。現在宜野湾市で設置されていない住宅訪問型保育や家庭の保育等、制度化される予定情報等いち早く欲しい。仮に即効性が無い場合、それに類する施設や機関などを紹介頂きたい。現時点では、子育てに関して今後どのような出来事、障害があるか分からないため、とにかくあらゆる情報を頂きたいと思えます。※平成27年度、新子育て支援制度内容、詳細(宜野湾市適応)を知りたい。</p>
<p>母親学級(こうのとりのクラブ)ですが、沐浴指導だけでも土or日曜に実施していただけないでしょうか。平日に昼間に夫が仕事を休んで…参加したい気持ちは山々でも、なかなか出来るものではありません。又は平日夜間など、一般の人の参加しやすいスケジュールを組んで頂くとうれしいです。</p>
<p>宜野湾市の子育て支援制度はまだまだ不十分。他県の制度と比較して立ち遅れている。少子化や助成の就労支援を加味すれば、早急に制度の拡充を進めるべきです。アンケートの中にも挙げられていましたが、認定こども園を始めとする保育施設の増設と拡充は必須ですが、共働き家族の支援目的での早期・夜間の保育環境や学童、及びその他ファミサポや保育ママの制度をより利用しやすいよう拡充する必要性を感じます。</p>
<p>まだ小さい子は身体が弱く病気がつきもの。働かないと預けられない認可保育園。入退院、通院をくり返す子供に安定した園生活を指す為、日中は子供の為に家庭を守りたい。しかし仕事に出られないので、経済的に苦しい。体力がつく3~4歳ぐらいまで、家庭保育するしかないのでしょうか?このように週に何度も病院にかかり負担ばかりを感じる。安定しない家庭はどうすればいいのでしょうか。少なくないと思えますよ。</p>
<p>英語を話せるようになって欲しいので、外人さんとの英会話交流などがあつたら面白いと思う。</p>
<p>母子・父子家庭には、利用できる制度はあるのに、長期の単身赴任の家庭には特別な制度が全くなく、経済的にも、子育て支援をして欲しいです。(認可保育園の入所など)</p>
<p>相談窓口があっても、職員がきちんと話を聞いてくれなくて余計にストレス。聞き流された気もして不愉快。とにかく、まずは、しっかりと親の困っていることや話をしっかりと聞きちゃんと親身になって聞いて欲しい。特に、専門的知識がある人(保健師)そして、きちんと気にかけて欲しい。私の苦しみや辛さは私にしか分からないのだから。市の保健師の対応に非常に傷つけられました。</p>
<p>現在、私立幼稚園に通わせています。地域の子供との交流の場がなく、土日は私と下の子と3人で遊んでいます(幼稚園の子はなかなか遠くて…)土日に利用できる、地域の子育てサロンみたいなものがあれば嬉しいです。</p>
<p>あとは、市内に児童センターが歩いて行ける学校が良いと思うが、嘉数小は生徒数も多いのに児童センターが近隣にないのは不公平だと思う。放課後の遊び場がないから、学力も低下し、不登校や中学に上がっても素行が悪い子供が多いのが長年の積み重ねでずっと多い気がする。保健センターと児童センターにすべきである。</p>
<p>宜野湾の子育て支援センターは以前(7~8年前)より数も増えてきて、良いと思うが充実している園としてない所の差が激しい。特に支援センターはただ場所だけ提供しています、的な所は逆に閉鎖しても良いと思う。たぶん名前記入して人数報告したら1人あたりいくら市から補助金が出ているシステムでは?そういうのは来てウェルカムだけど、何も対応しない園も沢山あるからだ。支援センターを対応している課の職員は抜き打ちに訪問すべきと思う。税金もムダである。</p>
<p>とにかく支援センターよりも学童が優先して対処すべきでないだろうか?公民館等利用して、昔の寺子屋的な形で運営した</p>

ら、公民館も有効的に利用され、比較的時間のあるリタイアされた方の生きがいで、子供に勉強等教える場を作ってあげたら、地域の見守り、ネットワーク、犯罪防止につながると思う。
子育てサロンは月1の回数を増やして定着させたほうが良いと思う。人気のある支援センターは車で行って通う位だし、近くにあるけど先生の対応があまりよろしくない園は行きたくないし、周りの親もやはり同意見だった。
知人に聞いたら（仲良くしている母親友達）ある支援センターはあまりいいお話を聞いたことが無いので、利用しにくいと思いました。調査などもっとしっかりして、全ての方が利用しやすい施設を増やして頂きたいです。
障害児福祉支援などの情報の提供があったら助かる。宜野湾市内に医療デイケアの児童デイサービスが多くあればいいな。
障害児の子育て、保育、通学等において、どのような公的サービス（自治体、医療機関等）が利用可能かしばしば分かりづらく、親の会等での口コミに頼らなければならないことが多いと思う。
2人目を妊娠中なのですが、母親が産休・育休中に収入が減るので、これからの生活が不安です。なので、そういうところの支援や相談などができれば嬉しいです。
子育てに関する講演会や手作り料理教室（おやつ作りなど）などを休日や祝日にも行って欲しい。平日は、仕事をしている為、平日のみの企画だと参加したくてもできません。よろしくお願いします。
宜野湾市は子育てに関して、制度がしっかりしていると思えます。ありがたいです。
大家族になった場合の援助、支援等がもっと充実して欲しい。
市のサービスとして、こうのとりの倶楽部、コアラ倶楽部に参加させてもらい、出産・育児の不安が少なくなり、大変ありがたかったです。今も毎月ふたばに行って身体測定してもらっています。今後も継続して欲しいです。宜野湾市の子育て環境にかなり良いのではないのでしょうか？大変満足しております。ありがとうございます。
保育園の数を増やして欲しい。我が子は発達障害なので、コロニー（どの地域でも送迎バスをお願いしたいです）の数も増やして欲しい。
母子家庭世帯がもっと子育てしやすいような環境づくりを目指して欲しい。（ぎりぎり母子家庭手当を受けられなかったり、実家で両親と暮らしている為認可保育園の申請が出来ない…などおかしな点が沢山あります。）きちんと保護してもらえる親子とそうでない親子がいるのはおかしな感じがします。何か方法は無いのでしょうか？
小児デイケアをまだ利用したことはないのですが、祖父母の身体的・時間的な負担を考え、将来的にも利用したいと考えています。職場の同僚は利用しているのですが、定員が少なくやむなく仕事を休んだりもします。自分が利用するとなった場合には、なるべく職場に迷惑をかけることはしたくありません。仕事がしづらくなってしまいます。今の時代、男女関係なく働いていますので、平等に働くことができるように、緊急時に対応してくれる施設がもっと必要だと思います。
子育て支援センターがどこも土日休みで仕事が土日休みの場合連れて行って遊ばせる所がない。
宜野湾市は学童が少ないので増やしてほしい。（幼稚園・小学校ともに）
公立学童保育を増やして欲しい。または民間の学童保育施設へ補助してほしい。
幼稚園の預かり保育の時間と児童センターの放課後倶楽部の時間を改善すべきだと思う。どちらも親が就業していることが条件にも関わらず、平日は18時まで、夏休みは8時～18時までで、かつ親（大人）が連れてくることになっているが、これでは市内に働く人や、パートタイムで働いている人、また送迎ができる祖父母が身近にいる人しか預けることができないのでは？と思う。せめて延長ができる体制をつくるべきだと感じます。
宜野湾市に住んで14年。子育てについて相談出来る場所や子育てだけではなく、健康相談なども何度も利用しました。保健センターなど。役所など、どこの課へ行ってもほとんど待たされることなく対応してくれ、親切でとても住みやすい市だと思います。これからももっともっと住みやすく、給食の無料とか、医療費の無料の年齢引き上げなど、期待は高まるばかりです。
発達障害（軽度）に気づかず成長し、中学や小学校高学年で子育てに困り悩んでいる方の話をよく聞きます。教職員達はおかしいと思っていても、「障がい」という話は簡単には話づらいと、何の対処もせずに進級させてしまっている状況だと思います。子育てについて悩んでも、そういう点ではママ友にも気軽に話せる内容ではないと思いますので、ぜひ行政で早い時期、幼稚園や小学校低学年で専門の職員を定期的に幼・小に送り出し、早めに気づき、相談しやすい環境づくりに務めて頂きたいです。
公立保育所と、その他の保育園において、行事などの内容が違いすぎるが、申込前にそれぞれの園の特色などの情報が全く分からない。
放課後学童クラブの保育時間が短い。せめて19時までには預かってほしい。
間違った情報であれば申し訳ありません。こうのとりの倶楽部やコアラクラブの利用は第1子のみと聞いたことがあるのですが、本当ですか？もしそうでしたら、第1子のみと限定せずに全ての子供（母親）が利用できるようなして頂けたらと思います。
無償の児童センターや倶楽部を利用し、子供を通わせたこともあるが、親の参加が半強制的な部分があり、1年で辞めました。もちろん公的な予算などの関わりから親のサポートももちろん、計画、実施を勧めることが最優先とは考えましたが、できる限りのサポート（無償なのでなおさら）では、済まない場面もあるのだと思います。（自分は仕事の都合や性格上難しい事が多く、公的なものを利用するより、無償 or 自力でと考えました。）個人でそれぞれ選択していけばいいのでしょうか…
2人の子供達は認可園に通わせています。2人共0歳から入所していますが、その理由は1歳児からだ入所が困難になるからです。（本音を言うとは歩ける位までは家でみてあげたかったのですが）友人からのアドバイスのおかげで、第1子が入所するタイミングを知ることが出来ました。18歳から宜野湾市に住んでいますが、保育所の入所の仕組み、入所の難さについて全くの無知でした。両親とも自営業なので入所できないと収入が得られません。一般教養としてその様な事を教えてくれる機会があればもっと救われる人がいるのではないのでしょうか？（高校や入籍、妊娠時などに）
障害があると分かった時点で保育所入所が出来ず、1年待って再申込となりました。必要な時に必要な場所がなく、とても困りました。宜野湾市では保育所の入所申込み期間が決まっているので、このような場合は適切に対応して欲しいです。最初に相談に行った時に対応された方がマニュアル通りの説明ばかりでとてもショックでした。今後このような想いをする方が減るように改善を望みます。
児童センターを利用したくても区民→新城に移動は遠くて困難なので公民館へも2～3回あるが、何日になるかも子供は分かりづらい事もあり、利用回数が少ないので、普天間～野嵩の区域に児童センターを建てて欲しい。児童センターに放課後児童クラブがあるところは子供の就学が終了後に送迎をつけて欲しい。
児童センターの増設を希望します。特に、小学校の近くにがあると安心して利用できる。
毎回健診の度、各お医者さん皆さん、親切丁寧に色々教えてくれて、他の地域より（人の話で聞いて）良いと満足していま

す！しかし、他の地域の人や周りの大人、教育者等の人には、理解されず虫歯予防など、家でやっても他ではしてもらえない。（保育園・児童館など・・・）CMでやって、祖母や祖父にも、子供の守り育て方など教えて欲しい。
最近支援センターを利用したんですが、日中一人で子育てをしている方に、すごく良い施設だなあと思いました。初めての方が足を運びやすい様にもう少し呼びかけや宣伝しても良いのではないのでしょうか？子育てを頑張っている人達のため、家族で楽しめる施設が増えることを期待しています。
健診や色々な事が平日の昼間に多く、仕事をしていると休みをとらないといけないうので大変です。県内は両親働いている家庭が多いので、夜間8時までや土日を隔週でOPENするなど考えて欲しい。
学童が少なすぎる
小学校に上がってからどのようにしていこうか、今、とても心配になっています。保育園は夜7時までの延長保育がありますが、学童がどのような感じのシステムになっているかが気になるので、色々教えてもらえるといいなと思います。認可保育所が増えてきているなど実感しているので、とても感謝しています。宜野湾市は、これからますます発展していくと思うので、人口が増えていくのではないかと思います、子育てしやすい環境を整えていければ嬉しいです。
学童は、各学校に隣接した場所、または校内に作ってほしい。那覇、浦添から引っ越してきたが、学童が両市に比べて非常に利用しづらい。
離乳食講座（マンマン教室）は1回だけでなく2回やって欲しい。離乳食が進み分からない事、困った事が出てくるため。以前、市の講座で（怒鳴らない子育て？）受講を希望したが、応募数が多く受講出来なかった。その際託児も希望したが、全講座（4回）託児利用は厳しいと言われた。振替口座を案内されたが、そこでは託児がなく案内通知も2週間前に届いたため、一時保育に預ける（1ヶ月前予約）ことも出来なかった。いろいろな講座を開催して欲しいが、そこに託児もセットしてもらえると講座を利用しやすいと思う。
各小学校近くに、児童センター作って欲しい。
前居住地では、子育て支援センターを利用していたが、宜野湾は情報が少なくあまり利用できない。
普天間小学校区にも内容の充実した児童館を設置して欲しいです。
保健相談センターの立地が不便なので、検討して欲しい。（その場所が、もっと市民にとって足を運びやすいところになってほしいから）例えば、シャトルバスみたいなものがあると足を運びやすいのでは？
東京都町田市を参考に…紙おむつを捨てる際に、使えるゴミ袋の配布があると助かります。お店で買うゴミ袋に使用済みのオムツを入れて…となると、とても袋がすぐ一杯にあり、不経済だし、不公平である。1歳未満の子がいる家庭には、紙オムツ専用のごみ袋の配布を検討してほしい。
子育てや教育に関する講演会があれば利用したい。私達、親の意識を高める為に（何歳の子育て対象等、対象年齢を定めて、具体的な内容が望ましい）
遊びやキャンプ等、親子で楽しめるイベントがあれば良い。
親の就労の有無に関わらず、学童保育の利用ができるようにして欲しい。また、希望者には、給食やケータリングの利用ができるとう良い。
土日に子連れで支援センターで遊ばせる環境構築を希望します。
私の子供は、4才、3才、1才半と3名いますが、私は、県外出身で自分の親を頼りません。私は、沖縄での友達も少ないです。夫の実家は車で10分の場所にあり、子育てにとっても協力してくれます。1番下の子が1才過ぎた頃から、やっと、自分に余裕も出てきて、子供を連れて外へ出るようになりました。それまでは家中で過ごすことも多く、子供達にはけっこうストレスを与えていたんじゃないかと思っています。引きこもりがちになると、母親自身もストレスをためてしまいます。きっと一人で悩んでいるお母さんは、いっぱいいると思います。そんな人たちを少しずつサポートして欲しいなと思います。下手な文・字でごめんなさい。
児童センターでも、学童のような取り組みを全センターで希望。
放課後学童クラブも、小学1年生に限っては希望者全員を受け入れて欲しい。（現状は定員制なので。さらに学校に隣接していれば、交通事故の心配もなく親も安心して預けられます。「0～5才までの保育園に通う子供」、「幼稚園～小学校低学年の子ども」では、親のニーズも違うと思うので、それぞれの親のニーズをくみ取ってほしい。
現在中学生になる長女が生まれた頃は、宜野湾市内に子育て支援の施設が無かったので、大里の保育園の子育て支援センターまで通っていました。その後数年で次々と子育て支援センターがあちこちの保育園で開設され、今は恵まれているなあと感じています。
ネットとかで情報発信とかはないんですか？警察の「ゆいメール」みたいに。気軽にイベントのお知らせとかこの支援センターが「今日やってるよー」とかあったら嬉しいかも。
現在、2児の子育てをしており、育児休暇中です。下の子が3才になるまでは、職場復帰後、短時間勤務制度を利用できるので職場環境は恵まれています。しかし、3才を過ぎ、フルタイムへ戻ると、シフト制で土日・祝も関係なく、さらに夜勤もあり、日勤も8時～17時、8時～21時の不規則な変則2交代です。平日の夕方以降の子どものお迎え、土日の保育、夜間の保育、病児保育、夏休み等の長期のお休みの時の保育等、今から不安は大きいです。働く父母の為の制度や保育施設の整備を進めて頂ければ有難いと思います。
公営住宅に関して…多子世帯なので、広い部屋など、住宅面への配慮があるとすごく助かります。子供のレジャースポットなどが少ないので、増えると良いと思う。
子供の診断の時に、発育が少しおかしいのではと母親が思っても、なかなか先生や相談員の方にその時に相談できる時間がありません。そんなときにポスターで言葉の遅れを感じる時は、どこへ相談、友達を乱暴して困る時は、どこへ相談とお知らせしてもらえと後でTELしてみようとか、考える事ができると思います。又、検診の時、相談員の方から子供の発達について聞かれますが、親はどっこもおかしくないと思いがちです。どんな状況だったらおかしいのか、どうゆう行動をしていたらおかしいのか？事前に問診票といっしょにアンケート等、作成して頂き送ってもらえるととても具体的に相談できると思います。お忙しいとは思いますが、よろしく願います。
子育てのための充実のためにサービス拡大するのも良い事ですが、利用率が低いものは閉めるなども考えて頂きより充実した内容であって欲しいです。応援しています！！
出産の際に児童センターなどで色々な「ぼけっと本」や書類を渡していますが、初めての子供の場合は必要かと思いますが、第2、3子となるとある程度、利用の仕方は解ってくるので第2子、3子のお母さん、お父さんには必要に応じて渡せる様に選んでもらうと無駄にならずに済むと思います。今の時代は本よりインターネットなどで色々調べるので宜野湾市のホームページ上で詳しく記載していただければ有難いです。
2歳の子供は子育て支援センターなど利用させてもらい、とても有難い制度（事業）だと思っています。

児童センターが少なすぎます！定員も増やしてほしい。
長男が小学校1年生の時、近くの児童センターの学童に申し込みましたが受入不可だった。その際、母の私はフルタイム、父の主人もフルタイム、祖父母も入退院で厳しい状況も申込書に記載したが不可だった。それから、近隣の学童を探すのも大変でした。その際、宜野湾市の子育て環境は非常に悪いと思いました。特に幼稚園、小学校入学後の放課後過ごせる安価な学童を増やして欲しいです。民間の学童がかなり高額なので困る、安心して働けません！
ファミリーサポートセンターには大変お世話になった。すばらしいシステムだと思う。何度か利用したが感謝しています。深夜など保護者が急に具合が悪くなった時など、どのような制度が利用できるのか分かりません。
このとり保育部など子供を産む心構えや子育てについて学べて安心できるサービスはとても素晴らしいと思います。
是非、小学校の近所に児童センターを作って欲しいです。
子育てをする環境・支援・設備は充実していると思う。（他の市町村に比べて）しかし、場所や利用方法・申し込み方が分かりにくい。妊婦中や出産直後に教えて頂けるが、それだけでなく、必要な時期（もしくは定期的、半年、1年毎？）に情報を提供してくれると嬉しい。
給与が低い沖縄では、有料施設の利用を安易に考える方は少ないのでは…？
マンマン教室など1回だけでなく回数を増やして欲しい。
発達障害を支援・治療できる施設・病院（専門医）が市内にあると非常に助かる。門戸を拡げてほしい。保育園、保育士が発達障害について理解していない、あるいは知らないのが現実である。加配制度（保育）は今後、必要性が増えると感じる。また、発達障害者への対応が不適切であった場合、その子の将来に大きく影響（心に傷、トラウマ）するので、それとサポートする機能が今後必要ではないでしょうか。私が思うに、子は今のところ生活には問題ないが、就学以後（いじめ等）どうなるのか予測できない。親も含め理解を深める制度があれば、将来を担う子ども達にとって強力なサポートになります。
宜野湾市の対応は今でも良いと思う。今は大丈夫だが、親族が見てもらえなくなった場合が心配。
障害があるが、その面のサポートが心配→自分で療育センターにつれていって補助がある事を知ったが、そういった情報が入ってこなかった。
近くの支援センターをもっと利用したいのですが保育園の中にあるためお昼寝の時間に行くとうるさいと迷惑がられるのでいきにくいです。
浦添市のような小学校に学童、児童館が隣接という形も親としてはとても嬉しいし安心。私たちが子どもの頃に比べると、子どもの数は絶対的に少なく、近所にも子どもが少ない。まずは、学校を中心に放課後も子どもたちが集まれる場があると、親も安心して働ける。宜野湾市の教育・保育環境が益々充実していくことを心より願っています。
就学児健診について、市内の全就学児を1ヶ所で健診していましたが、待ち時間も非常に長く、兄弟のお迎え時間などもありとても困りました。公立幼稚園に通っているお子さんは別日でなど、もう少し工夫が必要ではないでしょうか。〆切が過ぎてしまったようで、すみませんでした。
児童センターの職員が行う公民館での「じゃんけんぼん」はとてもいい事業だと思う。小学校高学年の子の居場所づくりも大切だと思う。希望は、1小学校1児童館が理想かな。またそこは、中学生でも利用できる環境（学習や読書、人との交流）があったら、目を行き届き、良い環境にならないかなと感じます。
学童が少なすぎる！！と思います。共働きがとて増えているのに学童に問い合わせると「いっぱいです…」など。17日に間に合わず申し訳ございません。
ファミリーサポートセンターは夜間、土曜は連絡が取れず利用できない為不便。役所が始まる時間からしか連絡が取れないので仕事に間に合いません。
気になる子の対応をきちんとできるような体制づくりが必要。気づいてからでは支援に時間がかかる。親への気づき支援、気づいてからの安心できる支援体制を作りたい。小さい頃から支援していないと小学校等上がってから対応すると、本人も他の子に対しても良くない状況が出てくると思う。
質問にもありましたが、地域の支援センター、あっちこっちにあり子育てをする際、遊べるスペース、親同士の交流や分からない事などの質問やいろいろ話をきいてくれる先生がいて助かった部分もありましたが、途中から行けなくなった事がありました。支援センターの先生が若いと（30、40代）親も馴れ馴れしくなってきたり、先生とプライベートまで交流するメンバーが固まり、そのメンバーに入れなかった親はなんか蚊帳の外のような感じになり、支援センターを利用したくてもできない感じになった事がありました。（私の友達もメンバーが固まり過ぎて、行けなくなった）とよく耳にします。なので、支援センターの先生は大ベテラン！！意見も堂々と言えてそんな風な環境作りさせない。みんなが気軽に行けるセンターを考えて欲しい！と切に思っています。
園児のお弁当作り教室、キャラ弁など。
学童倶楽部の料金が安い。
小学校低学年のうち、学校終わりに自宅に居させるのが不安なので、児童センターを作りたい。（出来れば小学校となりにでも）
宜野湾市は医療費返還、ワクチン接種など、安心して医療を受けるシステムが整っており感謝しています。待機児童の問題も年々改善されつつあり、私ども娘も1年経ち入所する事が出来ました。ありがとうございます。今後私立幼稚園を利用したいと考えているのですが、正午の迎えは共働き家庭にとっては不可能で、学童を利用するにしても、18時～19時の時間では迎えられません。祖父母が近くにいても、高齢、身体も不自由な場合は、毎日お願いする事も出来ません。このような場合の支援施設、システムがあればいいなと心より願っております。私どものために、このような調査をし改善していこうとする市の姿勢に感謝しています。ありがとうございます。
国外から沖縄に引っ越してきて約半年ですが、支援センターを知って利用させて頂き、非常に助かっています。素晴らしい制度です。その国外にはこういうのは無いです。お金がないと何のサービスも受けられない国と違って、日本はいい税金の使い方をしていると思いました。
P19、問30は、保護者が疾病や介護になった時、長期になると思うので利用したいと思うのですが、養護施設のイメージが「親がいない」「育てられなから預けている」の子供達が居る施設…という感じがあり、利用した時に、いずれは短期間で子供を迎える事ができる親をそうじゃない子供達が見たときに、その子供達の精神的なものに負担がかからないかが心配で「わからない」とさせて頂きました。ですが、そういう短期間でも預けられる場所があれば利用したいと思います。（養護施設ではない所で）
小学校入学前の就学時健診を入学先の小学校体育館で行ってもらえると徒歩で行けるし、助かります。平日に行われる為、家を不在にすると、小学校低学年の兄弟を迎えることが出来ない事がありました。また、1才の子を連れて行くのに不便でした。

<p>ファミサポを利用した事がありますが、一人の時はいいですがまた2人預けるとなると、いくら2人目は半額になるとはいえ料金は2人分かかるわけで、負担も増えるため、結局預けられなかったり…行政が管理しているには、少し高めなのかな?と思います。土・日に急用で電話した際、担当者から電話を切られた事もあり、その後繋がらずベビーシッターをお願いしたこともあります。頼れる人がいないだけに、急用の時に対応してくれる所があると、本当助かるし、こういう施設なり、保育所（他園児可能にする）など増やして欲しいです。</p>
<p>幼稚園の午前の学童を受け入れない理由は知っていますが…ならば、幼稚園にある学童の人数を増やして行えばいいんじゃないのでしょうか??はっきり言って、理由は納得いきません。保育園と幼稚園では経験する事、学ぶことも違います。年中でも、学童を受けられる様にして欲しい。他の市もそうなのかも知れないですけど、この教育委員会の決まりには正直びっくりしました。私自身、県外出身で、学童なんてありませんが、幼稚園には年中から2年間自分で歩いて通っていました。送り迎えが必ず親などと決めるのはどうなのでしょう?</p>
<p>両親がいない人や預ける場所がない人が、頼れる場所として、ファミサポを利用していますが、料金が安い（役所内にあるのにも関わらず…）母子家庭の場合は特に利用するにあたって負担が大きい。働いても残業してもその分の負担が大きく安心して仕事をもっとできる環境を作って欲しい。</p>
<p>母子家庭でも安心して子育てできるような支援やサポートがあるととても助かります。</p>

## 4. 経済的支援

計 56 件

5才までしか医療費免除がないので、気軽に病院に相談に行くことも出来なくなる事も不安です。
既に市町村会あたりより沖縄県に対し要望されていることですが、子どもの医療費免除の年齢格差を是正し、扶養されている段階では無償にして欲しいです。
給食費についても同様に無償であると助かります。もちろん、収入による一定の制限を設けてもよいと思います。現在の世間の仕組みは格差を生むものだと思うので、出せる世帯には出してもらい、扶助すべき世帯には扶助するのがベストだと思います。
現在別居中で夫からの支援はない為、もし認可に入れたら保育料を考慮して欲しい。
こども医療助成は助かります。(市外の自動償還払いも…)インフルエンザ(小児)は2回の接種ですが、1回だけでも助成があると嬉しいです。
病気やケガなどに12歳未満までは医療費を免除してほしいです。
現在認可外保育園に預けて仕事をしていますが、保育料がとても負担です。待機児童が沢山いるのは分かっていますが、保育料を支払うために働いているのか?とよく言われます。早く認可の保育園に移って、経済的な負担を少なくしたいです。
認可外保育園の利用料が高すぎるし、認可との差があり過ぎるので市からの補助など負担を軽くするような働きかけをしてほしい。
子供の医療費について。以前住んでいた県外では乳幼児の医療証を持っていれば医療機関で医療費の支払いをすることはなかった。宜野湾市では、支払いをして申請・振り込みしてもらうことになりとても不便さを感じる。自動償還ができるようになったのは良かったが、さらに改善して自治体と医療機関で医療費の精算ができるようになって欲しい。
幼稚園の入学金助成について。私立幼稚園に入園する場合、助成金制度があれば良いと思う。以前住んでいたところでは、それが有り、幼稚園入園に際するお金の負担が減り助かった。保育園や公立幼稚園に比べお金がかかるので、そういった市の援助があれば、幼児教育を受けさせようという考えが生まれ、教育に関心を持ち、将来につながるのではないと思う。沖縄は、保育園や公立幼稚園が多く、幼稚園を選ぶという親の意識が少ないと感じる。幼稚園は教育の第一歩だと思うので、市が市立幼稚園への補助もしっかりすることによって、親の選択肢も増え子供達の将来につながると思う。
医療費の免除などがあって、助かっています。
片親世帯は経済的にやはり厳しいと思う。保育料や幼稚園の保育料、小学校の準要保護制度はあるが(いずれも年度の途中からで9,10月~)それをもっと早めて経済的不安を取り除いてあげられる制度をもっとあればと思う。子供と精一杯接したいがフルタイム勤務を上記の理由等でせざるを得ない。支援がもう少しあれば勤務時間を減らす事もできるし学童等も利用しなくて済み、子供との接する時間を増やせると思う。
子供にかかるお金、医療や教育に関して、もっと安くして欲しい。働きたくても預け先がない。
現在子育てにおいて大きな負担になっているのが、認可外保育による経済負担です。経済的な理由で共働きをしなければなりません、保育料を支払うために働く感じすら受けます。個人的な考えになるかも知れませんが、子育て支援=「共働きにやさしい」環境だと思っています。企業にばかり押し付けるのではなく、国や自治体は多角的に支援制度を増やすのではなく、集中的に今一番必要とされ要望されているものから取り組んで頂き、認可、認可外という言葉を早くなくして下さい。ほぼ使っていない施設や知らない施設があるのは今すぐに必要ではない、もしくは興味がなく必要性を感じられないと思います。
子供が多いこともあり、育休中の住民税は負担が大きい(育休手当から引くこともあり、収入源がないので)育休をもっと長く取って子育てする人を増やす為にはその経済的支援も必要と思います。
上の子の時に認可保育園を探していたのですが、認可保育園はあの頃、同居みんなの所得を計算した上で、保育料を出すと云われ、そうなるのと、すごく高くなり、認可保育園は、土曜日は午前中しか見てもらえないし、何かと不便な面が多い。もっと働くお母さんのことを考えて市の保育園は対応して欲しい。延長になるとまた料金も取られるし。収入が少ない所は、ほんとに両親働いていても、厳しい現実です。サポートセンターもお金でるし。利用したくてもできない方が多いのではないのでしょうか?
宜野湾市は、医療費の面ではとても育てやすい環境だと思います。子供が病気になる度に医療費がかかるのは大変なので、とても助かっています。
子供の医療費が、市外の病院で受診しても自動償還払いになって、とても助かりました。医療費も他の地域に比べ、無料で受診できる期間も長く(本当は小学校の間は、無料であってほしいですけど…)とても有難く思います。
保育園、幼稚園の無料化!!もしくは、半分免除になってくれると凄く助かります。
現在1歳8カ月のわが子は認可にもれ、認可外保育園に通っています。認可外で、様々な基準を満たす園を探し預けていますが、金額が高く、2人目以下の割引も無い所です。今後2人目を予定していますが、1人目の子が認可外だった場合、次の子の保育料割引や市からの助成はないと相談窓口の方に言われました。ぜひ認可外入所ですが、認可の待機待ちという理由がある場合などは助成の対象とさせては頂けないでしょうか?このまま2人目もとなると保育料だけで月7万以上の出費となります。ぜひとも検討頂きたいと思います。
問34に通ずるが、保育料、学童利用等(沖縄は高い)の費用の負担を減らして欲しい。保育園は年が近い子なら3人目は無料となるらしいが、歳が離れた兄弟の場合は軽減にならない。朝から夜まで働いても保育料等で負担が大きい。収入で保育料を決めるのも不公平。働いても働いてもその分高くお金を取られるのなら意味がない。税金だっただくさん払っているのに。
医療費が無料でもとても助かっています。
宜野湾市は、予防接種がほとんど公費で受けられたのでとても助かりました。
育児休業を取得したが、1歳までしかできず認可の保育園は途中入園できなかったで、認可外の保育園を探していたが、時期が悪かったのかどこもいっぱい入園できませんでした。年初めだったら認可外も空きがあるとのことで、会社に育休の延長をしたが、タイミングよく認可外で入園でき、1才1ヶ月間の育休でしたが、生活が厳しかった。育休中は収入が減るので、今後2人目、3人目と子供は欲しいが、実際は厳しいものがある。もう少しミルク代やオムツ第の支援があれば嬉しい。
今認可保育園を利用していますが、料金がとても高く経済的に負担になっています。また、幼稚園の預かり保育の抽選にも漏れてしまい、仕事を辞める以外ありません。仕事も辞めると保育園に行っている兄弟が辞めないといけなくなり、経済的にも苦しいです。保育園と幼稚園の環境をもっと整えて欲しいです。
宛名の子が3才の時、パートタイムで仕事を始めました。翌年、認可保育園の申込をしましたが、待機となり今に至るまでそのまま認可外の保育園で経過しています。働かなければ経済的に厳しい中で、預ける親類もおらず、仕方なくパートタイムで働いていますが、収入が少ない中で、認可保育園への入所ができず、認可外の高い保育料を払っている状態です。その時に入所の判定の精度に納得いきませんでした。今後もフルタイムでの仕事に就きたい希望はありますが、次年度、幼稚園プラス学童、再来年度、小学校プラス学童と、出費もあるので、そういった負担の軽減策等を教えてもらえたらと思います。

<p>預かり保育や放課後児童クラブ（公立）の費用は安いものの、毎土曜や、年末年始に対応できない等のデメリットもあり、シフト制で働く親としては、利用したくてもできない状況です。</p>
<p>私は年子で出産しています。子供の為にロタウィルスの予防をさせています。とてもロタウィルス関係の値段が高いので、市で負担して欲しいです。半分でいいのでお願いします。子供が小さい時は仕事もできないので注射代が出るのは…。年子で生んでいるのでお金が大変です。今でもロタウィルス代が戻ってきてくれたらいいなと思っています。（他の市ではロタウィルス代を負担している所もあるそうです。）</p>
<p>保育料の負担軽減を1番に願います。</p>
<p>認可保育園の多子割引について。3人子供がおり、下の2人が現在認可保育園に通っています。通っている第2子については保育料が半額となりますが、4月からは1人が小学校へ入るので、保育料の減額がなくなります。上の2人についても、保育園を卒園しても、学童クラブに入らないといけないため、保育料が出ます。認可保育所の多子割引を“通園している子”ではなく、単純に兄弟の数で考えてくれると助かります。</p>
<p>待機児童が多いのは仕方ないと思いますが、認可園に入れず尚且つ認可外保育園へ預け保育料が倍以上かかるのは、不公平だと思います。認可園に入れない場合でも、一部保育料を負担して欲しい（市のサービスを受けられない上に、負担が大きい）</p>
<p>宜野湾市は子育てに力を入れている事、医療費助成の拡大や認可園も増えたりと変化が見られ、これからもどんどん向上していくんだろうなあと楽しみです。だが、収入が少ない私達は、収入ある人と比べ、子供達に習い事をさせる余裕なんてありません。また、インフルエンザや予防接種（その他の予防接種含む）等も私の収入では、日々の生活ができません。どうか平等に学べる環境。全ての予防接種無料など考えて頂きたい。</p>
<p>子供の医療費免除はとても助かっている。</p>
<p>新生児に対して、消耗品（ミルク、紙オムツ等）の補助等があると、子供を産んだり育てたりしやすい環境になると思う。病院での外来負担を小学校卒業まで無料にして欲しい。</p>
<p>ワクチン接種費用の補助（インフルエンザなど）</p>
<p>保育料の負担軽減を1番に願います。負担が大きい。負担軽減をお願いします。</p>
<p>子供の教育における環境（習い事なども）月謝などが高く通わせたいが、諦めざるを得ないので、安くしてもらえたら是非とも通わせたいと思う。</p>
<p>双子の経済的支援を作って欲しい。（所得に関わらず、双子を持つ家族には必要です。）</p>
<p>認可外保育園の保育料が高すぎる。認可保育園との差があり過ぎて、働いても給料の半分近く保育料にまわってしまう。もっと安くできないのかなあって思います。認可保育園をもっと増やして欲しい。</p>
<p>児童手当や医療費助成をはじめ、健診や講習会、支援センター等、様々な行政サービスは育児をする上で心強く安心して子育てができています。また、地域の人たち（とくに年配女性）が子どもに優しく、温かい言葉かけを頂いています。今後も可能であるならば、B型肝炎やロタウィルス等のワクチンが無料化されることと、普天間基地の騒音がなくなれば幸いです。</p>
<p>2人目以降の保育料を抑えたい。1人目が小学校へあがっても半額など。</p>
<p>現在、シングルマザーにおいて仕事しながらの子育ては厳しい。子供が病気になるとう仕事を休み、その分時給制の仕事の場合給料も減り生活が苦しくなる。保育料も高く家計に負担が大きい。一生懸命頑張っている母親としてはから回りしている部分を感じる場合がよくあり、その負担をできるだけなくして安心して楽しく子育てができるような環境を整えてほしいです。</p>
<p>現在3人認可保育園へ預けられてとても助かっています。（同じ保育園なので）3人目は保育料無料、2人目は半額という事で経済的にも助かっている。（年の近い子供の育児で大変だと思っていましたが、こういう制度がありすごく精神的にも助かっている。）今度長女が1年生に入学するのですが、（2人分）保育料+学童保育料と経済的な負担があり、学童保育への入学をどうしようかとすごく検討している。</p>
<p>子ども医療助成金が市をまたいでも自動償還出来る様になったことはとても嬉しく思いました。ただその前に助成年齢が引き上げられた事も家計には助かりますが、年齢の引き上げと市外でも利用できる用紙は同時送付でもよかったんじゃないかと思いました。利用機関もなく新しい資格者証が来たので経費の無駄遣いだと感じました。</p>
<p>保育料の基準を下げしてほしい。</p>
<p>今、認可外の保育所を利用しています。現在は1人だけ利用ですが、近々2人目は入所させて働くつもりです。2人だと保育料が高いのが気になります。出来れば、認可の保育所を利用したいのですが、待機の人も多いので、すぐに利用できません。せめて、認可外の入所している保育料の補助があれば助かるし、認可の保育所や学童を増やして欲しいです。</p>
<p>塾の経済的負担の軽減</p>
<p>育児手当の金額を、上げて欲しいです。</p>
<p>子供手当はいらないので保育料をただにして欲しい。</p>
<p>児童の医療費助成の年齢が拡大されたことや、市街の病院を受診した際も自動償還払いになったことはとても助かりますし、他の市もそうなるようもっと宣伝してもいいと思います。</p>
<p>児童医療費は、2ヶ月後に返ってくるのではなくその場（窓口）で無料にして欲しい。（保険証、医療カードみせて）他の県は、その場で無料なのに、沖縄は2ヶ月後なのでしょう？手持ちが無い時、給料日前など、通院の時などお財布がきついです。</p>
<p>多子軽減で保育料が減額されるシステムは、上の子が小学校に上がっても減額になる様になって欲しい。</p>
<p>学校給食費、2人目以上は半額にして欲しい。</p>
<p>保育所を増やして、待機児童を減らして欲しい。認可保育園で所得で保育料が変わるのは止めて欲しい。同じ教育を受けるのに、料金に差があってはいけないと思う。親は必至で働いて収入を得ているのに、一部では不備な申込の人いる。利用料を一律にしてほしい。</p>
<p>医療費免除の幅を広げてほしい。歯の矯正が必要と（5歳児）言われたが、かなりの金額の自己負担。そのままだと大人になって無口吸症候群になることも。子どもにとっての医療費はかなりかかる為、もっと親も安心して病院受診できるようにしたい。</p>
<p>もっと認可保育所を増やして欲しい。または、認可外保育所に対して何らかの援助（金銭面）をして欲しい。保育料が安ければ、子供を預ける事に対して、金銭的な迷いもなく、子供を預けられ、気持ちにゆとりができる。子供を産みたいと思っても、5～6年間の保育料のことを考えると産むことに迷いが出るが、保育料が安ければ、子育てへの金銭的な不安は少しは解消される。子供を安心して預けられる施設をもっと作ってほしい。（充実）</p>

## 5. 幼稚園

計 30 件

幼稚園での給食の早期実現、学童ではなく幼稚園での延長保育が希望
公立の幼稚園も3歳からの3年幼稚園にして欲しい。お昼もケータリングなど利用できたら働きながらの子育ての負担がちょっとは軽減される。
私立幼稚園が子供の数に比べて少ないです！特にとなりの北谷町に私立幼稚園が少ないため、宜野湾市の幼稚園に流れてきて、地元の人が入りにくいのはおかしいです・・・。なんとかならないものでしょうか？
幼稚園も給食制にしてほしい。
西原町の様に幼稚園への給食導入をし、14時ごろまでの預かりをして欲しい。そうすると、幼稚園の利用も増え待機児童が減るのではないかと？
幼稚園にお弁当でなくケータリングを導入して、預かり保育を希望する家庭の負担を減らして欲しい。（毎日弁当は本当にきつい）ぜひよろしくをお願いします。小学校の給食費は助かっています。ありがとうございます。
公立幼稚園の学童が18時までなので、フルタイムで働いていると利用できない。19時まで利用可能にしてもらいたい。特に沖縄では共働きしないと生活が厳しい世帯が多いので、幼稚園での預かり保育は必要だと思う。
県外から転入してきましたが、幼稚園が午前中のみでその後の預かり保育が、空きがないとのことで、幼稚園に入れるのをやめて認可外保育園に入れましたが、保育料がとても高かったです。幼稚園で1日預かってもらえると良かったです。小学校の放課後の過ごし方でも、県外では小学校に併設されていて便利でした。宜野湾市では放課後の学童の受け入れ人数が少ないです。
幼稚園を3年保育にしてみても？保育園育ちの新1年生と、幼稚園育ちの新1年生では落ち着き方が違いました。午前中だけでも学校に行くだけで、子供も親も少し楽になります。宜野湾市では、子供が沢山いる家庭もけっこういます。だからこそ、学校への介入もあっていいかと。
幼稚園も給食にして欲しい。働きながら毎日弁当は大変です…
幼稚園、保育園に通わないと仕事ができないが、そうすると経済的な負担も大きく、結局は収入が保育料に消えてしまうので、もう少し負担が軽くなるようにないか？と思います。また、幼稚園も働く家庭への対応を進めて欲しいです。（預かり保育を充実させるなど）
公立幼稚園の保育時間を長くして欲しい。給食制度の導入も4歳児から午後の預かり保育もしてくれれば、働いている人にも利用しやすいと思う。
公立幼稚園を2年制から3年制へ。現在は午前のみだが、給食をつけてせめて午後2時～3時まで預かって頂きたい。内地と同じようにはならないのでしょうか？特に4歳児は午前のみなので、預けてもあつという間にお迎え、何もできない。
公立幼稚園についても、宜野湾市は4歳・5歳児保育をしているが4歳児に関して利用したくても午前中しか預けられないなど共働き世帯には利用しにくい。4歳・5歳児保育に関してはもっと幼稚園を利用できる環境を整えば、4歳・5歳の定員が減り、0歳～1・2歳の待機児童を救う事ができるのではないかと。また、毎日お弁当という点も大変だと思うが、今後ケータリング等選択することは視野にいれているのか。
幼稚園の始業時間が遅い為、保育園の5歳児として残すしかない。
小学校入学前の準備をして幼稚園に入所させたいと思いますが、預かり保育の際毎日のお弁当作りが大変で、幼稚園の入所を断念した保護者も沢山いました。教育側は、食育の大切さを訴えて弁当持参を勧めていましたが、働く母親にとっては、子供の弁当作りは大人と違って大変です。教育者側にもっと働きながら子育てをしている世帯への配慮が必要だと思います。そうすれば、年長時の保育所継続も減り、幼稚園に通わせる方も増えると思います。待機児童の解消も図れると思う。
現在、共働きなので登園や、その後の学童への迎えを考えると、非常に不便を感じています。すぐ近くの幼稚園だったら、現在の保育園子供も4月から上の子の学童の場所へ変わることなく在園できたのに…と思っています。どうにか融通のつく幼稚園指定はできないでしょうか？
公立幼稚園の3年保育。年中希望者全員の入学。
全ての公立幼稚園の2年保育の実施を希望
上の子（5歳）は市立の幼稚園ですが、預かり時間が週3日12時まで、週2日のみ14時までとなっている点は、とても理解しがたい！！です。もっと、長くしてもらってもいいと思います。子ども達は、まだ遊び足りない状況でいつも降園しています。なぜ、こんなに短いのでしょうか？保育料も安いので、助かってはいますが、折角ならもっと長く見て欲しいです。
幼稚園は弁当なので、給食があればとても助かります。
すみません…それと、沖縄には公立かほぽカトリック系の幼稚園しかなくて選ぶのが難しいです。真ん中のレベルぐらいの、学校法人みたいなのが欲しいです。沖縄の勉強レベルをもう少し上げて欲しい。沖縄に学はいらぬのかな。
公民館幼稚園の伸び伸びとした保育の仕方（環境）が好きでした。今、休園になっているのが残念です。
現在、公立の幼稚園が2年保育となり、是非入れたかったが年中クラスに入れるには、迎えが必要ということで入れられなかった。（就業しているため）幸い、宜野湾市内には私立幼稚園で預かり保育もやってくれている園があるので、そちらに入れる事が出来たので良かったが、ぜひ、公立でも、年中からの預かり利用ができると、助かる人も多いのでは。ようやく、他市町村も含め、2年保育の公立幼稚園が増えてきたが、是非、年中クラスの充実を目指してもらいたい。物理的な問題もあるだろうが、ぜひお願いしたい。今後新しくできたり改築する場合は幼保一体型があってもいいと思う。継続的な教育が、小学校以降の学力向上にも結び付くのではないだろうか。
私自身ではありませんが、知人の育休でこのような事例がありました。※知人は他市在住なので宜野湾市では当てはまらないかもしれませんが、女性全体の問題として読んで頂けると幸いです。※4月第3子出産予定、長女8歳、長男5歳。4月から長男が幼稚園に入園予定。午後は預かり保育の予定でしたが、役所から言われたのは産前産後の間は預かり保育をしますが、育休中は預かれないので一旦辞めて頂く。但し復帰するタイミングで再度預かり保育に入れる保証はなく、空きがあれば入れるが可能性としては低いとの回答。本人は10月復帰希望で会社もそのように手続きを進めておりましたが、第3子の保育所の入所が決まったとしても、長男の午後の預かり保育が出来なくなると、フルタイム（9時～18時・状況により多少の残業あり）の職場復帰が出来ません。業務上午前中から出来るお仕事ではなく、無理をして育休を取らず復帰したくても、産休終了時に第3子は保育園に入園できる月齢に達していません。勿論、育休中に長男を午後から自宅で面倒見ることは対応できますが、このような場合、優先的に育休明けの預かり保育を対応する事は難しいのでしょうか？経済的にも社の雰囲気的にも育休を1年取得というのは難しく、退職を考えざるを得ない状況でした。そうすると仕事退職→保育園に入所出来ない→新しい仕事に就けない悪循環の始まりです。子育てが落ち着いた頃では、ブランクもあり年齢的にも現在の職場と同様の再就職はかなり難しいと思います。私は派遣の仕事をしており、面接をする機会も多いのですが、育休が取れ

<p>ずに復帰出来ない（会社の育休制度だけが問題ではありません）。やっと子育てが落ち着いた頃には、年齢的に事務等の再就職は難しく、スキルの高い方が、パートでレジなどのお仕事しかできないという状況も多くあります。</p>
<p>幼稚園にも給食または、ケータリングサービスを導入して頂きたい。共働き世帯の多い沖縄で、子供達の発育に配慮したサービスの選択があっても良いのでは。希望制にして、弁当持参、またはケータリングにして欲しい。</p>
<p>預かり保育の人数を増やして欲しい。預かり保育も学童クラブの様に、スイミングやそろばん教室へ通う子がいたら、送迎が来るという条件で、許可して欲しい。利用者の立場に立ったサービス展開を望みます。</p>
<p>公立幼稚園に通わせてもらっていますが、3月の修了式の後も預かり保育を実施して欲しい。3月31日までは、幼稚園に籍があるので、3月16日頃から「預かり終了」といわれると、他の預け先も無く困ります。4月からは地域の学童さんが受け入れてくれます。</p>
<p>子供が通っている幼稚園は（年長）預かり保育の定員が20名と非常に少なく、何の意味もありません。私は週3、1日8時間勤務で認可保育園にも預ける事も出来ませんでした。（窓口で1日4時間×週4は必要）と言われましたが、私は週24時間勤務で、一より多いですね。幼稚園の預かりも週3でいいので預けたかったのですが、抽選にもれませんでした。近くに良い学童も無く、料金も高く困っています。上にも小5、小3の子どもがいて、ずっと感じていましたが、幼稚園の在り方を考えて欲しいです。私は現在、西原町で働いていて話を聞くと、幼稚園は親の勤務に関係なく延長可能（那覇市もです）定員ももっと多いです。西原町に至っては完全給食制ですよ。宜野湾はすごく遅れてます。基地で補助金を沢山もらっている割にはサービス悪いですね。私はもう幼稚園1年で終わりなのでこれからどうなるか関係ないのですが、もう少し幼稚園の在り方を検討した方がいいですね。しかも時間も最初2時間保育から始まって午後の預かりも2学期から？！（2時まで）意味が分かりません。せめて小学生と同じ3時～4時位までは預かって欲しいです。その為には幼稚園料金を少し上げてでももっと良い環境になる事を望みます。出来ないのなら学童にもっと力を入れて整備して下さい。</p>
<p>幼稚園でも給食サービスを取り入れてほしい。（出来そうなのに）</p>

役所で手続きをする際の子供の遊ぶ所を作って欲しい。
認可保育園申込の受付時間をお昼と 20 時位までにして欲しい。認可に入れる親は皆仕事しているのに、休んで申込みしに来ないといけないのでしょうか？せめて、お昼は交代でとって受付するべきだと思います。
補助金の申請は私立幼稚園ではなく、役場にしたいと思う。収入などの個人情報ももれていると思います。
要望なんですけど…※せっかくこの沖縄で学んでいるので、ぜひ“空手”を子供達に習ってほしい。空手発祥のこの沖縄だからこそ、ぜひ授業にも取り入れて欲しいと思います。出来る事なら幼稚園から。※宜野湾市内は、他市町村に比べて外国人の方が多い様に思います。クラスでも 1～2 人程度いる様に思うのですが、もっと英語に力を入れてもらえたら、グローバルに通じていけると思います。
悩みを抱えた時に、全ての方が（宜野湾市内に住む方々が…）“宜野湾市役所に行けば、何らかの解決策が見つかる！！”と思える地域になってくれればと思います。私自身、去年は本当に市役所の皆さんの優しい心遣いに救われました。役所に行って“相談できる（場所）”とは、今まで考えた事が一度もなく（分からず）本当に家族みんな共倒れになる寸前でした。どこに行けばいいのか分からず私達のように苦しんでいる方々が大変いらっしやと思います。“宜野湾市民で（住んでいて）良かった！！”と思える“地域”になる事を祈っております。皆さんの良い働きに感謝しております。これからも宜しくお願い致します。
以前実際にあったことで、とても困ったことをお話します。認可保育園の料金について問い合わせたところ、おおよその料金について解答がありましたが、実際の料金と 1 万円以上の誤差があり、結局月々の料金が高すぎて、認可保育園に入ることを断念しました。後日、その誤差について再度問い合わせたところ、「法律の改定がありました」の一言でした。返事を下さった担当の方が悪いわけではありませんが、まず法律が改定になっているのなら、待機している方や、申込をしている方々には知る権利があると思うので改定後の通知をしていただきたいです。改定が急に決まったことであれば、窓口で問い合わせが増えることを予期し、対応担当をつけることや、混乱があったことの謝罪の言葉が一つでもあってほしかったのです。このような小さなことでも、待機待ちでモヤモヤしている方や、窓口でイライラしている方でも、対応策さえしっかりしていれば気持ちが和らぎます。日々市民のこどもたちのために頑張っているのは分かりますが、私達にも知る権利を尊重して下さい。よろしく申し上げます。
保健センターの場所、施設の高さ、狭さをどうかして頂きたいと思っています。わざわざあのような場所でもなくとも広い土地が海側にあるのに。
保健センターで子どもの乳幼児健診などありますが、その際に子供がオムツに尿や便をしてオムツ交換をすることがあるのですが、交換した後に手を洗いたいのですが…石けんがあるトイレまで行くのに子供を 1 人フロアに残していくのが不安です。お見受けしたところ、フロアにも水道があるようですが…使用してもよいのでしょうか？石けんも設置して頂き、気軽に使えるようにして頂けると、子供を見ながら出来るし、子供も母親の姿が見えなくなり、不安で泣いたり…ということが減ると思います。おしり拭きの紙で手を拭いているお母さんもいるようですが、流れ手洗いが一番衛生的だと思います。ご検討下さい。
保育園の申請のほか、母子手帳の交付など、月 1 回で良いので、土日に窓口を開けて欲しい。その都度会社を休んでいる。
認可保育園の申請は平日だけではなく、土・日の 2 日間でも設定して欲しい。今回できなかった！！
認可保育園を利用した時期に感じたこと。保育課が設置している入所条件等の検討が必要と思われれます。勤務しながらの待機中（認可保育園）、「空きがある」と連絡を受け入所する事になりましたが、「子供が慣れる為」とはいえ、入所スケジュールに対応するのは困難。育児休暇からの復帰や就職が決定し、タイミングよく入所される方は対応できたとしても、就労中に対応するのは職場に理解ない限り難題。行政は「苦」を親に課しているとしか思えない。親に全体的に支援できる「実家」「親族」があるとは限らない。私のケースは、私の両親は他界。兄弟は他県、親族は高齢、主人の母親は高齢（90 代）親族も高齢、遠距離、そして子供は双子。ファミリーサポーター利用をしたがサポーターからは私自身のニーズよりもサポーターの私情を話され、それ以来利用はしていません。表面的なアンケートよりも関わる人の人間性や保育士の質など、行政は取り組まなければならないのではないのでしょうか？保健センターについても、職員は「市が提供している」と上目線ですが、実際私達の税金での運営ですよね？利用する度に、行政や市を信用できなくなります。声を出したとしてムダと多数の方は言われるでしょう。私も思いますが、今回は述べさせて頂きました。「子供の為に」や「向上」など掲げるなら、行政から変化するべきではないのでしょうか？乱筆・乱文にて失礼いたしました。最後までご拝読頂ければ幸いです。
宜野湾市ではほかの市町村に比べて、子育てしやすく、支援制度も充実していると思いますし、また「宜野湾市はいいねー」とよく言われます。今後より良い環境づくりをして頂けたら嬉しです。
フルタイムに近い時間働いているが、2ヶ所かけもちのため、雇用保険に入れません。（3～4時間×2ヶ所）もちろん育児休暇も…フルタイム以外の雇用形態でも同じように社会保障を受け入れるようになって欲しい。
インターネット上で書類関係の提出や情報提供を行ってくれたり、個人の希望に応じてメール配信など行ってくれれば家に届いた手紙を捨てる手間も省けて助かるのですが…（届くたびにシュレッダーをしなければいけないので）
宜野湾市役所内に、ユニバーサルトイレの様な、赤ちゃんをおむつ替え出来る場所が欲しかった。授乳室としての部屋で、おむつ替えが出来なかったような記憶があります。おむつ替えをした後は、すぐに手洗いをしたいのですが、それもできなく、別のトイレに行って洗った様な記憶です。4 年近く前の記憶だったので、うる覚えでしたが、授乳、おむつ替えが不便でした。改善されていたらすみません。（今の状況は知りません。）
派遣スタッフさんによっては、勤務証明書を提出、保育園の入園・継続が内定すると、契約の更新があっても本人から更新せず辞めてしまう方も沢山います。更新の可能性有で〇をしますが、実際に更新があったか、役所等からの確認は一度もありません。この辺の管理はきちんと出来ているのでしょうか？何度か不公平感を感じた事があります。例えば 1 年以上同じ会社で務めている事。育休から職場復帰の日程が確定して、会社からキチンとした提出書類が出されているなど、ある一定の基準を設けて、今回のような事例に対応する様なシステムを作ると、大変ありがたいです。本人も会社も育休を取らせたいのです。でも出来なかったのです。同僚は勿論、会社としても戦力となっているスタッフを失う事は大変残念なことでした。P22 育児休業を取得しなかった理由にはありませんが、このようなケースもあることを理解頂きたいと思えます。
宜野湾市は近隣の市町村に比べて、対応が遅い。（保育園の審査や、手続きの返答）
認可保育園の申込が日曜日にやってなかったのがあり得ない。認可保育園は主に働いている親が子供を預けるはずなのに、平日のみの受付はおかしい。最後の週は受付時間延長してただけ、それより日曜日に受付してほしい。

## 7. その他

計 50 件

返信用封筒が本アンケート用紙の規格に比べ非常に小さい！（アンケートに応じる気をなくす）
世の中の社会全体が、子供優先の社会であって欲しい。
生活環境への影響として普天間基地は大きな問題ですが辺野古の自然を壊してまで私たちの発展を望もうとは思いません。
無料で子どもや親子で参加できるイベントをもっと沢山作ってほしいです。（スポーツイベントなど）
大きな商業施設もどんどん増えてきて、街が賑やかになってきているし、買い物も便利になりました。これからも、宜野湾市っていいねと思ってもらえるような街づくりをよろしくお願いします。
路線バス減少しているので、その代わりに施設（工場見学含む）までのバスツアーを増やしてレジャーを楽しみたい。職場見学ツアーがあったら将来的に進路の手がかりになると思います。
自営業の人の0申告とかありえない。収入があるのに0申告して安く保育料をおさえる人が（他の市町村）いるのをほっとしているのが許せない。
現在の学校給食について、自由選択制にして欲しいです。給食内容について、安心面と安全面等に不安があります。（例えば、産地、化学調味料などの面で。）地産地消なども推進して欲しいです。
地域と一体になって、学力とモラルの向上を強化して欲しいです。
子育てだけではなく、陸上競技場の開門時間やトロピカルビーチの開門時間を早朝（もしくは日の出）にして欲しい。とりわけ沖縄は夜型志向、傾向になりがち。子供と仕事に行く前に安全安心に使えるハード（陸上競技場、海水浴場）はあるのだから、人員を雇用して、使用できる時間を拡大して欲しい。また、親子で利用できる温水プール等の施設が宜野湾市にあれば、メタボの削減やコミュニケーション、QOLも高まるのでは…
いらなくなった子供服、子供用品を集めて活用してもらえる所があると良い。名前記入された（保育園行っている）服は、古着屋さんでは売れないし、でもぜんぜん着れる服がどこの家にもたくさんあると思う。身内でまわせる人もいけど、まわす人もいない人は捨てることになるので、それを“寄付”する所でもいいのであるといい！その集めた服をもらいたい人にあげる場を作ったりするのもいいと思う。子供服は高いしすぐ大きくなるので。服以外にチャイルドシートやおもちゃなどがあると嬉しいと思う。ぜひ宜野湾市でやって欲しい。
所得状況における公共住宅入居への優遇。
子育てに力を入れているようには見えない（今の市）このアンケートは本当に役立ててますか？もっと目に見える確信的なものになって欲しいです。知っていますか？とか利用したいですか？とか聞いてばかりで積極的さが無い気がします。子育ての環境の理想は金武町です。
配偶者の協力が得られない。仕事は週5ではあるが、残業で土・日はほぼいない。夜も子供が寝た後しか帰ってこない。子育てを男性も一緒にできる社会を働きかけて欲しい。土・日利用できる預かり施設の充実。待機児童の解消。保育園入園に対する不公平感の解消。
沖縄県の給与水準では、より高い教育を受けさせるためには共働きが必要となってくる場合が多くなると思うが、共働きに対応した体制になっているとは言い難い。また、祖父母に頼りきりの人々がいるが、その子達の多くはわがままで甘えん坊の様に見える。父母が安心して働き、子供達も社会性を身に付けられるしっかりとした環境で育つことができるよう行政には努力してもらいたい。よろしくお願いします。
嘉手納町にある「町営プール」などの施設を作って欲しい。宜野湾ウォークラリー的なイベントを増やして欲しい。日曜・祝日に開催される子供向けイベントを増やして欲しい。家族キャンプに母子家庭でも気兼ねなく参加できるように配慮してほしい。
平日は仕事で休みが取れないので、土日などに集まれる場があれば良いと思いました。
基本的な事だと思えますが、食育や生活環境がとても大事だと思います。子供なり親の周囲の大人の教育が重要だと感じています。どうしてごはんをしっかりと食べるのか？どうして早寝早起きをするのか？今は食べる物、着る服、靴なんでも安くすぐ手に入る為、簡単に考えたり、すぐ捨ててしまったりしています。親と一緒に夜遅くまで居酒屋へ行ったりすることで、過食、寝不足、朝食抜き＝肥満（生活習慣病）にも繋がると思えます。
保育園がある場所が基地に近くオスプレイやヘリ、ジェット機の離陸着陸時、すぐ園と接近しているので、保育園の場所を変えて欲しい。できなければ、保育園を変える手続きで待機児童になるなら認可外保育園に預けている間の料金を少し免除して欲しい。
全体的に答えにくいアンケートでした。意味が分からなくて答えていない所もあります。
宜野湾市は公園が多く、またきれいに丁寧に整備されていて、小さな子を持つ親としては、安心して思いっきり遊ぶ場が用意されていて、有難いです。ひとつ残念なのはやはり普天間飛行場です。あの騒音で夢中で遊んでいた子がびっくりして遊びを中断し、親の元へ走ってきます。環境としてはやはり良くないと考えています。
集団生活に慣れる為の場（保育園・幼稚園など）が少ない為選択肢に限られる。→子供を作る気になれない。
私（母）は他県出身ですが、地元の友達から保育園等の環境を聞きますが、やはり宜野湾市の認可園や保育関係はとても充実していると実感します。特に年を追うごとに向上させようと職員の方々関係者方の努力の形が着実に表れていると思います。ありがとうございます。
こういうアンケートはネットで回答できるようにして欲しい。
初めてこのようなアンケート調査があり、教育保育環境が良くなることを期待しております。比較的、宜野湾市は子供を育てやすい環境にあると思います。お年寄りや地域の人々が越え掛けして子供を育てる様な印象を受けます。どんなに良い制度が作られても、身近な人の温かい越え掛けや支援が何よりママ達を安心させます。保育士やママ友など、ひとりひとりの関わりも大切にしたいですね。
新しい保育所が増え、子供が入り易くなりました。新しい公園もでき、遊べる場ができて子供とコミュニケーションが取りやすくなりました。病院での費用、戻ってくるようになり、とても助かっています。宜野湾市とても頑張っていると思います。近年の保育サービス、子育てサービスをみると、様々なものが出てきて、親が子供を見なくてよい社会になるのではないかと考えてしまうのは行き過ぎでしょうか？サービスばかり増えて、前にあった生活保護制度悪用のように「利用できる物は使っとけ」「もらえる物はもらっとけ」という考えを持った市民も多く出てくると思います。こればかりは、モラルの捉え方によりますが、その利用者だけでなく、地域で子育てしていけるよう、昔の良き日本ようになって欲しいです。悪用している人がいれば、その情報を役所に寄せてもらい、その事実が確認できれば、情報提供者に何か与えてもよいのではないかと考えます。

子育てに関するアンケート、調査を今後も続けて下さい。言いたくても言えない人がいたり、知らない情報をアンケートで知ることができるから。
子育ての支援について、子育てに不安もあった時で3才健診の際、「母親がもっとしっかりしなくちゃ」という言葉があり、正直ただただショックでした。歯科健診では「きれいにみがけていますね。今は丁寧にやったのね。」という言葉に何が言いたいのかが分からなかったです。健診の目的は何なのか？ちゃんと子育てしているのか？虐待はないか？の監視と誤ってしまいます。たった2人の対応が私の子育ての一番嫌な体験です。（もちろん他の方々も丁寧に対応して頂きありがたかったです。）このように意見を述べるのも今回が初めての様な気がしますが、意見を述べる機会があれば、多くの中からよりよい支援方法につながるのではないのでしょうか。自由に書かせて頂いてありがとうございます。これからの発展に期待します。調査お疲れ様です。
今回の内容とは別ですが、コンベンションの建物の壁を広告用に開放したら、広告料が市の収入として入るのではと思います。その分を教育・福祉へ。
ニーズ調査は質問が多く大変です。もう少しまとめて、簡潔にしてほしい。※今回の調査が少しでも市民の声として、今後の子育てに良い方向に向かってくれる事を期待しています。調査の方々本当に疲れ様です。
時間を割いてアンケートに協力しているので、集計結果や行政にどのように反映させるのかについて、きちんと公表して下さい！
普天間基地の爆音も日々許せません。定期的に子供達の健康状態を検査して公表して欲しいです。普天間基地の近くに住んでいるだけで、すごく不公平感を感じます。
何といても普天間基地の移設を一日も早く行ってほしいです。宮森小や、沖国大学のような事件が二度と起こってほしくありません。
母親の気分転換やリフレッシュのために、カルチャースクールやスイミングクラブなどを利用したいが時間設定が午前中や夕方前になっている。日中仕事をしている人にとっては、自分の時間を持てるのは、19時以降のことが多いと思う。もう少し時間を考えてほしい。
日本自体が、子供・子育て支援に関する動きが鈍い国なので、海外（オーストラリア）に行くと同様に欲しい所が沢山あります。その中でも、沖縄も出遅れていると思うので、協力できることはさせて頂きたいので、今日より明日、明日より明後日！日々良くなってほしいです。多く意見を述べさせて頂きましたが、ご検討のほど、宜しく願いいたします。以上。
アンケート用紙を指定の封にいれにくーい！大きさの再検討を！！
ある小学校の3人。不登校・教室に入れない・時差登校が各1名います。どういった対応をしているか、教えて欲しいです。これ以上気になる生徒が増えないよう対策はしているのでしょうか。宜しく願いします。
今の所、宜野湾市での子育てに大変満足しています。上の子から7歳・4歳・2歳ですが、とても子育てしやすい地域で本当に満足しております。ママ友からも宜野湾市に住んでいる事をとてもうらやましがられます！何か気になる事がありましたら、その都度お問い合わせください！調査遅くなりましてすみませんでした。
子ども手当があるが、給食費未納が多すぎる。子ども手当で引き落としはできないのか？堂々と「給食費払わなくても、義務教育だから大丈夫。払うだけ損」と話す保護者を見ると、とても矛盾していると感じる。子ども手当なので、最低限のことからさせるべきではないか？法的措置等とってもよいのでは？そういう話をする保護者の子どもが、携帯を持っていたり、服はブランド物、持っているのも学生とは思えない金の使い方をしているのも疑問である。
教育・保育環境について検討してもらえるのはありがたいが、宜野湾市は実施するのが遅すぎる。
Aパークの駐車場が明らかに住民ではない子供達がボール遊びをしたり、散らかしたり…他人の所有地への侵入という教育が一切されていない。アスファルトの路面を高学年位の子供たちが裸足で歩き回り、スーパーの中までもその足で入る…同じ日本国内での行動とは思えない。最低限の教育位はして頂きたい。とにかく色々価値観が違いすぎて、このまま沖縄で子育てを継続すると、将来、子供が県外で苦労しそうで不安でしかない。
10時を過ぎたスーパーに、パジャマ姿の未就学児がいたり、お菓子売り場で商品を投げ合う子供がいたり…本当に公立のレベルが低いんだと思う。
ちなみに公立幼稚園や小学校の牛乳は加工乳ではなく生乳はできませんか？私は小さい頃とてもいやで、飲み干すまで残されたりと、とても嫌な思い出があります。改修工事も良いですが、食に関しても改めて欲しいと思います。どうぞよろしくお願い致します。
よく自分の小さい頃はこうだったのに、とか思う事が多々あり、その位でくじけたり文句言う子どもを…と思う事があります。でも、そういう風にしたのは自分だ、そんな子どもが多いのは、親世代の私たちが作った環境のせいなのかと思う様になりました。今の子はとか、今の若い者はといつの時代も言ってきた言葉かもしれませんが、そこに何かあるのじゃないかと思えます。みんなで、良い環境作りが出来ればと思います。
郵送するのが遅くなってしまいました。すみませんでした。
アンケート記入が遅くなりすみません。
市営住宅を増やして、収入にあった住宅の確保。
このアンケートにこたえてみて、ぜひ保育園増やして欲しい！保育料見直して欲しい！職場が子育てしやすい環境になってほしい！（今はそういう職場ですが、4月には他にうつる予定。だけど、そういう働きやすく、子育てのしやすい職場を見つけることが難しく、入社しないとわからないので不安）宜野湾市が子育てしやすい市にどんどんなってくれたら嬉しい！と思えました！
アンケートが難しく、ちゃんと答えられたのが微妙です。産休も取ったというか、親の自営業で働いているので、産休はとっていません。生まれる10日前まで働いてたし、産まれてからも体調の良いとき、お母さんが見てくれる時は働いていました。だから産休での質問は、何て答えていいのか、分かりませんでした。お母さんが、今の下の子が保育園に入れるまでとの約束でもらっています。認可に入れなくても4月からは保育園を探して預けるつもりです。近くに親がいても、ずっと見てくれるわけではありません。親の生活もあるので、親も働かなくてはいけないけど、私を助けるため3月まで協力してくれています。なので、アンケートで祖母にみてもらってると書きましたが勘違いしないで欲しいです。
子育て支援とか、いろんな施設があるけど、仕事と子供が多いので、利用する時間はありません。なので、知らない施設がありました。今はバタバタなので、これから時間ができたら、利用してみます。

宜野湾市子ども・子育てに関するニーズ調査  
～ 就学前(0～6歳)児童用 ～



日頃より、宜野湾市政に対して、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、平成24年8月に、国において「子ども・子育て関連3法」が成立したことを受け、平成27年度より、子ども・子育て支援新制度がスタートする予定です。新制度では、すべての子どもが健やかに成長できるよう支援するために、全国すべての市町村が5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に事業を実施することとしています。

本市におきましても、この計画を作成するにあたり、どのような子育て支援施策が必要かを把握するため、アンケート調査を実施いたします。  
皆様方よりお答えいただいた調査結果は、今後、本市の子ども・子育て支援施策を考へていく上で、重要な資料といたします。

子どもたちが自分たちの住むまちに誇りを持ち、将来に向かって希望を持って育つためには、行政と市民が一体となって、子どもたちの未来を考えていくことが必要です。

つきましては、ご多忙のことは存じますが、本市の子どもたちが大人になって住み続けたいと思える魅力あるまちとするために、調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

平成26年1月 宜野湾市長 佐喜真 淳

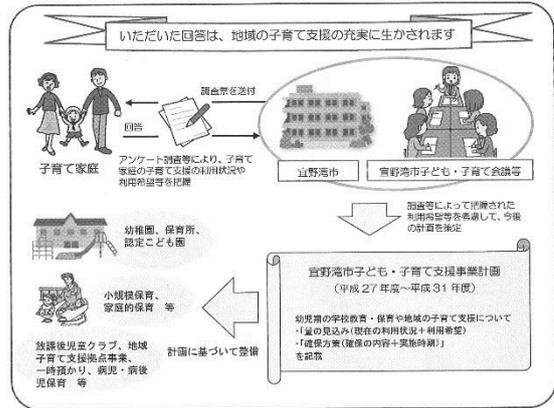
ご記入いただいたアンケート票は、同封の返信用封筒に入れ、封をしていただき、平成26年1月17日(金)までにお近くのポストへご返送くださいようお願いいたします。

なお市内の幼稚園・認可保育所・認可外保育施設に通園している場合は、同封の返信用封筒に入れ、封をしていただき、園に提出していただくも構いません。



ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

担当 課：宜野湾市役所 福祉推進部 保育課 担当：新屋、平田  
電話：098-893-4411 (内線 432・473)  
委託業者：那覇市科学政策研究所 担当：山崎、上里  
電話：098-859-7037



ご記入にあたってのお願い

1. 特にことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。
2. アンケートには、おさんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある( )内に具体的な内容を記載ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
6. 本アンケートで用いる「子育て」、「教育」とは下記の意味を指します。  
「子育て」… 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援。  
「教育」… 問14-4までにおいては家庭での教育を含めたい意味。  
問15以降においては幼児期の学校における教育の意味。



お住まいの地域について

問1 お住まいの地域の行政区をお答えください。行政区が分からない場合は、このアンケート用紙が入っていた封筒の宛名ラベルを確認していただき、宛名ラベルに印字されている「行政区」の数字をお選びください。  
○は1つ。

1. 野嵩1区	2. 野嵩2区	3. 野嵩3区	4. 普天間1区
5. 普天間2区	6. 普天間3区	7. 新城区	8. 喜友名区
9. 伊佐区	10. 大山区	11. 真志高区	12. 宇地泊区
13. 大謝名区	14. 嘉数区	15. 真栄原区	16. 我知市区
17. 良田区	18. 宜野湾区	19. 豊知区	20. 中原区

注) 行政区は個人情報特定する様なものではありません。

封筒の宛名のおさんとご家族の状況について

問2 宛名のおさんの生年月月をご記入ください。  
○は1つ。  
□内に数字で記入。(数字は一桁に一字)  
平成 □□ 年 □□ 月生まれ

問3 あて名のおさんとの同居・近居(隣ね30分以内程度で行き来できる範囲)の状況についてお答えください。続柄はあて名のおさんから見た関係です。  
○は1つ。  
○は当てる番号すべてに○

1. 父同居	2. 母同居	3. 祖父同居	4. 祖母同居
5. 祖父近居	6. 祖母近居	7. その他( )	

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のおさんからみた関係をお答えください。  
○は1つ

1. 母親	2. 父親	3. その他( )
-------	-------	-----------

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。  
○は1つ

1. 配偶者がいる	2. 配偶者がいない
-----------	------------

問6 宛名のおさんの子育て(教育を含む)を主にしているのはどなた(施設)ですか。おさんからみた関係をお答えください。  
○は1つ。  
○は当てる番号すべてに○

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に拒父母
5. 幼稚園	6. 保育所	7. その他( )	

問7 宛名のおさんは、何らかの障がいや発達の違いが気になる状況がありますか。  
○は1つ。障がいがある場合は、障がいの種類をお答えください。

1. 障がいがある →障がいの種類についてお答えいただけます(①身体障がい ②知的障がい ③その他( ))
2. 発達の違いが気になる
3. ない

子どもの育ちをめぐる環境について

問8 日頃、宛名のおさんをみてもらえる親族・知人はいますか。  
○は当てる番号すべてに○

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問8で「1」または「2」と回答した方にうかがいます。

問8-1 祖父母等の親族におさんをみてもらっている状況についてお答えください。  
○は当てる番号すべてに○

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心ざしい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他( )

問8で「3」または「4」と回答した方にうかがいます。

問8-2 友人・知人におさんをみてもらっている状況についてお答えください。  
○は当てる番号すべてに○

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たちの親の立場として、負担をかけていることが心ざしい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある
6. その他( )

問9 子どもの健康管理であなたがやっていることは何ですか。  
○は当てる番号すべてに○

1. 食事に気をつけている	2. 虫歯予防	3. 規則正しい生活をする
4. 歯診を受ける	5. 予防接種を受ける	
6. その他(具体的に )		

**問10** あなたは子育てに関して不安や負担感を感じていますか。  
 はい  いいえ

1. 非常に不安や負担を感じる      2. なんとなく不安や負担を感じる  
 3. あまり不安や負担は感じない      4. 全く感じない  
 5. なんともいえない

**問11** 子育てに関して日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。  
 当てはまる番号すべてに○

1. 子どもの病気や発達・発達に関すること  
 2. 子どもの食事や栄養に関すること  
 3. 育児の方法がよくわからないこと  
 4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと  
 5. 子どもとの時間を十分にとれないこと  
 6. 子育てについて話し相手や相談相手がいけないこと  
 7. 仕事や自分のやりたいことが十分でないこと  
 8. 子どもの教育に関すること  
 9. 子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること  
 10. 登園拒否、不登校などの問題について  
 11. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと  
 12. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと  
 13. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと  
 14. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になる  
 15. 仕事で平日にある行政や保育所等が主催する子育て説明会などに参加できないこと  
 16. 子どもを叱りすぎているような気がする  
 17. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかりしてしまうこと  
 18. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと  
 19. その他(具体的に：  
 )  
 20. 特になし



4

**問12** 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人(場所)や育児を助けられていると感じている人(場所)はありますか。  
 はい  いいえ

1. いる/ある      2. いない/ない ⇒ **問13へ**

▶問12で「1.いる/ある」と回答した方にうかがいます。  
**問12-1** お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる人や育児を助けられていると感じている人はどなた(どこ)ですか。  
 当てはまる番号すべてに○

1. 祖父母等の親族      2. 友人や知人  
 3. 近所の人      4. 子育て支援施設  
 (地域子育て支援拠点、児童センター等)・NPO  
 5. 保健所      6. 保育士  
 7. 幼稚園教諭      8. 母子保健推進員  
 9. 民生委員・児童委員      10. かかりつけの医師  
 11. 市の子育て関連担当窓口      12. ファミリー・サポート・センター  
 13. その他(【例】ベビーシッター)

**問13** 子育てをする上で、どのような相談窓口があるとよいと思いますか。  
 はい  いいえ

1. どのようなことでも相談できる総合的な窓口  
 2. 身近な地域において気軽に相談できる窓口  
 3. 休日や夜間の相談に対応できる窓口  
 4. 発達状況などを相談できる専門的な窓口  
 5. 職場で子育てについて相談できる窓口(子育てアドバイザーや子育て経験のある職員による相談窓口の開設等)  
 6. その他(具体的に：  
 )  
 7. 特になし



5

**宛名のお子さんの保護者の就労状況について**

**この章を回答するにあたり、お読みください**

- お子さんの母親・父親の両方についてお答えください。(母子家庭・父子家庭の場合は該当する方のみをお答えください。)
- 「フルタイム」とは、1週5日程度・1日8時間程度の就労とし、それ以外の就労形態の場合は、「パートタイム、アルバイト等」としてお答えください。

**問14** 宛名のお子さんの保護者(父母)の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。  
 母親・父親の両方について、○を1つずつ。

現在の就労状況	(1)母親	(2)父親
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
これまで就労したことがない	6	6

▶問14で「1」~「4」(就労している)と回答した方にうかがいます。⇒**該当しない方は、問14-3(97)へ**

**問14-1** 就労日数や就労時間、また、家を出る時間、家に帰る時間をお答えください。  
 母親・父親の両方について、□内に数字で記入。(数字は一律に一字)

就労日数・時間等	(1)母親	(2)父親
就労日数	1週あたり □ 日	1週あたり □ 日
就労時間 (残業時間を含む)	1日あたり □ □ 時間	1日あたり □ □ 時間
家を出る時間	□ □ 時 □ □ 分	□ □ 時 □ □ 分
家に帰る時間	□ □ 時 □ □ 分	□ □ 時 □ □ 分

注) 時間は、(例) 0 0 時間のように24時間制でご記入ください。  
 注) 一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
 注) 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

6

問14で「3」、「4」(パートタイム、アルバイト等で就労している)と回答した方にうかがいます。

**問14-2** 今後の就労希望についてお答えください。  
 母親・父親の両方について、○を1つずつ。

パートタイム、アルバイト等の方の今後の就労希望	(1)母親	(2)父親
今の就労を続けることを希望	1	1
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2	2
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	3	3
就労しない子育てや家事に専念したい	4	4

問14で「5」、「6」(現在は就労していない、これまで就労したことがない)と回答した方にうかがいます。

**問14-3** 今後の就労希望についてお答えください。  
 母親・父親の両方について、○を1つずつ。

就労していない方の今後の就労希望	(1)母親	(2)父親
子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	1	1
1年より先、一番下の子どもがある程度の年齢になったら就労したい	2	2
※ 何歳になったら就労したいか、右の欄に数字でご記入ください。(数字は一律に一字)	□ □ 歳	□ □ 歳
すぐじでも、もしくは1年以内に就労したい	3	3

▶問14-3で「2」、「3」と回答した方にうかがいます。

**問14-4** 希望する就労形態をお答えください。  
 母親・父親の両方について○を1つずつ

希望する就労形態	(1)母親	(2)父親
フルタイムによる就労	1	1
パートタイム、アルバイト等による就労	2	2
※ 希望する就労日数・就労時間について、右の欄に数字でご記入ください。(数字は一律に一字)	1週あたり □ □ 日 1日あたり □ □ 時間	1週あたり □ □ 日 1日あたり □ □ 時間

注) 時間は、(例) 0 0 時間のように24時間制でご記入ください。

7



**問22** 子どもの外出の原、宮野市内において困ること・困ったことはありますか。  
 ○は3つまで

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全面に心配があること
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること
3. 交通機関や公共施設がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4. トイレがおむつ替えや靴子での利用に配慮されていないこと
5. 授乳する場所や必要な設備がないこと
6. 禁煙・喫煙場所が徹底されていないこと
7. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
8. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
9. 緑や広い歩道が少ないなど、まちなみにゆとりとうるおいがないこと
10. 聴き取りや見通しのきかないところが多いこと
11. 周囲の人が子どもを連れを迷惑そうにみること
12. 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ないこと
13. その他（具体的に：\_\_\_\_\_）
14. 特に困ること・困ったことはない



**問23** 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものを教えてください。宛名のお子さん以外に兄弟・姉妹がいらっしゃる場合は、兄弟・姉妹を含めた全てのお子さんについてお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。（事業内容、事業料金は別紙参照）

△ ○は3つまで

事業の名称	A知っている	Bこれまでに利用したことがある	C今後利用したい + 現在も利用しているが、今後も利用したい
①高齢学級(こうのとり倶楽部)、育児学級(コアラクラブ)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健相談センターの情報・相談サービス	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤子育てサロン (市は高齢社協連合会が実施している事業、月に1回市内5ヵ所で開催)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥地域子育て支援センター (身近な地域における相談や職員の交流の場)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦児童センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧自治体発行の子育て支援情報誌 「子育て応援本ほけっと」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨子育ての総合相談窓口(家庭児童相談室)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩母子自立支援員 (ひとり親家庭を対象に、養育相談及び指導、就労への支援等を行う相談員)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

①～⑩の事業については利用者負担が発生します。詳しくは別紙をご参照の上お答えください。

⑪放課後児童クラブ(学童保育)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫家庭的保育(保育ママ) (指導要領では未実施ですが、以下の内容を参考にしてお答えください)	はい いいえ	—	はい いいえ
⑬ファミリーサポートセンター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭病児・病後児保育(病院の小児デイケア)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

※ ⑫ 家庭的保育(保育ママ)とは、自治体から保育を委託されて、保育士、看護婦等の資格をもった保育ママ(家庭的保育者)が待機時の対応や、仕事・疾病等の理由でお子さんの保育が出来ない保護者に代わり、保育ママ(家庭的保育者)の自宅の一部を開放し、主に3歳以下の乳幼児を保育する制度です。また、定期的に認可保育所で半日保育を受けることもできます。保育料については、世帯の課税額(収入)によって異なります。



**宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について**

**この章を回答するにあたり、お読みください**  
 この章では、土曜・休日や、夏休み・冬休みなどの長期休暇中における「定期的な教育・保育事業」(幼稚園、保育所、認可外保育施設等)の利用についてうかがいます。親族・知人による預かりは含みませんのでご注意ください。  
 なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。事業内容、事業料金の詳細については、別紙をご参照ください。

**問24** 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、「定期的な教育・保育の事業」の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。  
 △ ○は1つ。土曜・日曜・祝日の両方について○は1つずつ。利用希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に数字で記入。(数字は一位に一字)

(1) 土曜日 ……

1. 利用する必要はない	→ 利用したい時間帯 □□時から□□時まで
2. ほぼ毎週利用したい	
3. 月に1～2回は利用したい	

(2) 日曜・祝日 ……

1. 利用する必要はない	→ 利用したい時間帯 □□時から□□時まで
2. ほぼ毎週利用したい	
3. 月に1～2回は利用したい	

注) 時間帯は、(例) 09時～11時のように24時間制でご記入ください。

「幼稚園」を利用されている方がいます。 → 該当し方は問25 (p15)へお進みください

**問25** 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

△ ○は1つ。利用希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に数字で記入。(数字は一位に一字)

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数回利用したい

→ 利用したい時間帯  
□□時から□□時まで

注) 時間帯は、(例) 09時～11時のように24時間制でご記入ください。

**宛名のお子さんの病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

**この章を回答するにあたり、お読みください**  
 この章では、平日の定期的な教育・保育の事業を利用しているとされた保護者の方(問15で1に○をつけた方)のみについてうかがいます。  
 → 利用していらっしゃる方は、問27 (p17)へお進みください。

**問26** この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。  
 △ ○は1つ。

1. あった \_\_\_\_\_ 2. なかった ⇒ 問27 (p17)へ

問26で「1. あった」と回答した方うかがいます。

**問26-1** 宛名のお子さんの病気やケガで、普段利用している教育・保育事業ができなかった場合、この1年間はどのような対応方法をとりましたか。  
 △ 当てはまる記号すべてに○をつけ、年間の日数を数字で記入してください。(数字は一位に一字)

1年間の対応方法	日数(年間)
ア、父親が休んだ	□□日
イ、母親が休んだ	□□日
ウ、(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	□□日
エ、父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□日
オ、病児・病後児保育(病院の小児デイケア)を利用した	□□日
カ、ベビーシッターを利用した	□□日
キ、ファミリー・サポート・センターを利用した (「病児・緊急対応強化事業」による利用も含む)	□□日
ク、仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□日
ケ、その他( )	□□日

注) 半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

問26-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方うかがいます。

**問26-2** その際、「できれば病児・病後児のための保育施設(病院の小児デイケア)等を利用したい」と思われましたか。なお、事業の利用(現在、海邦病院にて小児デイケアを実施)には一定の利用料がかり、利用前にはかかりつけ医などの受診が必要となります。(事業内容、事業料金は別紙参照)

△ ○は1つ。利用したい場合は、利用したい日数を口内に数字で記入してください。(数字は一位に一字)

1. できれば病児・病後児保育施設(病院の小児デイケア)等を利用したい ⇒ 年間 □□日 ⇒ 問26-3 (p16)へ

2. 利用したいとは思わない ⇒ 問26-4 (p16)へ

⇒ 問26-5 (p16)へ

問26-2で「1.できれば病児・病後児保育施設（病院の小児デイケア）等を利用したい」と回答した方がいます。

問26-3 病児・病後児のための保育施設（病院の小児デイケア）等を利用する場合は、どのような事業形態が望ましいと思いませんか。

☑ 当てはまる番号すべてに○

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミ・サポ・セン・わが等）
4. その他（ ）

問26-2で「2.利用したいと思わない」と回答した方がいます。

問26-4 そう思われる主な理由は何ですか。

☑ 当てはまる番号すべてに○

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他（ ）

問26-1で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方がいます。

問26-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んでみたい」と思われましたか。

☑ ○は1つ。

1. できれば仕事を休んでみたい ⇒  日

☑ 問26-1で回答した「ウ」から「ケ」の日数のうち、仕事を休んでみたかった日数について数字で記入ください。（数字は一律に一字）

2. 休んでみることは非常に難しい

問26-5で「2.休んでみることは非常に難しい」と回答した方がいます。

問26-6 そう思われる主な理由は何ですか。

☑ 当てはまる番号すべてに○

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないので休めない
4. その他（ ）



宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や夜間の預かり、宿泊を伴う一時預かり等の利用について

この章を回答するにあたり、お読みください

この章では、私用、保護者や家族の通院、就労などの目的で一時的に利用する事業（一時預かり等）についてうかがいます。  
なお、これらの事業の利用には一定の利用者負担が発生します。事業内容、事業料金の詳細については、別紙をご参照ください。

問27 宛名のお子さんについて、日中の定期的な教育・保育の利用やお子さんが病気の療以外に、日中や夜間に私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不定期に利用している（お子さんを預けている）事業はありますか。

☑ 利用の有無について「1」または「2」のいずれかに○。「1.利用している」場合は、利用している事業内容（記号）のすべてに○をつけ、その利用日数（年間）を数字で記入。（数字は一律に一字）

利用している	利用している事業内容	日数（年間）
1. 利用している	ア. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	<input type="text"/> 日
	イ. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時期を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	<input type="text"/> 日
	ウ. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	<input type="text"/> 日
	エ. ベビーシッター	<input type="text"/> 日
2. 利用していない	オ. その他 （ ）	<input type="text"/> 日

→ 問28 (p18) へ

問27で「2.利用していない」と回答した方がいます。

問27-1 現在利用していない理由は何ですか。

☑ 当てはまる番号すべてに○

1. 利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるかどうか
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない/わからない
9. その他（ ）

問28 宛名のお子さんについて、日中や夜間に私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、年間何日くらい不定期に利用できる事業が必要と思いませんか。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（事業内容、事業料金は別紙参照）

☑ 利用の有無について「1」または「2」のいずれかに○。「1.利用したい」場合は、当てはまる記号すべてに○をつけ、年間の利用希望日数（合計も記入）を数字で記入。（数字は一律に一字）

1. 利用したい	利用したい目的・理由	日数（年間）
2. 利用する必要はない	ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/> 日
	イ. 隔週通院、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	<input type="text"/> 日
	ウ. 不規則の就労	<input type="text"/> 日
	エ. その他 （ ）	<input type="text"/> 日
	合計	<input type="text"/> 日

→ 問29 (p19) へ

問28で「1.利用したい」と回答した方がいます。

問28-1 問28の目的でお子さんを預ける場合、どのような事業形態が望ましいと思いませんか。日中と夜間の時間帯について、それぞれにお答えください。

☑ 日中と夜間のそれぞれの不定期な保育事業について、当てはまる番号すべてに○

(1) 日中に不定期に利用したい保育事業

1. 大規模施設で一時的に子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で一時的に子どもを保育する事業（例：19人以下の小規模保育所等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センターや保育ママ等）
4. その他（ ）
5. 夜間に利用したいので日中の不定期な保育事業は必要ない

(2) 夜間に不定期に利用したい保育事業

1. 夜間保育（基準をみたした保育施設が行う夜間保育）
2. 夜間学童
3. ファミリー・サポート・センター
4. 夜間看護等事業（トワイライトステイ）
5. その他（ ）
6. 日中に利用したいので夜間の不定期な保育事業は必要ない

参考）夜間看護等事業（トワイライトステイ）とは…  
保護者の仕事等の理由により、平日の夜間や休日にこどもの養育が困難となった場合において、児童福祉施設等で夜間などにお子さんを預かる事業として「夜間看護等事業（トワイライトステイ）」があります。（宜野湾市では現在未実施。）

問29 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法とその年間日数を答えください。

☑ 「1」または「2」のいずれかに○。「1.あった」に○をつけた方は、当てはまるすべての記号に○をつけ、年間の日数を数字で記入。（数字は一律に一字）

1. あった	1年間の対処方法	日数（年間）
2. なかった	ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 日
	イ. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	<input type="text"/> 日
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> 日
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> 日
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 日
	カ. その他 （ ）	<input type="text"/> 日
	合計	<input type="text"/> 日

→ 問29-1 へ

→ 問30 へ

問29で「1.あった ア.同居者を含む親族・知人にみてもらった」と回答した方がいます。

問29-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。

☑ ○は1つ

1. 非常に困難 2. どちらかというと困難 3. 特に困難ではない

問30 保護者の疾病や出産、介護等により、こどもの養育が一時的に困難となった場合において、児童福祉施設等でお子さんを一定期間（原則7日以内）養育する事業として「短期入所生活援助事業（ショートステイ）」があります。（宜野湾市では現在未実施。）このような事業があれば、利用したいと思いませんか。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（事業内容、事業料金は別紙参照）

☑ ○は2つまで

1. 身内や友人等に預けるのが非常に困難なので、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したい。
2. 身内や友人等に預けるのがどちらかというと困難なので、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したい。
3. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）よりも利用料が高くなるとしても、ファミリー・サポート・センターを利用したい。
4. 現在はあまり必要性を感じないし、こどもの養育が困難となった場合も、身内や友人等の知り合いへ預けたい。
5. 分からない。
6. その他（ ）

**宛名のお子さんが5歳以上である方の  
小学校就学後の放課後の過ごし方について**

**この章を回答するにあたり、お読みください**  
 この章は、あて名のお子さんが5歳以上である方がお答えください。  
 ⇒お子さんが5歳未満の方は、問32 (P22)へお進みください。

問31 お子さんが小学生へ進学したら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。今後のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。  
 なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（事業内容、事業料金は別紙参照）  
 ① 小学校低学年と小学校高学年の両方について、当てはまる番号すべてに○をつけ、利用を希望する日数（週あたりの日数）を放課後で記入してください。（数字は一律に一字）

放課後の過ごし場所	(1) 小学校低学年（1～3年生） のうちの放課後の過ごし方	(2) 小学校高学年（4～6年生） のうちの放課後の過ごし方
1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父祖母や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育） ① 利用を希望する時間もお答えください。 → 下校時から <input type="checkbox"/> 時まで	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から <input type="checkbox"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. 障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
9. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい	週 <input type="checkbox"/> 日くらい

注1) 児童センターで行う放課後児童クラブを利用したい場合は「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に回答。  
 注2) 時間は、必ず（例）② ⑩時までのように24時間制でご記入ください。

参考)  
 「5. 放課後子ども教室」とは… 地域の力や協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学業・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。  
 「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」とは… 地域によって学童保育や学童クラブなどと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、遊びを中心とした子どもの生活の場を提供するものです。

問31 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した方にうかがいます。  
 ⇒それ以外の方は、次のページの問31へお進みください。

問31-1 放課後児童クラブ（学童保育）がどのような事業形態であれば利用したいと思いますか。  
 ① ○は2つ

1. 下校時から18時くらいまでの保育を行っている既存の放課後児童クラブ（学童保育）を利用したい
2. 下校時から夜間の時間帯まで（公立の放課後児童クラブ（学童保育）は現在18時まで）の保育が可能であれば利用したい（夜間学童）
3. 学校に隣接しているのであれば利用したい
4. 放課後児童クラブからの帰宅が心配なので、有料でも送迎つきであれば利用したい
5. 所得に応じて保育料を減免する措置があれば利用したい
6. その他（ ）

**育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について**

すべての方にうかがいます。

問32 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは両方が育児休業を取得しましたか。  
 ① 母親・父親の両方について、○は1つずつ。

育児休業の取得状況	(1) 母親	(2) 父親
働いていなかった	1	1
取得した（取得中である）	2	2
取得していない	3	3

問32で「3. 取得していない」と回答した方にうかがいます。

問32-1 育児休業を取得していない理由をお答えください。  
 ① 母親・父親の両方について、当てはまる番号すべてに○。

育児休業を取得していない理由	(1) 母親	(2) 父親
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
仕事が忙しかった	2	2
(産休後に) 仕事に早く復帰したかった	3	3
仕事に戻るのが難しそうだった	4	4
昇給・昇格などが遅れそうだった	5	5
収入減となり、経済的に苦しくなる	6	6
保育所（園）などに預けることができた	7	7
配偶者が育児休業制度を利用した	8	8
配偶者が無職、祖父祖母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9	9
子育てや家事に専念するため退職した	10	10
職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）	11	11
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12	12
育児休業を取得できることを知らなかった	13	13
産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	14	14
その他（ ）	15	15

⇒問33 (P26)へ

問32 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問32-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。  
 ① 母親・父親の両方について、○は1つずつ。

育児休業後の職場復帰の状況	(1) 母親	(2) 父親
育児休業取得後、職場に復帰した	1	1
現在も育児休業中である	2	2
育児休業中に離職した	3	3

問32-3から問32-4は、問32-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問32-3 育児休業から仕事に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。  
 ※年度初め（4月）の認可保育所入所を希望したが、早めに復帰して一時的に認可外の保育施設等に入所した場合なども「1」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。  
 ① 母親・父親の両方について、○は1つずつ。

職場復帰のタイミング	(1) 母親	(2) 父親
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1	1
それ以外だった	2	2

問32-4 育児休業について、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取得したが、希望としては、何歳何ヶ月のときまで取りたかったかをお答えください。また、勤務先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があったとしたら、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったか、お答えください。  
 ① 母親・父親の両方について、育児休業の取得期間（実態・希望）をお子さんの年齢（何歳何ヶ月）で記入。（数字は一律に一字）

育児休業の取得期間	(1) 母親	(2) 父親
① 実際の取得期間	<input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> ヶ月まで	<input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> ヶ月まで
② 取りたかった期間（希望）	<input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> ヶ月まで	<input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> ヶ月まで
③ 3歳までに取得できたとしたら、取りたかった期間	<input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> ヶ月まで	<input type="checkbox"/> 歳 <input type="checkbox"/> ヶ月まで





## (2) 就学児童（小学生）調査

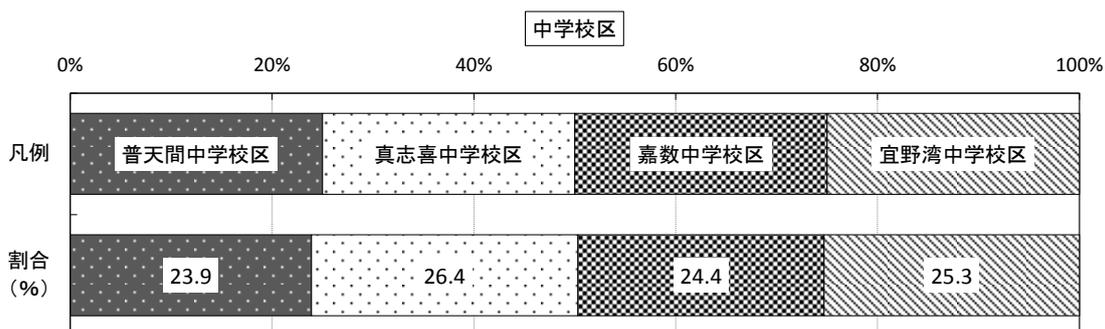
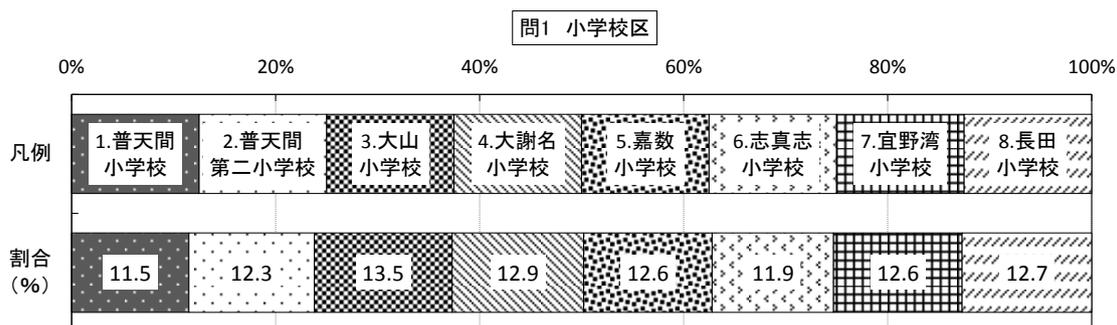
### 対象のお子さんご家族の状況について

#### 問1 対象のお子さんが通学している小学校をお答えください。

 ○は1つ。

1. 普天間小学校    2. 普天間第二小学校    3. 大山小学校    4. 大謝名小学校  
5. 嘉数小学校    6. 志真志小学校    7. 宜野湾小学校    8. 長田小学校

小学校別の回収割合をみると、いずれの小学校も1割程度と均整のとれたサンプリングとなっている。

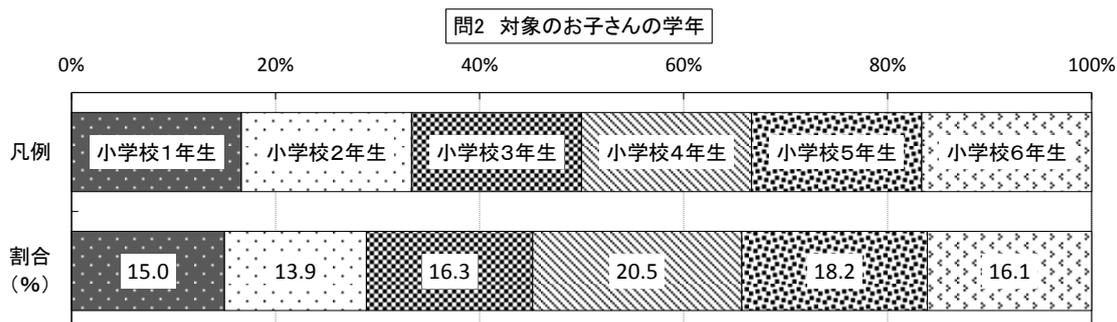


#### 問2 対象のお子さんの学年をご記入ください。

 学年を数字でご記入ください。

小学校  年生

学年別の回収割合をみると、いずれの学年も1割～2割程度の範囲となっており、「小学校4年生」(20.5%)及び「小学校5年生」(18.2%)で2割前後と若干多くなっている。一方、「小学校2年生」は1割強(13.9%)と他の学年よりも若干低くなっている。



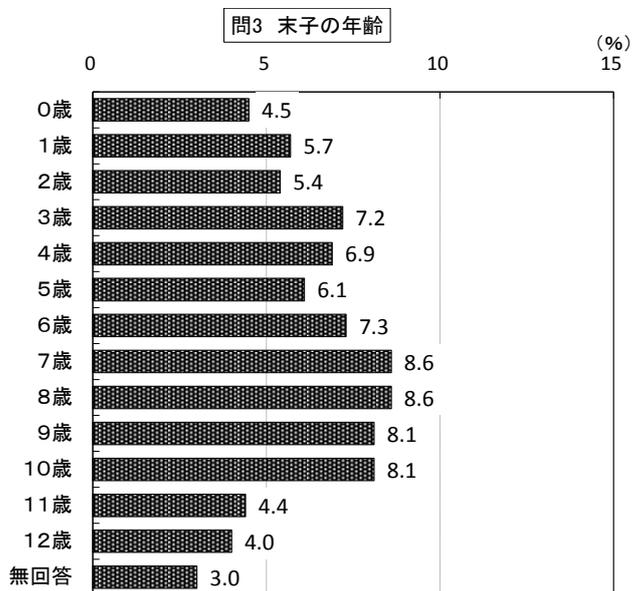
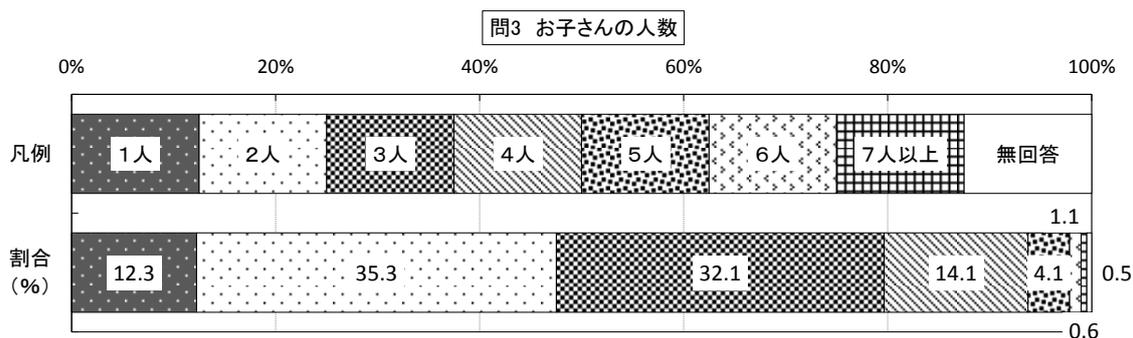
**問3** 対象のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成25年4月2日現在の年齢）をご記入ください。

 お子さんの人数、末子の年齢を数字でご記入ください。

人 末子の年齢  歳

調査対象児童を含めたお子さんの人数をみると、「2人」が4割弱（35.3%）、「3人」が3割強（32.1%）と多く、「4人」（14.1%）及び「1人」（12.3%）が1割強と続いている。

2名以上のお子さんがある場合の末子の年齢をみると、いずれの年齢も1割未満となっているが、件数別にみると『7～10歳』が100件以上となっていることから、対象児童（小学生）と年齢が近い小学校1年～5年生の末子が多いことがうかがえる。



**問3 末子の年齢 (単数回答)**

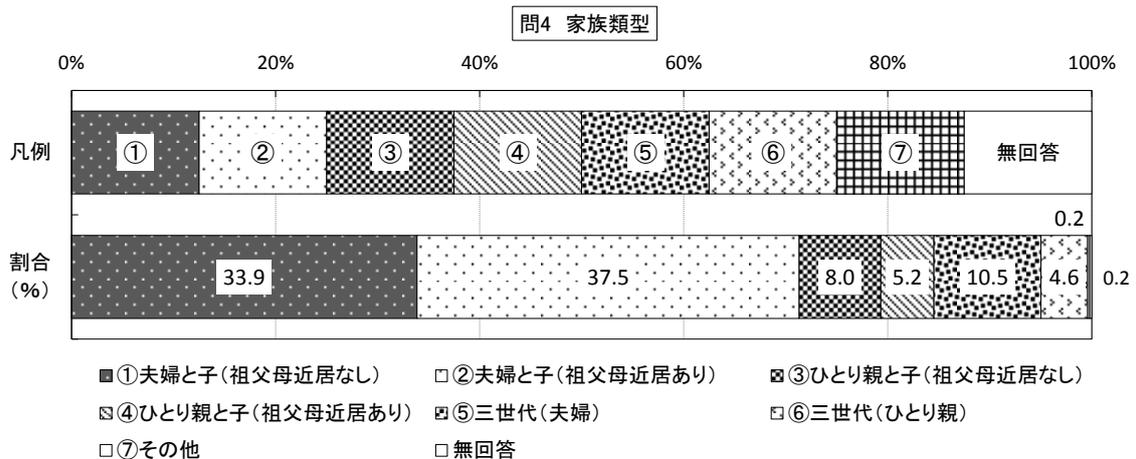
	件数	割合 (%)
0歳	56	4.5
1歳	71	5.7
2歳	67	5.4
3歳	90	7.2
4歳	86	6.9
5歳	76	6.1
6歳	91	7.3
7歳	107	8.6
8歳	107	8.6
9歳	101	8.1
10歳	101	8.1
11歳	55	4.4
12歳	50	4.0
無回答	37	3.0
合計	1,095	100.0

**問4 対象のお子さんとの同居・近居（概ね 30 分以内程度で行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はお子さんから見た関係です。**

あてはまる番号のすべてに○

1. 父同居      2. 母同居      3. 祖父同居      4. 祖母同居  
5. 祖父近居      6. 祖母近居      7. その他（      ）

家族類型をみると、『夫婦と子』が7割強(71.4%)と最も多く、「夫婦と子（祖父母近居あり）」が4割弱（37.5%）、「夫婦と子（祖父母近居なし）」が3割強（33.9%）となっている。次いで、「三世代（夫婦）」が約1割（10.5%）と続いている。また、『ひとり親』（「ひとり親と子」（祖父母近居なし）」+「ひとり親と子」（祖父母近居あり）+三世代（ひとり親））家庭をみると、2割弱（17.8%）となっている。



【その他の内容】

・おば    ・おじ    ・いとこ    ・曾祖母    ・親戚    ・曾祖父    ・曾祖母

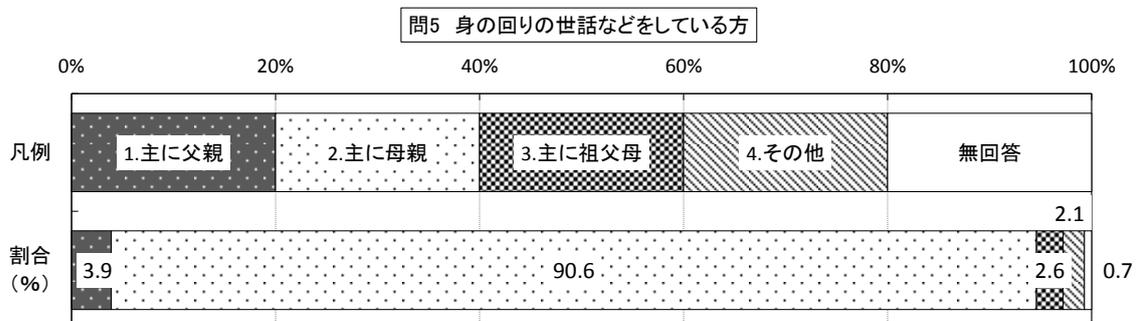
等

**問5 対象のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方はどなたですか。続柄は対象のお子さんから見た関係です。**

○は1つ。

1. 主に父親      2. 主に母親      3. 主に祖父母      4. その他（      ）

お子さんの世話を行っている方をみると、「2. 主に母親」が約9割（90.6%）と圧倒的に多く、「1. 主に父親」が3.9%、「3. 主に祖父母」が2.6%とわずかな割合となっている。



【その他の内容】

・父母ともに    ・おば    ・食事の支度以外はなるべく本人

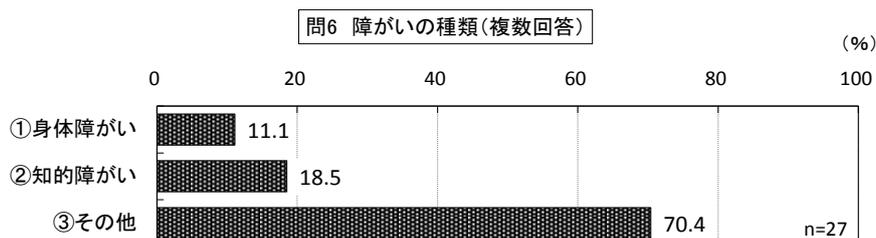
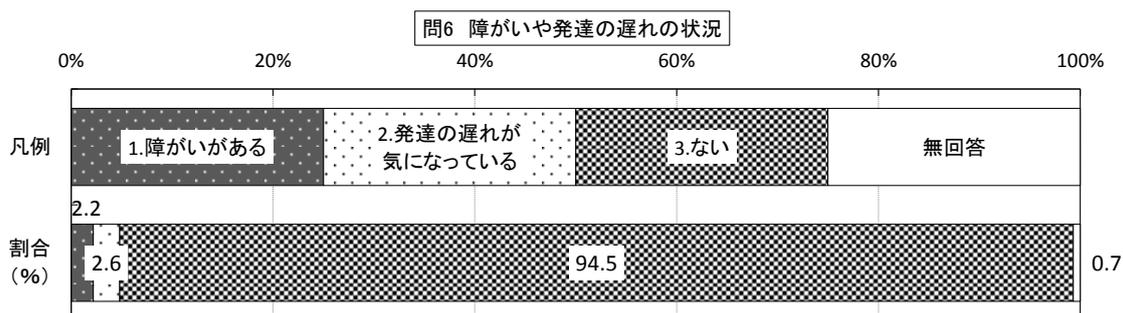
**問6** 対象のお子さんは、何らかの障がいや発達の違いが気になっている状況がありますか。

○は1つ。障がいがある場合は、障がいの種類をお答えください。

1. 障がいがある  
→障がいの種類についておうかがいします【①身体障がい ②知的障がい ③その他（\_\_\_\_\_）】
2. 発達の遅れが気になっている
3. ない

お子さんの障がいや発達の違いの状況を見ると、「1. 障がいがある」が2.2%、「2. 発達の遅れが気になっている」が2.6%みられ、「3. ない」は9割強（94.5%）となっている。

「1. 障がいがある」場合の障がいの種類をみると、「③その他」が19件、「②知的障がい」が5件、「①身体障がい」が3件となっている。



問6 障がいの種類(すべて) n=27 (複数回答)

	件数	割合 (%)
①身体障がい	3	11.1
②知的障がい	5	18.5
③その他	19	70.4

【その他の内容】

・発達障がい    ・ADHD    ・右耳難聴    ・左耳難聴    ・学習障害    ・精神障がい    ・場面かんもく症  
・広汎性発達障害

等

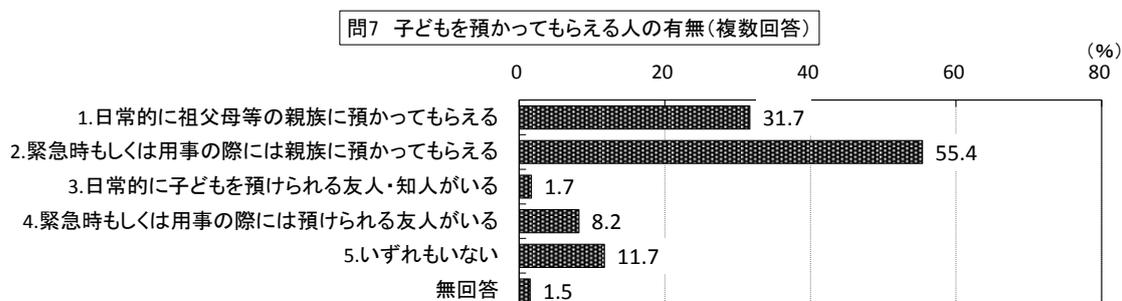
## 子どもの育ちをめぐる環境について

### 問7 保護者以外にお子さんを預かってもらえる人はいますか。

当てはまる番号すべてに○

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない

保護者以外にお子さんを預かってもらえる状況を見ると、「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が6割弱（55.4%）と最も多く、次いで「1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が3割強（31.7%）と親族に預かってもらえる状況が多いことが分かる。続いて、「5. いずれもない」が1割強（11.7%）、「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」（8.2%）及び「3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる」（1.7%）が1割未満となっている。



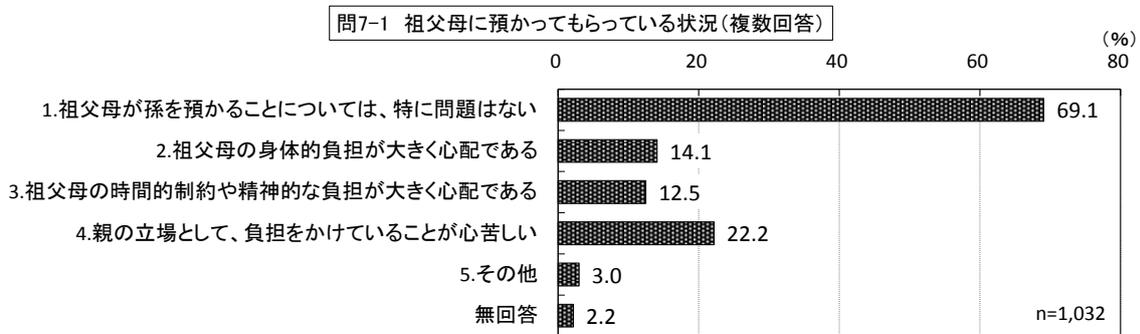
問7-1は、問7で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。

**問7-1 祖父母に預かってもらっている状況についてお伺いします。**

当てはまる番号すべてに○

1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない
2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他 ( )

問7で『親族に預かってもらえる』と回答した方のその状況についてみると、「1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない」が約7割（69.1%）と最も多くなっている。その一方、「4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が2割強（22.2%）、「2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である」（14.1%）及び「3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」（12.5%）がともに1割強と、親族に預かってもらうことへの心配や心苦しき等があるとの回答が続いている。



【その他の内容】

- おばさんをお願いする
- 親の役割を果たすのが重要
- どちらともいえない
- 一緒に住んでいるので預かってはもらえるが、預かってもらうと色々と疲れる
- 上の子(小学生)たちはいいが、下の子は小さく預けにくい(身体的負担から)
- おば家族が日常的、緊急時に預かってくれるのでとても助かっています
- 距離的に容易ではないため、よほどのことがない限り預けたことはない
- 高齢になっているため、頼まない様に心がけている
- 常時、他の孫を預かっているので預かってもらえないことがある
- 食事をごちそうになってもらうことが続くとなかなか金銭的にも心苦しい
- 所要時間を伝え、その時間のみ緊急時をお願いする
- 祖父母は預かることを嫌がるので預けると文句を言われる
- 祖父母は共働き近居だが、あまり頼らないようにしている
- 祖父母も仕事をしているので、緊急時でも常に預かってもらえるわけではない
- 祖父母も働いているので預かりはできるが難しいときもある。前もっては大丈夫だが急用は無理
- 祖母他界、祖父施設入居の為、姉に預けているが今のところ問題はない
- 祖母の家が不衛生で尚且つ節約家なのが気掛かり
- 祖母も介護が必要になってきているので預けたことはないです
- 祖母は仕事をしているため(経営)、どうしても、というときは預けるが殆ど難しいです
- 知的障害をもっているおばに預けるため少し不安がある
- 他の兄弟の子どももいるので、うちだけ頻繁に預けることはできない
- 独身の叔母に預かってもらえ、特に問題はない

等

問7-2は、問7で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。

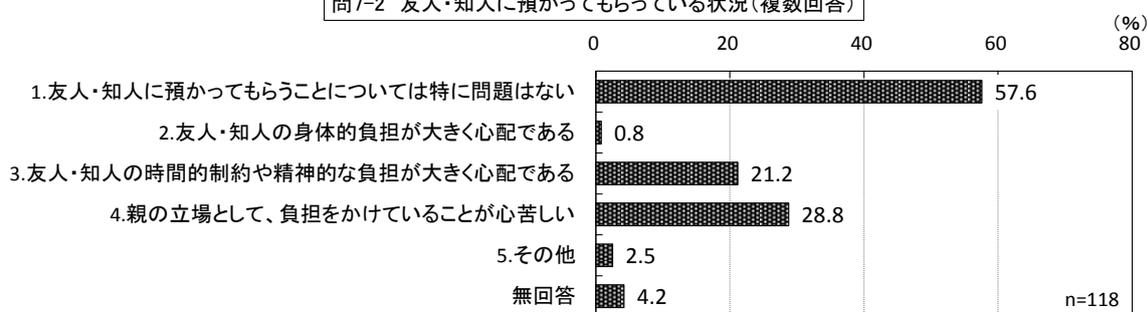
**問7-2 友人や知人に預かってもらっている状況についてお伺いします。**

当てはまる番号すべてに○

1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他 ( )

問7で『子どもを預けられる友人・知人がいる』と回答した方のその状況についてみると、「1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」が6割弱（57.6%）と最も多くなっている。その一方、「4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が3割弱（28.8%）、「3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が2割強（21.2%）と、友人・知人等に預かってもらうことへの心配や心苦しき等があるとの回答が続いている。

問7-2 友人・知人に預かってもらっている状況(複数回答)



【その他の内容】

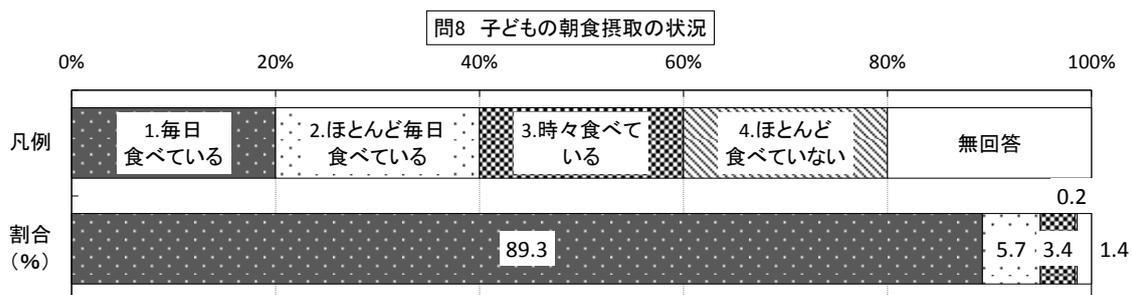
- ・実際に預けた事はまだない
- ・預けたことがない。学童保育で間に合っている
- ・子どもが嫌がる

### 問8 対象のお子さんは毎日朝食を食べていますか。

○は1つ

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 毎日食べている | 2. ほとんど毎日食べている |
| 3. 時々食べている | 4. ほとんど食べていない  |

お子さんの朝食摂取状況をみると、「1. 毎日食べている」が約9割（89.3%）と大多数を占めている。「2. ほとんど毎日食べている」は5.7%、「3. 時々食べている」は3.4%、「4. ほとんど食べていない」は0.2%みられる。



#### 目標指標の点検

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
朝食を毎日食べる子の割合	89.3%	89.3%	98.0%	本調査の問8の選択肢1

朝食を毎日食べる子の割合は、本調査と平成21年度調査で同様の割合（89.3%）となっており、変化がみられない。

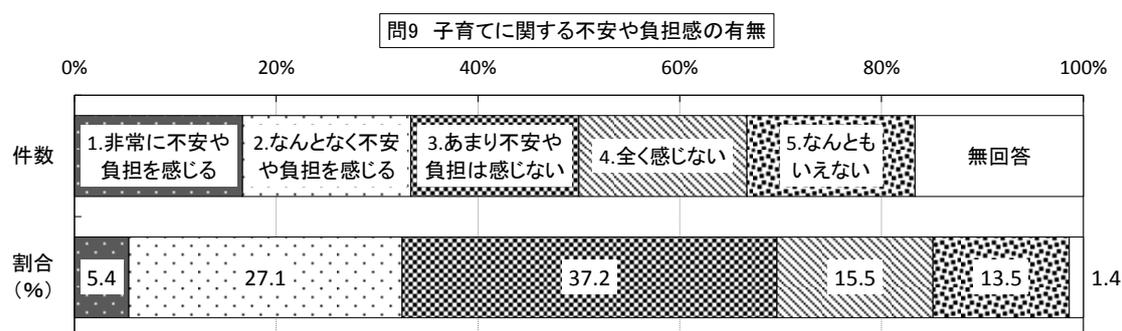
### 問9 あなたは子育てに関して不安や負担感などを感じていますか。

○は1つ

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 非常に不安や負担を感じる  | 2. なんとなく不安や負担を感じる |
| 3. あまり不安や負担は感じない | 4. 全く感じない         |
| 5. なんともいえない      |                   |

子育てに関する不安や負担感をみると、「3. あまり不安や負担は感じない」が4割弱(37.2%)と最も多く、次いで「2. なんとなく不安や負担を感じる」が3割弱(27.1%)、「4. 全く感じない」が2割弱(15.5%)と続いている。

『不安や負担は感じない』(「3. あまり不安や負担は感じない」+「4. 全く感じない」)は5割強(52.7%)と約半数を占めている反面、『不安や負担を感じる』(「1. 非常に不安や負担を感じる」+「2. なんとなく不安や負担を感じる」)は3割強(32.5%)みられる。



#### 目標指標の点検

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
子育てに関して不安感や負担感を持つ保護者の割合	38.2%	32.5%	減少をめざす	本調査の問9の選択肢1+2

子育てに関して不安感や負担感を持つ保護者の割合は、平成21年度調査より本調査が5.7ポイント下回り、若干の減少がみられることから、目標を達成している。

日頃子どもをみてくれる親族・知人の有無別にみると、『不安や負担を感じる』（「1. 非常に不安や負担を感じる」+「2. なんとなく不安や負担を感じる」）は、日頃子どもをみてくれる親族・知人が「5. いずれもない」で約4割（39.7%）と最も高くなっている。これにより、子どもをみてくれる親族・知人がいない方については、子育てに関する不安や負担感が強い傾向がうかがえる。

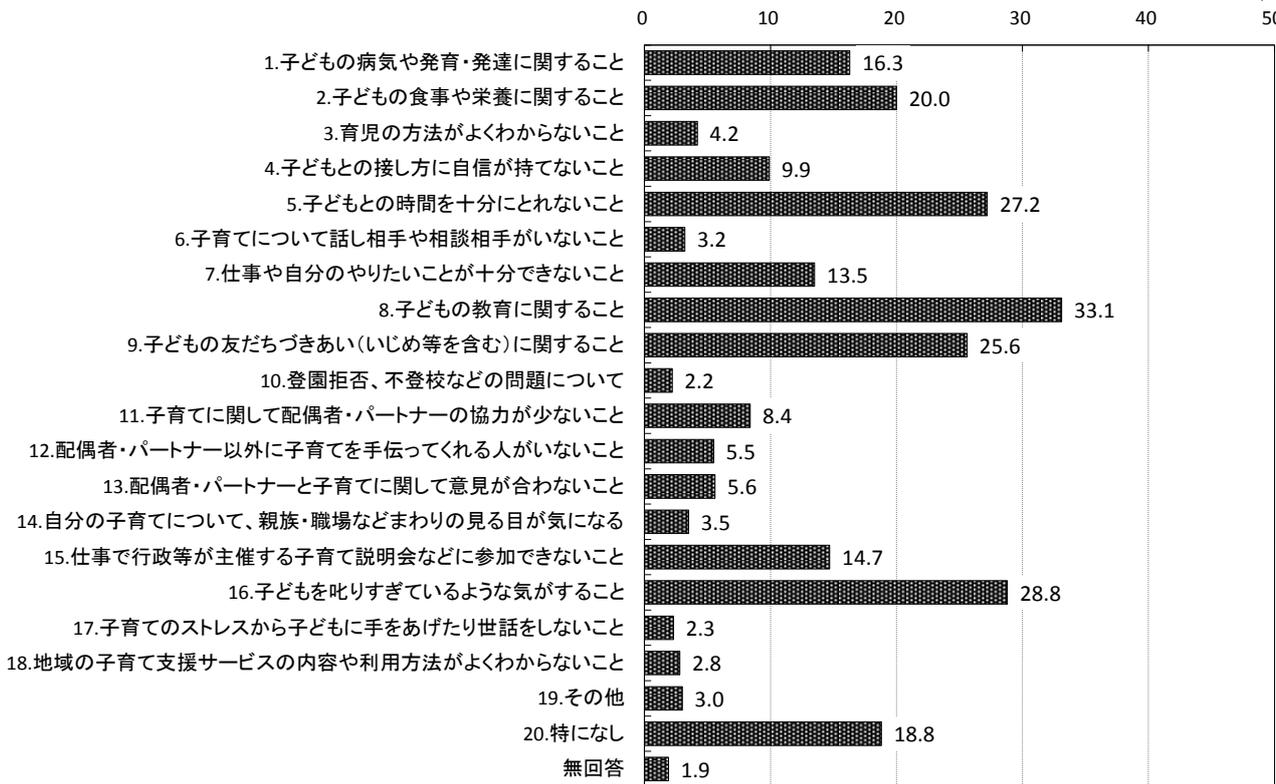
問9 子育てに関する不安や負担感の有無 × 問7 子どもを預かってもらえる人の有無 (単数回答)

上段:件数、下段:横%	合計	①	②	③	④	⑤	無回答
		を 感 じ る	負 担 を 感 じ る	は 感 じ な い	全 く 感 じ な い	な ん と も い え な い	
全 体	1,248	67	338	464	194	168	17
	100.0	5.4	27.1	37.2	15.5	13.5	1.4
1.日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	395	15	97	146	79	55	3
	100.0	3.8	24.6	37.0	20.0	13.9	0.8
2.緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	691	34	191	286	87	89	4
	100.0	4.9	27.6	41.4	12.6	12.9	0.6
3.日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	21	2	3	9	4	3	0
	100.0	9.5	14.3	42.9	19.0	14.3	0.0
4.緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	102	8	22	46	14	12	0
	100.0	7.8	21.6	45.1	13.7	11.8	0.0
5.いずれもない	146	14	44	33	27	26	2
	100.0	9.6	30.1	22.6	18.5	17.8	1.4
無回答	19	0	3	3	3	2	8
	100.0	0.0	15.8	15.8	15.8	10.5	42.1



問10 子育てに関して日頃悩んでいることや気になること(複数回答)

(%)



【その他の内容】

- ・ 経済的に余裕がない事
- ・ 子の養育費に関すること
- ・ 金銭的に習い事をさせてあげられないこと
- ・ 子どもの言葉遣いの悪さ
- ・ 地域に(小学校区内)児童館がない
- ・ 仕事と家庭の両立、子どもの勉強を十分に見てあげられない、残業などで遅くなった際は家事が負担で子どもとゆっくり接することができず、子どもが言うことを聞かなければ、イライラする
- ・ 仕事と家庭の両立でゆっくりと話を聞いてあげる時間が少ないこと
- ・ 子どもに対しても仕事にしてもやっていきたい事はいっぱいあるが、私の時間の使い方が下手で間に合わない(追いつかない)
- ・ 母子家庭なので金銭面等、小中学校まではいいが、高校からの金銭面、部活など
- ・ おこづかいなど、どれくらいどんな形で与えたら良いか、思春期の叱り方、対応など
- ・ 過去の事で今は無いのですが、正しい子育ての意味で時には手をあげる事も必要だと私達世代くらいまでの方は思うと思います。叱る事の出来ない大人や先生が多いと思います。甘えて育つのは全てではないですが、子育てと子守りは違うと痛感しています
- ・ 現在病気などで十分仕事ができないため、子どもにかかるお金が不十分である
- ・ 子どもが甘えてくると姿勢がよくないこと
- ・ 自分の持物に関して執着心がなく物を簡単になくしてしまう
- ・ パートナーが異国人のため引っ越しが多い子どもの負担が心配
- ・ 漠然と子どもの将来は気になる・離婚しているため配偶者が居らず、父親という存在がないことが心配
- ・ 5人も子どもがいるので手が回らない
- ・ 金銭面保育園代、学童代の負担が大きい
- ・ 学校行事が平日に多いため参加が難しい
- ・ 学歴が低いので宿題を見てあげられないこと
- ・ 子どもだけで遊べる公園や広場がないこと

等

目標指標の点検

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
子育てに関して、虐待が懸念される深刻な悩みを抱えている保護者の割合	3.7%	2.3%	減少をめざす	本調査の問10の選択肢17

子育てに関して、虐待が懸念される深刻な悩みを抱えている保護者の割合は、平成21年度調査より本調査が1.4ポイント減少しており、目標を達成していると言えるものの、ほぼ同様の割合となっている。

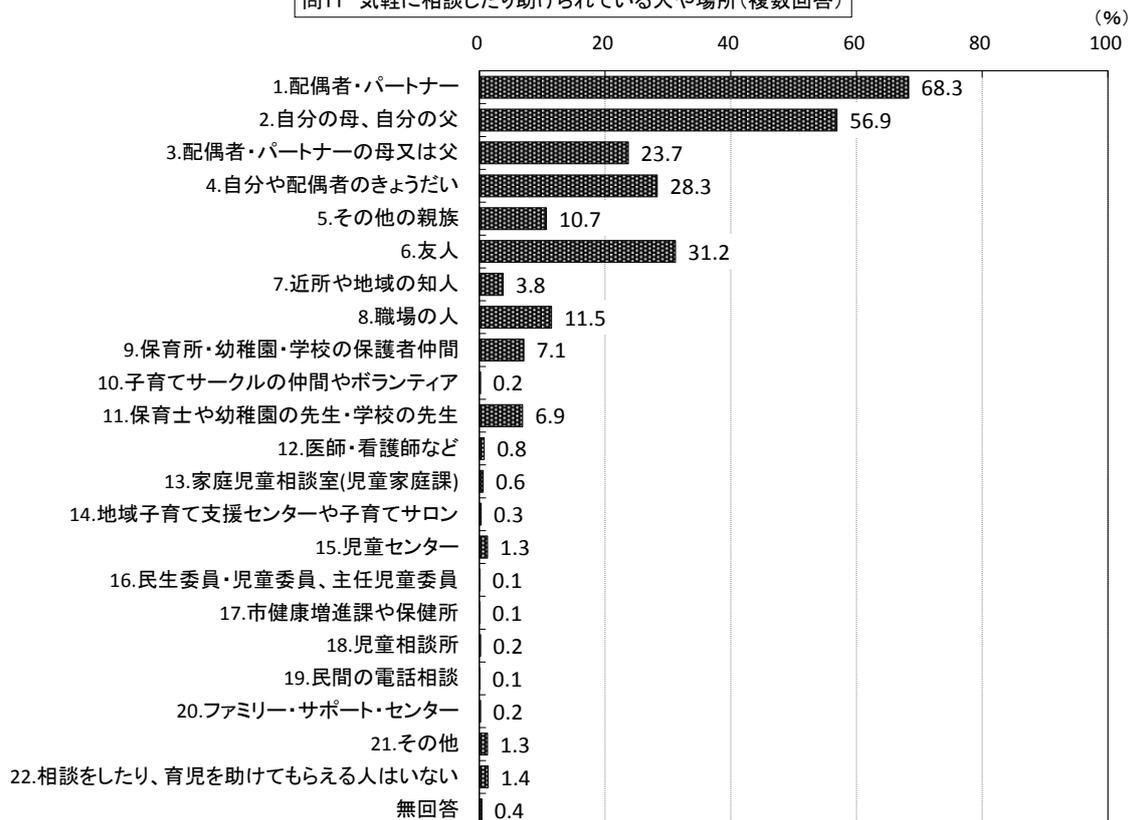
**問11** 日常生活において育児などのことで気軽に相談できる人や育児を助けられていると感じている人はどなたですか。

 ○は3つ

- |                            |                        |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 配偶者・パートナー               | 2. 自分の母、自分の父           |
| 3. 配偶者・パートナーの母又は父          | 4. 自分や配偶者のきょうだい        |
| 5. その他の親族                  | 6. 友人                  |
| 7. 近所や地域の知人                | 8. 職場の人                |
| 9. 保育所・幼稚園・学校の保護者仲間        | 10. 子育てサークルの仲間やボランティア  |
| 11. 保育士や幼稚園の先生・学校の先生       | 12. 医師・看護師など           |
| 13. 家庭児童相談室(児童家庭課)         | 14. 地域子育て支援センターや子育てサロン |
| 15. 児童センター                 | 16. 民生委員・児童委員、主任児童委員   |
| 17. 市健康増進課や保健所             | 18. 児童相談所              |
| 19. 民間の電話相談                | 20. ファミリー・サポート・センター    |
| 21. その他(具体的に：              | )                      |
| 22. 相談をしたり、育児を助けてもらえる人はいない |                        |

育児などのことで相談したり助けられている人や場所をみると、「1. 配偶者・パートナー」が7割弱(68.3%)と最も多く、次いで「2. 自分の母、自分の父」が6割弱(56.9%)、「6. 友人」が3割強(31.2%)、「4. 自分や配偶者のきょうだい」が3割弱(28.3%)と続いている。

問11 気軽に相談したり助けられている人や場所(複数回答)



【その他の内容】

- |                |               |                   |
|----------------|---------------|-------------------|
| • 学童の先生        | • 習い事の先生      | • 宜野湾市青少年サポートセンター |
| • スクールカウンセラー   | • 児童デイサービスの先生 | • 部活のコーチ          |
| • 民間の不登校支援センター | • インターネット     |                   |

等

目標指標の点検

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
子育てについて気軽に相談をしたり、育児を助けてもらえる人がいない人の割合	0.8%	1.4%	減少をめざす	本調査の間11の選択肢22

子育てについて気軽に相談をしたり、育児を助けてもらえる人がいない人の割合をみると、平成21年度調査より本調査が0.6ポイント高く、減少を目標としているが微増の結果となっている。

日頃子どもをみてくれる親族・知人の有無別にみると、「22. 相談をしたり、育児を助けてもらえる人はいない」は、「5. いずれもない」で5.5%、「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」で2.0%みられる。

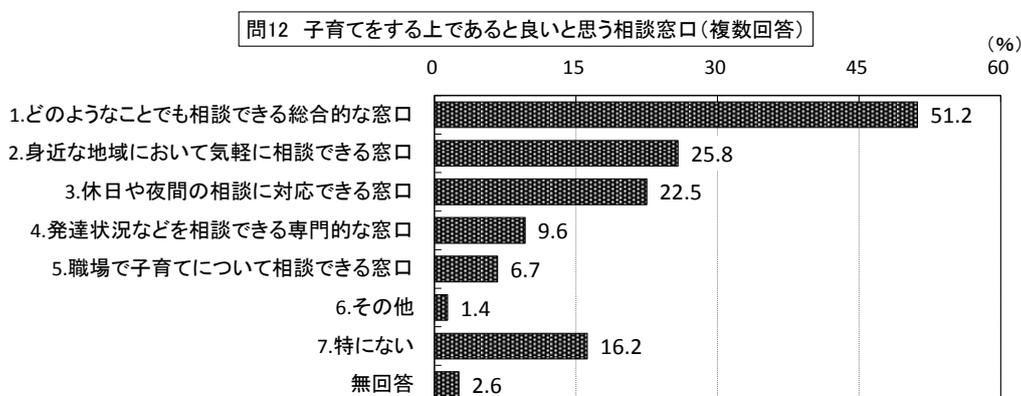
問11 気軽に相談したり助けられている人や場所 × 問7 子どもを預かってもらえる人の有無	(複数回答)																						
	① 配偶者・パートナー	② 自分の母、自分の父	③ 配偶者・パートナーの母又は父	④ 自分や配偶者のきょうだい	⑤ その他の親族	⑥ 友人	⑦ 近所や地域の知人	⑧ 職場の人	⑨ 保育所・幼稚園・学校の保護者仲間	⑩ 子育てサークルの仲間やボランティア	⑪ 保育士や幼稚園の先生・学校の先生	⑫ 医師・看護師など	⑬ 家庭児童相談室(児童家庭課)	⑭ 地域子育て支援センターや子育てサロン	⑮ 児童センター	⑯ 民生委員・児童委員、主任児童委員	⑰ 市健康増進課や保健所	⑱ 児童相談所	⑲ 民間の電話相談	⑳ ファミリー・サポート・センター	㉑ その他	㉒ 相談をしない人はいない	無回答
全体(N=1,248)	852	710	296	353	134	389	47	143	88	3	86	10	7	4	16	1	1	2	1	3	16	18	5
1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる (n=395)	247	272	119	129	46	116	8	40	23	1	16	1	1	2	5	0	0	0	0	0	5	1	1
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる (n=691)	502	429	183	199	75	208	23	74	44	1	57	5	2	0	6	1	1	0	1	1	12	6	1
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる (n=21)	9	11	0	2	6	17	3	3	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる (n=102)	66	40	13	25	11	54	16	14	10	0	4	0	3	1	2	0	0	0	0	1	2	2	0
5. いずれもない(n=146)	96	28	8	35	14	45	5	16	20	1	16	4	1	1	5	0	0	2	0	1	2	8	0
無回答(n=19)	10	7	4	0	3	9	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3

## 問12 子育てをする上で、どのような相談窓口があるとよいと思いますか。

☑️ 〇は2つまで

1. どのようなことでも相談できる総合的な窓口
2. 身近な地域において気軽に相談できる窓口
3. 休日や夜間の相談に対応できる窓口
4. 発達状況などを相談できる専門的な窓口
5. 職場で子育てについて相談できる窓口（子育てアドバイザーや子育て経験のある職員による相談窓口の開設等）
6. その他（具体的に ）
7. 特にない

子育てをする上であると良いと思う相談窓口をみると、「1. どのようなことでも相談できる総合的な窓口」が5割強（51.2%）と最も多く、次いで「2. 身近な地域において気軽に相談できる窓口」が3割弱（25.8%）、「3. 休日や夜間の相談に対応できる窓口」が2割強（22.5%）、「4. 発達状況などを相談できる専門的な窓口」が約1割（9.6%）となっている。



### 【その他の内容】

- 経済的負担の少ないカウンセラー
- 子どもの相談窓口、敷居が高くない場所
- プライバシーが安全に守られる窓口
- 直接顔を合わさなくても良い状態（電話、メールなど）で匿名でも受け付けてくれる相談窓口があればいいと思う。話を聞いてくれるだけで子育ての負担は軽くなると思うから。具体的なアドバイスはなくていいから、ただ聞いてくれるようなサービスがあれば利用したい
- 小学校で相談できる窓口があればよいと思う。担任の先生以外に生徒の様子を観察する担当みたいな職員等を配置するなど
- 病気の相談や病院についてなど
- 悩みを書いた手紙を出した後、その手紙と回答された手紙を返してくれるサービス
- 相談窓口より同じ学校の保護者同士の座談会で悩みを共有し、気持ちを軽くする場の方がよい。その進行役を専門的知識を持った方がコーディネートしていく形。発展性はあると思う
- 子どもを育てたことも人生の問題にぶつかったこともない人達相手に相談をして何度涙したか。もう誰にも話すことはない
- 窓口があっても「こんなことを聞いていいのかわからない」など考えて行けない
- 窓口よりもペーパーで（学校から）資料やアンケートなどを頂けると嬉しい
- 子どもの通う学校に気軽に相談できる窓口やサークル
- メール対応の相談窓口
- 相談等をして逆にも傷つく場合もあった

等

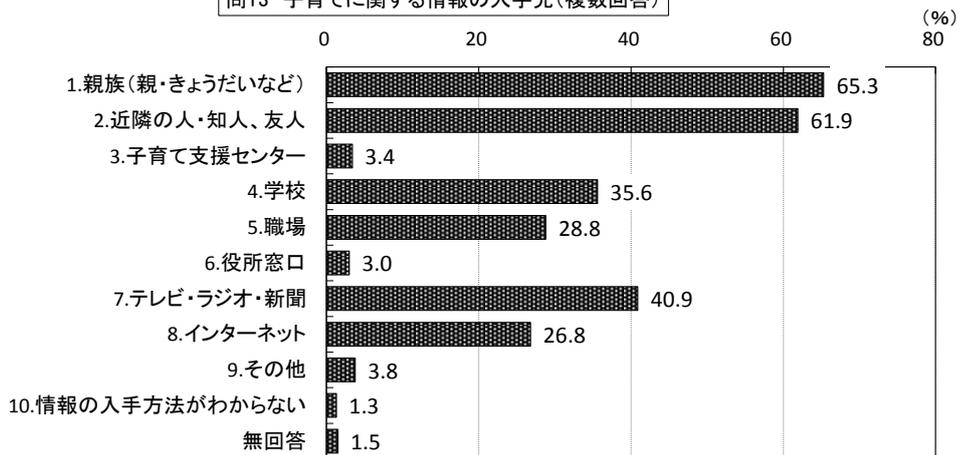
**問13 子育てに関する情報はどちらから入手していますか。**

あてはまる番号のすべてに○

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1. 親族（親・きょうだいなど）  | 2. 近隣の人・知人、友人 |
| 3. 子育て支援センター      | 4. 学校         |
| 5. 職場             | 6. 役所窓口       |
| 7. テレビ・ラジオ・新聞     | 8. インターネット    |
| 9. その他（具体的に       | )             |
| 10. 情報の入手方法がわからない |               |

子育てに関する情報の入手先をみると、「1. 親族（親・きょうだいなど）」（65.3%）及び「2. 近隣の人・知人、友人」（61.9%）が6～7割程度と最も多く、《問11 育児などのことで相談したり助けられている人や場所》同様に親族や友人が上位となっていることから、情報収集も相談者を通じて行われることが多いものと思われる。続いて、「7. テレビ・ラジオ・新聞」（40.9%）及び「4. 学校」（35.6%）が4割程度、「5. 職場」（28.8%）及び「8. インターネット」（26.8%）が3割程度と多くなっている。これらより、子どもや保護者の日常の生活の場となっている学校や職場、マスコミやインターネットを通じた情報収集が多いことがうかがえる。一方、「3. 子育て支援センター」（3.4%）や「6. 役所窓口」（3.0%）はわずかな割合となっている。

問13 子育てに関する情報の入手先（複数回答）



【その他の内容】

- 本や雑誌（育児書や専門書）
- 市報だより
- 子どもが通っている塾や習い事の先生
- 部活の父母、コーチ
- 学童
- NPO 法人の子育て講演会
- 図書館等公共施設に置かれたチラシなど、子育てブログ
- あらゆる方向にアンテナを張っているが、結局どれが正しいのかわからない
- 仕事で忙しく情報収集すらできない。まず何でも気軽に相談できる場所が知りたい

等

## 対象のお子さんの保護者の就労状況について

問14 宛名のお子さんの保護者（父母）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

 母親・父親の両方について、○を1つずつ。

現在の就労状況	(1)母親	(2)父親
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
これまで就労したことがない	6	6

### (1) 母親の現在の就労状況

『フルタイムで就労している』（「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」＋「2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」）が約4割（40.5%）と最も多く、次いで『パートタイム、アルバイト等で就労している』（「3. パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」＋「4. パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」）が3割強（34.2%）、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」が2割強（22.2%）となっている。

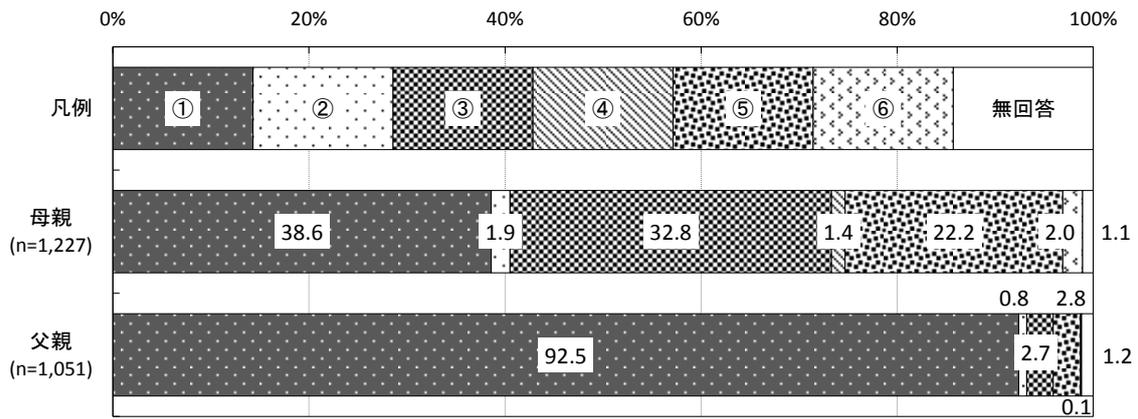
### (2) 父親の現在の就労状況

『フルタイムで就労している』が9割強（93.3%）と圧倒的に多く、『パートタイム、アルバイト等で就労している』（2.7%）及び「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」（2.8%）はわずかな割合となっている。

### 【母親と父親の現在の就労状況の差】

父親は母親より『フルタイムで就労している』が52.8ポイント（女性40.5%、男性93.3%）高く、母親は父親より『パートタイム、アルバイト等で就労している』が31.5ポイント（女性34.2%、男性2.7%）、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」が19.4ポイント（女性22.2%、男性2.8%）上回っている。

問14 保護者の現在の就労状況



- ①フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ②フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▣ ③パートタイム、アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▤ ④パートタイム、アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▥ ⑤以前は就労していたが、現在は就労していない
- ⑥これまで就労したことがない
- 無回答

問14で「1～4.」（就労している）と回答した方にうかがいます。

**問14-1 就労日数や就労時間、また、家を出る時間、家に帰る時間をお答えください。**

 母親・父親の両方について、□内に数字で記入。（数字は一桁に一字）

就労日数・時間等	(1)母親	(2)父親
就労日数	1週当たり□□日	1週当たり□□日
就労時間 (残業時間を含む)	1日あたり□□時間	1日あたり□□時間
家を出る時間	□□時□□分	□□時□□分
家に帰る時間	□□時□□分	□□時□□分

注) 時間は、(例) □□:□□ 時間のように 24 時間制でご記入ください。  
 注) 一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。  
 注) 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

**(1) 母親の就労日数及び就労時間**

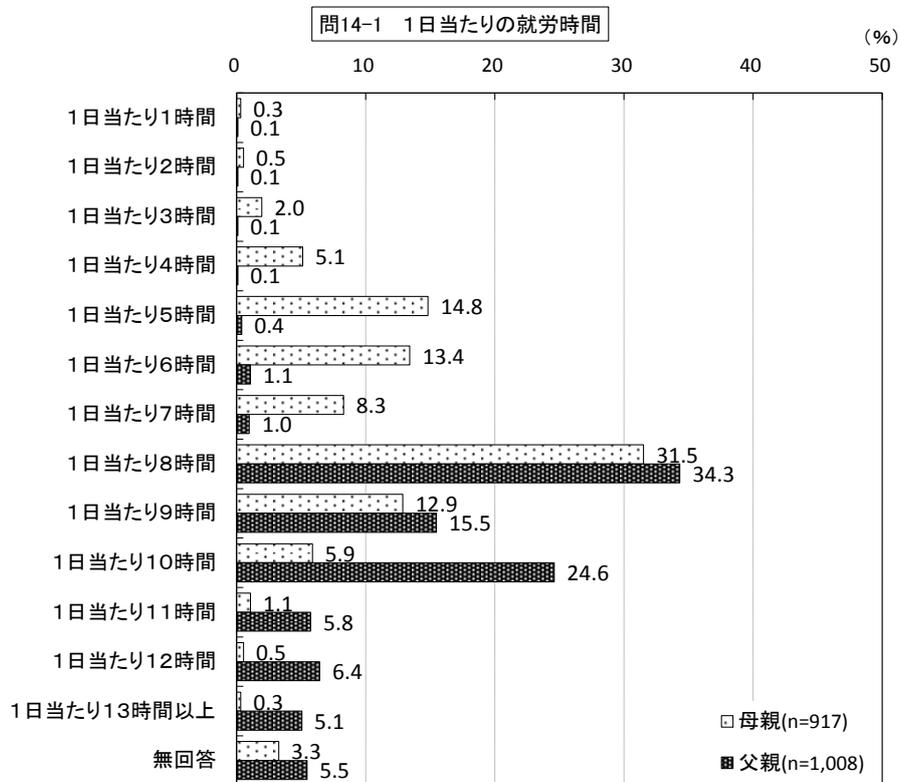
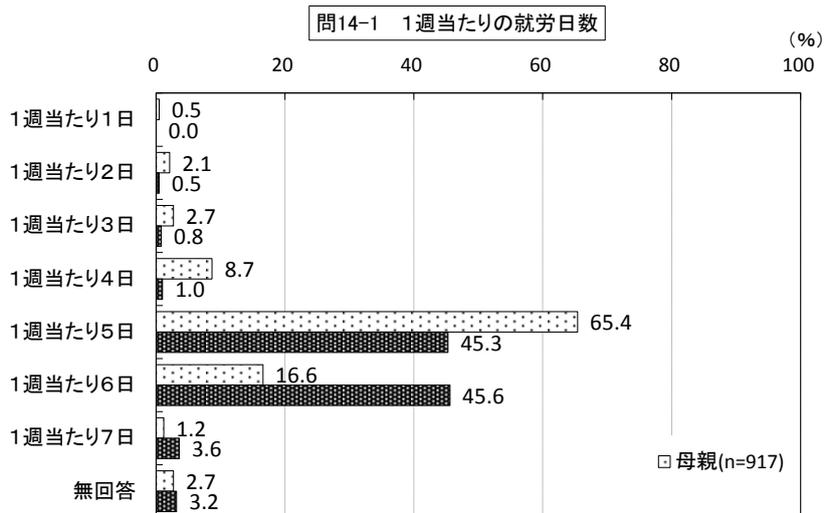
就労日数は「1週当たり5日」が7割弱(65.4%)、「1週当たり6日」が2割弱(16.6%)と週5～6日の就労が多くなっている。就労時間は「1日当たり8時間」が3割強(31.5%)、「1日当たり5時間」(14.8%)、「1日当たり6時間」(13.4%)及び「1日当たり9時間」(12.9%)が1割強と多くなっている。

**(2) 父親の就労日数及び就労時間**

就労日数は「1週当たり6日」(45.6%)及び「1週当たり5日」(45.3%)がともに5割弱と多くなっている。就労時間は「1日当たり8時間」(34.3%)、「1日当たり10時間」(24.6%)及び「1日当たり9時間」(15.5%)が2～3割程度と多く、1日8～10時間の就労が多いことが分かる。

**【母親と父親の就労日数及び就労時間の差】**

就労日数は母親・父親ともに週5～6日が多くなっているが、父親の方が週6日の割合が高い。また、週4日以下の割合も母親の方が高い。就労時間についてみると、母親は父親に比べてパートタイム、アルバイトも多いことから、フルタイムと思われる1日当たり8～9時間に次いで、パートタイム、アルバイトと思われる5～6時間が多くなっている。父親はフルタイムが圧倒的に多かったことから8～10時間の就労に集中した回答がみられる。



### (1) 母親の家を出る時間及び家に帰る時間

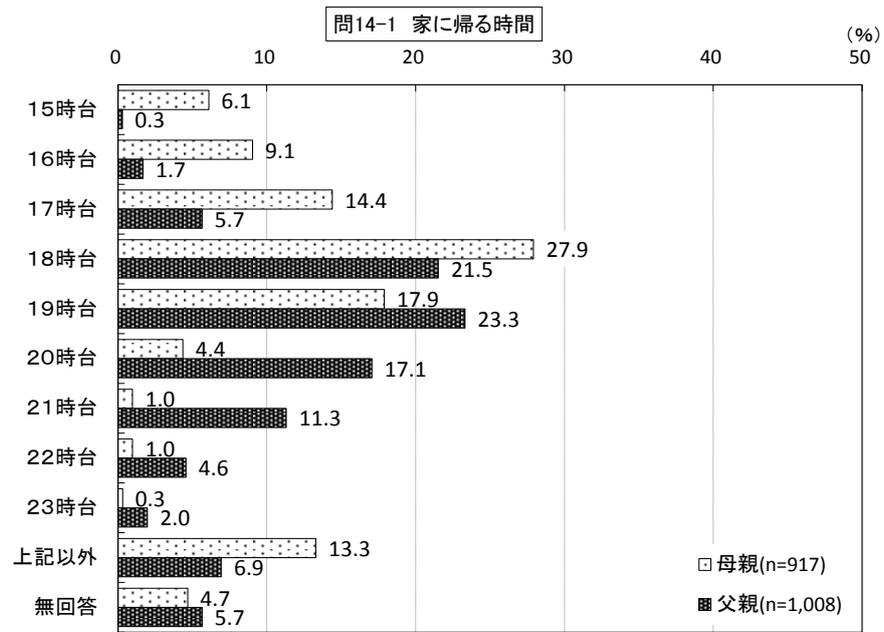
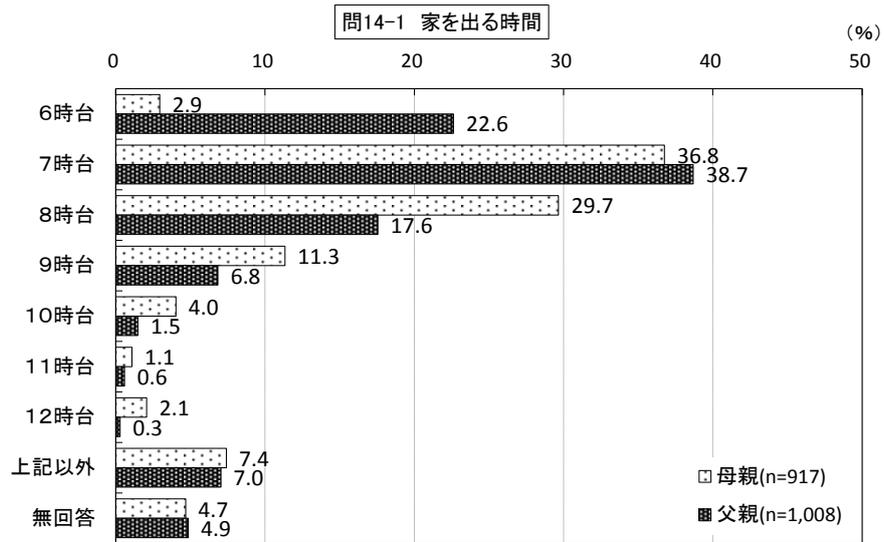
家を出る時間は「7時台」が4割弱(36.8%)、「8時台」が約3割(29.7%)、「9時台」が1割強(11.3%)と、7～9時台が多くなっている。家に帰る時間は「18時台」が3割弱(27.9%)、「19時台」が2割弱(17.9%)、「17時台」が1割強(14.4%)と、17～19時台が多くなっている。

### (2) 父親の家を出る時間及び家に帰る時間

家を出る時間は「7時台」が4割弱(38.7%)、「6時台」(22.6%)及び「8時台」(17.6%)が2割程度と6～8時台が多くなっている。家に帰る時間は、「18時台」(21.5%)、「19時台」(23.3%)及び「20時台」(17.1%)が2割程度、21時台が1割程度(11.3%)と18～21時台が多くなっている。

### 【母親と父親の家を出る時間及び家に帰る時間の差】

家を出る時間をみると、母親は7～9時台、父親は6～8時台が多く、父親の方が家を出る時間が早いことがうかがえる。家に帰る時間をみると、母親は17～19時台、父親は18～21時台が多く、父親の方が家に帰る時間が遅いことがうかがえる。これらより、父親の方が母親より就労等により家にいない時間が長いことがうかがえる。



問14で「3」、「4」（パートタイム、アルバイト等で就労している）と回答した方にうかがいます。

**問14-2 今後の就労希望についてお答えください。**

☞ 母親・父親の両方について、○を1つずつ。

パートタイム、アルバイト等の方の今後の就労希望	(1)母親	(2)父親
今の就労を続けることを希望	1	1
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2	2
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	3	3
就労しないで子育てや家事に専念したい	4	4

**(1) (パートタイム、アルバイト等で就労している) 母親の今後の就労希望**

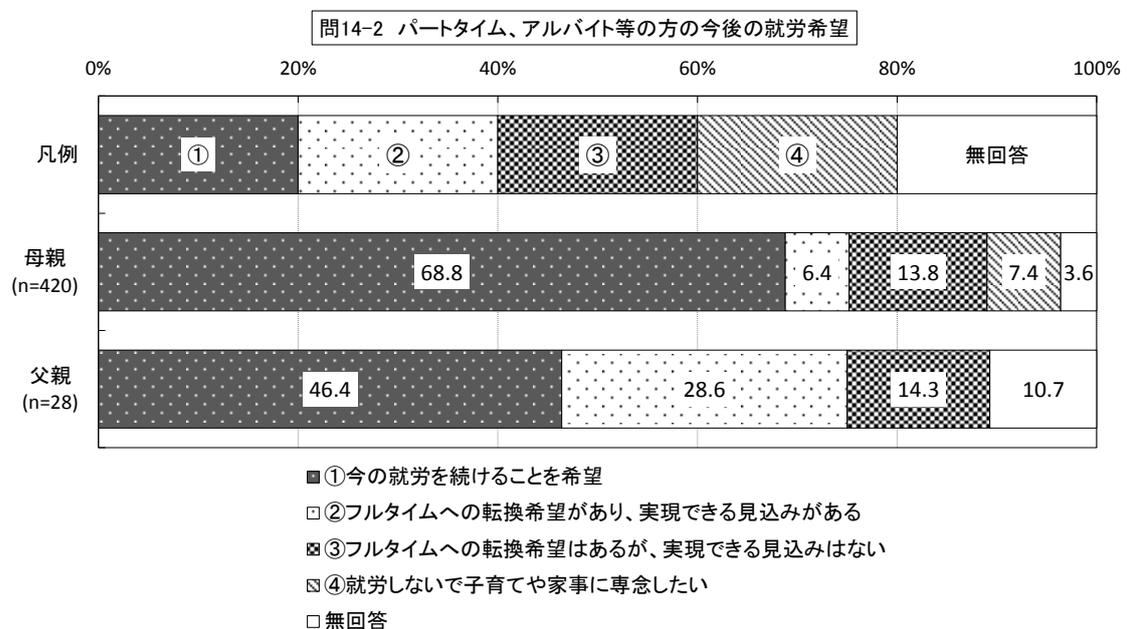
「1. 今の就労を続けることを希望」が7割弱（68.8%）と最も多くなっている。「3. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は1割強（13.8%）、「2. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」（6.4%）及び「4. 就労しないで子育てや家事に専念したい」（7.4%）はともに1割未満となっている。

**(2) (パートタイム、アルバイト等で就労している) 父親の今後の就労希望**

父親の母数（回答者数）が少ないためコメントは割愛する。

**【(パートタイム、アルバイト等で就労している) 母親と父親の今後の就労希望の差】**

父親の母数（回答者数）が少ないためコメントは割愛する。



問14で「5」、「6」（現在は就労していない、これまで就労したことがない）と回答した方にうかがいます。

**問14-3 今後の就労希望についてお答えください。**

 母親・父親の両方について、○を1つずつ。

就労していない方の今後の就労希望	(1)母親	(2)父親
子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	1	1
1年より先、一番下の子どもがある程度の年齢になったところに就労したい  何歳になったら就労したいか、右の欄に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）	2 □ □ 歳	2 □ □ 歳
すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	3	3

**(1)（現在は就労していない、これまで就労したことがない）母親の今後の就労希望**

「3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が4割弱（37.4%）と最も多く、次いで「2. 1年より先、一番下の子どもがある程度の年齢になったところに就労したい」が3割強（32.7%）、「1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が3割弱（25.3%）となっている。

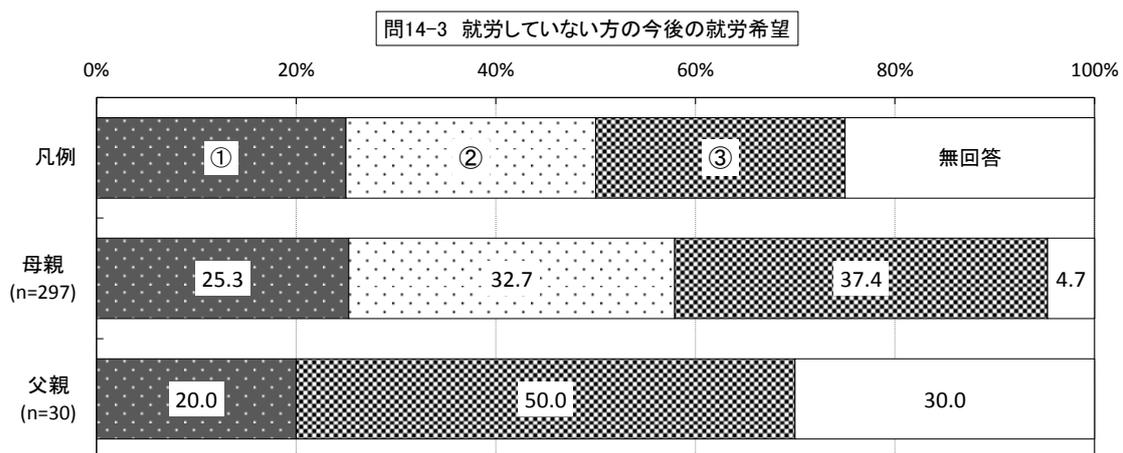
「2. 1年より先、一番下の子どもがある程度の年齢になったところに就労したい」の回答者の就労を希望する際の末子の年齢をみると、「9歳以上」が約3割（30.9%）、「7歳」が約2割（19.6%）、「6歳」が1割強（12.4%）と小学生就学以降の就労希望が多いことがうかがえる。

**(2)（現在は就労していない、これまで就労したことがない）父親の今後の就労希望**

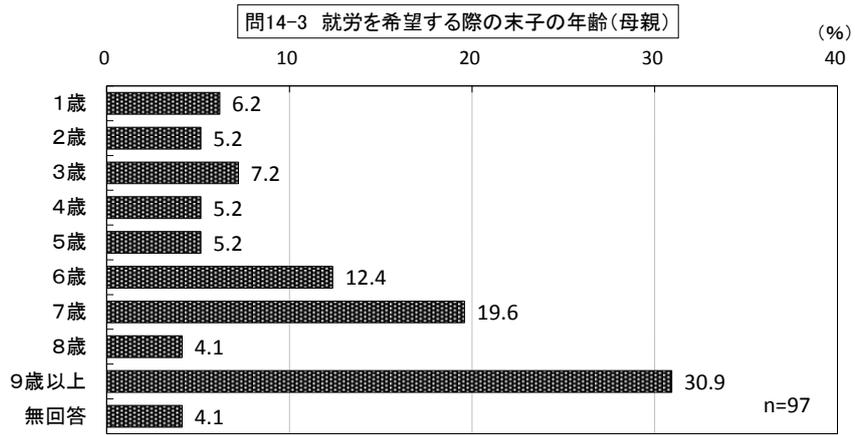
父親の母数（回答者数）が少ないためコメントは割愛する。

**【（現在は就労していない、これまで就労したことがない）母親と父親の今後の就労希望の差】**

父親の母数（回答者数）が少ないためコメントは割愛する



- ① 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
- ② 1年より先、一番下の子どもがある程度の年齢になったところに就労したい
- ▣ ③ すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
- 無回答



問14-3で「2」、「3」と回答した方にうかがいます。

**問14-4 希望する就労形態をお答えください。**

母親・父親の両方について○を1つずつ

希望する就労形態	(1)母親	(2)父親
フルタイムによる就労	1	1
パートタイム、アルバイト等による就労	2	2
希望する就労日数・就労時間について、 右の欄に数字でご記入ください。 (数字は一桁に一字)	1週あたり <input type="text"/> 日 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	1週あたり <input type="text"/> 日 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間

注) 時間は、(例)   時間のように入力してください。

**(1) (末子がある程度の年齢になれば就労したい、1年以内にでも就労したい) 母親の希望の就労形態**

「2. パートタイム、アルバイト等による就労」が8割弱 (77.4%) と圧倒的に多く、「1. フルタイムによる就労」は1割強 (11.1%) となっている。

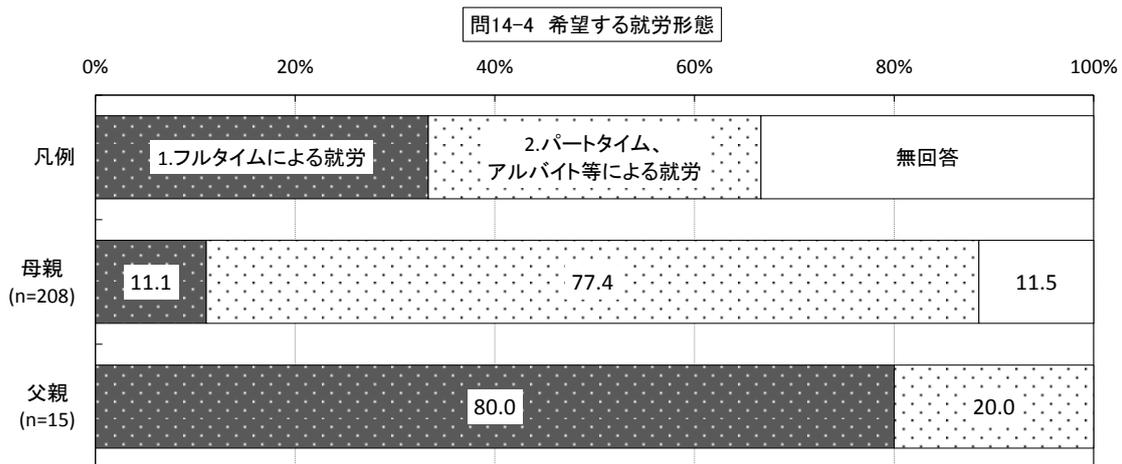
「2. パートタイム、アルバイト等による就労」希望の就労日数をみると、「1週当たり5日」が6割弱 (57.1%)、「1週当たり4日」が3割弱 (27.3%)、「1週当たり3日」が1割強 (13.0%) と週3～5日が多くなっている。また、就労時間をみると、「1日当たり5時間」が5割強 (53.4%)、「1日当たり6時間」が3割弱 (26.7%)、「1日当たり4時間」が1割強 (11.2%) と、1日当たり4～6時間の希望が多くなっている。

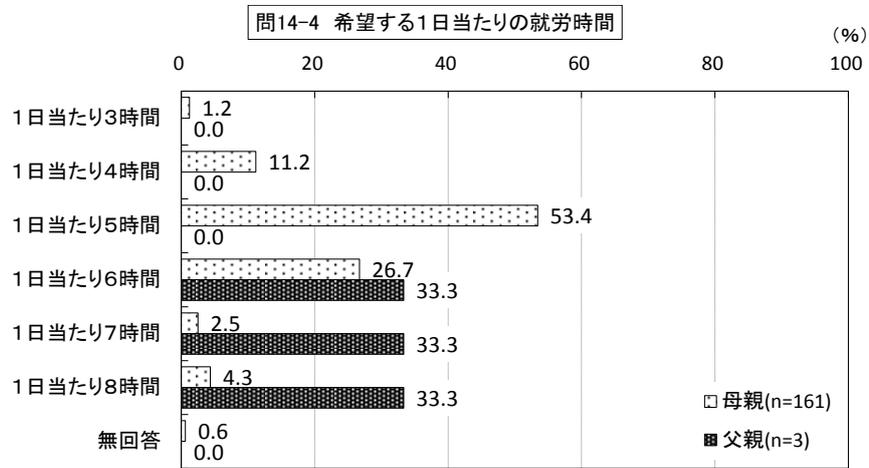
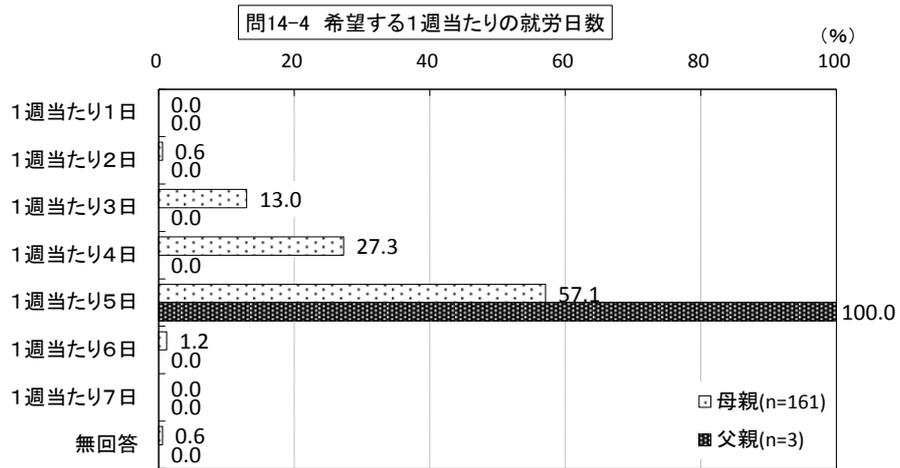
**(2) (末子がある程度の年齢になれば就労したい、1年以内にでも就労したい) 父親の希望の就労形態**

父親の母数 (回答者数) が少ないためコメントは割愛する。

**【(末子がある程度の年齢になれば就労したい、1年以内にでも就労したい) 母親と父親の希望の就労形態の差】**

父親の母数 (回答者数) が少ないためコメントは割愛する





## 対象のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

**問15** 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。対象のお子さん以外に兄弟・姉妹がいらっしゃる場合は、兄弟・姉妹を含めた全てのお子さんについてお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。(事業内容、事業料金は別紙参照)

 ①～⑭の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○。

事業の名称	A知っている	Bこれまでに利用したことがある	C今後利用したい + 現在も利用しているが、 今後も利用したい
①両親学級(こうのとりのクラブ)、 育児学級(コアクラブ)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②保健相談センターの情報・相談サービス	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤子育てサロン (市社会福祉協議会が実施している事業、月に1回 市内5カ所で開催)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥地域子育て支援センター (身近な地域における相談や親同士の交流の場)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦児童センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧自治体発行の子育て支援情報誌 「子育て応援本ぽけっと」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨子育ての総合相談窓口(家庭児童相談室)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩母子自立支援員 (ひとり親家庭等を対象に、総合相談及び指導、 就労への支援等を行う相談員)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

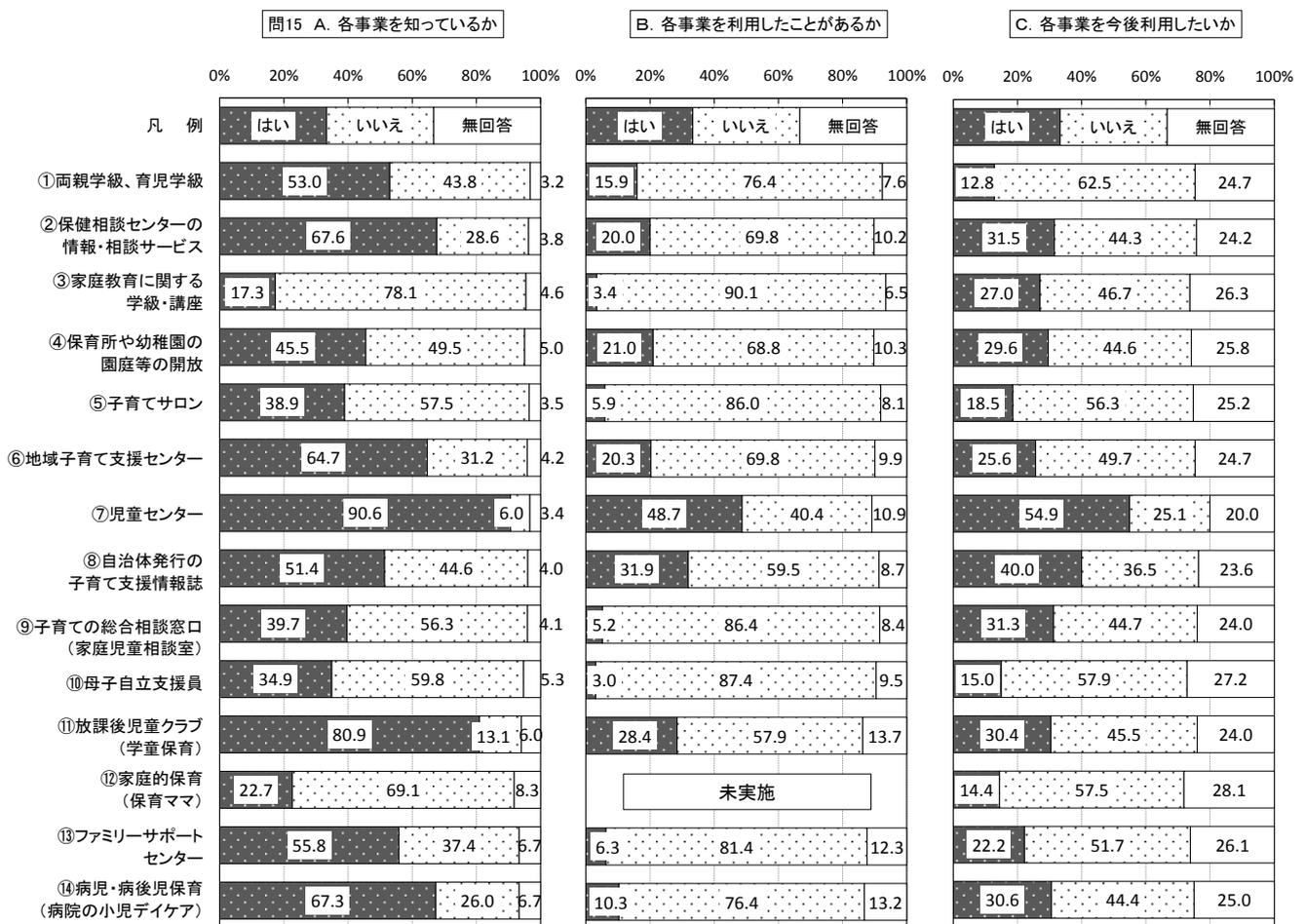
⑪～⑭の事業については利用者負担が発生します。詳しくは別紙をご参照の上お答えください。

⑪放課後児童クラブ(学童保育)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫家庭的保育(保育ママ) (宜野湾市では未実施ですが、以下の内容を参 考にしてお答えください)	はい いいえ	— —	はい いいえ
⑬ファミリーサポートセンター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭病児・病後児保育(病院の小児デイケア)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

各種事業の認知度をみると、知っているという回答した人の割合は「⑦児童センター」が約9割（90.6%）と最も多く、次いで「⑪放課後児童クラブ（学童保育）」が約8割（80.9%）、「②保健相談センターの情報・相談サービス」（67.6%）及び「⑭病児・病後児保育（病院の小児デイケア）」（67.3%）が7割弱と多くなっている。

各種事業の利用状況をみると、利用したことがあるという回答した人の割合は認知度も高い「⑦児童センター」が最も多く5割弱（48.7%）となっている。次いで「⑧自治体発行の子育て支援情報誌「子育て応援本ぽけっと」（31.9%）及び「⑪放課後児童クラブ（学童保育）」（28.4%）が3割程度と多くなっている。

各種事業の利用意向をみると、今後利用したいという回答した人の割合は、認知度や利用経験ともに「⑦児童センター」が5割強（54.9%）と最も多くなっている。次いで「⑧自治体発行の子育て支援情報誌「子育て応援本ぽけっと」が4割（40.0%）と多くなっている。



### 目標指標の点検

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
児童センターを利用したことがある児童・生徒の割合	44.5%	48.7%	58.0%	本調査の問15の⑦B

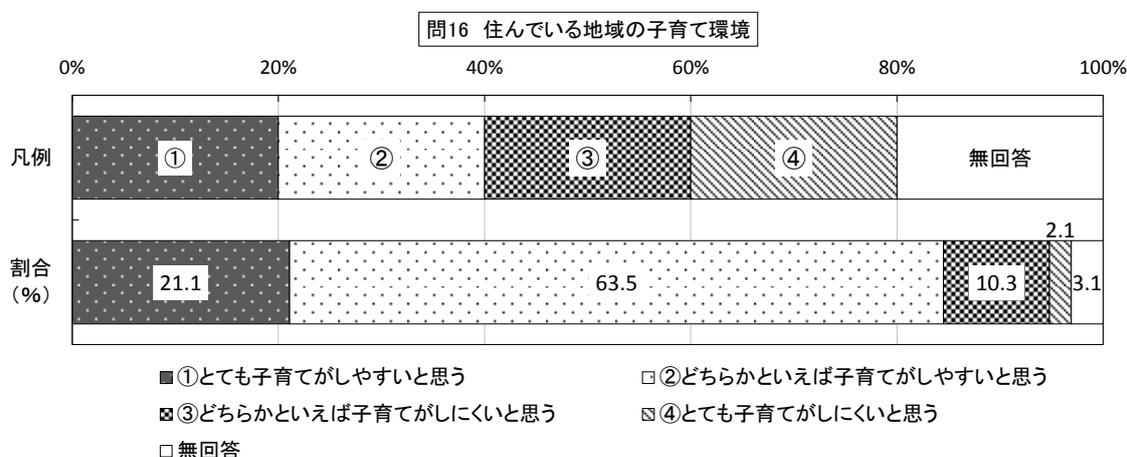
児童センターを利用したことがある児童・生徒の割合は、本調査が5割弱（48.7%）と目標の6割弱（58.0%）には及ばないものの、平成21年度調査より4.2ポイント増加している。

**問16** 現在お住まいの地域は、あなたにとって子育てしやすいと思いますか。

○は1つ

1. とても子育てがしやすいと思う
2. どちらかといえば子育てがしやすいと思う
3. どちらかといえば子育てがしにくいと思う
4. とても子育てがしにくいと思う

住んでいる地域の子育てのしやすさをみると、「2. どちらかといえば子育てがしやすいと思う」が6割強(63.5%)と過半数を占め、次いで「1. とても子育てがしやすいと思う」が2割強(21.1%)と『子育てがしやすいと思う』(「1. とても子育てがしやすいと思う」+「2. どちらかといえば子育てがしやすいと思う」)が8割強(84.6%)と多くなっている。その一方で、「3. どちらかといえば子育てがしにくいと思う」が約1割(10.3%)、「4. とても子育てがしにくいと思う」が2.1%とわずかにみられる。



目標指標の点検

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
住んでいる地域が子育てしやすいと感じる保護者の割合	80.2%	84.6%	88.0% (1割程度増やす)	本調査の間16の選択肢1+2

住んでいる地域が子育てしやすいと感じる保護者の割合は、本調査が8割強(84.6%)と目標の9割弱(88.0%)には及ばないものの、平成21年度調査より4.4ポイント増加している。

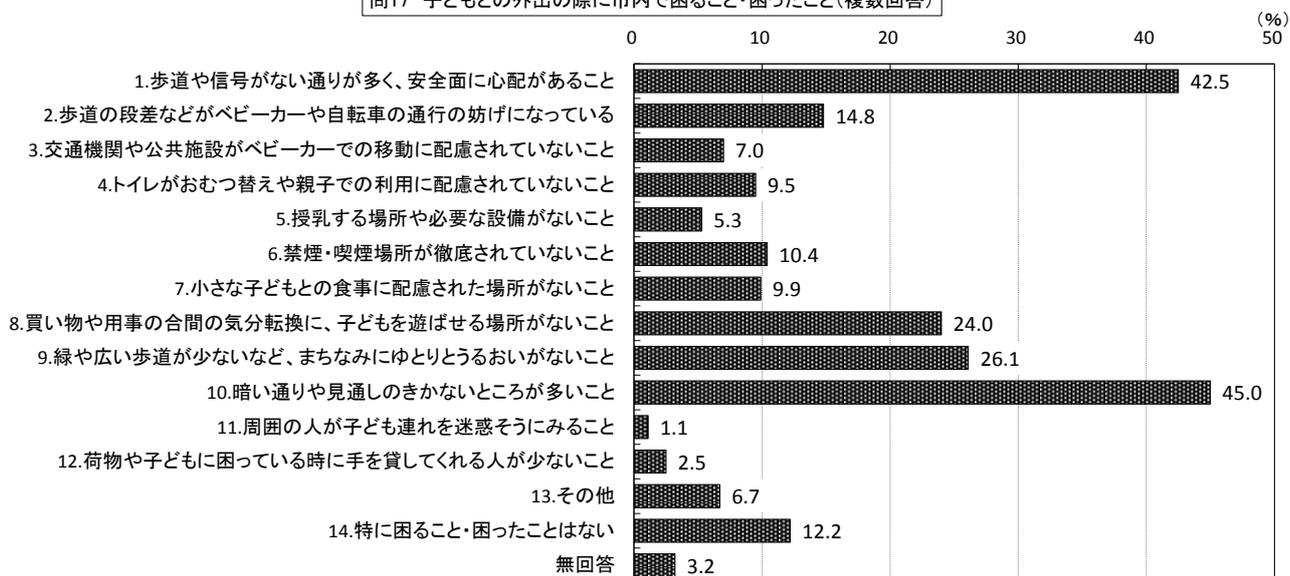
### 問17 子どもとの外出の際、宜野湾市内において困ること・困ったことはありますか。

○は3つ

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全面に心配があること
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている
3. 交通機関や公共施設がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4. トイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていないこと
5. 授乳する場所や必要な設備がないこと
6. 禁煙・喫煙場所が徹底されていないこと
7. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
8. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
9. 緑や広い歩道が少ないなど、まちなみにゆとりとうるおいがないこと
10. 暗い通りや見通しのきかないところが多いこと
11. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみること
12. 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ないこと
13. その他（具体的に： ）
14. 特に困ること・困ったことはない

子どもとの外出の際に市内で困ること・困ったことについてみると、「10. 暗い通りや見通しのきかないところが多いこと」が5割弱（45.0%）と最も多く、次いで「1. 歩道や信号がない通りが多く、安全面に心配があること」が4割強（42.5%）と道路（歩道や車道）の安全面に関する内容が上位2位となっている。続いて、「9. 緑や広い歩道が少ないなど、まちなみにゆとりとうるおいがないこと」が3割弱（26.1%）、「8. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が2割強（24.0%）、「2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている」が1割強（14.8%）と多くなっている。上位5位の内、4項目が道路（歩道や道路等）の安全面等に関する内容となっている。

問17 子どもとの外出の際に市内で困ること・困ったこと(複数回答)



【その他の内容】

- 近所に公園がない、少ない
- 公園の治安が悪い所がある
- 路上駐車が多くて危険
- 自転車専用道路がない
- 外灯が少なく危険
- 交通量が多く危険な場所がある
- 基地からの騒音で子どもが怖がる
- 長田地区に児童館がない
- 市内線のバスがない
- 児童館や図書館が校区になく不便を感じる
- 教育に無関心な親が多い気がする
- 大山小区域は海が近く、津波が心配
- 放課後、子どもたちが安心して遊べる場所が充分でない。児童センターや学校内を利用するクラブ活動が安心して参加させることができます小さな公園等は人気がなく心配です。放課後の学校内で（児童センターで）たくさん子ども達が遊べると安心です
- 最近どうかかわからないが、特に男性用トイレに子ども連れて入れるところが少ない。イクメンなどという言葉に象徴されるように男性、男親が子育てに関わる風潮が明らかに増えたが公園などの設備が古く、男性が赤ちゃんトイレにいっしょに入れる場所がまだまだ少ない
- 住宅街にも関わらず、居酒屋で夜中まで屋外スピーカーで音楽を流し続けている
- 電柱が多く、危険な道が多い。また電柱の張り紙・看板に針金使用していたり、不適切な広告が貼られたりしていること
- 路地から出てくる車との接触がこわくて、子どもに自転車で遊びに行かないよう注意している
- 公園をもっと整備して欲しい
- 通学路で危険な箇所があるので安全性を高めて欲しい 7ヶ所
- 宜野湾バイパス沿いの横断歩道が少ないこと
- 自転車に乗れる場所が少ない
- 不審者がいるなど治安が悪い所がある
- 野良犬・野良猫が多くて糞害がある
- 基地問題に関わること
- 長田小の近くに児童館がない
- バスが少ない、ない
- 図書館が少ない。博物館にもミニ図書館があるといい
- ベビーカーでスーパーに入り、狭い店があった
- 市民が気軽に泊まれる宿泊施設が欲しい

等

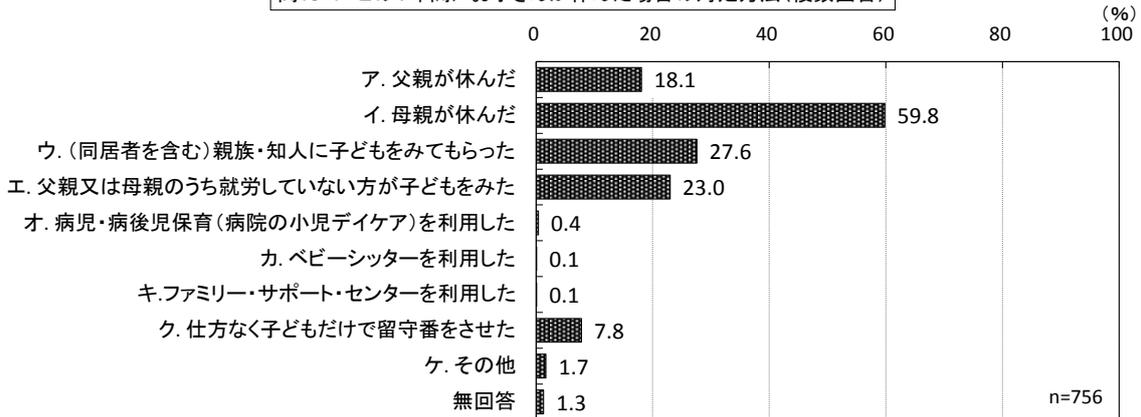
目標指標の点検

評価指標	平成21年度調査	平成26年1月本調査	平成26年度目標	備考
子どもとの外出の際、生活道路の安全面に心配がある保護者の割合	34.7%	42.5%	減少をめざす	本調査の間17の選択肢1

子どもとの外出の際、生活道路の安全面に心配がある保護者の割合は、平成 21 年度調査の 3 割強（34.7%）より減少を目指していたものの、本調査では 4 割強（42.5%）と 7.8 ポイント増加している。



問18-1 この1年間にお子さんが休んだ場合の対処方法(複数回答)



【その他の内容】

- ・職場に連れて行った
- ・夜勤の為、休む必要なし
- ・入院させた
- ・学校を休ませたきょうだいに看させた

等

対処法別に休んだ日数をみると、いずれの場合も5日以内に回答が集中している。また、「イ. 母親が休んだ」をみると、他の対処方法よりもあらゆる日数に回答が分散し、件数も多いことから、母親が休んで看ている状況が多いことがうかがえる。

問18-1 この1年間に子どもが休んだ際の対処方法別日数

(単数回答)

対処方法	日数														無回答	合計
	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日 12日 20日	21日 22日 30日	31日以上			
ア. 父親が休んだ	56	35	11	5	15	1	2	0	0	6	3	0	0	3	137	
	40.9	25.5	8.0	3.6	10.9	0.7	1.5	0.0	0.0	4.4	2.2	0.0	0.0	2.2	100.0	
イ. 母親が休んだ	110	87	71	17	52	8	20	6	1	26	17	1	1	35	452	
	24.3	19.2	15.7	3.8	11.5	1.8	4.4	1.3	0.2	5.8	3.8	0.2	0.2	7.7	100.0	
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	41	56	28	8	36	1	6	0	0	11	3	0	1	18	209	
	19.6	26.8	13.4	3.8	17.2	0.5	2.9	0.0	0.0	5.3	1.4	0.0	0.5	8.6	100.0	
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	21	27	16	6	16	5	10	0	2	17	12	0	1	41	174	
	12.1	15.5	9.2	3.4	9.2	2.9	5.7	0.0	1.1	9.8	6.9	0.0	0.6	23.6	100.0	
オ. 病児・病後児保育(病院の小児デイケア)を利用した	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	
	66.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	100.0	
カ. ベビーシッターを利用した	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
キ. ファミリーサポートセンターを利用した	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	25	9	6	0	6	1	2	0	0	3	2	0	1	4	59	
	42.4	15.3	10.2	0.0	10.2	1.7	3.4	0.0	0.0	5.1	3.4	0.0	1.7	6.8	100.0	
ケ. その他	1	3	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	5	13	
	7.7	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	38.5	100.0	

問18-1 この1年間にお子さんが休んだ場合の対処方法 × 問7 子どもを預かってもらえる人の有無 (複数回答)

	ア 父親が休んだ	イ 母親が休んだ	ウ ども(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	エ い方が子どもをみた	オ 病児・病後児保育(病院の小児デイケア)を利用した	カ ベビーシッターを利用した	キ ファミリー・サポート・センターを利用した	ク 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	ケ その他	無回答
上段:件数、下段:横%										
全 体(n=756)	137 18.1	452 59.8	209 27.6	174 23.0	3 0.4	1 0.1	1 0.1	59 7.8	13 1.7	10 1.3
1.日常的に祖父母等の親族にみてもらえる(n=223)	30 13.5	118 52.9	114 51.1	38 17.0	1 0.4	0 0.0	0 0.0	9 4.0	3 1.3	1 0.4
2.緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる(n=439)	90 20.5	277 63.1	103 23.5	107 24.4	2 0.5	0 0.0	0 0.0	38 8.7	8 1.8	6 1.4
3.日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる(n=14)	1 7.1	7 50.0	6 42.9	2 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	1 7.1	0 0.0
4.緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる(n=67)	8 11.9	40 59.7	14 20.9	19 28.4	0 0.0	1 1.5	0 0.0	8 11.9	2 3.0	1 1.5
5.いずれもない(n=86)	14 16.3	53 61.6	2 2.3	29 33.7	0 0.0	0 0.0	1 1.2	7 8.1	1 1.2	2 2.3
無回答(n=11)	4 36.4	5 45.5	3 27.3	3 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 27.3	0 0.0	0 0.0

問18-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

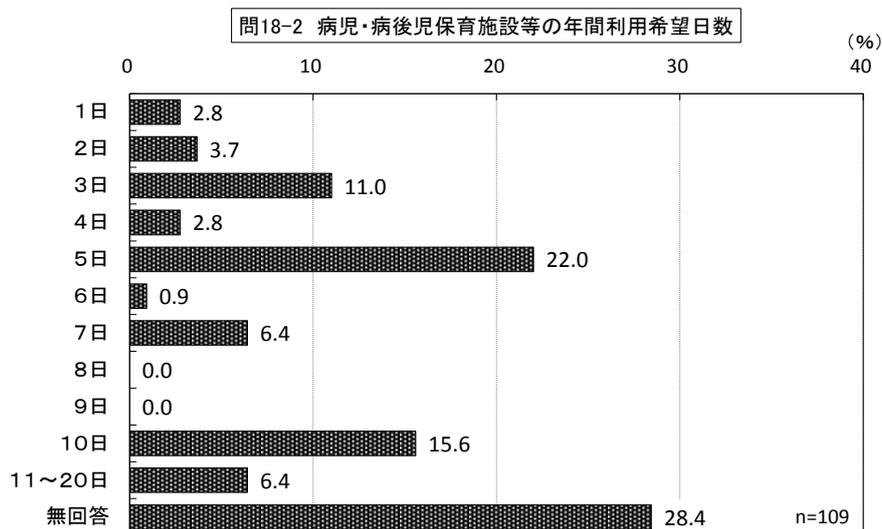
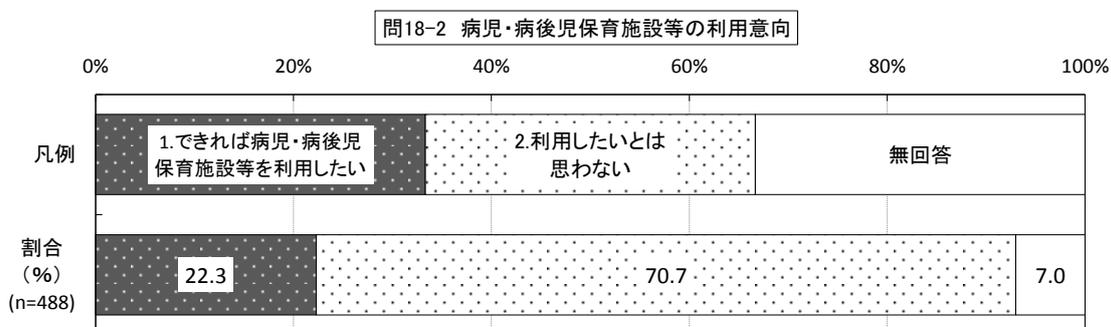
**問18-2** その際、「できれば病児・病後児のための保育施設（病院の小児デイケア）等を利用したい」と思われましたか。なお、事業の利用（現在、海邦病院にて小児デイケアを実施）には一定の利用料がかかり、利用前にはかかりつけ医などの受診が必要となります。（事業内容、事業料金は別紙参照）

 ○は1つ。利用したい場合は、利用したい日数を口内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

1. できれば病児・病後児保育施設（病院の小児デイケア）等を利用したい ⇒年間   日
2. 利用したいとは思わない

病児・病後児保育施設等の利用意向をみると、「2. 利用したいとは思わない」が約7割(70.7%)と最も多く、「1. できれば病児・病後児保育施設（病院の小児デイケア）等を利用したい」は2割強(22.3%)となっている。

病児・病後児保育施設等の年間利用日数の希望をみると、「5日」(22.0%)や「10日」(15.6%)、「3日」(11.0%)が1～2割程度と多くなっている。





**問20** 保護者の疾病や出産、介護等により、こどもの養育が一時的に困難となった場合において、児童養護施設等でお子さんを一定期間（原則7日以内）養育する事業として「短期入所生活援助事業（ショートステイ）」があります。（宜野湾市では現在未実施。）このような事業があれば、利用したいと思いますか。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（事業内容、事業料金は別紙参照）

 ○は2つまで

1. 身内や友人等に預けるのが非常に困難なので、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したい
2. 身内や友人等に預けるのがどちらかというと困難なので、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したい
3. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）よりも利用料金が高くなるとしても、ファミリー・サポート・センターを利用したい
4. 現在はあまり必要性を感じないし、こどもの養育が困難となった場合も、身内や友人等の知り合いへ預けたい
5. 分からない
6. その他（ ）

短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用意向をみると、「4. 現在はあまり必要性を感じないし、こどもの養育が困難となった場合も、身内や友人等の知り合いへ預けたい」が7割弱（67.2%）と最も多く、『短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したい』（「1. 身内や友人等に預けるのが非常に困難なので、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したい」＋「2. 身内や友人等に預けるのがどちらかというと困難なので、短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したい」）は、約1割（10.7%）となっている。

問20 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用意向（複数回答）



【その他の内容】

- 預ける必要はない
- 誰にも預けられない時に利用したい
- 料金がかかるので利用できない
- 必要性に応じて検討
- 今後、祖母の体調により考える
- 本当に必要な方のみ利用できるようなれば良いと思う。理由もなく預ける方が増えないか心配
- 以前産後入院し、国の施設で預かってもらったので、要望に応じてショート又は1か月の預かる施設があると良い
- 利用したいが、子ども達を預けると精神的不安にならないか心配
- 今は必要ないが、今後もしもの時には必要・安心だと思う
- 利用したいが、利用料金による
- 施設の中が分からないので預けるのが怖い
- 料金と信頼性があるかどうか
- 利用せず夫や子供達と相談し解決していきたい

等

## 対象のお子さんの放課後の過ごし方について

問21 対象のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。（事業内容、事業料金は別紙参照）

 当てはまる番号すべてに○をつけ、週あたりの日数を数字で記入してください。（数字は一枠に一字）

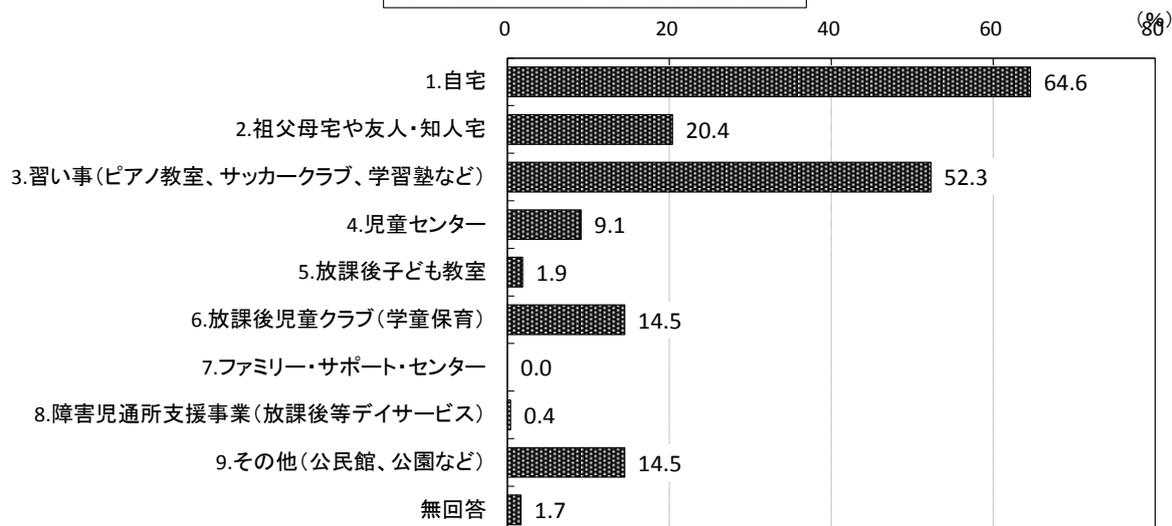
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童センター <small>注1</small>	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育）  利用を希望する時間もお答えください。	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. 障害児通所支援事業 （放課後等デイサービス）	週 <input type="text"/> 日くらい
9. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

注1) 児童センターで行う放課後児童クラブを利用したい場合は「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に回答。

注）時間は、（例）20時までのように24時間制でご記入ください。

お子さんの現在の放課後の過ごし方をみると、「1. 自宅」の6割強（64.6%）に次いで「3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が5割強（52.3%）と多くなっている。「2. 祖父母宅や友人・知人宅」は約2割（20.4%）、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」（14.5%）及び「9. その他（公民館、公園など）」（14.5%）はともに1割程度となっている。

問21 現在の放課後の過ごし方（複数回答）



学年別にみると、小学校低学年・高学年ともに「1. 自宅」の6～7割程度（低学年 57.3%、高学年 70.6%）に次いで「3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が5～6割程度（低学年 47.7%、高学年 56.1%）と多くなっている。続いて、小学校低学年では「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」（25.5%）や「2. 祖父母宅や友人・知人宅」（19.3%）が2～3割程度と多くなっている。なお、「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」については、小学校高学年（5.4%）と比較して小学校低学年の方が20.1ポイント高いことから、放課後児童クラブは小学校高学年より低学年の放課後の居場所となっている状況が多いことがうかがえる。

問21 現在の放課後の過ごし方 × 中学校区・学年区分 (複数回答)

		① 自宅	② 祖 父 母 宅 や 友 人 ・ 知 人 宅	③ 習 い 事 ク ラ ブ （ ピ ア ノ 教 室 、 サ ッ カ ー ）	④ 児 童 セ ン タ ー	⑤ 放 課 後 子 ど も 教 室	⑥ 放 課 後 児 童 ク ラ ブ （ 学 童 保 育 ）	⑦ フ ア ミ リ ー ・ サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー	⑧ 障 害 児 通 所 支 援 事 業 （ 放 課 後 等 デ イ サ ー ビ ス ）	⑨ そ の 他 （ 公 民 館 、 公 園 な ど ）	無 回 答
上段:件数、下段:横%											
全 体 (N=1,248)		806 64.6	254 20.4	653 52.3	113 9.1	24 1.9	181 14.5	0 0.0	5 0.4	181 14.5	21 1.7
中 学 校 区	普天間中学校区 (N=298)	197 66.1	69 23.2	158 53.0	28 9.4	3 1.0	42 14.1	0 0.0	3 1.0	56 18.8	3 1.0
	真志喜中学校区 (N=329)	215 65.3	64 19.5	163 49.5	29 8.8	6 1.8	54 16.4	0 0.0	1 0.3	55 16.7	5 1.5
	嘉数中学校区 (N=305)	206 67.5	61 20.0	162 53.1	18 5.9	9 3.0	33 10.8	0 0.0	1 0.3	43 14.1	11 3.6
	宜野湾中学校区 (N=316)	188 59.5	60 19.0	170 53.8	38 12.0	6 1.9	52 16.5	0 0.0	0 0.0	27 8.5	2 0.6
学 年 区 分	小学校低学年(1～3年生) (N=564)	323 57.3	109 19.3	269 47.7	63 11.2	7 1.2	144 25.5	0 0.0	2 0.4	71 12.6	6 1.1
	小学校高学年(4～6年生) (N=684)	483 70.6	145 21.2	384 56.1	50 7.3	17 2.5	37 5.4	0 0.0	3 0.4	110 16.1	15 2.2

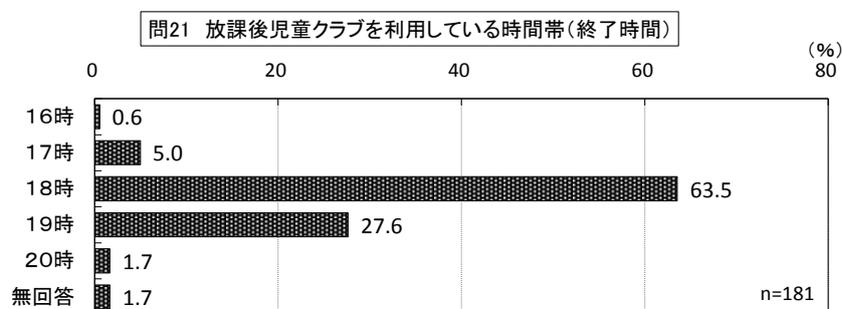
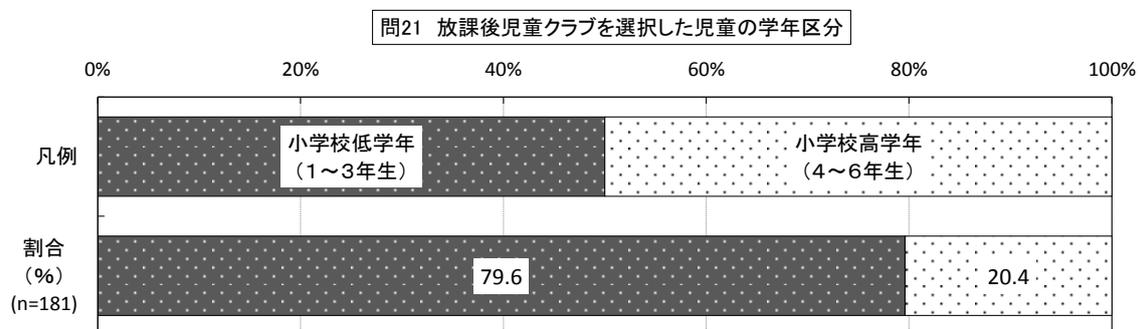
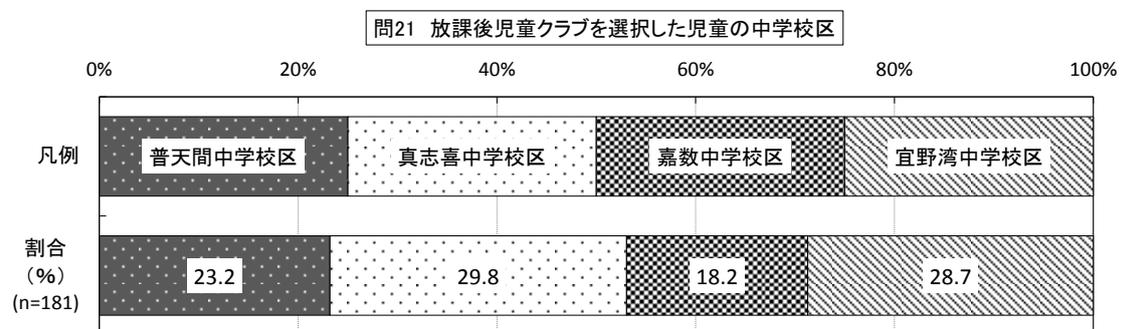
放課後児童クラブの利用状況について中学校区別にみると、「真志喜中学校区」(29.8%)及び「宜野湾中学校区」(28.7%)で3割程度と多く、次いで「普天間中学校区」(23.2%)及び「嘉数中学校区」(18.2%)で2割程度となっている。

【参考】中学校区別、放課後児童クラブ数

- 普天間中学校区…公立1箇所、私立6箇所＝7箇所
- 真志喜中学校区…公立1箇所、私立7箇所＝8箇所
- 嘉数中学校区…公立1箇所、私立3箇所＝4箇所
- 宜野湾中学校区…公立0箇所、私立6箇所＝6箇所

学年別にみると、小学校低学年が約8割(79.6%)と多数を占め、小学校高学年は約2割(20.4%)となっている。

放課後児童クラブの利用終了時間をみると、「18時」までが6割強(63.5%)と過半数を占め、次いで「19時」までが3割弱(27.6%)となっており、18～19時までの利用が多いことが分かる。



お子さんの放課後の過ごし方を日数別にみると、「1. 自宅」や「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」は「5日」の回答が多く、週の大半を自宅や学童保育で過ごし、放課後の主な居場所としているお子さんが多いことが分かる。「4. 児童センター」は「1日」や「2日」の回答が多く、週の中でも数日の利用が多いことがうかがえる。

問21 現在、放課後を過ごしている場所ごとの日数 (単数回答)

上段:件数、下段:横%	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	合計
	1. 自宅	86 10.7	132 16.4	145 18.0	59 7.3	256 31.8	23 2.9	66 8.2	39 4.8
2. 祖父母宅や友人・知人宅	61 24.0	68 26.8	43 16.9	12 4.7	49 19.3	12 4.7	3 1.2	6 2.4	254 100.0
3. 習い事(ピアノ教室、サッカー クラブ、学習塾など)	86 13.2	185 28.3	164 25.1	116 17.8	77 11.8	20 3.1	1 0.2	4 0.6	653 100.0
4. 児童センター	56 49.6	18 15.9	7 6.2	11 9.7	16 14.2	3 2.7	0 0.0	2 1.8	113 100.0
5. 放課後子ども教室	5 20.8	6 25.0	3 12.5	3 12.5	4 16.7	3 12.5	0 0.0	0 0.0	24 100.0
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	12 6.6	10 5.5	14 7.7	13 7.2	109 60.2	22 12.2	0 0.0	1 0.6	181 100.0
7. ファミリー・サポート・センター	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 100.0
8. 障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス)	1 20.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0
9. その他(公民館、公園など)	35 19.3	56 30.9	40 22.1	16 8.8	22 12.2	3 1.7	1 0.6	8 4.4	181 100.0

前問で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○を付けた方にお聞きます。

**問21-1 放課後児童クラブ（学童保育）の利用時間について、“本来希望していた日数・時間”と“実際に利用している日数・時間”に違いはありますか。**

○は1つ。

1. 本来希望していた日数・時間通り利用できている

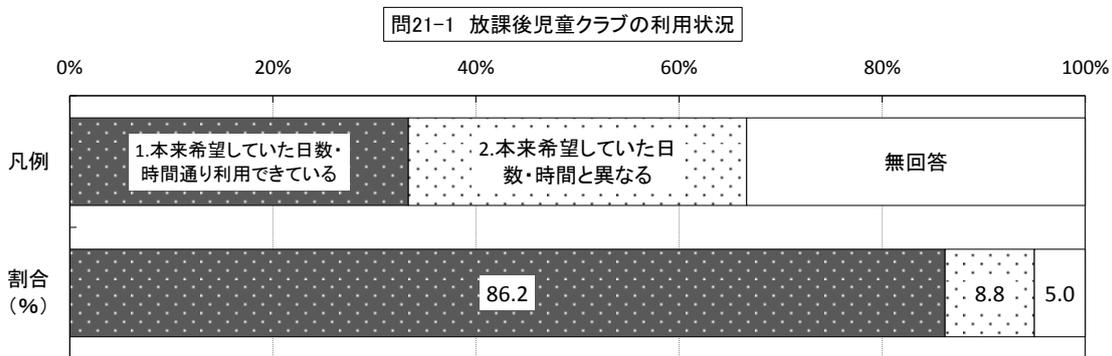
2. 本来希望していた日数・時間と異なる

希望の日数・時間を数字でご記入ください。

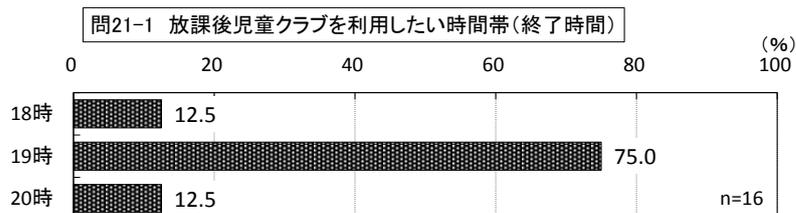
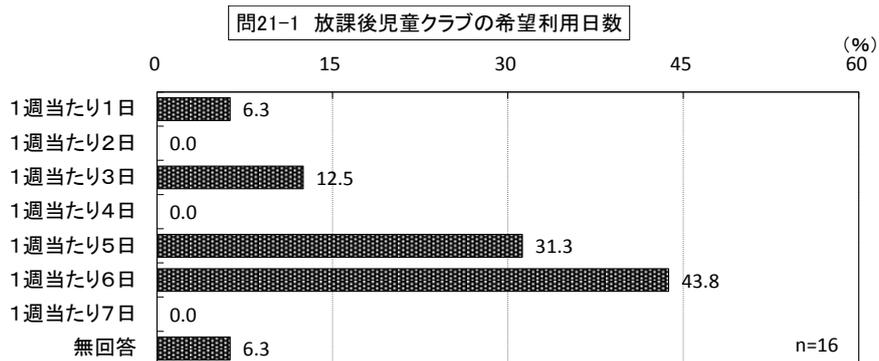
→ 本来の希望：週  日くらい  
→ 下校時から  時まで

注）時間は、必ず（例）18 時までのように24時間制でご記入ください。

現在、放課後児童クラブ（学童保育）を利用している方の利用状況を見ると、「1. 本来希望していた日数・時間通り利用できている」が9割弱（86.2%）と圧倒的に多く、希望と現状が合致している方が多いことが分かる。一方の「2. 本来希望していた日数・時間と異なる」は8.8%みられる。



「2. 本来希望していた日数・時間と異なる」場合の本来希望する日数及び時間帯をみると、週は5～6日、時間帯は19時までの希望が多くなっている。



問21で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○を付けなかった方にお聞きします。

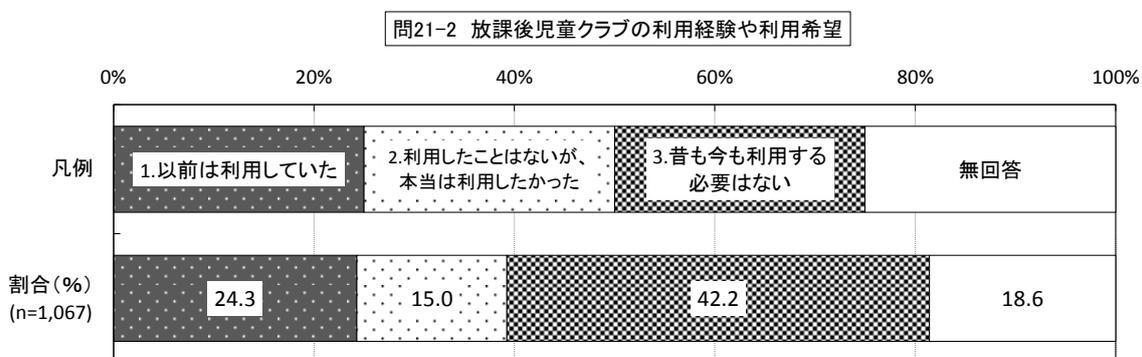
**問21-2** 対象のお子さんについて、放課後児童クラブ（学童保育）の利用経験や、利用希望はありましたか。

○は1つ。「1.以前は利用していた」場合は、何年生まで利用していたか学年を□内に数字でご記入ください。また、「1.利用していた」又は「2.利用したかった」場合は、希望の日数（週当たり）と時間を数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

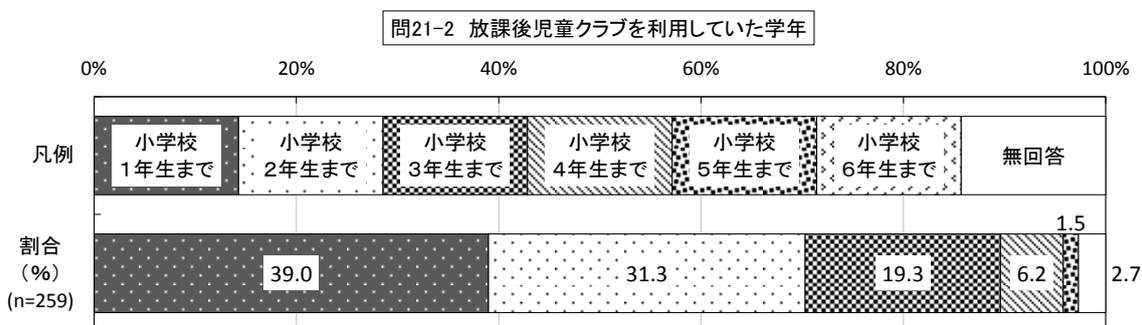
- 1. 以前（ □ 年生まで）は利用していた      ▶ 本来の希望：週 □ 日くらい
- 2. 利用したことはないが、本当は利用したかった      → 下校時から □□ 時まで
- 3. 昔も今も利用する必要はない

注）時間は、必ず（例）□□時までのように24時間制でご記入ください。

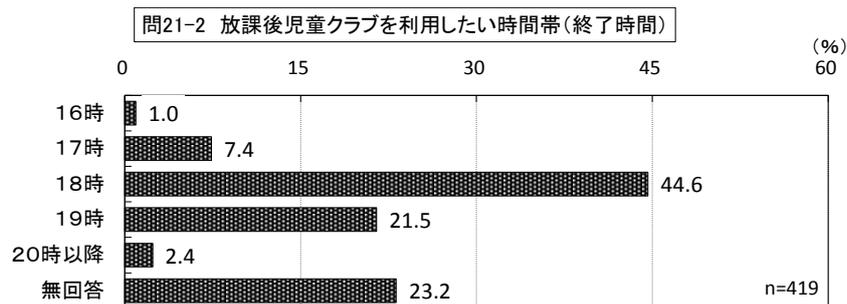
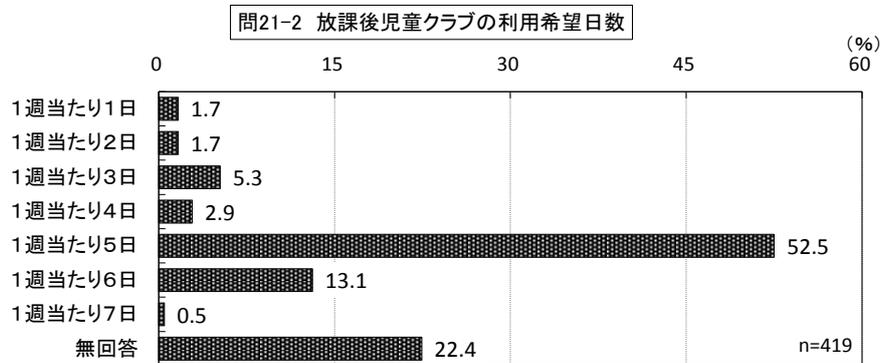
現在、放課後児童クラブ（学童保育）を利用していない方の利用経験や利用希望をみると、利用経験も利用希望もない「3. 昔も今も利用する必要はない」が4割強（42.2%）と最も多くなっている。「1. 以前（□年生まで）は利用していた」は2割強（24.3%）、「2. 利用したことはないが、本当は利用したかった」は2割弱（15.0%）となっている。



「1. 以前（□年生まで）は利用していた」の回答者の利用学年をみると、「小学校1年生まで」（39.0%）及び「小学校2年生まで」（31.3%）が3～4割程度と多く、低学年ほど利用経験が多いことが分かる。



『利用していた、利用しなかった』（「1. 以前（□年生まで）は利用していた」、「2. 利用したことはないが、本当は利用しなかった」）の回答者の本来希望する日数及び時間帯をみると、「1週あたり5日」が5割強（52.5%）、「1週あたり6日」が1割強（13.1%）と週5～6日の希望が多くなっている。時間帯としては、「18時」までが4割強（44.6%）、「19時」までが2割強（21.5%）と18～19時までの希望が多くなっている。



前問で「1. 以前は利用していた」又は「2. 利用したことはないが、本当は利用したかった」に○を付けた方にお聞きします。

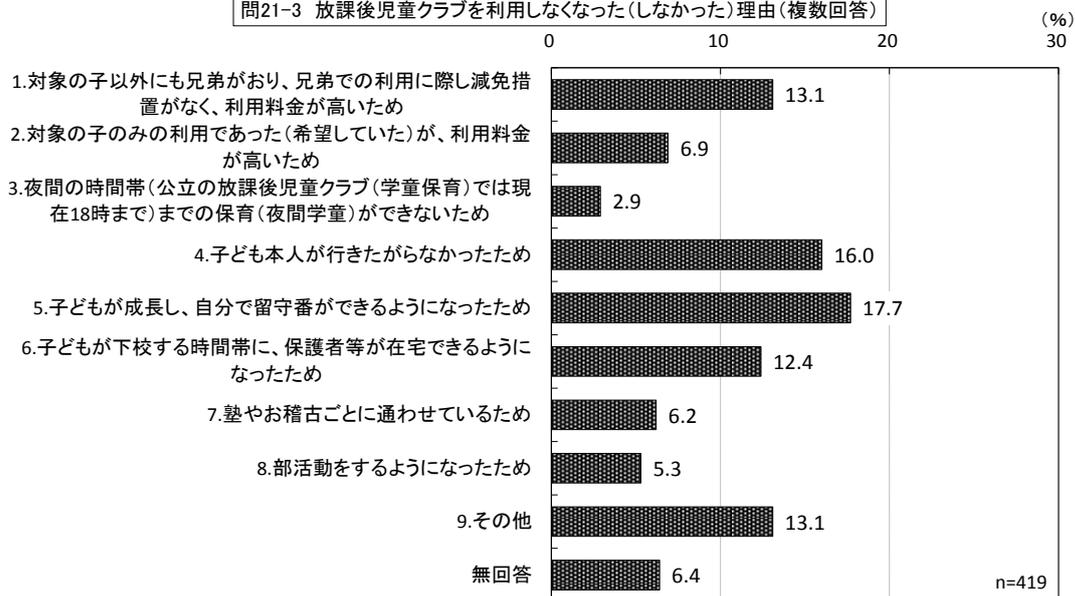
**問21-3 放課後児童クラブ（学童保育）を“利用しなくなった理由”・“利用しなかった理由”として、あなたのお考えに最も近い理由はどれですか。**

○は1つ

1. 対象の子以外にも兄弟がおり、兄弟での利用に際し減免措置がなく、利用料金が高いため
2. 対象の子のみの利用であった（希望していた）が、利用料金が高いため
3. 夜間の時間帯（公立の放課後児童クラブ（学童保育）では現在18時まで）までの保育（夜間学童）ができないため
4. 子ども本人が行きたがらなかったため
5. 子どもが成長し、自分で留守番ができるようになったため
6. 子どもが下校する時間帯に、保護者等が在宅できるようになったため
7. 塾やお稽古ごとに通わせているため
8. 部活動をするようになったため
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

前問で、放課後児童クラブ（学童保育）を『利用していた、利用したかった』の回答者の利用しなくなった（しなかった）理由をみると、「5. 子どもが成長し、自分で留守番ができるようになったため」（17.7%）及び「4. 子ども本人が行きたがらなかったため」（16.0%）が2割弱と最も多く、お子さんの意思や成長により放課後児童クラブを利用しなくなった（しなかった）ことが多いことが分かる。続いて、「1. 対象の子以外にも兄弟がおり、兄弟での利用に際し減免措置がなく、利用料金が高いため」（13.1%）や「6. 子どもが下校する時間帯に、保護者等が在宅できるようになったため」（12.4%）が1割強と多くなっている。

問21-3 放課後児童クラブを利用しなくなった（しなかった）理由（複数回答）



【その他の内容】

- 定員オーバーで入れなかった
- 育休等で親が家にいるため
- 利用できることを知らなかった
- 学童保育先が学童保育をやめたため
- 送迎が無かった
- 少し発達障害があったため断られた
- 先生に問題があった
- お兄ちゃんが対象年齢から外れたため、弟も妹も一緒にお稽古事に通わせる事になった
- 近所全ての学童から、途中入所、新一年以外は受け入れないと断られた
- 普天間小学校が預かり（迎えの）対象とする学校ではなくなったため
- 家や学校の近くになかった
- 就労していない為、利用できなかった
- 学童の利用料金で習い事や塾に通わせるため
- 3年生までしか利用できなかったため
- 毎日の弁当が大変。給食付きなら少し高めでも良いのに
- 申し込もうと思ったら期限が過ぎていた
- 年度末ごろに連絡があり、1 か月程しか利用が出来なかった為

等

対象のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の方にお聞きします。

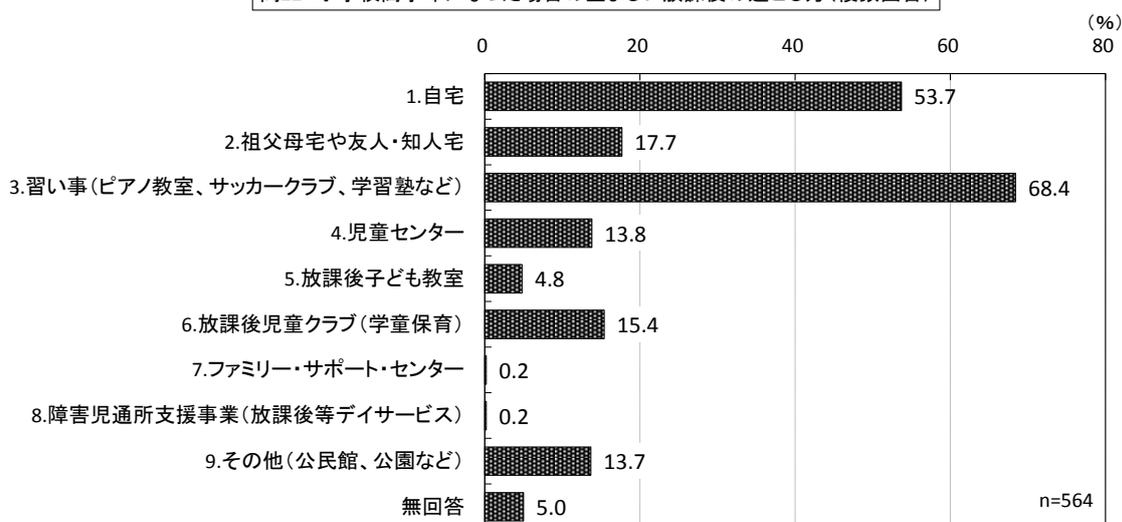
問22 対象のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。	
<p> 当てはまる番号すべてに○をつけ、希望の日数（週あたり）を数字で記入してください。（数字は一桁に一字）</p>	
1. 自宅	週 <input type="text"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日くらい
3. 習い事 （ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
4. 児童センター <small>注1</small>	週 <input type="text"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童保育） 利用を希望する時間もお答えください。	週 <input type="text"/> 日くらい →下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
8. 障害児通所支援事業 （放課後等デイサービス）	週 <input type="text"/> 日くらい
9. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

注1) 児童センターで行う放課後児童クラブを利用したい場合は「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に回答。

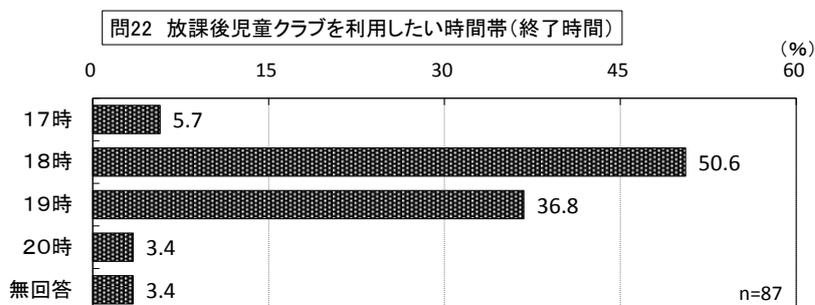
注）時間は、（例）  時までのように24時間制でご記入ください。

小学校低学年（1～3年生）が小学校高学年（4～6年生）へ進級した場合の望ましい放課後の過ごし方をみると、「3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が7割弱（68.4%）と最も多く、次いで「1. 自宅」が5割強（53.7%）となっている。問21において、低学年の現状として「1. 自宅」で過ごしているという回答が最も多かったが、高学年になったら「3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」をさせたいという方が多い状況にある。続いて「2. 祖父母宅や友人・知人宅」（17.7%）及び「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」（15.4%）が2割程度、「4. 児童センター」（13.8%）及び「9. その他（公民館、公園など）」（13.7%）が1割程度と多くなっている。

問22 小学校高学年になった場合の望ましい放課後の過ごし方（複数回答）



「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」の回答者の希望する利用終了時間をみると、「18 時」までが約5割（50.6%）と最も多く、次いで「19時」までが4割弱（36.8%）と多くなっている。《問 21 現在の放課後の過ごし方》で放課後児童クラブを利用していると回答した方と同様に、「18 時」までに次いで「19 時」までが多く、小学校低学年や小学校高学年に関わらず 18～19 時の利用希望が高いことがうかがえる。



小学校高学年（4～6年生）へ進級した場合の望ましい放課後の過ごし方を日数別にみると、「2. 祖父母宅や友人・知人宅」や「3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」、「4. 児童センター」、「5. 放課後子ども教室」は週1～3日の回答が多くなっている。

問22 小学校高学年になってから放課後を過ごさせたい場所ごとの日数 (単数回答)

場所	1	2	3	4	5	6	7	無回答	合計
	日	日	日	日	日	日	日		
1. 自宅	35	78	62	23	75	3	10	17	303
	11.6	25.7	20.5	7.6	24.8	1.0	3.3	5.6	100.0
2. 祖父母宅や友人・知人宅	27	23	15	3	19	3	0	10	100
	27.0	23.0	15.0	3.0	19.0	3.0	0.0	10.0	100.0
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	38	112	132	44	48	3	1	8	386
	9.8	29.0	34.2	11.4	12.4	0.8	0.3	2.1	100.0
4. 児童センター	21	24	11	2	12	2	0	6	78
	26.9	30.8	14.1	2.6	15.4	2.6	0.0	7.7	100.0
5. 放課後子ども教室	8	10	6	0	3	0	0	0	27
	29.6	37.0	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	100.0
6. 放課後児童クラブ(学童保育)	2	8	20	8	40	9	0	0	87
	2.3	9.2	23.0	9.2	46.0	10.3	0.0	0.0	100.0
7. ファミリー・サポート・センター	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8. 障害児通所支援事業(放課後等デイサービス)	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
9. その他(公民館、公園など)	23	21	13	4	7	2	0	7	77
	29.9	27.3	16.9	5.2	9.1	2.6	0.0	9.1	100.0

問21または問22で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方、問21-2で「1又は2」に○を付けた方にうかがいます。

**問23** 対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。（事業内容、事業料金は別紙参照）

(1)土曜日、(2)日曜日・祝日のそれぞれについて、○は1つ。「1」又は「2」の利用したい場合は、時間帯を数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

<b>(1) 土曜日</b>	
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで
<b>(2) 日曜日・祝日</b>	
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない	⇒ 利用したい時間帯 □□時から □□時まで

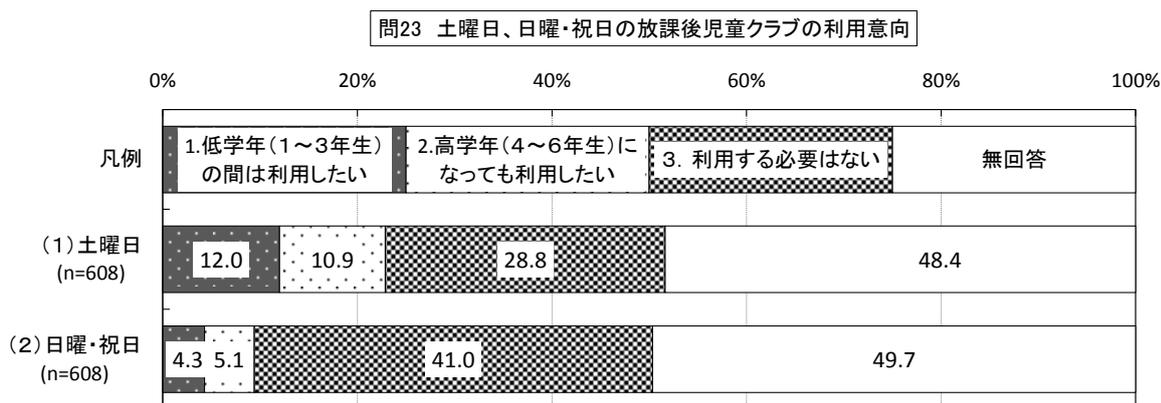
注）時間帯は、(例) 09時～18時までのように24時間制でご記入ください。

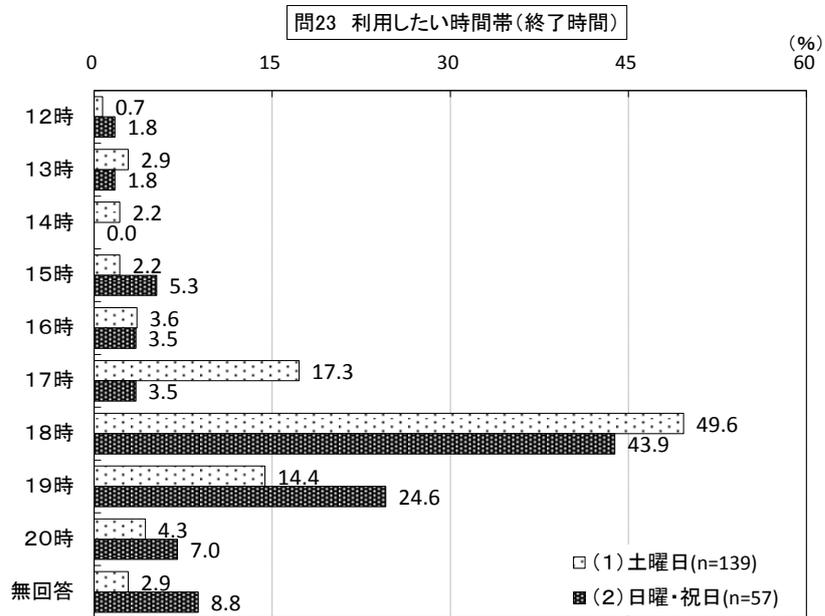
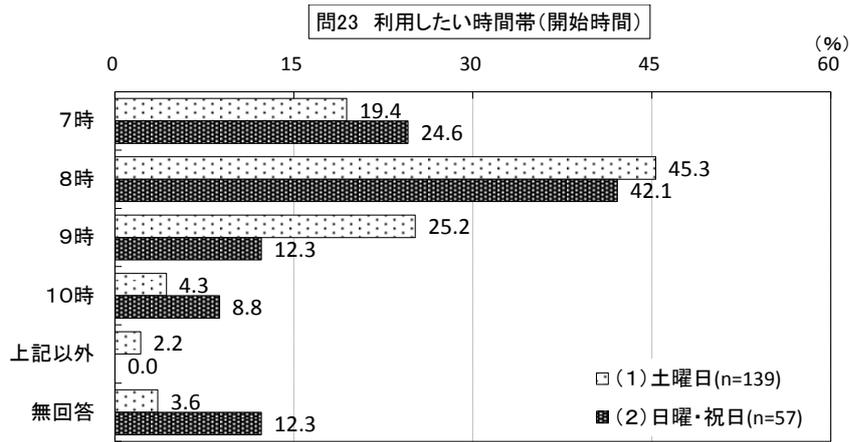
**(1) 土曜日の放課後児童クラブの利用意向（無回答を除く）**

「3. 利用する必要はない」が3割弱（28.8%）と最も多くなっている。「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」（12.0%）及び「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」（10.9%）は1割程度となっており、利用したい時間帯をみると、7～9時から17～19時までの希望が多くなっている。

**(2) 日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用意向（無回答を除く）**

「3. 利用する必要はない」が4割強（41.0%）と最も多くなっている。「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」（4.3%）及び「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」（5.1%）はわずかな割合となっており、利用したい時間帯をみると、7～9時から18～19時までの希望が多くなっている。





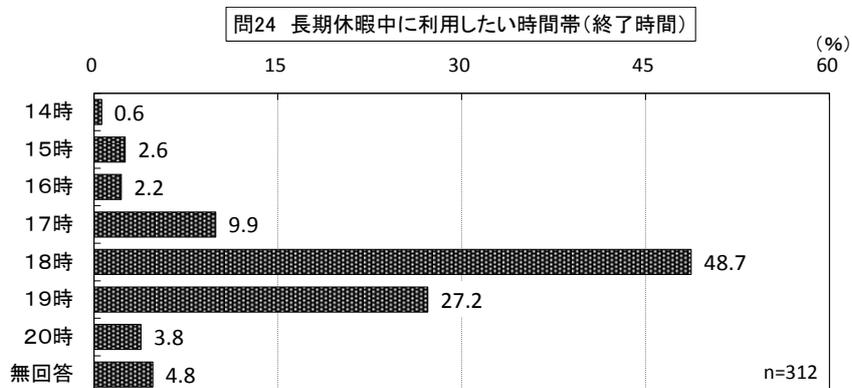
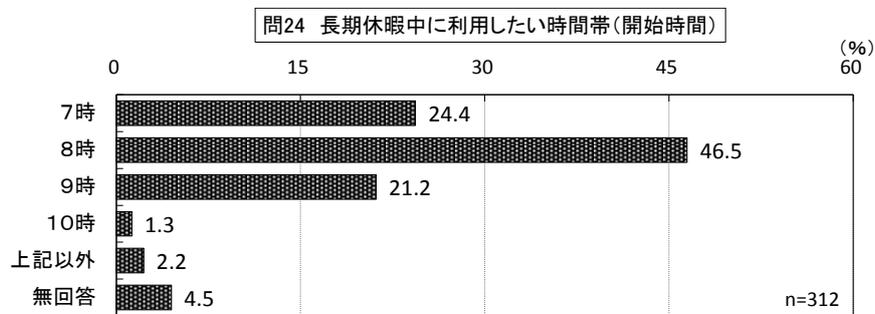
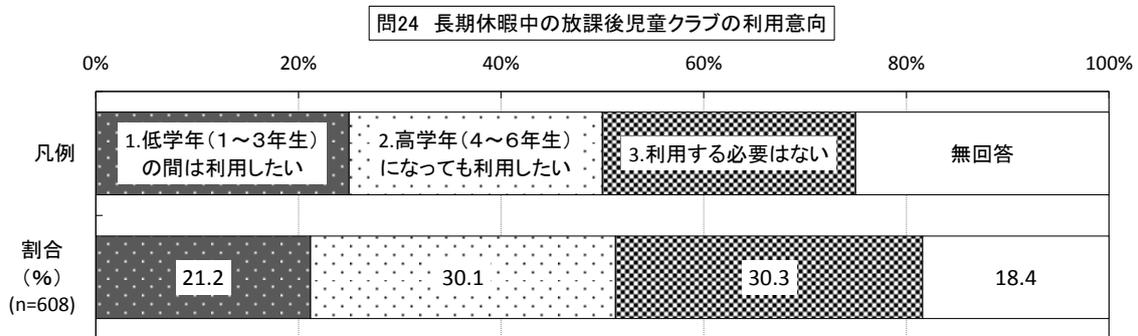
**問24** 対象のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。（事業内容、事業料金は別紙参照）

☑️ ○は1つ。「1」又は「2」の利用したい場合は、時間帯を数字でご記入ください。（数字は一桁に一字）

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい  
 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい  
 3. 利用する必要はない
- ⇒ 利用したい時間帯  
 □□時から□□時まで

長期休暇中の放課後児童クラブの利用意向をみると、「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」（30.1%）及び「3. 利用する必要はない」（30.3%）がともに約3割と多く、「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」は2割強（21.2%）となっている。

「1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい」又は「2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい」の回答者の利用したい時間帯をみると、《問23 土曜日と日曜・祝日の放課後児童クラブの利用意向》の日曜・祝日の利用意向と同様に、7～9時から18～19時までの希望が多くなっている。



## 子育て環境として重要と思うことについて

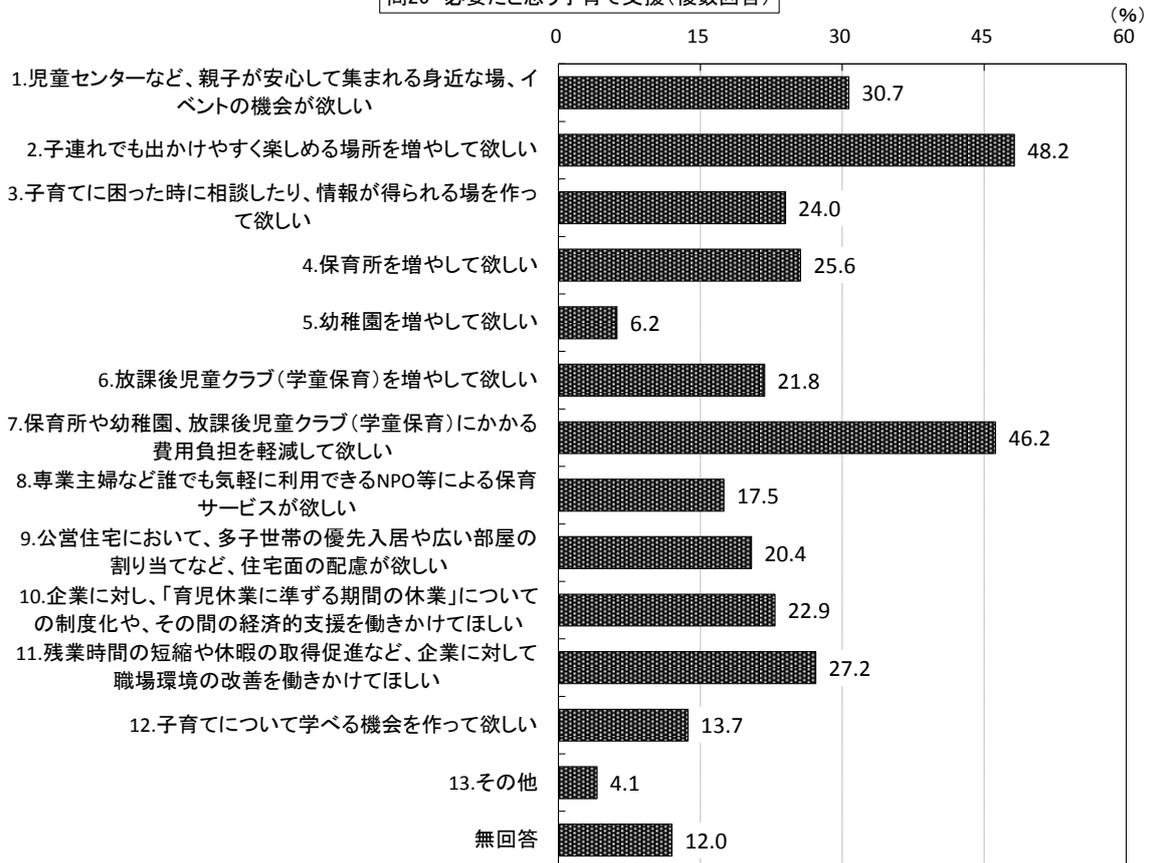
### 問25 子育てにはどのような支援が必要だと思いますか。

あてはまる番号のすべてに○

1. 児童センターなど、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい
3. 子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場を作って欲しい
4. 保育所を増やして欲しい
5. 幼稚園を増やして欲しい
6. 放課後児童クラブ(学童保育)を増やして欲しい
7. 保育所や幼稚園、放課後児童クラブ(学童保育)にかかる費用負担を軽減して欲しい
8. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが欲しい
9. 公営住宅において、多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮が欲しい
10. 企業に対し、「育児休業に準ずる期間(1~3歳まで)の休業」についての制度化や、その間の経済的支援を働きかけてほしい
11. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい
12. 子育てについて学べる機会を作って欲しい
13. その他(具体的に: )

必要だと思う子育て支援についてみると、「2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」(48.2%)及び「7. 保育所や幼稚園、放課後児童クラブ(学童保育)にかかる費用負担を軽減して欲しい」(46.2%)が5割程度、「1. 児童センターなど、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい」(30.7%)、「11. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」(27.2%)及び「4. 保育所を増やして欲しい」(25.6%)が3割程度と上位5位を占めている。これらより、親子で過ごせる場(機会等)の充実や定期的な教育・保育施設の確保及び費用負担軽減、職場環境の改善等の支援ニーズが高いことが分かる。

問25 必要だと思う子育て支援(複数回答)



【その他の内容】

(公園・居場所について)

- ・我如古には公園がないので作ってほしい
- ・公園を増やしてほしい
- ・公園を多く作ってほしい。水遊びができる場所、温水プールの施設がほしい(親子でいけるような施設)
- ・困っている人は、無料で子どもを預かってくれる所
- ・普天間野嵩地区に喜志喜の公園のような所がほしい
- ・ボール遊びも自由にできるような広場がほしい
- ・宜野湾市民であれば、誰でも土日子どもを預けられる児童センターみたいな場があってほしいです
- ・自転車やスケートボードなどが遊べる広い公園、子供達がのびのびと遊べる公園をたくさんたくさん作ってほしい

等

(子育て支援について)

- ・治安の強化など子どもが安心して外出できる安全な町作り
- ・国や県全体で親世代を応援する政策(預ける先があるかないかではなく)
- ・公営住宅には入れない人も多いので多子世帯に対して家賃とか安くなると思う。アパート代が一番生活にひびく。狭い所で我慢も辛い
- ・公営住宅申込み年数に依り優先、低所得者優先にしてほしい(10年以上、抽選はずれています)
- ・子育てに対する不安や不満がないので、支援はいらない人もいると思う
- ・児童手当等、お金をばらまくのではなく、保育園～無料にする等「子どもにとって」の平等を考えてほしい
- ・病院などのセンター利用でも病気時にお金かかるため、やはり利用しづらい
- ・母子家庭の支援(経済的)

等

(児童センターについて)

- ・校区内に児童センターの設置
- ・子どもだけで行けるような遊べる児童館や広場がほしい
- ・児童センターを縮小し、各小学校毎に設置してほしい。普天間第2小近くのセンターに普天間小の児童は利用しにくいいため。
- ・近くに子供たちが遊べる室内の場所がほしい。児童館みたいな
- ・近くに子どもたちが遊べる室内の場所がほしい。児童館みたいなところ
- ・普天間小学校近くにも児童センターを作してほしい。利用したくても遠い

等

(学童について)

- ・空き教室を利用して、校内で下校時を過ごすことができる学童保育があったら良いと思います(宿題や補習などを行う。)
- ・小学生も対象公立学童保育を作してほしい
- ・小学校に学童保育ができれば安心して仕事ができると思う
- ・民間の学童クラブへの育成資金等の充実

等

(学校について)

- ・学校行事、面談等は休日夜間18時以降にしてほしい(手続等も含む)
- ・学校で資料(参考内容等)を配布してもらえれば読みたいと思います
- ・学校との関係を深くするために1クラスの人数を減らしてほしい
- ・学校などに担任以外でも相談できる人をおいてほしい

等

(その他)

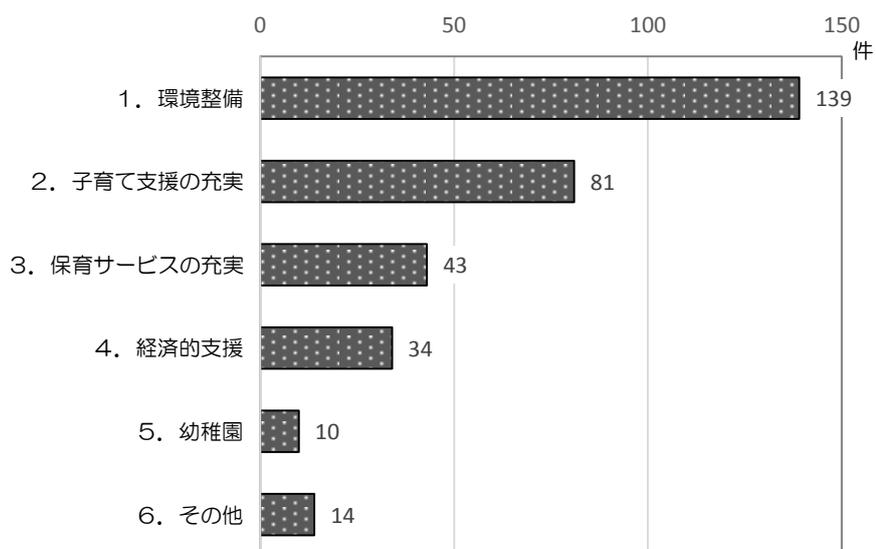
- ・基地の無い、安心して子ども達を育てられる宜野湾市にしてほしい
- ・普天間基地を返還して安全な町にしてほしい
- ・外国人とのMIXの子を持つ子育て情報収集場所があったらいい
- ・私は人見知りをするし、出不精なので、どこかの窓口や人に相談したり、施設などを利用したいと思いません。子育てに参考になる資料などを学校で配って頂けたらと思います
- ・低所得家庭でも利用しやすい利用料金の安い一時預かり
- ・夏休みや春休みだけ預かってくれると助かる
- ・中道に入ると、外灯が少ないので市内を確認して設置してほしい
- ・忙しい父親に親業をもっと知る機会を(学びの場)提供
- ・待機児童を減らす努力。入所希望できない時の配慮が足りない
- ・道路を安全に整備すること

等

**問26** 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、  
ご自由にご記入ください。

.....  
.....  
.....

「1. 環境整備」に関する内容が139件と最も多く、次いで「2. 子育て支援の充実」に関するご意見も81件みられる。



## 1. 環境整備

計 139 件

スーパー等に乳児が乗れるようなベビーカーを置いて欲しい。置いてないところが多く、買い物にとっても困った。1才からのカートはあるが乳児用が少ないと思う。
子供が多くて生活大変なのに県営住宅の募集がない。県営住宅には本当に生活に困っている人を優先して欲しい。家族用の広い部屋割当てなど配慮して欲しい。
子を持つ母親がもっと働きやすいような支援をして欲しい。
もっと団地を増やしてほしい、家賃が軽減されればあと一人子供が欲しいと思います。
給食費を支払わない保護者（収入は十分でも）さんがいるからだと思うが、高学年は特に量を増やせたら助かるけどと思う時があります。
公営住宅の申し込みも、毎月か1年に3～4回など募集回数を増やして母子家庭は優先的に入居できるようにして欲しい。
低学年は公園等で遊べますが高学年が遊べる場所が少なくアスレチック等があればいいなと思います。遊べる場所がないので結局、皆で集まってゲームをする事が多くなってしまいます。
月に8回も夜勤があり子供と過ごす時間が少ない。職場では、小5は子供扱いではないので、もっと子育てしやすい職場環境が欲しい。母子家庭なので子供との時間は大切です。塾、部活もさせたいが親の送迎ができないし金銭的に余裕がない。
子供を出産した後の様々な支援はある程度充実していると思いますが、個人的には、妊婦の時から親育（親になる為の教育）をして欲しい（して欲しかった）と思います。乳児のあやし方、離乳食について、生活リズムの作り方等産まれてからは、外出するのにも苦労で情報収集も困難になるので産まれる前から、ある程度の育児の仕方を頭に入れておくべきだと思います。（両親学級をもっと発展させる）保育園を見学したり、育児学級を見学したりして育児を事前に学べる機会を作ったらどうか？直接赤ちゃんに接する事が大切だと思います。
大きな公園ではなく、小さくてもいいので、もう少し増やして欲しい。子供達が家を出てもすぐ帰れる範囲で！必ずしも遊具を設置するのではなくバスケットだけが出来る公園とか（リングとコートのみ）その周りは大人達が1周1km程度のウォーキングコース（遊歩道）とか？子供も親も一緒に公園へ行き安心して利用できるのでは？
経済的に厳しい家庭でも自由に通える無料塾など、他の子との学習面での格差がつかないようにして欲しい。
外灯を増やして欲しい所が沢山あります。子供や、老人が多く利用する所。暗い通りが多い路地にもっと増やすべき。（危ない事件が起きない為）
もっと保育所を増やして欲しいです。見近に公園や、憩いの施設などを作って欲しいです。団地のすべり台や、ブランコを見ていたら、さびて使えなくなっていたり、砂場を見たら、猫のフンのニオイや、片付けられていないフンなどを市の方でやって頂けたらと思います。
土曜日も午前中学校で授業にして頂きたい。
大人が子供を評価して排除する環境は子育てするには冷たすぎる環境に感じます。親同士意見を交わしたり、個々で怒りをぶつけるのはフェアだと思います。教育の場も同じように評価より改善に目を向けていけると、それが子育ての支援になると思います。実際そのように考えてくれる先生に救われている所があり、教育や相談窓口の現場にいる方々もそうであってほしいなど願っています。
校区を近くの学校へ登下校できるようにして欲しい。宜野湾市は学校への道のりに歩道がなく、車道が多い場所も多く暗い道も多い。授業が6時間あると、冬場は真っ暗の中30分以上かけて下校してくる。徒歩3分以内で別の小学校があるのに、そこに通えないのはおかしいと思うし不審者の多い世の中、いくら子供達に注意して下さいと言っても何かあってからでは遅いと思います。他の市町村は、学校を選べるのに、宜野湾市の校区割りはおかしいと思います。中学校も一緒です。子供たちが毎日安全に帰ってくるか外が暗くなってくると心配で心配でなりません。もう少し考えを変えてもらってもいいと思います。自分のお子さんだったら安心した学校生活とは思えないはずです。
小学校3年生くらいからは児童間での学力の差が大きくなってきており、4年生以降その傾向は顕著になるものと思われる。中学受験に備え学校外での勉強に力を入れている児童にとっては、画一的で質が低く無駄に量の多い宿題等は邪魔以外の何者でもない。個々の学力や進学希望等の環境に配慮されたい。
市民プールがあれば良いと思います。乳児医療が4歳までなのはとても助かりました。（那覇から引越してきた時、感じました）
環境としては、飛行機のエンジンの音がうるさく、日中の学校の授業の妨げとなり又、夜間遅くの飛行が気になります。
公園は、小さい子供達が集まるので中、高学年が遊べる場所があれば良いと思っています。
自治会の行事が多すぎて、会議や清掃の参加が重要です。母子家庭なので、子供を家に置いて出なければいけなくて大変。仕事と家事をしながら自治会の役員（当番制）までは手が回らないが、やらなければ陰口を言う人もいるので困る。
子供が5名います。現在3LDKのアパートにいますが今後この子達が大きくなると狭いと思います家が建てる余裕はありません。子供の多い世帯を優先に公営住宅に入れて欲しい。
専業主婦と働く親では、意識の違いが大きいです。一概に子育て環境とは言えないです。周りに身内がいない私は、子供を通しての親のつながりにとっても助けられています。なので楽しく子育てしています。
ショッピングセンターなど作るのもいいと思いますが、この素晴らしい宜野湾市内に、特に宇地泊内、コンベンション内、真志喜内においてこれからの子供達に、子供未来館や、科学館、子供美術館など、子供の豊かな感性を公表できる場所など親子で気軽に立ち寄り話や聞いて話を楽しめる場所があってもいいのかなと思います。その地域の文化を知ったり、地元で活動している人を招いて体験コーナーが出来る場所を是非、作って欲しいです。
通学路の道路の整備をして欲しい。大謝名、当山産婦人科病院の前あたり、道が細く危ないので。
通学時の交通安全指導、いつも感謝しております。登下校、放課後など子供のみで出かける際の安全が一番気になる場所ですので、子供への声かけ、一人一人のドライバーの注意、道の安全（ハブや工事中の場所等）時間帯などは気をつけている所です。
西海岸地域に、図書館を作って欲しい。
子供は家庭を中心に地域や社会の中で育っていく方が良くと思うので職場等の環境を整えるように働きかけてほしい。子供が病気で仕事も休む事ができないのは何の為に働いているのか分からなくなる。
子供を育てると同時に自分達も成長していると思っている。しかし、周りの助けがないと難しい時もある。公共機関に相談してあらぬ誤解をうむ事があるのではと思い相談しづらい。ただ愚痴を言いたいただけかもしれない時もある。相談でなく、雑談で愚痴が言い合えるスペースがあると嬉しいかもしれない。
娘が幼稚園の時から学年役員をしていたので、その横の繋がりで大分報を得る事が出来ました。しかし、役員をする方々は

<p>ほぼ毎年同じ顔ぶれだったのが残念。どうか、父兄皆が順番でもいいから参加出来る形があれば、市のサービスの情報やら、色々とネットワークも出来たのと思う。</p>
<p>民間企業（中小）にもっと働きかけて欲しい。</p>
<p>土曜日も学校にして、早く帰宅出来るようになって欲しい。1年生から、週5校時は無理がある。6校時は高校生でも週1～2回で良いのでは？中学生から6校時は早い。今の子は、（自分の子を含め）5分前行動が出来なくギリギリで動き過ぎ。我如古サンエーから、琉球大学向けに行くと歩道がない場所があつてとても危険で心配。歩道を作って欲しい。</p>
<p>我如古2丁目ですが、近くに公園がない。</p>
<p>夜間、中学生等の深夜徘徊に対しての警察等のパトロール強化、アパート駐車場、小学校内、公園等のたむろなど。</p>
<p>宇地泊地区は、信号機の未設置の場所が多く、子供1人で登下校させるのは危険である。早く設置して欲しい。</p>
<p>3学期制になるがコロコロと、学期制度が変わるのは問題が多いと思う。特に秋休みは、本土の秋を体験できるいい機会であっただけに残念である</p>
<p>街に緑が少ない様に思う。</p>
<p>学校も教育レベルを上げようと一生懸命なのは分かりますが、家庭学習も親は、見る余裕が無い家庭も多いのではないのでしょうか？</p>
<p>通学路において、違法駐車が多い為通学に不安があります。安全な通学路の確保をお願いします。</p>
<p>小学校低学年は20～25名位の人数が好ましいと思う。学校の敷地内に学童や宅老所、自治会があるが利用しやすいと思う。</p>
<p>子供が安全に徒歩で登下校出来る様、歩道の整備を行って欲しい。</p>
<p>本当の意味での子育てを、親が自己も含めてきておらず、祖父や祖母の存在が大事なことを身にしみ実感しております。このような時世、親も学べるイベントやセミナーを年長者（おじいちゃん・おばあちゃん）と接する機会を催して頂ければと思います。今の子供が加減を知らないこの先どうします？</p>
<p>小学3年生位からは、児童間での学力の差が大きくなってきている。中学受験を視野に入れ勉強に取り組んでいる児童にとっては、質が低く無駄に量の多い宿題等は邪魔以外の何者でもない。個々の学力や進学希望等に配慮されたい。</p>
<p>交通量が多く、登園、登校時がかなり危険。</p>
<p>子供が遊べる公園が近くに無いのでもう少し広く増やしてほしい（志真志）車での移動になってしまう。</p>
<p>公務員宿舎内の公園で、地域の子供達が遊んでいた「遊ぶな」と言われた。近くに公園がないので、公園で遊ぶ時は、子供達は歩いて15分～20分かかる所まで行かないといけない。</p>
<p>長田小校区内に団地がないので母子家庭なので家賃を支払うのが大変。</p>
<p>学校給食の地産地消の考えは素晴らしいと思いますが、実際学校給食を残す子供が多いと学校から聞いています。試食もさせて頂き、大人が食べる分には美味しく頂けますが、野菜が嫌いな子供達への工夫が少し欠けている様に思われます。「保育園は楽しかった給食の時間が小学校になってからは苦痛」という子供の言葉に「何を持っての給食か」と疑問を感じます。頑張ってお下さっている給食センターの努力も分かりますが今一度見直して頂けたら幸いです。</p>
<p>放課後子供教室とはなんですか？学校内で、放課後に自主学習等ができる内容であればぜひ利用したい。ぜひ行って欲しい。学童や塾（学習）などが、生徒の使用していない教室を利用して出来ればと思います。</p>
<p>子供は自然の中で、大人や地域に見守られて育てて欲しい。人とのコミュニケーションや思いやりも、遊んでいる時に経験すると思うので。公園も一応ありますが、小学生のいる公園って憩の市民パーク位？（志真志小区域では）子供達はもっとボールやバトミントンやローラースケートをしたがっているけどいつも「遊ぶ場所がない」と言っています。私の子供の頃は、沖国の近くの空地で遊んでいましたが今は駐車場、車が多くなり学生の危険な運転も多くいつもヒヤヒヤです。子供が外で遊んでいないのは不自然です。自営業のそば教室や習字教室が遊び場になっていたりするので大切なコミュニティの場として補助金とかつけて、移動図書館を呼べるような広い場所にしていくとか良いかなーと思います。</p>
<p>志真志小の登下校の際に危ないな！と思う事が何度ありました。指定されている通学路は330号線なので交通量も多く、朝、急いで飛び出す車や実際に事故にあった子もいました。また交通量の少ない方の道は不審者も多く、どちらの道も安全とは言いがたいです。下の子も今年から小学校に入学するので、登下校の際の安全確保を強化して頂けると大変助かります。</p>
<p>米軍基地があるのに英語教育が遅れすぎだと思う。良い所は利用して、ボーイスカウトや学校の交流があったり、語学留学に力を入れてもらいたい。（成績優秀者は費用負担減とか）図書館や美術館、博物館もイベントを増やせば利用者も増えると思う。夏休みや冬休みの宿題で（賞をとったら飾られるとか、スタンプラリーとか、土日送迎バスとか）</p>
<p>低学年なのに5～6校時まであり、習い事があると宿題や友達と遊ぶ時間がないのが可哀そうです。昔みたいに週6日学校で水と土は4校時までにして友達と遊ぶ時間、家でゆっくりする時間があると良いと思います。沖縄は賃金が低すぎるので、共働きが当たり前で子育てに時間がとれないのが学力低下の原因だと思うので子育ての環境を整えると言うよりは母親が家にいて子育てを一番の仕事に出来る社会にしないとイケないと思います。共働きが当たり前の環境を整えるのではなく、母親が仕事をさせず、子育てに専念できる社会にする必要があると思います。</p>
<p>子供や、お年寄りが一緒に過ごせる場が身近にあるといいなと思います。学校から帰ってきて、子供達が安心して遊んだり、お年寄りの方々から色々な事を学べる場があるとお互いに、いきいきとして良いかと思ひます。小さなお子さんがいらっしゃる方でも、気軽に足を運んで過ごせる場が必要だと思ひます。お年寄り、親子で行事、イベントを自分達で企画し、実行出来るそういう場が欲しいです。</p>
<p>小学校の前に国道が通っており、子供だけで遊びに行く場合少し不安な時もあります。近くの児童館も古く、家からは少し離れているので児童館や広場のある公園がもっとあればと思います。近所でも、駐車場（アパートなどの）でサッカー等をしている子供をよく見ますが、車にぶついたり、事故にもつながりかねません。親のしつけ、注意にも問題はありますが、近所にグラウンドも少なく学校のグラウンドはサッカーや野球チームが使用しているので子供達も仕方なく駐車場で遊ぶのでは？と思ひます。</p>
<p>各学校、朝登園の時、帰宅の時、シルバーの方をお願いして見守りの協力願いをしたい。あいさつ出来ない子供が多いので。父母の方でやっているのですが、無視をする子供が多いのと、職場の協力が無い為、なかなか参加できない状況でもある。</p>
<p>今年4月から、3学期制に戻るとの事ですが、授業時間は変わらないのでしょうか？一律5校時と、土曜日午前中にする事は厳しいでしょうか。子供達に全然ゆとりがなくて、学校終わったら少し遊ぶ時間も必要だと思うのですが、現在6校時が多く帰宅して習い事や、クラブ子供達に全然ゆとり出来る時間がないように思ひます。</p>
<p>暗い道が多いので、外灯等増やして欲しい。</p>
<p>住宅地の道路がせまく、通学や送迎時、非常に危険だと感じています。道路を私有地のようにして植木等、置いてる住人が多い事、困ります。</p>
<p>教育レベルが低いです。教員の質が低いです。がんばりノートの必要性が理解できません。教育向上に力を入れて子どもた</p>

<p>ちの学習強化をして頂きたい。</p> <p>公共の場が少なく友達も自宅に入れて遊んだりしています。近くの公園は（長田公園）砂場の砂も少なかったり、スベリ台が石でできているので小さい子には向いてません。小さい子用の遊具があると助かります。所々に小さくても良いので清潔な公園があると子どもたちも外で元気に遊べると思います。運動場は部活の子ども達がいると入りづらいようで、行きたがりません（放課後です）</p> <p>小学校への送迎の車のマナーが悪い。</p> <p>中学生の部活、朝練は一律禁止にして欲しい。中学生の塾利用の時間もどうにかならないか、PM10:00 過ぎ、集団で歩く姿が見られる。</p> <p>公民館等で、お年寄りや学校帰りの子らが集い、年齢の違う世代の交流があったらいいと思います。週1のディサービスとは別にです。</p> <p>教育環境については、学校、保護者、地域が協力して行う事が大事だと思う。子ども達に与える情報は正しい事、公平な事、色んな意見や考え方がある事を教えて欲しい。低学年の児童がもう少し早めに帰宅出来る様な時間を検討して頂きたい。</p> <p>例えば、学校の教室を利用して保護者がお手伝いする形でも何かもっと沢山の子供達が、学校以外に学べる場所が欲しいです。</p> <p>今、携帯電話が普及しているが、学校には持たせられないのに、公衆電話が少なすぎる。親子で連絡が取り合えるように設置場所を再検討して欲しい。特に学校周辺(小学校、中学校全然ない)。</p> <p>大形店が続々と作られ活性化しているが、その分交通量も多くなる為、歩道の確保や大山シティ前等の横断歩道の設置が必要。</p> <p>伊佐区に住んでいて感じる事は、大山や真志喜等に比べ子供が遊べる公園が無いという事です。例えば、夏休み等は真志喜の「カメ公園」まで車で行き遊ばせる事もしました。子供達も多く楽しんでいました。伊佐区は、小学校も遠く、中学校は更に遠くなり、子供達が安全に楽しく遊べる公園も無く、子供達が小学校位までは、子育て環境としては良くない地域だと思います。学校が遠い分、せめて公園等は整備して欲しいです。北谷町の様な、バスケットコートがあったり等。子育てして約20年の中で一番感じた事です。</p> <p>公園の道具、修理に時間がかかり過ぎ、いつまで経っても遊べない状態が続いていたのもっと早く対応して欲しい。</p> <p>通学路の横断歩道の白線が消えかかっている所が多く、車も信号無視するなど荒い運転をする方もいるので1人で歩かせるのが怖い。</p> <p>公園内にゴミが多すぎる。</p> <p>以前のように集団登校を実施して欲しい。</p> <p>児童センターや、放課後児童クラブなどを養老施設の敷地内に作ってシルバーの方々達とのふれあう機会を増やす。</p> <p>はにんす前の道に横断歩道を設置して欲しい。</p> <p>沖繩は学力コンプレックスが強く、子供が伸び伸び出来ない傾向にあると思う。質より量のがんばりノート見直しの記事があったが未だに改善は見られない。学力No.1の秋田では勉強より自然の中で遊ぶ事に重注をおいているらしいし、私も宿題をやるより家事をさせたいしその方が知恵もつくし生活力にも繋がると思う。学校に毎日通っているだけで充分子供は頑張っていると思う。家では、家族とのコミュニケーションを大切にすべき。島の特性上、学力低下位は仕方ないと思う。効果のないやり方、大人社会の下らないプライドで子供を窮屈にしないで本当に子供の未来を思って教育して行きたい。</p> <p>スクールゾーンの時間制限を守らず、子供達が危ないのでどうかして欲しい。</p> <p>外灯等の設置、電灯の交換をしっかりとって欲しい。また、登下校の時に路上駐車が多いので、車にぶつかりそうになった子が居るのでどうかして欲しい。(徒歩での登下校をさせたくても出来ない)</p> <p>公園内で中学生などの子供がたまり場になっているので見回りして欲しい。</p> <p>宜野湾市は、若いお母さんでシングルマザーが多いのではないのでしょうか？子育てはお金がかかるという事を知らないで産んでしまう事が無いようみんな望まれて生まれてくるよう、性教育に力を注いで欲しいです。どの子も皆、父親と母親の愛情あふれる環境で育てて欲しいです。中学校で行っている性教育を小学校高学年で行う(中学生になったら具体的にお金のお話もしながら)本当は、家庭で教えるべき事かもしれませんが親も教える事が出来ない状況が多いのではないかと思います。是非、性教育に力を入れるよう検討よろしくお願いします。</p> <p>母親が子育てのストレスをためないように、リフレッシュ出来る所(子供を預けて)があれば嬉しいです。</p> <p>子育てをして思うのは、近くに実家がある人はそこへ預けて外出する事が出来るのですが、夫婦共に実家が近くに無い場合、悩みがあっても相談出来る人が居なければ、外出すら出来ず1人で(又は夫婦で)抱え込む事が多いと思うのです。色々な支援制度、施設はあるものそこへ向くには結構の行動力を要します。それならば、あまり気持ち的に「行かなければ」という気合(言葉的に合っているのか分かりませんが)を必要とせず、気楽に行ける交流の場があって欲しいと思うのです。例えば、子供用品やおもちゃ、服などは使用期間も短く捨ててしまうのはもったいない物が多いので、市の方でリサイクル出来る施設みたいなのを作ってもらい(母親達が譲りたいものを持ち寄り、必要な物と変える様な)そうする事で母親が外へ出る機会も増え、そこで出会う子育て中の仲間と情報交換、相談が出来てリフレッシュして育児に頑張る事が出来るのかなとすみません、あまりにも漠然とした意見ですが孤立する母親が居なくなるといいなと思う思いで書いてみました。</p> <p>親以外にも学校の先生では、目の届かない子供達の悩みや助けをサポートしてくれる人材を学校に多く派遣して欲しいです。</p> <p>部活動に入ってから、練習時間が長い事や土日でも当たり前のように試合や練習があって、宿題に影響が出たり、家族で過ごす時間が減りました。もちろん睡眠時間も。最近そういう問題も新聞で取り上げられてて、実感しています。市が部活を運営する責任者に対して取り決め事項を提供して徹底させて欲しいなと思います。</p> <p>負担を少なくして、子育てを両立させたい。働く事は苦ではないので、外で働きたい気持ちはある。小さい子供を育てているお母さん達が一緒に働ける場所があると、楽しい気持ちが出てくると思う。</p> <p>行政上の機関としての支援制度も必要と思いますが子供にとっては保護者が見るのが一番だと思います。それには、職場等、勤務先でそれを支援出来る制度意識づくりも進める事が重要だと思う。</p> <p>大山小に通う子供達の為に歩道を作ってください。</p> <p>駐車場が整備されている公園をもっと増やして欲しいです。また、公園の遊具の工夫をして頂きたいです(マンネリ化していて、子供達が飽きています)。</p> <p>小学校、中学校は、閉鎖的に感じられる。学力、学校の状況、進学状況、部活動の状況など、もっと情報開示してもいいのではないかと？那覇市のように、隣校へ行けるようにしてはどうか？</p> <p>公園を増やして欲しい。(ボールを使って遊べたり、マラソンしたりと運動の出来る様な場所があったらいいなと思います。</p> <p>交通、犯罪面で子どもの安全対策をしっかりとって欲しい。</p>
---

近くに大きな公園が欲しい。
公営住宅には、入れない人も多いので多子世帯に対して家賃とか安くなると良いと思う。アパート代が一番生活にひびく、狭い所で我慢もつらい。
普天間公園へ遊びに行くようですが、酒を飲んでいる大人もいたりして子供達だけで行くのに不安を感じる。
遊ぶ場所が限られている為アパート、駐車場等で遊んでしまう事もある。平日安心して子供達が遊べる場所を望みます。
緑があって、遊歩道があり、のんびり歩ける広い公園が欲しいです。
学校の先生と子供とのトラブルを相殺、解決出来る第三者(効力ある)をもっと身近に置いて欲しい。問題のある先生が増えている気がします。子供同士やイジメはもちろんの事ですが、先生の問題行動改善する方法を考えて欲しいです。
人通りの少ない、危ない所(死角)を減らし、隠しカメラを設置したり色々工夫して無くすと安心な子育て環境が出来ると思いました。
登校拒否している子供達を専門にしている学校をもっと増やして欲しいです。
もし出来れば、各学校に子供達のカウンセラー1人か2人居れば良いなと思いました。
公園を増やして欲しい。
学校に常勤のスクールカウンセラーを置いて、生徒だけでなく先生や父母の相談にもものって頂きたい。
路上駐車と、不審者の取り締まりを強化して下さい。
過去に、子供が体調を崩し看病をする為に仕事を何度か休んだら遠回りでクビ宣告を受ける様な形となり結局、辞める事に(だからと言って、サポートセンターとか何らかの支援を受けるとそれぞれ、金銭的にキツイから利用出来なかった)子供を理由になかなか、仕事が見つからない(面接すら受けてくれない)時などもあったので、その様な面、何とか支援があると助かります)働かないと生活も苦しくなる一方だし。
現在妊娠中なのですが、学校の中もベビーカーが使えずびっくりしました。タイヤ等、拭いたりして対応してくれば良いなと感じました。
登校時だけでなく、下校時にも交通安全指導者(旗のおじさん)を信号や横断歩道に設置して欲しい。自動車の乗り方を徹底指導して欲しい。学校での呼びかけはもちろん地域ぐるみでの講演会などを通してもっと子供に声かけて欲しい。
公園を増やして欲しい。遊び場が全然ないと思う。
公民館に遊具を設置して、毎日子供が通えるようにすれば、自然とそこに人が集まり公民館に足を運ぶ機会も増えると思う。
図書館も併設できたらいいなあ、地域の高齢の方々に講師に放課後教室を実施して欲しい。
県内の中小企業において働きかけを行ったとしても、とても改善されると思わない。行政が具体的に企業に対してどのような働きかけをするのかを問う。
土日に利用出来る施設を作って欲しい。
上原の十字路道あぶない、歩行者分離式にして欲しい。
このアンケートはどちらかと言うと小学校までという内容ですが、中学校になってからでも気軽に利用出来る場所(居場所)を作ってあげて欲しいと思います。思春期だからこそ孤独になる可能性が高いたらうし、親との関係を難しくなると思うので、例えばボランティアで大学生が勉強を教えるサービスがあるなど、そういう場があると塾に通う事が出来ない子供でも助かるのではないのでしょうか?最近、那覇市のどこかで寺子屋のような自由に誰でも出入り出来るコミュニティーの家見たいなのを新聞で見ました。素敵ですよ、是非、宜野湾市も何か新しい事をスタートさせて欲しいです。
放課後にクラブ活動をしている子供は多いが、指導者や備品が充実していない。市として、補助金や指導者の派遣等の援助が早急に必要と思われる。
那覇市と、JAZZ協会が協力して、月1~2回各小、中学校に楽器の指導を行っている。(その他、うるま市や南城市、沖縄市で同様)
学校給食がまずいので、食育の為上手な調理師を望む。又、行政側も試食し体感して欲しい。
問25でも書いたが教育の為、コンサートや、劇、展示会(映画等)無料で鑑賞出来れば、文科系の向上になる。プラネタリウムは現代の子供達、特に基地のある宜野湾では夜空を見ても天の川や、等級の低い星が見えないので可哀そうに思うので必要に思う。
公園に道具が少ないと思います。自然の森の中を歩く小道の様なお金を使わなくても子供がわくわくと自然と接しながら遊べる公園が欲しいと思います。
子供達が、一番過ごしやすい環境を作って欲しい。区域よっての学校ではなく、子供や親にとって一番良い区域(学校)を選べるようにして欲しい。大阪のように。学校も選ばせて欲しい。
安心して遊べる公園が少ない気がします。タバコの吸い殻や、ゴミ、不審者が気になります。
危険な場所(暗い歩道、歩道のない車の多い道)路上駐車が多く、運転中にも危険を感じる(子供の飛び出し等)
教育の地域参加、社会参加の機会を増やす。教育機関と保護者の間に立つ専門員の方の充実。
仕事をしていると地域の中に入りづらく、親が地域活動へなかなか参加できずに居ると、子供も疎遠になってしまっている様な気がする。
中学生や高校生の深夜徘徊の指導日数を増やして欲しい。週に3日程あれば、深夜徘徊も少なくなると思う。特に、部活をしていない中学生の集う場所(公民館や児童館、学校)を8時頃まで解放して、勉強やスポーツを指導して欲しい。
通学路の交通量が多く事故が多い、保護者だけでなくボランティアで交通安全を呼び掛けるなど対策を検討してもらいたい。
不審者情報がよくメールで届くので安心ではあるが、朝の登校時間や下校時間などである為、集団登校等を検討してもらえないか?朝、時間を守り、皆で交通安全を行うように指導や歩く事も出来ると思う。
小さな公園はあるが暗くて、遊具が少なく不審者情報があると、子供達だけでは遊べない。子供が自分で考えて、歩いて安全安心に遊べる環境が少ない(学校や保護者が居ないと遊べない)
子連れでも安心して出かけやすく遊べる場所を増やして欲しい!公園など数ヶ所ありますが、ゴミが沢山でゴミ箱を設置してない所もあり、トイレもきたなく不衛生で使えません。たまに、近くの公園に遊びに連れて行っても、中学生がたむろったり、不審者がうろうろして子供達が怖がったり。花にも沢山の蜂が集まって安心して遊べない!宜野湾市で安心して遊べる場所を増やして頂けたら嬉しいです。宜しくお願いします。
公園などもっと増やして、スポーツなど例えば、野球や出来る所、プールがある所、体を動かす施設をもっと増やして欲しい。
気になるのは、子供が安心して安全に歩ける道が少ないことです。
小学校の先生も熱心で、ネイティブの英語の先生もいらっしやるので満足しています。

大山小学校に、通園バスが利用出来たら良いと思う。
学校は、土曜日も昔の様に午前中あった方がいい。土曜日はパートタイム先で遅れている所を教えてくれるなどしたら学力も向上すると思う。
土曜日午前中の授業の間働いても、労働基準も週40、8時間にひっかからないと思うし、多くの人が仕事を持てると思う。子供が居たら働く場が少ない、仕事を見つける事が難しい。
学校の先生と、子供とのトラブルを相談しやすくして解決をうながす第三者を（効力のある）もっと身近に置いて欲しい。先生（問題のある）が増えている気がする。子供同士のケンカや、イジメはもちろんの事。先生の問題行動を改善する方法を考えて欲しい。
地域ごとに公民館などで英会話教室を増やして欲しい。
もっと、図書館（勉強も出来る）を増やして欲しい。

## 2. 子育て支援の充実

計81件

児童センターではそういった場合お弁当持参だったりするので毎日お弁当となると大変なのでせめて週一回程にし、ケータリングを利用する等、預ける側にも預かる側にも負担にならないような環境を整えていただけると利用者は多いと思います。
夏休み、冬休み等長期休暇期間中のみ受け入れてくれる学童保育クラブをもっと増やしてほしい。仕事の為、お休みにどこにも連れて行ってあげられない事や祖父母にばかり頼ると負担になるので。
児童センターが遠いのでミニ児童館を利用、毎週あると嬉しい。できれば児童センターの数が増えて放課後を充実させてほしい。
児童センターのクラブ活動は定員がいっぱい、申し込みも平日等、利用したかったが仕事もして申し込みできない等、利用できなかった。又、児童センターで学童がある所とない所はなぜ？同じ市内なのにサービス内容に違いが大きいと思っていた。
知り合いに身体的な障害をもった子供さんがいるが身内に預ける所がないと話していたので宜野湾市内でも体の不自由なお子を見てもらえる所のサポート等を作ってあげたらいいのだと思いました。
一年か二年に一度でいいので、ADHDやアスペルガーのテストを行ってほしい。地域や、先生達にもケアの仕方や接し方などの勉強の場をもっと設けてほしい。
保育所の待機児童の問題や、保育料、医療費の負担軽減、放課後学童保育についても費用援助など、働きながら子育てをする親への支援を希望します。又、母子（父子）家庭への子育て支援等で、子供達の健全な成長をサポートして頂きたいです。子供の事で色々相談できるような所があると助かります。
テレビで見たのですが、本島の学校では放課後、学校を学童の場として利用するというものがありました。ただ、遊ぶだけでなく、勉強や習い事が出来ると言うものでした。安心して、子供を預けられる場所があると助かります。
小学校、中～高学年になると授業時間が増え、習い事をする機会も増えるので毎日通う学童よりも週2～3回、又は長期休暇（夏休みなど）にだけ利用できる学童が必要と感じています。沖縄市には日割りで子供を預かってくれる学童や、夏休みにだけ子供も受け入れる学童がありますが宜野湾市にはありません（市役所におかれてある市内の学童チラシにのっている学童に問い合わせをしたがありませんでした）。そのため、週3～4回程度の利用であっても、週6日通っている子と同額を支払っています。金額的に負担を感じますが、夏休みにだけ預かってもらう事もできないため、夏休み中の子供の過ごし方が心配で学童をやめる事も決めかねます。学童側も運営上の都合で日割りなどが行えないのではないかと思いますので、よりよい学童保育を運営して頂けるように市からの助成を大きくして下さい。市の助成のもとで日割り、夏休みだけ受け入れができる学童を増設して下さい。
家族が遠い方など（子供が小さいとよく病気になる、外出できなくなる事が多いなど、夫の仕事が遅いなど）が子育てを楽しくできるように自宅への訪問、乳幼児期を中心にお手伝いしてくれるサービスがあれば孤独にならずいいと思います。
仕事をしている時は民間の学童を利用していました。転勤で、県外へ住んでいた時は保育料を支払えば無料で利用できる預かり保育みたいなものが学校にありました。例えば、学級懇談会に子供を一時預かりにして保護者は懇談会参加と、とても便利でした。校内にあれば、一緒に帰宅できるし同じ学校のお友達もいるので子供にとっても良かったです。近所の学校も全てでされました。宜野湾市でもこの様な施設が出来ればもっと子育てしやすい環境になると思います。
子供達はかわいく、もっと子育てに時間をとりたいが現実的にはお金をつくらないといけなないので仕事を優先することになる。定年後の祖母に預かってもらえるが、毎日仕事で、親孝行がいつ出来るかわからない。教育費も、先々もっと必要になるので不安ばかりで自分にゆとりがなく、疲れて帰っては子供達には早く寝なさい！と言ってしまふ。まあこんなの皆様同じだとは思いますが、元氣な子供達に感謝です。安心、安全に暮らせる社会が子供達に残せたら良いと思います。
学童保育（行政以外）の金額負担が大きいです。月1～2万、夏休み等は学童費で2万以上です。内地の小学校では、小学校内に学童教室を作り、平日は17時まで、夏休み、冬休み、春休み等も弁当を持参すればすべて無料で学童保育が受けられると色々な内地の方から伺います。学童専門の先生が在籍との事です。すべて無料とは言わずとも、同じ小学校内に金額的に負担の少ない学童が設置すれば親の負担も軽くなると思います。
子供も多く、その中に障害者（バギー使用）の子がいて広く入居（料金的）出来る場所も無く学校行事でどうしても障害者の子連れて行けない時、安心して預けられる所が無い為、迷っています。老人ホームは沢山、建設されているのですが、障害者（児童デイサービス）利用施設が欲しい。
児童センターが身近になく、子供達のみで遊ぶ事が多く、親が帰宅するまで留守番しています。もっと児童センターを増やしてほしい。
ほとんどの親が共稼ぎをしているので、何か国の処置や、援助があって欲しい。
はごろも小学校区へ放課後、学童保育を。
子育て講演会、セミナーを開催して欲しい。（テーマ：働きながらの子育て両立方法、子供達に自信を持たせる親の声掛け術、家庭で出来る休日の楽しい遊び、限られた時間でのコミュニケーション等）
通っている小学校の近くにも児童館をつかってほしい（愛知や我如古は遠く、子供達だけでは心配で行けない）。子供が安心する場所を増やして欲しい。
普天間小学校の近くに、放課後児童クラブがあってもいいと思います。宜野湾市でないのは、普天間小学校だけだと思いません。他の父母も同じような事を言っていました。もっと、市役所も子育て中の母親の大変さや、地域の人々の意見も聞いてほしいです。委託の職員だけ、動かすのではなく、役職以上の方も市民と一体化して、動いてほしいです。宜しくお願いします。
現在、仕事にいられず困っている時のアンケートで驚きました。子供は小3、学童を探すと「途中入所は無理」「一年生からしか預からない」「三年生までしか預からない」「長期休暇時だけは、他の子が不安になるからダメ」と全て断られました。それなら学校入学前に知っておきたかったし対処出来たのに。児童センターの部活も、一年生からの持ち上がりなので誰も入れない、学童も高学年はダメと職員の方から言われました。今、問題があるのは高学年ではないでしょうか？留守番をさせている子供の家がたまり場となり勉強をしない、タバコや性的欲求を満たすことに走って。皆が部活やおけいこ事に通える家庭環境にあるわけではないのだから、本当に子供に必要な場所を用意して欲しいです。
学童保育に通わせていますが、屋内でしか遊べずとても狭く感じます。屋外で思いっきり遊べる環境があると子供達もより有意義な時間が過ごせるだろうと思いますが、土地もないので難しいですね。学童クラブを運営する方々へのサポートを市は行っているのでしょうか？働きながら子育てをしていく中で、学童クラブの存在は大変ありがたいです。学校のすぐ側にあるので安全でもあります。他のサポートセンターもあるかと思いますが、その施設に行くには、子供自身で行かなくちゃいけないので親としても不安があります。放課後、家で子供達だけで過ごさせるのは（女の子なので）あまりさせたくありません。その為、できるだけ学校の近くに児童センターや、放課後教室があると大変ありがたいと思います。
外国人との結婚で、引越したなども多く、子供も一人っ子なのでいつも近くに、身内がいる状況がなく学校、放課後の過ごし方も大人遊びになってしまいがちで、かと言って親自身も年をとるにつれて、友達なんかも作りにくくなってしまい、孤立した家庭になってしまっている様で毎日、淋しい気持ちが心のどこかにあるので、こんな気持ちを共有できる所があれば

知りたいです。
児童センターはすごく助かります。どの地域にあってもいいと思います。
普小区の子供達が放課後、安心して遊べる、又は活動できる児童館（センター）の建設をお願いします。近くに児童センターが無く、多くの子供達が民家の駐車場や道路のわきで遊んでいて危険でとてもかわいそうに思います。児童センターを往復する送迎バスがあってもいいかと思ひます。夏休み中だけでも御検討をお願いします。
夏休み、冬休み等長期休暇のみ受け入れてくれる学童クラブがあればすごく助かります。又、毎日お弁当持参だと大変なのでケータリングを利用する等、預ける側にも、預かる側にも負担にならない環境をつくって頂ければ利用する方は多いと思ひます。祖父母に毎日預けるのが可能であってもお友達と過ごさせたり、親が仕事で何処にも連れて行ってあげられない時に学童で出かけてもらえると子供にとって嬉しいと思ひます。
学童保育は、平日よりもむしろ、祝日や休日、夏休みの方が私にとっては必要です（職業がサービス業の為）。特に夏休みだけの募集とかあれば助かります。
学校近く又は、学校内に学童を設置して欲しい。（那覇市の天久小のように）
理想と現実の温度差がありすぎて、どういった支援が子供や働く人親にとっていいものなのか悩ましいです。
学童の日割り料金制度があればとても利用しやすい。学童や教育面（塾）などに通わせたくてフルタイムで働いたのに給料が上がった為税金の支払う金額が逆に増えてしまい生活が逆に厳しくなった。何の為に働いているのか、税金を支払う為に働いているようで馬鹿らしくなっている。
近場に学童保育を作ってほしい（学校敷地内など）遠くにしかなく送迎もない。
親子で、ピクニック、登山、スポーツ等参加型のイベントを企画してほしい。
通っている小学校の近くに児童センターが欲しい。
兄弟、姉妹にしても同じ子供を育てた事があるわけではないから、常にこれで合ってるのか、もしかしてこれって何かの障害って思う事があるから気軽に相談出来る場がほしい。仕事をしてても活用できるような。乳児、幼児期にあるような半年に1回等の身体測定等の場合は非常に良かった。相談も出来たし。
子供に関するニーズ調査をする事は良いとおもいます。宜野湾市の児童をかかえる母親、父親が働きたくても子供の育児にどうしたらと考えるつ病になってしまう親が多いそうです。社会がそういう親達を助けられたいと思います。20年前位は、皆がそういう意識はなかったと思ひます。病気を抱えている子供や、頼れる人が居ない親になって子供の成長に障害があると思ひます。もっと子育てが周りに（頼れる場所）あるときっと安心すると思ひます。
子供が小さい（幼児）のうちは家庭保育の間に、息抜きが出来る場所（母親等が気軽に集まれる場所）がもう少し増えて欲しいと思ひていましたが小学校に上がると、お友達と遊びに行く事も多く、預けられる場所などは必要を感じなくなりました。
野球や、サッカーと出来る場所が限られていて気軽に行きづらい（遠い）せめて、嘉数近辺に児童館を作って欲しい。公民館の体育館、利用しているけど遊べる雰囲気ではないみたい。
嘉数小学校付近に児童センターを早めに検討して欲しいです。
子育てに関する窓口をひとつにした方が利用しやすい。保健センターなのか市役所なのかヶ所がわかりやすい。
〇〇児童センターを利用しているが、子供が1人で歩いて行ける距離に（長田に）児童センターがあったらと思う。（今は親が送り迎えしている）
学校区に一つの児童館を作ってほしいと思ひます。出来れば学校の近くが望ましいと思ひます。子どもたちも通いなれた道を歩くほうが安全です。
私のまわりには、母子家庭で子育てに迷いながら仕事や収入に安定のない母親が多い。子育てにはどうしても地域の関わり、地域教育が必要だと思ひます。しかし、彼女達は孤立しがち、自治会活動への参加は働きながらだと時間も、精神的にも困難であると感じている。学校、地域は家庭を置き去りにすると教育格差を生んでしまう。子供達の格差になる。子は宝である。（沖縄市に負けない位）「子育てするなら宜野湾」と言われるよう、文化面、地域緑化、交通安全で充実して欲しい。「子供と出かけた場所」を作って欲しい。若い親世代は空白の世界だ。収入格差に、情報格差に、教育格差、本気で議論、展開して欲しい。
各、小学校の近くに児童館を作って欲しい。現在、クラブ活動へ行くにも子どもだけで行ける距離ではないので車での送迎の為に子供が行きたい時に利用出来ない。
学校終了後、各小学校の敷地内で学童保育もあつたらとても助かります。民間の学童は保育料が高く経済的に負担が大きいのが現状です。
子ども自身が、安全、健全、健康、自由に行ける施設やサービス、道路の設備等が必要、大きな施設、広い面積の公園などの遊べる所が必要、子ども自身の居場所があり、安心して成長出来る場所はとても必要だと思ひます。どんな家庭の子でも、子どもが絶えずに成長出来る「子供の居場所」が利用しやすいサービスとして必要だと思ひます。
各小学校区域に一つ児童センターがあると良いと思ひます（おそらく現在、長田小地域にはないと思ひます）。低学年の頃よく利用させて頂きとても有りがたかったです。
産後、周りの手助けが得られにくい世帯（母子のみや県外から移住してきた家族など）を対象に一定期間宿泊しながら体を休め、育児アドバイス等を得られる施設があればと思ひます。産後のママは産んだ日から24時間休みなしで動かなければならないので、その負担を（家事、兄弟の育児など）軽くして、母子共に元気な状態で家に帰れるような施設があれば、育児ノイローゼとか、虐待なども減るのではないのでしょうか？各市町村に一つできるといいと思ひます。
放課後の時間を利用して習い事をさせたいが、月謝が高くいくつもさせるのは厳しい。なので児童センターのクラブ活動に参加させたいが、こちらは定員が少なすぎると思ひます。せつかく本人がやりたいと意欲をしめしているのに、経済的な面で断念させている所があります。
予防接種等の集団接種場所や、学校などでもっと簡単に子育て支援等の情報が手元に入れるようなるといいと思ひます。
嘉数小学校の近くに児童センターを作って欲しい。大謝名や我如古の児童センターは子供が通うには遠すぎると思ひます。小学校、高学年は授業終了後の時間が遅く学童に入れるには、時間が短すぎる、費用も負担になっているが子供の安全を考えると仕方がないと思ひている。しかし、短時間でも児童センターに入れるのなら安心して預けられると思ひます。学校の負担（先生）も減ると思ひます。放課後、学校、家庭以外の場所作りを考えて欲しい。
0～5歳までの支援センターや保育園は充実しているのに、小学校からはサポートが少ない気がします。学童保育の多様化、放課後クラブの充実を希望します。
子育てについての講座等も、もっとオープンに開催して欲しいです。乳児の時にいくつか参加しましたが、人数も少なく私以外は顔見知りで気まずい思いをしました。参加が気軽に出来たらもっと積極的に参加したいです。
子どもが小学校低学年の時にイジメに近い経験をしました。子育ての環境として、もっと身近に、もっと気軽に子育てについて支援してくれる場所や、人材を増やしてもらいたいです。
別紙にて、たくさんの方の支援センターや、相談窓口がある事を知りましたが、知らなければ利用する機会もありませんし、又、

<p>そういう場所があっても気軽にいけない人も多いと思います。窓口も良いのですが、自宅に定期的に話を聞きに来てくれる方が居れば良いなと思いました。</p>
<p>児童センターの数を増やして下さい。目当ての児童センターに行きたくても真志喜に住んでいる為、遠くてなかなか利用できません(片道30分以上かかります)</p>
<p>発達支援の充実化をして欲しい。現状はたらい回し、改善をお願いします。</p>
<p>インターネットでも、子育ての相談が出来るといいと思う。パソコンは持ってなくても、携帯電話やスマートフォンを持っている人は多いのでそれに対応しているといいと思う。もっと身近に資格が取れると良いと思う。</p>
<p>放課後、子供にとって居場所が少ない。夏休み、冬休み、春休み、共働きの家庭は本当に困っている。両親に預ける事が両親共健康面での不安を抱えているので今後は心配です。</p>
<p>私は、双子を出産した後にすごく、つらい思いをしました。買い物にも行けない。病院にも一人で行けないすごく大変な思いをした。外出も出来ないで退院すると時とかにでも、そちらから、声をかけてくれるなど、訪問などしてくれたらいいと思います。どんなでしょう？</p>
<p>児童センターはあまり子供の事を注意して見てないようです。本来なら是非児童センターの充実をと言いたい所ですが、そういう状況ではないので私立の学童へ預けている状態です。両親共に、共働きの者には選択の余地はない様ですな残念です。</p>
<p>母子家庭、父子家庭、共働きで協力(子育て)してくれる身内が居ない人達に学校～家までの送迎をしてくれる所(安い料金で)があればいいなと思います。</p>
<p>私には、3人の子供がいます。9才、7才、4才です。乳児の頃は保健相談センターの事業(コアラ、ひよこ、双葉、助産師の訪問)を利用させて頂きました。子育て中の困った事があった時には、役所の方に色々相談ののってもらい助けて頂きました。現在は子育てと仕事を両立する為に毎日忙しくしておりますが、両立出来るのも市立保育園の保育士の先生方、学童クラブの先生のお陰だと感謝しております。保育料(延長保育、学童)の納付書がコンビニ対応になった事は平日仕事で金融機関に行けないので助かっています。</p>
<p>これからも市民の声を聞きながら子育てに関する施策を進めて下さい。</p>
<p>児童センターが少なく親の送り迎えが必要(宜野湾市で5ヶ所しかないのは少なすぎる)遠いから車での移動、事故が増えるので児童センターを増やして欲しい。</p>
<p>子供達が遊ぶ場所が少ない。</p>
<p>嘉数小学校区域にも児童センターを作って欲しいです。</p>
<p>長田小校区内から以前、児童センターのクラブへ通っていました。しかし子供が通う距離にしては遠すぎて、結局、途中で断念してしまいました。せっかく興味があったのに、児童センターの設置を長田小区内に希望します。</p>
<p>娘が小さい頃、児童センターでお世話になりました。ありがとうございます。</p>
<p>長田、志真志地区にも児童館があると嬉しい。</p>
<p>子供が小6なので今は、子育て支援をさほど必要としないが低学年の子や乳児には支援が必要と思う。子育てにやさしい地域体制を整えて欲しい。</p>
<p>行政がもっと広い視野と見識を持って教育、育児を支援して欲しい。</p>
<p>夏休み等で山原に行かなくても、身近でキャンプや星が見える場所の情報やおもしろい事の紹介があれば良いと思います。障害児や者に対する理解を深めて欲しい(障害の特性や対応を教育者にも学んで欲しい)。障害的な(不登校、障害等)相談支援事業所を作って欲しい。</p>
<p>子供達が安全で楽しく過ごせる児童センターが嘉数小の近くにないので、あったらいいなと思います。</p>
<p>真栄原区に児童センターが欲しかった。(小学校までは親の仕事している時間帯に放課後の子供の居場所として児童センターが毎日利用できたら安心できる)</p>
<p>学童クラブに預けたいが、時間が無いのか手軽に準備出来る食事やおやつを用意している感じを受けました。おやつに、チョコレートやポテトチップは必要無いと感じています。市内に安心して預けられる場所が出来たら預けたいと常に思っています。市全体で食育について関心を持ってくれたらと切に願っています。又、学童クラブによっては、ただ預かるだけで宿題はしたい子だけするという事を聞きました。市全体で学力を上げるなら、その辺を徹底して補助員さんにも手伝ってもらえたらと思います。もちろん、勉強は親のつとめですが、最後のチェックまるをつけるなど親はできるだけやってはいますが、預かってもらえるなら、勉強も少しはさせて欲しいと感じています。一部の学童保育の情報なのでがんばっている学童さんもあるかと思えます。</p>
<p>安心して子供を産み、育てられると思えないと、子供は増えないと思う。子育ての環境に恵まれている人は良いが、環境が変化し助けを必要とする人に手を差し伸べる支援が出来る体制作りをしてほしいと思います。助けてと声を上げる人、上げない人、すべての子供達が幸せな世の中になって欲しい。</p>
<p>児童センターをもっと増やして欲しいです。現状は、地区に1つの割合でセンターがあると思いますが、現在、自宅からも学校からも遠く、子供が1人で歩いて行けないので利用する機会が全くありません。子供が歩いて、気軽に行けるようにもっとセンターの数を増やして下さい。</p>
<p>子育てする上で、親の就労の有無に関係なく、色々なサービスを無料もしくは低料金で提供して欲しい。利用の際に必要な事を問う事はあっても就労の有無は関係ないと思う。そのサービス利用に対しては介護保険のケアマネ的な存在のアドバイザーがプラン的に管理したら良いと思う。「国」が子育てを支援すると言う事は、必要としている人に適正にサービスが行き渡るよう配慮する事だと思ふ。</p>
<p>色々な施設等を造るには、予算等が必要になってくると思いますが、児童センターを増やしその施設内に放課後児童クラブ(学童)を作る等、子供達の居場所を多く作って欲しいです。(8時開館、18時閉館など)子供には3つの間が必要です。宜しくお願いします。遊ぶ(時間、空間、仲間)の3間(サンマ)です！</p>

3. 保育サービスの充実

計 43 件

<p>子供を気軽に預けられる場所が欲しい。現在仕事はしていない（育休中）が一人で息抜きがしたい。祖父母（子から見て）に預けるのはとても気をつかい預けにくい。</p>
<p>家庭的保育、ぜひ利用したい。早めに設置して欲しいです。</p>
<p>仕事をしている頃、子供が急に熱を出し、どうしても仕事が終わらない時で、近くで預ける人がいなくてそんな時に急でも病児を預かってくれる場所が近くに欲しい。</p>
<p>身内を頼れるのも子供が元気で短時間、病気をした時に簡単に休めないし、みてもらう人がいないと働くことが厳しい。今年、仕事を探していて働くつもりでいるが子供が病気になった時の事が一番心配。</p>
<p>子供（4～7人）が沢山いる家族にも、働いてなくても預けられるようにして欲しい（認可保育園・幼稚園の延長保育等）。子供と家のことをみるだけでも大変である。</p>
<p>生活が困難で、働きたくても保育園にも入れない。仕事が決まってもすぐ入れるわけじゃなく辞退しなければならなかったり本当に困りました。</p>
<p>今は小さい子がいないので直接関係ありませんが、保育所の認可、不認可で子供たちの保育環境に大きな差が生じています。同じように税金を払っているのに十分なサービスを受けられない今の認可保育園の受け入れ状態に疑問。</p>
<p>母子家庭は優先的に保育園や幼稚園入所させてほしい。</p>
<p>夜間や休日など（小児対応する）救急病院がないので増やしてほしい。今までに「小児科の先生がいない」「対象外」など市外の病院を案内された。</p>
<p>どの保育施設も7時、7時30分～18時30分の利用時間となっており、現在、開園時間から閉園時間まで利用している状況。認可園こそ、就労している方の為の保育施設であるのであれば、7時30分から18時30分の利用時間は厳しいと思う。市内で就労している方だけではないので、認可園こそ早朝・夜間保育があるべきではないか。</p>
<p>認可園の指針や体制、保育環境はともにもいいが皆が「利用しやすい」「子育てしやすい」「子育てが楽しい」というには不十分だと感じる。認可保育園の申請をした時、以上の意見を申したら「子供の事も考えてください」と話された。本当に考えず親の都合だと思いませんか？仕事復帰をして子育てと両立を計ろうとしているところでのお話でした。10年以上前の話のことですが、この機会に書かせて頂きます。</p>
<p>仕事柄、外回りが多いですが、宜野湾市だけではないと思います。1人親や、県外から移住してきていらっしゃる方が増えてきていると感じました。そのような方で、お子様がいらっしゃるご家族もいるかと思えます。学生等がいらっしゃるご家族の親子様のご病気等して、子育てに支障がでないように何かしらのサポート出来る体制が整った環境があれば良いかと思えました。県外からのご家族、又は離島から来られている方も、お子さんをサポート出来ない状況になった場合、県外等からご家族を呼び寄せたりして大変だと思えました。場合によっては、お子様を転校させたりといった状況も出てくるし、負担がかかたりする事もあると思えます。ご家庭の状況で済ます事出来ると思えますが、地域で何かしらのサポート体制があれば安心して、このまちに住める、なにかがあってもと安心して頂けるのではないかと思います。</p>
<p>子供が小さい頃は、保育園の先生によくサポートしてもらいました。私はいい先生に見てもらう事が出来てよかったです。とても大変な仕事なので保育士さんの給料がもっと高くなるといいと思います。子供の人格形成の時期に預けているのでやはり、いい教育や対応をしてもらいのもっと、先生方の学ぶ機会を増やしてしっかり子供と向き合える先生や、やる気のある先生を増やして欲しいです。男の先生も数人いましたが、なかなか（給料や腰痛が体調不良で）続かないので、もっと地位を確立してずっと続けて経験豊富な先生方が増えるといいと思います。学校の先生も同様です。</p>
<p>病気の時、本当は子供のそばについてあげたい、でも仕事をずっとは休めないという親はともも多いと思います。なので無理して保育園に預けられる子も。病児、病後児のデイケア施設がもっとあると助かります。病院のデイケアには、小学生になる頃にはとても助けて頂きました。行く事も嫌がらなかったで、すごく丁寧に対応してもらっていたのだと感じています。いろんな病気の子がいるから心配するという人もいますが、それでも預けなくてはという人も多いようです。なので、維持、拡大してほしいと思います。</p>
<p>教育、保育に特色もある私立の保育園、幼稚園を増やして欲しい。</p>
<p>放課後、学童等かなり高額で利用したくても利用できないし、土曜日に仕事が入った時預かってくれる場所があったら助かります。子育てするには、仕事して夫婦共に稼がないと生活できないのが現状でもっと子供達が安全に過ごせる場が欲しいです。安心して仕事ができるようにして欲しいです。子供達だけ留守番させたり、野放しにするのはすごく心配です。児童館を増やすとか、子育て支援に力を入れてほしいです。</p>
<p>小児デイケア対応の病院を増やして欲しい。又、かかりつけ医以外の病院への診察になるので困る事も多い。二重で病院へ行くことになり二重に診察代金も掛かり費用負担がキツイ。一回あたりのデイケア代金も高いので、預けたいが、金銭面の負担が苦しい。（例）¥2,500×5日＝12,500 プラス診療代なのでデイケア開始（預かる時間）が遅い為、もう少し早い時間からの受け入れをして欲しい。</p>
<p>後は、保育所をもっと増やして欲しい。仕事したくても、しなければいけない状況でも入る事ができず仕事も出来ない。</p>
<p>県外出身で、身近に子供を預ける人が居ない。出来れば友人より、資格を持ったプロの方へお願いする気が楽です。</p>
<p>不正入園が目立つ事（保育所）以前、認可外保育園へ子供2人を預けて働いていたが、認可保育園に入る事は出来ずにいた事。保育所への審査は何を基準にされてるのでしょうか？</p>
<p>育児休業中に認可保育園の申し込みを受理して欲しい。育児休業中に子供を預かってくれる所を決め、慣らし保育を終わらせてから安心して復職したい。しかし、今は復職した事が確認されてからやっと受付が受理される。復職してから認可園が決まるまでの間、どこに預ければ良いですか？</p>
<p>保育園に預けないと働けない。働かないと保育園に入れない矛盾がありますよね？子供が体調を崩すと預かってくれる人がいないので面接でそれを話すと雇ってもらえません。かと言って公共の預ける場所はお金がかかるし、知らない人に子供を急に預けるとするのは親として不安すぎて私にはできません。</p>
<p>兄弟の保育園が別々で、さらに小学生は学童と子供のお迎え3ヶ所、宜野湾市内とは言え、毎月1時間近くかかっている。保育園の質を気にする保護者も多いとは思うができるだけ兄弟で同じところに出来れば、行事等も含めて親の負担は減ると思う。特に沖縄は兄弟が多い地域でもあるし、もっと考慮されて良いと思う。（以前は兄弟一緒に出来ていたという話も聞いた）</p>
<p>宜野湾市の保育所（公立、認可）は入園が大変、難しいので増やして欲しい。</p>
<p>共働きしている所は子供を預けないと働く事が出来ない。</p>
<p>子を保育園に預けて職を探す事が優先順位だと思う。現在働く親前提の保育園申し込みとなると、まず認可外保育園に預け</p>

<p>て待機状態として、受かれば認可へ行く形を取らざるをえない。認可園に受かったが、近くの保育園に入れず結局、大謝名までわざわざ保育園に通園しているが遠く 30 分前後かかる上、小学校も別区域の為、友人関係を続けられない。もっと配慮して欲しい。</p>
<p>就労していた頃、子供が(2人)が生後6ヶ月～4才頃まで病院のデイケアを利用していました。身内に預かってもらえない時、病院が長引いた時に料金は負担でしたが本当に助かりました。デイケア施設が増えて料金が軽減してもらいたかったです。</p>
<p>待機児童をなくして欲しい。</p>
<p>子供が小さい時、市内の認可保育園に預けていましたが、年度末の3月25日以降の時期に園がお休みにになり預け先にとても困りました。共働きだから、保育園に預けているのに通常へ会社員が仕事の日(特に年度末休めませんよ!)に園がお休みになるなんてありえません!一般的な会社員が仕事の日には保育園も開けるようにして下さい。</p>
<p>保育園に入れず認可外に入った。兄弟が別になり、保育料も減額にはなれなかった。私立幼稚園に入ったが、私立幼稚園の保育料減額の対象にもなれなかった。</p>
<p>仕事復帰したいが、認可保育園に入れない事が予想出来るので諦めている。育休中に、兄弟の保育園を切られるのも残念である。子育てに関する環境は良いと思うが、保育園に関する不満、不公平感が強い働く母親にとって厳しい環境であると感じている。</p>
<p>家族が病気だったり、母親が病気の時、一時的に子供を預かってくれる制度や支援があればいいです。(無料で)</p>
<p>認可保育園について、祖父母同居(昼間保育可能)でも父、母が仕事をしていれば預かってもらえるようにして欲しい。</p>
<p>宜野湾市は、待機児童が多いのは分かりますが、対策が全然されていない様に感じます。子育て、仕事できません。宜野湾市はもっと保育課を強化すべきです。</p>
<p>子供が小さい時、そういう保育園が無かったので苦労した。(パートの仕事)</p>
<p>休日(祝日)にでも預かってもらえる保育所があっても良いと思います。</p>
<p>認可園も兄弟を同じ園で預かって欲しかった。基地が中心にあるのに、上の子は嘉数方面、下の子は大山と言われ送迎が無理なので辞退した事がある。</p>
<p>今はお陰様で、娘中学3年生と、息子小学6年生になりました。ここまで来るのに、小さな頃、保育所に入所出来た事にとでも助かりました。ありがとうございました。</p>
<p>子供医療費助成金、通院の場合の受給資格期間の引上げを行う等、宜野湾市は育児環境の充実に向けて努力している点は評価できる。しかし、認可保育園を希望してもなかなか入れない、児童センターが学校の近くにない為、なかなか利用出来ないと言った現状もある。現在、共働きに家庭が増えている中で子供達を安心して預ける事の出来る施設の充実についても力を入れて欲しいと思います。</p>
<p>宜野湾市は、年々認可保育園も増えているので、力を入れてくれていると感じます。</p>
<p>所得が低く、子だくさんの沖縄ではある程度、子供が大きくなると母親は働きに出ます。そんな時に、小さい子を公立の保育所に預けたいのですが働かないと預けられないという決まりと、仕事を探す時には、子供の保育所が決まっていなくて仕事に就けないという、どうにもならない状況になる事があります(大多数の母親はそうだと思います)子供達は国の宝のはずなのに、公立の安い保育園に入れない子が認可外の高い保育園に入らなければならないというのは、同じ子供なのにおかしいと思う。それならばもっと公立の保育園や認可保育園を増やし、先生方の人数も増やして子供にも、親にも住みやすい地域作りをする必要があると思う。外で遊ばせる事は大事だと思いますが危険だと言う事で、家にこもりっぱなしになってしまうので、もっと増やして欲しいです。</p>
<p>就園前の小さな子どもと一緒に遊べる場が欲しいです。保育園で開放している所はありますが、誰でもという気軽感があまりなく常連さん以外は入りにくいのが正直な感想です。もっとイベントなど増やして、新しい人にも気軽に入りやすい雰囲気づくりをしてくれたら良いかと思っています。</p>
<p>現在は働く側の業務時間も多様(土日、祝が休みとは限らない、日中のみの仕事でなく、夜間にも及ぶ場合もある)なのに、預かり時間は昔のままで、もっと時間帯を見直せないのでしょうか?</p>

## 4. 経済的支援

計 34 件

いろいろなサービスや支援も料金が高いと低所得者は利用できない。
保育料や学校の給食費などの負担を軽減して欲しい。
育成手当など（東京では育成手当がありました。）小さい子供だけではなく高学年にも塾や習い事にお金がかかるので手当を作って欲しい。
ここ数年は未就学児の医療費助成についてはとてもありがたく思います。その他、多くの改善もある所で市が努力していることには感謝しています。もっと住み良く、子供達が安心して学べる、遊べる町になる事を期待しています。
保育料の基準が不透明。保育料が高すぎると思う。
現在、幼稚園までは多子軽減で下の子の保育料が減額になる制度ですが、小学校、中学校まで延長して頂きたいです。
教育費や、医療費などはどの子供達にとっても公平であるように無償であって欲しいと思います。
沖縄県が低所得なのに対し、医療費の負担制度の年齢制限対象が低い。小学生は、まだまだ通院する事も多いので市の負担年齢を中学校卒業まで上げて頂きたい。
平成 25 年度から、小学校の給食の一部を負担して頂き、大変助かっています。今後、中学校まで拡大させてもらえる事を期待しています。4 月からは消費税もアップしますので、子育て世代にとっては様々な事業での支援（給付等）があるといいなあと思います。
認可外保育園についても、公立保育園と同等の保育料で通えればと思っていました。
宜野湾市は、幼稚園の補助が少な過ぎ(対象の子まで)市内に良い幼稚園があっても、就園補助が満5才からしかなかった為。しかも、子供の人数に関わらず、家庭の収入で支援補助の受給可否が決まってしまう。もう少し早く検討して欲しい。
所得は変わらないのに税金は増え、教育に関する費用がかかり過ぎる。その為に共働きしなければ今の生活レベルを維持できず、育児も気持ちに余裕を持っていないのが現状だと思います。
シングルママで2人の子供を養っていくのはたやすいことではない。沖縄は所得も低く毎日の生活だけで大変です。毎年、母子手当も減らされても給料は変わらず4月には消費税も8%に。子育て云々よりも生活の安定が必要。お金に余裕が無いと心に余裕が無くなり、子育ての意欲も無くなる。子育ての環境の質を上げるには、政府や企業におけるの努力が非常に必要になる。気持ちに、お金にゆとりある社会をまず作って欲しい。
育児休暇の制度を最大限に利用したかったのですが断念しました。それは、育休中は無給になるのが家計、精神に負担だからです。働いていた時の計算で市県民税を支払うので無給の身で年間 20 数万は辛かった。
専業主婦なので、私立の学童保育へ入所しているが経済的負担が大きい。かといって自宅で見るのは遊ぶ友達も近くにいないし場所も少ない。
沖縄は共稼ぎが多い地域なのに学童保育への支援が少ないと思います。経済的な負担が大きいのでとても大変です。利用したくても、出来ない人も多いと思います。安心して働ける環境がほしいです。
認可外保育の料金が高すぎ。何か支援は出来ないのか？2人目、3人目は認可保育園ではあるけど、4人目は待機待ちで認可外の保育園へ、働かないと退園！働いたら認可入れるまで保育料におわれる毎月になってしまっている。2人目、3人目合わせて月¥20,700、4人目(認可外)月¥31,000、計(月)51,700円 あり得ない。
今の子育て支援の考え方には少し疑問です。産まれて幼児までは手厚い感じですが、子供は成長すればするほどお金がかかるものです。中学に入ると皆、塾に行きたがります。でも金銭的な問題で通えず行きたかった学校を諦める子供もいるのです。せめて高校までは同じ子供として平等に扱って貰いたいものです！これからの人材育成や、宜野湾市の発展を考えるなら、中学や、高校生にももっと目を向けて下さい。兄弟二人中学生で塾に通わずと最低でも4万の出費です。
義務教育の間は給食費全額補助になると嬉しい。
子供を預かる人がいないので家計は苦しいのですが主婦をしています。働けるようになるまで金銭的な援助があるといいなと思います。自分で子育てができるように市や国からの金銭的な援助があると1番助かります。家庭保育をしている私は園などの施設を増やす事に税金が使われても意味がありません・・・あと父親が月に2回程しか休みがなく子供との時間が少なくて感じます。その代わりに給料が少ない私が働く子供が両親との時間がなくなり世の中が悪循環ですよ・・・。
沖縄は共働きが多いのに学童保育への支援が少ないと思います。負担が大きいので利用できない人も多いと思います。安心して働ける環境が欲しいです。
医療費控除(通院)の年齢の拡大、給食費の負担軽減等、経済的負担が減れば精神的にもゆとりが持て、子育てしやすくなると思う。
医療費を中学生まで無料にして欲しい。アレルギーなどがある子は、定期的に薬が必要でそのたびに薬代が大変。
子供手当を無くして、インフルエンザの予防接種や学校給食費などに当てる。
子供が多い為、教育費にお金がかかり費用負担が大きい。
教育に力を入れたいが、金銭面に余裕が無い。パートで働いていますが、平日休みで家族と休日を過ごす時間が無い。
認可保育園を増やして欲しい。認可保育園は、待機児童が多い(祖父母同居)認可外保育へ預けていますが料金が安い。認可保育と同じ位の負担額になるように、助成して欲しい。
宜野湾市は、他の市に比べて医療(子)助成を受けやすく、年齢も高く設定されていて助かっています。
学習塾の支援等があるといいのでは？(収入の上限なく)→子どもは皆平等です
すぐにも就労したいが現在、病氣病養中で目処がたたない、生活も一杯一杯なので施設利用費は負担になってしまう。
私は子供も大きくなってきているので特に無いですが、認可外保育園にかかる費用を負担して欲しい。
子供を育てるにあたり、児童手当等など、とても助かっています。ありがとうございました。(保健所での健康診断(無料)等も昔は利用しました。とても助かりました。ありがとうございました。
我が家は、父親の収入で家計を支えています。子供5人+親への援助等にかかる費用で、毎月家計は苦しいのですが何か援助を受けたいと思っても、年収で引っかけられる事は出来ません。年収-子供の数なども考慮してもらえたらいいと思います。親の病院等の送迎など、私が親の面倒を主にしているので、仕事を探す時に時間帯も合うものも少ない。仕事をしても、結局私の負担が大きくなり疲れきってしまう。子供達が小さい時、保育園も考えましたが、高く、働いた収入が保育料でなくなるような額になるので、仕事はやめて自宅で育てました保育料の高さもどうにかならないでしょうか？
病院の費用を助成して頂きありがとうございます。とても助かりました。出来れば、出産の時の様に病院に直接支払いをしてもらおうと尚助かります。

## 5. 幼稚園

計 10 件

あと、1年しかないが幼稚園も給食にして毎日、午後まで預かってほしかった。そしたら仕事（パート）をみつめて働くことができたと思う。
幼稚園に預ける時間が毎日PM2:00、3:00頃まで預けられたら働ける人が増える。困ってるお母さんが増えている。（働きたくても働けない）
幼稚園は3歳児から受け入れて欲しい
幼稚園の給食を検討して欲しい。
今ある幼稚園の年長さん、年中さんの枠を広げると、保育園に通園している子が移動でき、保育園にゆとりがみられるようになれば待機している子供の年齢に合わせてクラスを増やしたりと、何らかのよい流れができるのではないのでしょうか？もちろん、幼稚園に先生を増やす→雇用もうまれるなど対応しなければならない問題も多いとは思いますが。
幼稚園を給食付きにしてほしい。（西原町や知念村などは給食があると聞きました）
私立幼稚園の預り保育で給食を出して欲しい。
本当は、校区内小学校の幼稚園に通わせたいが、午前中しか預かってもらえなかったり、給食が出ない為、毎日お弁当を持たせないといけない等家庭を一人で支え、仕事をしながらだと負担が増す為、通わせたくても出来なかった現状でした。しかしながら、小学校は6ヶ年も通う場所なので、校区内幼稚園から1年生に上がる方が子供にとっては、とても望ましいと思います。要望として幼稚園での給食があり、放課後保育等が整えば、宜野湾市で子育てがしやすくなるかと思えます。
公立の幼稚園が1年～2年である。2年保育のクラスは人数制限あり、抽選であったりと聞く。2年保育を充実させ出来れば3年保育も必要だと思う。
公立の幼稚園の保育時間が非常に短い。1年保育の子供がその間、小学校の生活に慣れる為には少し長くすべき、保育時間と長く充実したものにすれば親の負担も軽減出来る。今の保育時間では送迎や、PTAの集まり、弁当などの方が忙しくなり帰って大変なので少し長く充実したものにして欲しい。

## 6. その他

計 14 件

子供を育てる親が、比較観念が強すぎる様な感じがあり自分の正しさで人を裁き自分自身をも裁いてギスギスしている。経済を作る為、皆必死に働き生活に追われ心の状態がどうなっているのかも確認出来ていない。
講演で「子供を認めて理解して上げる事に徹底しよう！まずは自分自身を好きになろう」という心理学からのアプローチがありました。先生は、ヨーロッパや海外へも足を運び精神世界を探求されている様でこういった先生をお招きして高い視点から子育てについて講演して頂いて親の知性を上げていく事が、子供の可能性をぐんぐん伸ばせていけると思えます。親子共々レベルアップにとっても良い学問なので波及して欲しい。
今回のアンケートをしてみて、私は子育てを楽しんでやっているなあーと思えました。イライラする事もあるけど、成長も感じる事もあり、私自身も成長してるんだらうなあーと思えます。現に、子供が大きくなるにつれぶれる事が少なくなっています。これから色々な事があるかもしれませんが、子供と一緒に成長していけたらと思います。
このアンケートをわざわざさせるぐらいだから、確実に何かしらの実現はしてほしい。アンケートした後の事もちゃんと、確実に報告して下さい。書いても意味がないアンケートの為に、催促されるのも嫌です。
小さい頃から（子供達が）基地の騒音の被害を受けて育っていますので、一人一人の子供達がすすくと成長し、立派な大人になっていくよう私たち大人、皆で守って（育てて）いかなければいけないと強く感じています。その分、子育てをするのに最も良い環境作りをしてもらいたい（あらゆる面において）。
平日、保育園からのおけいこ事への送迎サービス。
息子（末っ子）の通う保育園のすぐ上を米軍機が飛びます。結構近くを飛んでいるので、規制をかけるか、米軍基地をなくして欲しいです。辺野古へ移動しても、それで宜野湾の不安はすべて解消されるのでしょうか？基地は永遠になくならないと思えますし、今度は辺野古住民に負担が行くだけの事。子供達の事を本当の意味で守る政治家を出してほしいと思えます。反対を言い続けるだけでなく、きちんと働いて住民、そして子供達の為に働いてくれる大人をそして政治家を求めます。
進学の際、学用品や制服、カバンを購入する負担が大きいのので一人親や低所得者優先におさがりをもらえる場所が必要！部活や習い事でも同様に！（これがなくて、部活を諦める事になり親として心苦しかったです）
共働きで、子供の宿題を見てあげられていない。相談したくても、日曜日の休みなので相談出来ない。
アンケートが多いがその解答や今から方向性が分からない。市報等で一般向けに答えて欲しい。住み心地良い宜野湾市にして下さい。
これは、子育てしている方、全員の願いだと思います。清潔でおむつの替えや、お湯、離乳食を食べれる場所もあると心の負担が減り楽な気持ちで過ごせます。
子育ては本当に大変で難しい。でも、子供の成長や笑顔が励みです。この子の為にも、親も毎日ががんばれますね。と自分にも言い聞かせています。
子どもを預けて仕事をするのは、やっぱりそこまでしなくてもと思う。でも生活費の為には働かなくてはいけないと考える為、子供との関係も保ちながらパートで頑張りたいと思っています。
生活するには仕事が必要、現実には厳しいです。このアンケートは「絵に描いたもち」にならないように！

宜野湾市子ども・子育てに関するニーズ調査  
～ 小学生用 ～



日頃より、宜野湾市政に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、平成24年8月に、国において「子ども・子育て関連3法」が成立したことを受け、平成27年度より、子ども・子育て支援新制度がスタートする予定です。新制度では、すべての子どもが健やかに成長できるよう支援するために、全国すべての市町村が5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に事業を実施することとしています。

本市におきましても、この計画を作成するにあたり、どのような子育て支援施策が必要かを把握するため、アンケート調査を実施いたします。

皆様方よりお答えいただいた調査結果は、今後、本市の子ども・子育て支援施策を考へていく上で、重要な資料といえます。

子どもたちが自分たちの住むまちに誇りを持ち、将来に向かって希望を持って育つためには、行政と市民が一体となって、子どもたちの未来を考へていくことが必要です。

つきましては、ご多忙のことは存じますが、本市の子どもたちが大人になっても住み続けたいと思える魅力あるまちとするために、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

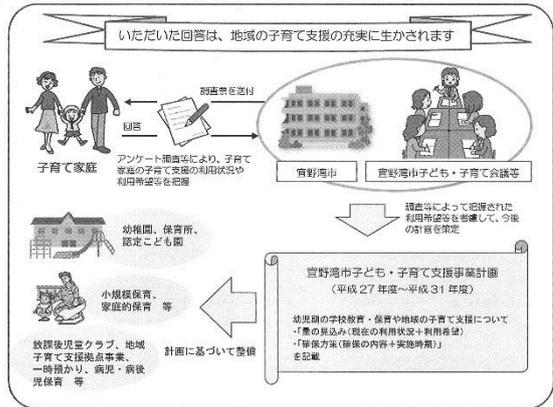
平成26年1月 宜野湾市長 佐喜真 淳

ご記入いただいたアンケート票は、配布いたしました封筒に入れて、平成26年1月17日(金)までに担任の先生へご提出願います。



ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

担当課：宜野湾市役所 福祉推進部 保育課 担当：新垣、平田  
電話：098-893-4411 (内線 432・473)  
委託業者： 崎都市科学政策研究所 担当：山城、上里  
電話：098-859-7037



ご記入にあたってのお願い

1. 特にことわりのある場合以外は、アンケートを保持されたお子さん(以下「対象のお子さん」)についてご記入ください。
2. アンケートには、おさんの保護者の方がご記入ください。
3. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
4. 選択肢の場合、お選びいただく数が増減によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある( )内に具体的な内容を記入ください。
5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
6. 本アンケートで用いる「子育て」、「教育」とは下記の意味を指します。  
「子育て」… 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援。  
「教育」… 問 14-4 までにおいては家庭での教育を含めた広い意味。  
問 15 以降においては幼児期の学校における教育の意味。



対象のお子さんご家族の状況について

問1 対象のお子さんが通学している小学校をお答えください。

- ☑️ ○は1つ。
1. 普天間小学校 2. 普天間第二小学校 3. 大山小学校 4. 大謝名小学校  
5. 真数小学校 6. 志真志小学校 7. 宜野湾小学校 8. 長田小学校

問2 対象のお子さんの学年をご記入ください。

☑️ 学年を数字でご記入ください。  
小学校  年生

問3 対象のお子さんを含め、おさんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢(平成25年4月2日現在の年齢)をご記入ください。

☑️ おさんの人数、末子の年齢を数字でご記入ください。  
 人 末子の年齢  歳

問4 対象のお子さんとの同居・近居(概ね30分以内程度で行き来できる範囲)の状況についてお伺いします。続柄はお子さんから見た関係です。

☑️ あてはまる番号のすべてに○  
1. 父同居 2. 母同居 3. 祖父同居 4. 祖母同居  
5. 祖父近居 6. 祖母近居 7. その他( )

問5 対象のお子さんの身の回りの世話を主にしている方はどなたですか。続柄は対象のお子さんから見ただけです。

☑️ ○は1つ。  
1. 主に父親 2. 主に母親 3. 主に祖父 4. その他( )

問6 対象のお子さんは、何らかの障がいや発達の違いが気になる状況がありますか。

☑️ ○は1つ。障がいがある場合は、障がいの種類をお答えください。  
1. 障がいがある  
→障がいの種類についてお答えがします【①身体障がい ②知的障がい ③その他( )】  
2. 発達の遅れが気になる  
3. ない

子どもの育ちをめぐる環境について

問7 保護者以外にお子さんを預かってもらえる人はいますか。

- ☑️ 当てはまる番号すべてに○
1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる  
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる  
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる  
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる  
5. いずれもない → 問8へ

問7-1は、問7で「1」または「2」を選ばれた方にお伺いします。

問7-1 祖父母に預かってもらっている状況についてお伺いします。

- ☑️ 当てはまる番号すべてに○
1. 祖父母が預かることについては、特に問題は無い  
2. 祖父母の身体的負担が大きいく心配である  
3. 祖父母の時間的制約や精神的負担が大きいく心配である  
4. 孫の立場として、負担をかけていることが苦しい  
5. その他( )

問7-2は、問7で「3」または「4」を選ばれた方にお伺いします。

問7-2 友人や知人に預かってもらっている状況についてお伺いします。

- ☑️ 当てはまる番号すべてに○
1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題は無い  
2. 友人・知人の身体的負担が大きいく心配である  
3. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きいく心配である  
4. 孫の立場として、負担をかけていることが苦しい  
5. その他( )

問8 対象のお子さんは毎日朝食を食べていますか。

- ☑️ ○は1つ
1. 毎日食べている 2. ほとんど毎日食べている  
3. 時々食べている 4. ほとんど食べていない



対象のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について



この章を回答するにあたり、お読みください

地域の子育て支援事業とは、子育て中の親子（家庭で保育している方や育児休業中の方など）や妊婦等が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「子育て広場」、「子育て支援センター」等と呼ばれています。

問16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。対象のお子さん以外に兄弟・姉妹がいられる場合は、兄弟・姉妹を含めた全てのお子さんについてお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。（事業内容、事業料金は別紙参照）

①～⑩の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて「はい」「いいえ」のいずれかに○。

事業の名称	A知っている	Bこれまでに利用したことがある	C今後利用したい 現在も利用しているが 今後も利用したい
①幼稚園(こいのとり倶楽部、育児学校(コアラクラブ))	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
②保健相談センターの情報・相談サービス	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
③家庭教育に関する学級・講座	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
④保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑤子育てサロン (非営利組織等が実施している事業、月に1回市外から車で来店)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑥地域子育て支援センター (身近な地域における相談や親子の交流の場)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑦児童センター	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑧自治体発行の子育て支援情報誌 「子育て応援本ぽっく」	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑨子育ての総合相談窓口(家庭児童相談室)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑩母子自立支援員 (ひとり親家庭等を対象に、総合相談及び指導、就労への支援等を行う相談員)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>

⑪～⑬の事業については利用者負担が発生します。詳しくは別紙をご参照の上お答えください。

⑪放課後児童クラブ(学童保育)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>
⑫家庭的保育(保育ママ) (宜野湾市では未実施ですが、以下の内容を参考にしてお答えください)	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	—	—
⑬ファミリーサポートセンター	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>	はい <input type="checkbox"/> いいえ <input type="checkbox"/>

⑭病児・病後児保育(病院の小児デイケア)

参考) 家庭的保育(保育ママ)とは…  
自治体から保育を委託されて、保育士、看護師等の資格を持った保育ママ(家庭的保育者)が幼稚園の預かりや、仕事・病院等の理由でお子さんの保育が出来ない保護者に代わり、保育ママ(家庭的保育者)のお宅の一部を開放し、主に0歳以下の赤ちゃんを保育する制度です。また、定額加算は保育所で集団保育を受けることもできます。保育料については、世帯の課税額(収入)によって異なります。

問16 現在お住まいの地域は、あなたにとって子育てしやすいと思いますか。

- ☑️ ○は1つ
- とても子育てがしやすいと思う。
  - どちらかといえば子育てがしやすいと思う
  - どちらかといえば子育てがしにくいと思う
  - とても子育てがしにくいと思う

問17 子どもの外出の際、宜野湾市内において困ること・困ったことはありますか。

- ☑️ ○は3つ
- 歩道や信号がない通りが多く、安全面に心配があること
  - 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている
  - 交通機関や公共施設がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
  - トイレがおむつ替えや鞋子での利用に配慮されていないこと
  - 授乳する場所や必要な設備がないこと
  - 禁煙・喫煙場が徹底されていないこと
  - 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
  - 重い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
  - 緑や広い歩道が少ないなど、まちなみにゆとりとうるおいがないこと
  - 広い通りや見通しのきかないところが多いこと
  - 周囲の人が子どもを連れを迷惑そうにみること
  - 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ないこと
  - その他(具体的に: )
  - 特に困ること・困ったことはない

対象のお子さんの病気の際の対応について

問18 この1年間に、対象のお子さんが病気がけがで学校を休んだことはありますか。

- ☑️ ○は1つ
- あった
  - なかった ⇒ 問19 (p11)へ

問18で「1. あった」と回答した方だけがいます。

問18-1 対象のお子さんが病気がけがで学校を休んだ、放課後児童クラブ(学童保育)などの預かりサービスが利用できなかった場合、この1年間どのような対応方法をとりましたか。

☑️ 当てはまる記号すべてに○をつけ、年間の日数を数字で記入してください。(数字は一位に一字)

1年間の対応方法	日数(年間)
ア. 父親が休んだ	<input type="text"/> 日
イ. 母親が休んだ	<input type="text"/> 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	<input type="text"/> 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	<input type="text"/> 日
オ. 病児・病後児保育(病院の小児デイケア)を利用した	<input type="text"/> 日
カ. ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した (「病児・緊急対応強化事業」による利用も含む)	<input type="text"/> 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 日
ケ. その他( )	<input type="text"/> 日

注) 半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

問18-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方だけがいます。

問18-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設(病院の小児デイケア)等を利用したい」と思われましたか。なお、事業の利用(現在、海邦病院にて小児デイケアを実施)には一定の利用料がかかります。利用前にはかかりつけ医などの受診が必要となります。(事業内容、事業料金は別紙参照)

☑️ ○は1つ。利用したい場合は、利用したい日数を口内に数字で記入してください。(数字は一位に一字)

- できれば病児・病後児保育施設(病院の小児デイケア)等を利用したい ⇒ 年間  日
- 利用したいとは思わない



対象のお子さんの一時預かり等の利用について

問19 保護者が仕事等の理由により、平日の夜間や休日にも子どもの保育が困難となった場合において、児童養護施設等で夜間などにお子さんを預かる事業として「夜間養護等事業(トワイライトステイ)」があります。(宜野湾市では現在未実施。)このような事業があれば、利用したいと思いますか。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(事業内容、事業料金は別紙参照)

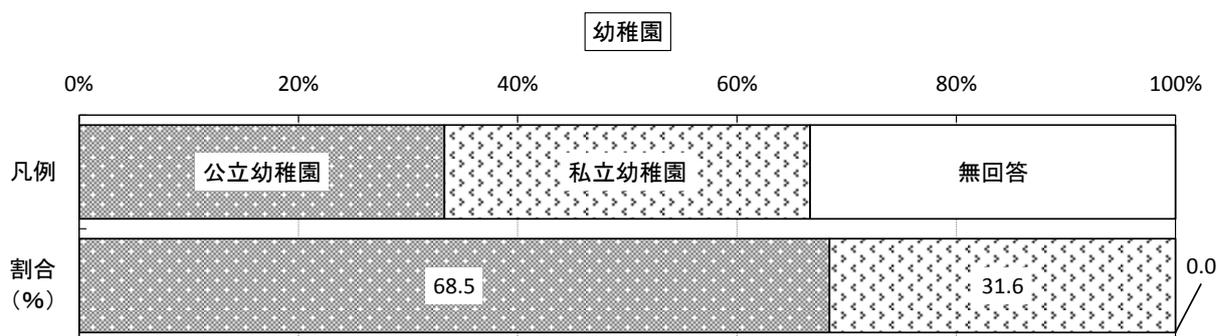
- ☑️ ○は2つまで
- 身内や友人等に預けるのが非常に困難なので、夜間養護等事業(何行何行)を利用したい。
  - 身内や友人等に預けるのがどちらかというと困難なので、夜間養護等事業(何行何行)を利用したい。
  - 夜間養護等事業(何行何行)よりも利用料が高くなるとしても、ファミリーサポートセンターを利用したい。
  - 現在はあまり必要性を感じないし、子どもの保育が困難となった場合も、身内や友人等の知り合いへ預けたい。
  - 分らない。
  - その他( )

問20 保護者の疾病や出産、介護等により、こどもの保育が一時的に困難となった場合において、児童養護施設等でお子さんを一定期間(原則7日以内)養育する事業として「短期入所生活援助事業(ショートステイ)」があります。(宜野湾市では現在未実施。)このような事業があれば、利用したいと思いますか。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(事業内容、事業料金は別紙参照)

- ☑️ ○は2つまで
- 身内や友人等に預けるのが非常に困難なので、短期入所生活援助事業(何日何日)を利用したい。
  - 身内や友人等に預けるのがどちらかというと困難なので、短期入所生活援助事業(何日何日)を利用したい。
  - 短期入所生活援助事業(何日何日)よりも利用料が高くなるとしても、ファミリーサポートセンターを利用したい。
  - 現在はあまり必要性を感じないし、こどもの保育が困難となった場合も、身内や友人等の知り合いへ預けたい。
  - 分らない。
  - その他( )



### (3) 幼稚園園児調査



幼稚園の運営主体別（公立・私立）の回収状況を見ると、「公立幼稚園」が7割弱（68.5%）、「私立幼稚園」が3割強（31.6%）となっている。

## 現在の保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）について

### 問1（1）母親

【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 就労していない

### 問1（2）父親

【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 就労していない

#### （1）母親の現在の就労状況

「5. 就労していない」が4割強（41.5%）と最も多く、次いで何らかの就労をしている『フルタイムで就労している』（「1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」＋「2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」）（29.8%）及び『パート・アルバイト等で就労している』（「3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」＋「4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」）（27.1%）が3割程度と多くなっている。

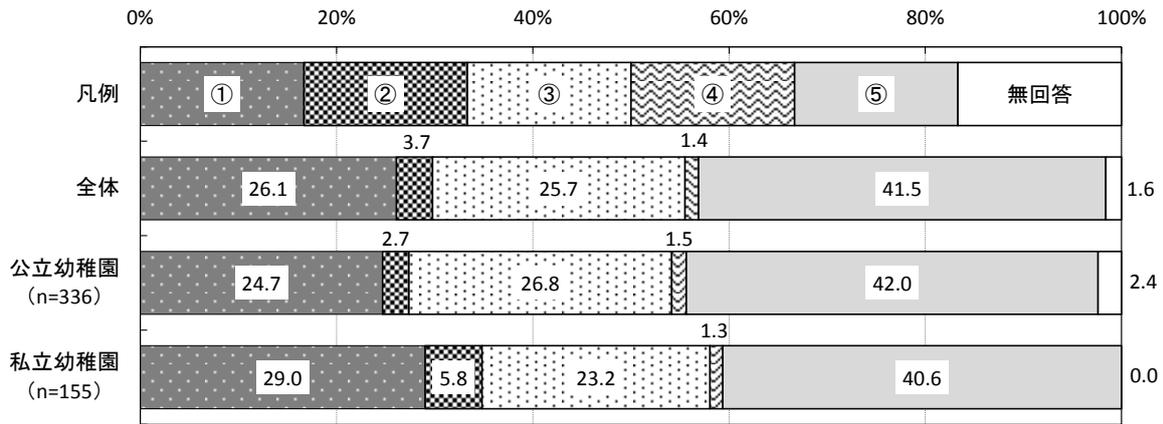
#### （2）父親の現在の就労状況

『フルタイムで就労している』が9割弱（85.1%）と圧倒的に多く、『パート・アルバイト等で就労している』（2.2%）や「5. 就労していない」（2.0%）はわずかな値となっている。

#### 【幼稚園の運営主体別、保護者の就労状況】

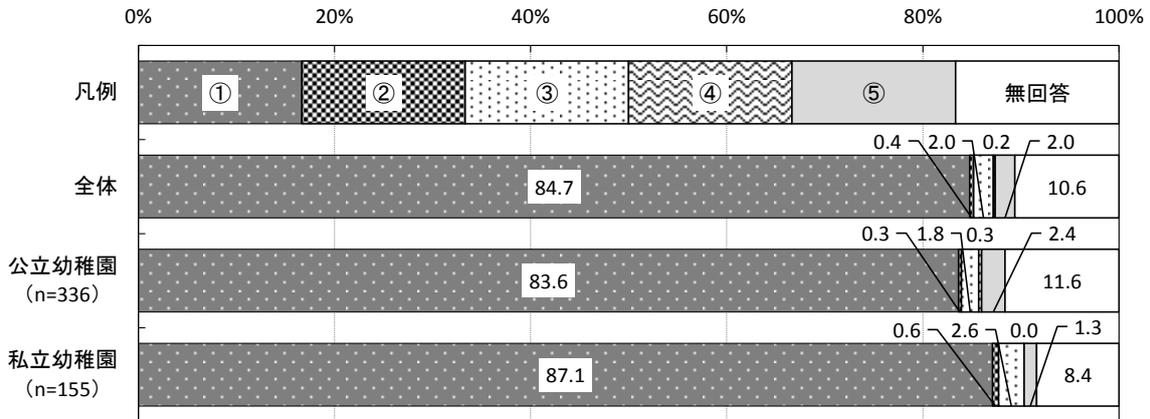
幼稚園の運営主体別（公立・私立）にみると、『フルタイムで就労している』保護者は「公立幼稚園」より「私立幼稚園」が若干多く、母親で7.4ポイント（「公立幼稚園」（27.4%）、「私立幼稚園」（34.8%））、父親で3.8ポイント（「公立幼稚園」（83.9%）、「私立幼稚園」（87.7%））の差がみられる。

問1(1),(2) 母親の現在の就労状況 × (公立・私立) 幼稚園



- ①フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▣ ②フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ③パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▤ ④パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ⑤就労していない
- 無回答

問1(1),(2) 父親の現在の就労状況 × (公立・私立) 幼稚園



- ①フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▣ ②フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ③パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▤ ④パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ⑤就労していない
- 無回答

### 問1(1)-1 母親の就労日数及び就労時間

(1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字で御記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり	<input type="checkbox"/> 日	1日当たり	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間
-------	----------------------------	-------	--

### 問1(2)-1 父親の就労日数及び就労時間

(1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字で御記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり	<input type="checkbox"/> 日	1日当たり	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間
-------	----------------------------	-------	--

#### (1)-1 母親の就労日数及び就労時間

就労日数は「1週当たり5日」が6割強(63.8%)と最も多く、「1週当たり6日」(15.4%)及び「1週当たり4日」(12.9%)が1~2割程度と続いていることから、1週当たり4~6日の就労が多いことがうかがえる。就労時間は「1日当たり8時間」が4割弱(36.9%)と最も多く、「1日当たり6時間」(15.1%)、「1日当たり5時間」(14.3%)、「1日当たり7時間」(10.8%)が1~2割程度と続いていることから、1日当たり5~8時間の就労が多いことがうかがえる。

#### (2)-1 父親の就労日数及び就労時間

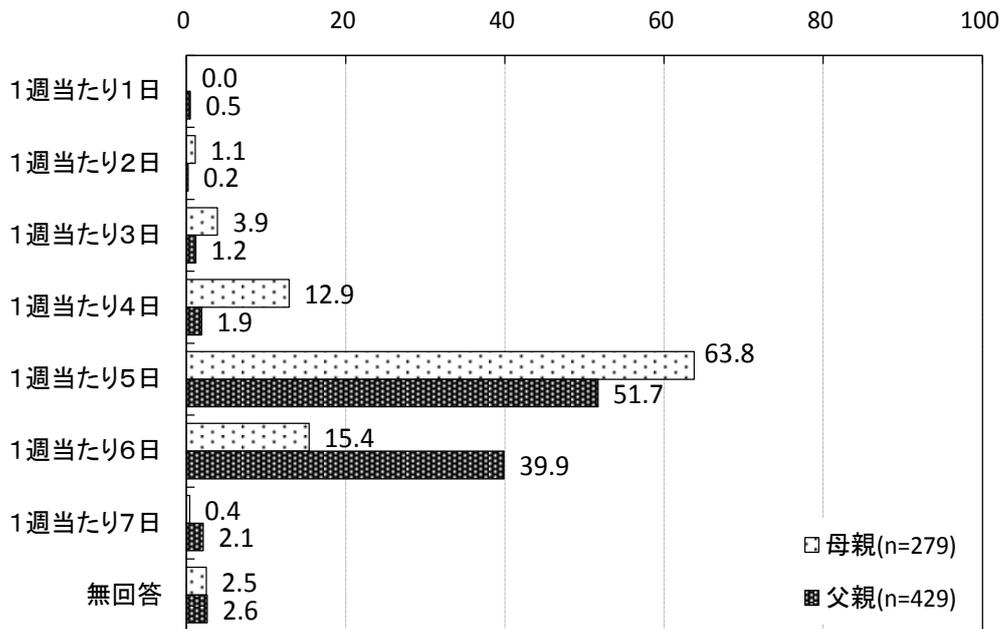
就労日数は「1週当たり5日」が5割強(51.7%)と半数近くを占め、次いで「1週当たり6日」が約4割(39.9%)と多く、1週あたり5~6日の就労が多いことがうかがえる。就労時間は「1日当たり8時間」が3割強(31.5%)と最も多く、次いで「1日当たり10時間」が2割強(21.9%)、「1日当たり9時間」(14.9%)及び「1日当たり12時間」(11.2%)が1割程度と多く、1日当たり8~10時間、12時間の就労が多いことがうかがえる。

#### 【母親と父親の就労日数及び就労時間の差】

《問1(1),(2)現在の保護者の就労状況》で父親はフルタイムが圧倒的に多く、母親はフルタイムに次いでパート・アルバイトの就労形態が多かったことから、就労日数及び就労時間においても、父親は1日9時間以上の週5~6日が多く、母親は1日8時間以下の多様な日数に回答がみられる。

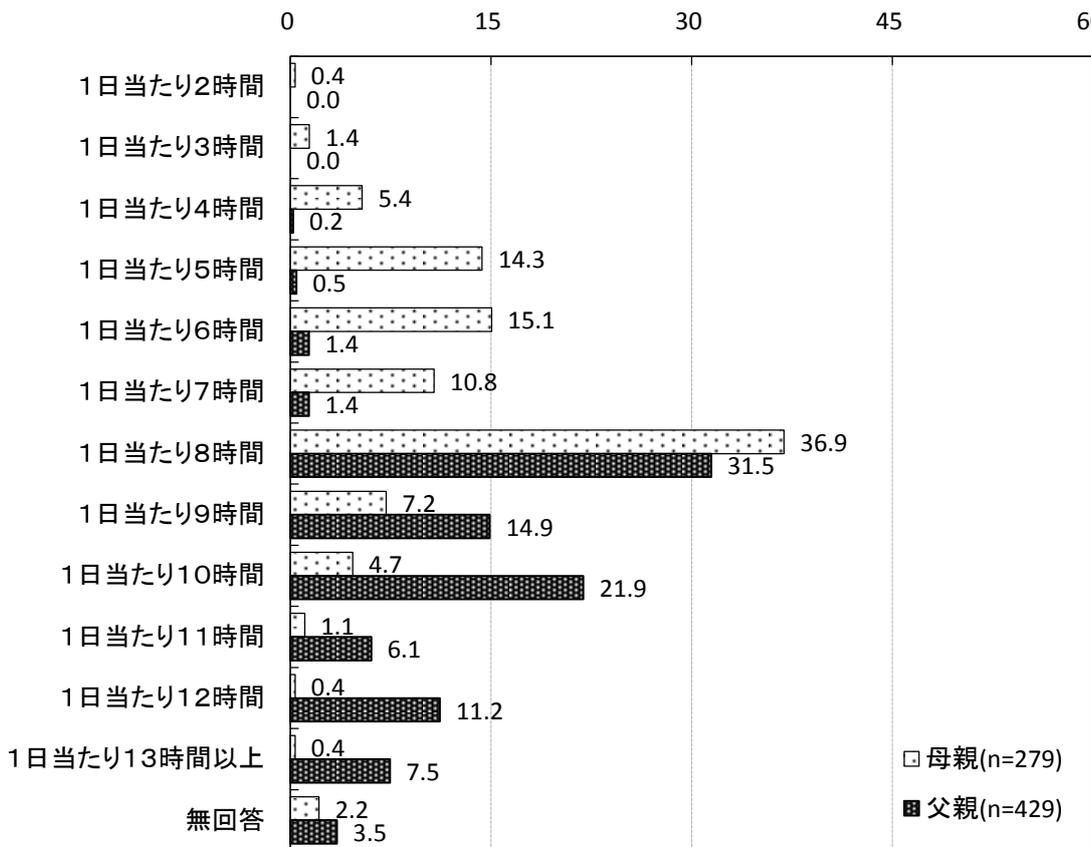
問1(1)-1, (2)-1 1週当たりの就労日数

(%)



問1(1)-1, (2)-1 1日当たりの就労時間

(%)



### 問1 (1) -2 母親の家を出る時間及び帰宅時間

(1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字で御記入ください。数字は一枠に一字。時間は、必ず24時間制でお答えください。(例：08時~18時))

家を出る時間 □□時	帰宅時間 □□時
------------	----------

### 問1 (2) -2 父親の家を出る時間及び帰宅時間

(1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字で御記入ください。数字は一枠に一字。時間は、必ず24時間制でお答えください。(例：08時~18時))

家を出る時間 □□時	帰宅時間 □□時
------------	----------

#### (1) - 1 母親の家を出る時間及び帰宅時間

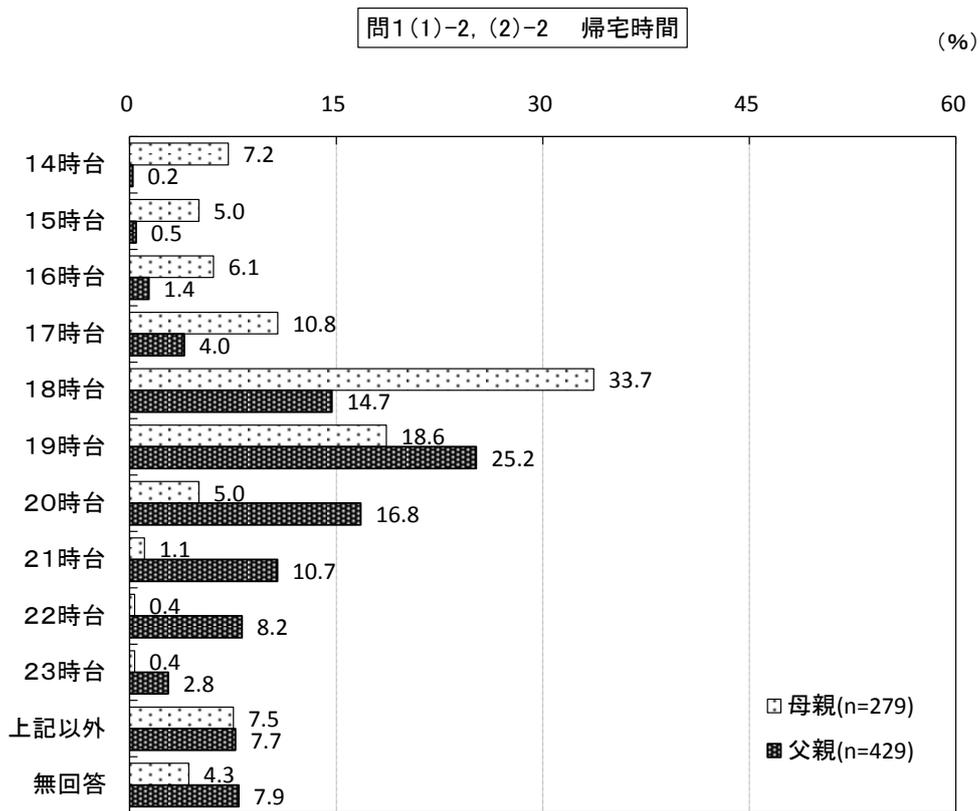
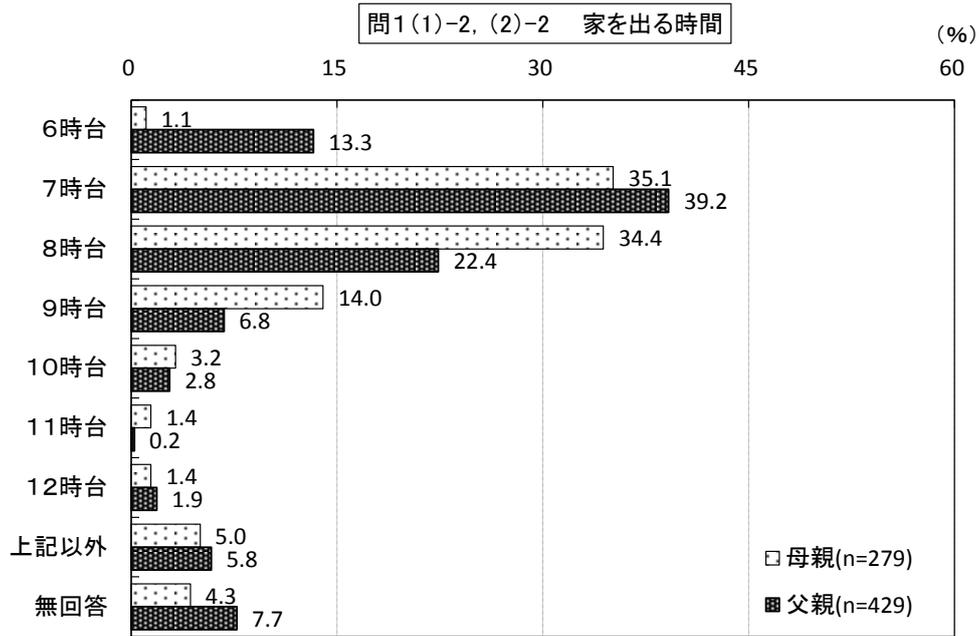
家を出る時間は「7時台」(35.1%)及び「8時台」(34.4%)が3割程度と多く、次いで「9時台」が1割程度(14.0%)と、7~9時台に家を出る場合が多いことがうかがえる。帰宅時間は「18時台」が3割強(33.7%)と最も多く、次いで「19時台」が2割弱(18.6%)、「17時台」が約1割(10.8%)と、17~19時台の帰宅が多いことがうかがえる。

#### (2) - 1 父親の家を出る時間及び帰宅時間

家を出る時間は「7時台」が約4割(39.2%)と最も多く、次いで「8時台」が2割強(22.4%)、「6時台」が1割強(13.3%)と、6~8時台に家を出る場合が多いことがうかがえる。帰宅時間は「19時台」の3割弱(25.2%)に次いで「20時台」(16.8%)、「18時台」(14.7%)、「21時台」(10.7%)が1~2割程度と多く、18~21時台の帰宅が多いことがうかがえる。

#### 【母親と父親の家を出る時間及び帰宅時間の差】

家を出る時間をみると、母親は7~9時台、父親は6~8時台が多く、母親より父親の家を出る時間帯が早いことがうかがえる。また、時間帯による割合の増減の波をみると、父母ともに大差はみられない。一方の帰宅時間は、14~18時台にかけては父親より母親が、19~23時台にかけては母親より父親の割合が上回っている。これらより、父親は母親より家を出る時間が早く帰宅時間も遅い回答が多いことから、フルタイム等で家を出ている状況が多いことがうかがえる。一方の母親は父親に比べて帰宅時間が早い回答が多いことから、《問1 (1), (2) 現在の保護者の就労状況》と同様に、パート・アルバイト等の就労が多いことが影響していると思われる。



**現在の幼稚園における預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業。以下同じ。）や  
その他の保育事業等の利用状況について**

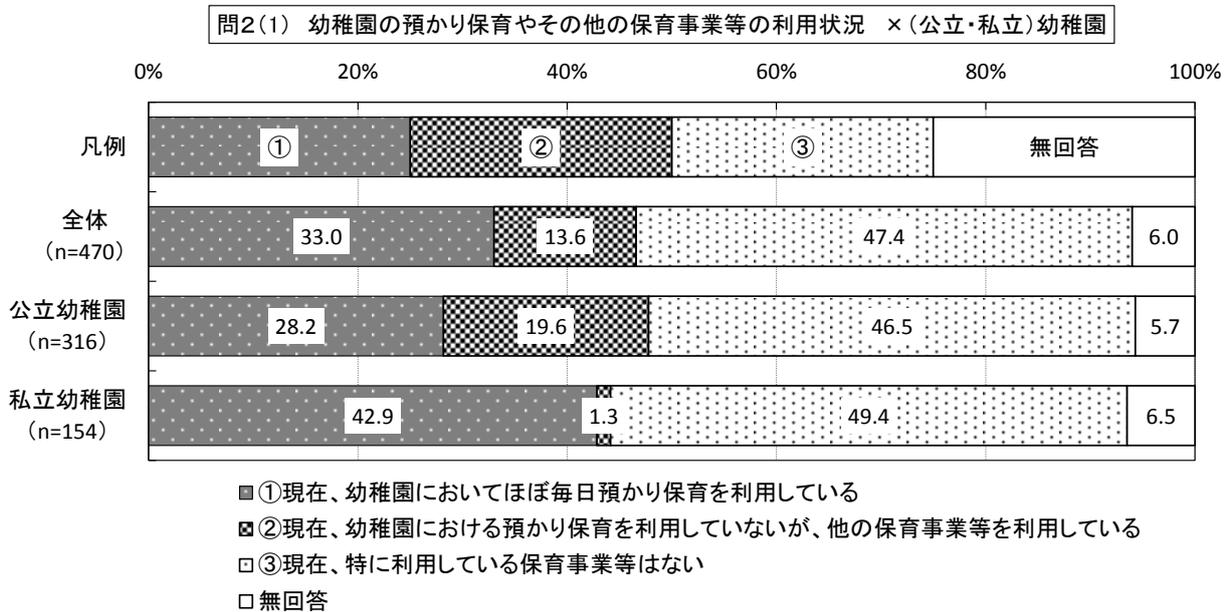
**問2（1）現在の幼稚園における預かり保育やその他の保育事業等の利用状況**

問1の（1）及び（2）で「1.~4.」（就労している）に○をつけた方（保護者）に、現在の幼稚園における預かり保育の利用状況等をうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |   |
|---|
| <p>1. 現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育を利用している</p> <p>2. 現在、幼稚園における預かり保育を利用していないが、他の保育事業等を利用している</p> <p>3. 現在、特に利用している保育事業等はない<br/>（上記1、2に該当しない）<br/>※親族、知人、友人等による預かりは3としてお答えください。また、親族等による預かりが中心で、<br/>時おり（例えば週1日程度）、幼稚園の預かり保育を利用するような方も3としてお答えください。</p> |
|---|

就労している保護者の幼稚園の預かり保育やその他の保育事業等の利用状況を見ると、「1. 現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育を利用している」は3割強(33.0%)、「2. 現在、幼稚園における預かり保育を利用していないが、他の保育事業等を利用している」は1割強(13.6%)みられ、「3. 現在、特に利用している保育事業等はない」は半数近くの5割弱(47.4%)となっている。

幼稚園の運営主体別（公立・私立）にみると、「私立幼稚園」の利用者は「1. 現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育を利用している」が4割強(42.9%)みられ、「公立幼稚園」（28.2%）より14.7ポイント上回り多くなっている。「公立幼稚園」の利用者は、「1. 現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育を利用している」の3割弱(28.2%)に次いで「2. 現在、幼稚園における預かり保育を利用していないが、他の保育事業等を利用している」が約2割(19.2%)みられる。

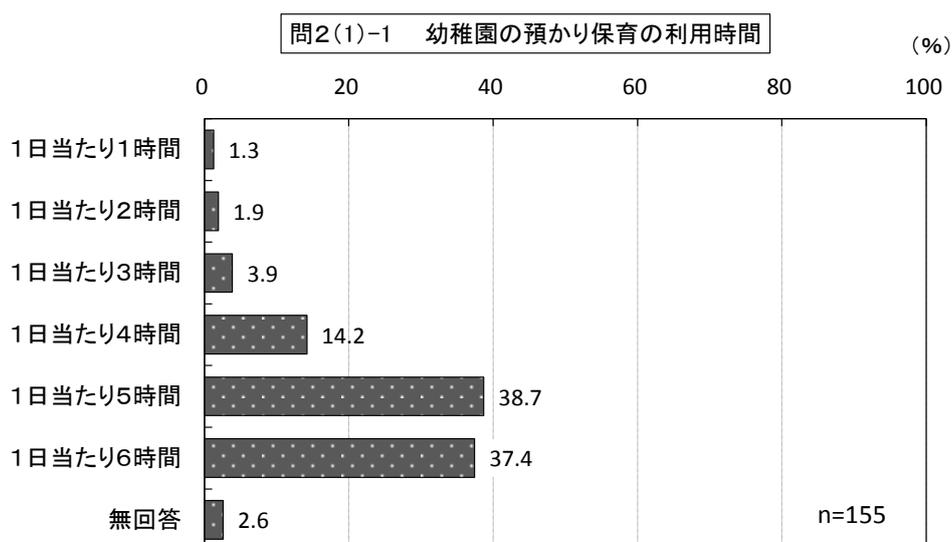
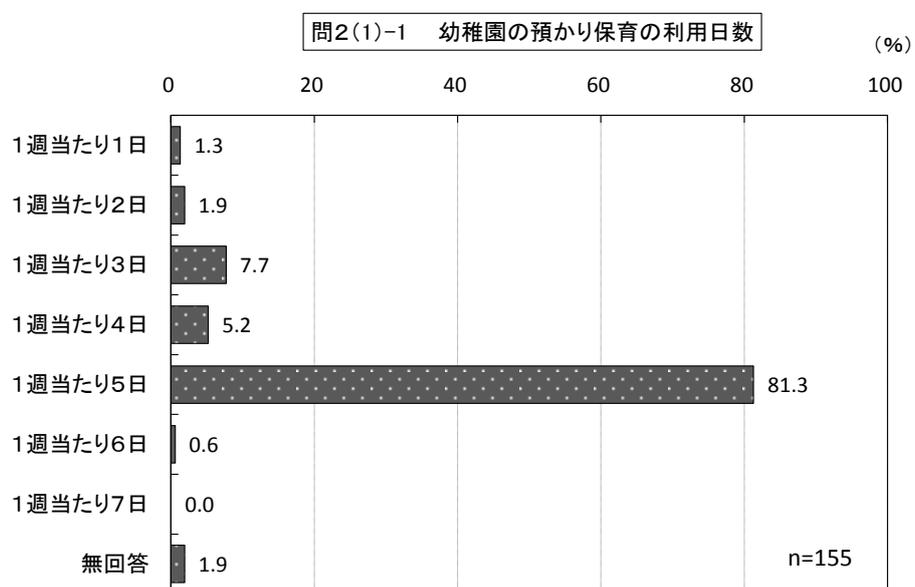


## 問2(1)-1 幼稚園の預かり保育の利用日数及び利用時間

(1)で「1.」に○をつけた方にうかがいます。 週当たりの「利用日数」、1日当たりの「利用時間」(保育終了後の12時からお迎えまでの時間)をお答えください。利用日数や利用時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。(□内に数字で御記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり □日	1日当たり □□時間
----------	------------

幼稚園の預かり保育を利用している保護者の利用日数をみると、「1週当たり5日」が8割強(81.3%)と他の日数と差をつけて多くなっている。利用時間をみると、「1日当たり5時間」(38.7%)及び「1日当たり6時間」(37.4%)が4割弱と最も多く、次いで「1日当たり4時間」が1割強(14.2%)と続いている。18時までの預かり保育を行っている園が多いことから、降園から18時頃までの預かりが多い状況がうかがえる。



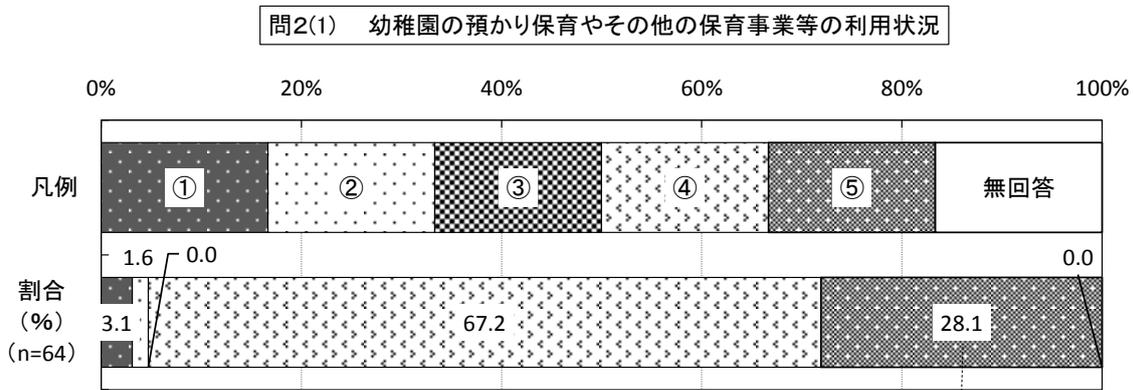
問2 (1) -2 その他の保育事業等の利用状況 (利用日数及び利用時間)

(1)で「2」に○をつけた方にうかがいます。どういった保育事業等を利用されているか、当てはまる番号1つに○をつけて下さい。また、週当たりの「利用日数」、1日当たりの「利用時間」(保育終了後の12時からお迎えまでの時間)をお答えください。利用日数や利用時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。(□内に数字で御記入ください。数字は一桁に一字。)

1. 保育所の一時的預かり(私用などの理由を問わずに一時的に子どもを預かる事業)
2. ファミリー・サポート・センター事業(地域住民が子どもを預かる事業)
3. ベビーシッター
4. 認可外の保育施設
5. その他 → (具体的な事業名等: )

1週当たり □日                      1日当たり □□時間

その他の保育事業等を利用している保護者の利用状況を見ると、「④認可外の保育施設」が7割弱(67.2%)と最も多く、次いで「⑤その他」が3割弱(28.1%)みられる。「⑤その他」の具体的な事業名等を見ると、全18件中、放課後児童クラブ(学童保育)が14件と多くなっている。



- ①保育所の一時的預かり
- ②ファミリー・サポート・センター事業
- ③ベビーシッター
- ④認可外の保育施設
- ⑤その他
- 無回答

「⑤その他」の具体的な事業名等

- 児童デイサービス
- 普天間青空学童クラブ
- 学童
- あおぞら学童
- 学童
- あおぞら学童
- 学童クラブ
- 認可保育園内学童きらら保育園
- 学童
- 青空学童
- 嘉数学童クラブ
- ジョーデンイングリッシュクラブ
- 学童
- 英会話教室
- 幼稚園の預かり保育を時々
- 学童
- 認可外保育施設の学童
- あおぞら学童

上段:件数、下段:横%		1週当たり 1日	1週当たり 2日	1週当たり 3日	1週当たり 4日	1週当たり 5日	1週当たり 6日	無回答
全体 (n=64)		0 0.0	1 1.6	1 1.6	0 0.0	28 43.8	34 53.1	0 0.0
その他の 保育事業	保育所の一時預かり (n=2)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
	ファミリー・サポート・センター事業 (n=1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	ベビーシッター (n=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	認可外の保育施設 (n=43)	0 0.0	0 0	1 2.3	0 0.0	17 39.5	25 58.1	0 0.0
	その他 (n=18)	0 0	1 5.6	0 0	0 0	9 50.0	8 44.4	0 0

上段:件数、下段:横%		1日当たり 1時間	1日当たり 2時間	1日当たり 3時間	1日当たり 4時間	1日当たり 5時間	1日当たり 6時間	1日当たり 7時間以上	無回答
全体 (n=64)		0 0.0	0 0.0	3 4.7	7 10.9	20 31.3	26 40.6	7 10.9	1 1.6
その他の 保育事業	保育所の一時預かり (n=2)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	ファミリー・サポート・センター事業 (n=1)	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ベビーシッター (n=0)	0 0.0	0 0.0						
	認可外の保育施設 (n=43)	0 0.0	0 0	2 4.7	4 9.3	16 37.2	14 32.6	6 14.0	1 2.3
	その他 (n=18)	0 0.0	0 0	0 0.0	3 16.7	3 16.7	11 61.1	1 5.6	0 0.0

「幼稚園園児保護者の就労状況等に関するアンケート」  
へのご協力をお願い

日頃から、宜野湾市政に御理解・御協力をいただき、ありがとうございます。

現在、宜野湾市では、早ければ平成27年度に施行が予定されている「子ども・子育て支援新制度」の実施に向けた準備を進めています。

新制度の実施に向けた準備を進める上では、地域における様々なニーズの正確な把握が必要です。幼稚園教育を一層充実させ、幼稚園の教育活動である預かり保育に対する支援をも一層充実させるために、その利用のあり方の正確な把握が必要となるため、幼稚園に通っているお子様の保護者の皆様へ、就労状況や預かり保育の利用状況等に関するアンケート調査を行うことといたしました。

突然のお願いで恐縮ですが、アンケートへの御回答に御協力くださいますようお願いいたします。

アンケート御記入の流れ

- 本アンケート用紙の設問の回答を御記入ください。  
※ 回答結果については、「子ども・子育て支援新制度」の検討以外には使用いたしません。また、個人情報については、対外的に使用することはありません。
- 御記入いただいた用紙については、各学級担任へ 月 日 (金) までにご提出いただきますよう宜しくお願い致します。

アンケート調査票

保護者氏名	
お子様氏名	
住 所	
お子様が通園中の幼稚園名	

問1 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |                                      |            |
|--------------------------------------|------------|
| 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない      | } ⇒ (1)-1へ |
| 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である      |            |
| 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない |            |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である |            |
| 5. 就労していない                           | ⇒ (2)へ     |

(1)-1 (1)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字で御記入ください。数字は一律に一字。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

(1)-2 (1)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字で御記入ください。数字は一律に一字。時間は、必ず24時間制でお答えください。(例: 08時~18時))

家を出る時間 時 帰宅時間 時

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |                                   |                          |
|-----------------------------------|--------------------------|
| 1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない      | } ⇒ (2)-1へ               |
| 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である      |                          |
| 3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない |                          |
| 4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である |                          |
| 5. 就労していない                        | ⇒ アンケートは終了です。ありがとうございます。 |

(2)-1 (2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字で御記入ください。数字は一律に一字。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

(2)-2 (2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字で御記入ください。数字は一律に一字。時間は、必ず24時間制でお答えください。(例: 08時~18時))

家を出る時間 時 帰宅時間 時

問2 問1の(1)及び(2)で「1~4」(就労している)に○をつけた方に保護者に、現在の幼稚園における預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業。以下同じ。)の利用状況をうかがいます。

(1) 当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 1. 現在、幼稚園においてほぼ毎日預かり保育を利用している。              | ⇒ (1)-1へ                 |
| 2. 現在、幼稚園における預かり保育を利用していないが、他の保育事業等を利用している。 | ⇒ (1)-2へ                 |
| 3. 現在、特に利用している保育事業等はない                      | ⇒ アンケートは終了です。ありがとうございます。 |
- (上記1、2に該当しない)  
※ 親族、知人、友人等による預かりは3としてお答えください。また、親族等による預かりが中心で、時おり(例えば週1日程)、幼稚園の預かり保育を利用するよう方も3としてお答えください。

(1)-1 (1)で「1」に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「利用日数」、1日当たりの「利用時間」(保育終了後の12時からお迎えまでの時間)をお答えください。利用日数や利用時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。(□内に数字で御記入ください。数字は一律に一字。)

1週当たり 日 1日当たり 時間

(1)-2 (1)で「2」に○をつけた方にうかがいます。どういった保育事業等を利用されているか、当てはまる番号1つに○をつけて下さい。また、週当たりの「利用日数」、1日当たりの「利用時間」(保育終了後の12時からお迎えまでの時間)をお答えください。利用日数や利用時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。(□内に数字で御記入ください。数字は一律に一字。)

利用している保育事業

- |   |
|---|
| 1. 保育所の一待預かり(私用などの理由を問わずに一時的に子どもを預かる事業) |
| 2. ファミリー・サポート・センター事業(地域住民が子どもを預かる事業)    |
| 3. ベビーシッター                              |
| 4. 認可外の保育施設                             |
| 5. その他 → (具体的に事業名等: )                   |

1週当たり 日 1日当たり 時間

アンケートは以上です。ご協力いただき、ありがとうございました。

学級担任へ 月 日 (金) までにご提出いただきますよう、宜しくお願い致します。